

はじめに

市政世論調査は、市民の皆さんの生活環境への意識、市の施策に対する評価及び市政への意見・要望を把握し、本市のまちづくりに有効に活用するために毎年実施しています。

この冊子は、平成21年5月中に実施した「市政世論調査」の結果をとりまとめたものです。

本年は、調査項目として「定住意向」「生活環境」「市政への要望」「八王子ゆめおりプランの施策指標の目標値に対する達成度」の継続的項目に加え、「生涯学習について」「地上デジタル等について」を設定しました。

今後も、市政世論調査を通じて市民の皆様の市政への参加を図るとともに、調査結果を有効に活用して、市民と行政との協働によるまちづくりを、より一層推進していきたいと考えています。

最後になりましたが、この調査に御協力いただいた市民の皆様に心から御礼申し上げます。

平成21年10月

八王子市長 黒須 隆一

目 次

I	調査の概要	1
1.	調査の目的	3
2.	調査設計	3
3.	調査項目	3
4.	回収結果	4
5.	報告書の見方	4
6.	回答者の属性	5
II	調査結果の分析	11
1.	定住意向	13
1-1	定住意向	13
1-2	住み続けたい理由	16
1-3	市外へ移りたい理由	19
2.	生活環境	22
2-1	生活環境の評価	22
3.	市政への要望	28
3-1	重点施策要望	28
4.	生涯学習について	32
4-1	生涯学習のイメージ	32
4-2	この1年間の生涯学習活動の実施状況	35
4-3	生涯学習活動をしていない理由	38
4-4	生涯学習活動の情報を知った方法	41
4-5	生涯学習活動に参加する手段	44
4-6	生涯学習活動に参加する目的	47
4-7	生涯学習活動に支出できる費用	50
4-8	生涯学習活動に参加できる場所	53
4-9	生涯学習活動の推進のための取組	56
4-10	生涯学習センターの利用目的	59
4-11	生涯学習センターの利用頻度	62
4-12	生涯学習に対する関心度	65

4-13	図書館の利用頻度	68
4-14	図書館を利用していない理由	71
4-15	図書館の活動・サービスの認知度	74
5.	地上デジタル等について	77
5-1	市ホームページの防災に関する情報の利用状況	77
5-2	市の携帯電話版ホームページの利用経験	79
5-3	市の携帯電話版ホームページの満足度	81
5-4	市の携帯電話版ホームページで望む情報	82
5-5	ホームページ「ハチポ」の利用状況	84
5-6	行政の情報以外に知りたい市内の情報	86
5-7	地上アナログ放送の終了時期の認知度	89
5-8	地上デジタル放送の視聴状況	91
5-9	地上デジタル放送受信機の種類	94
5-10	地上デジタル放送受信機へ切替え予定の時期	96
5-11	テレビ放送の電波等の受信方法	99
5-12	地上デジタル放送受信機設置等補助制度の認知度	102
6.	「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の目標値に対する達成度	104
6-1	市民協働の推進状況	104
6-2	現在の市政情報入手方法の満足度	106
6-3	市の窓口の利用の有無	108
6-4	市の窓口サービスの満足度	110
6-5	この1年間の地域行事への参加	112
6-6	日常生活環境の安全度	114
6-7	市の相談窓口の充実度	116
6-8	市の相談窓口の利用の有無	118
6-9	相談窓口の満足度	120
6-10	現在の生きがい	122
6-11	市の子育て支援施策の満足度	124
6-12	健康のために心がけていること	127
6-13	かかりつけの医療機関の有無	129
6-14	この1年間に取り組んだ学習活動	131
6-15	この1年間に行ったスポーツの頻度	134
6-16	この1年間の芸術・文化活動の頻度	135
6-17	市は景観に配慮されたまちであるか	136
6-18	災害に対する準備	138

6－19	市のにぎわいと活力の有無	140
6－20	環境問題への関心度	142
6－21	市の現在の環境	144
6－22	都市の美観が損なわれる原因	146
6－23	市は美観が保持されたまちだと思うか	149
6－24	省エネ・省資源を実行しているか	151
Ⅲ 調査票		153

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、市民の生活環境への意識、市の施策に対する評価及び市政への意見・要望を把握し、本市の市政運営の資料として活用することを目的とする。

2. 調査設計

- (1) 調査地域：八王子市内全域
- (2) 調査対象：市内在住の満20歳以上の男女個人
- (3) 対象者数：3,000人
- (4) 抽出方法：住民基本台帳からの層化二段無作為抽出法
 - ・層 化…「八王子ゆめおりプラン」で示された本庁・事務所管轄区域に基づき、6地域に区分する。(下の地域区分図参照)
 - ・地点抽出…各地域の調査対象人口（満20歳以上の男女）に応じて調査対象を配分する。調査対象に基づいて合計100地点となるように各地区の地点数を決定、地点を抽出する。
 - ・対象者抽出…抽出された各地点において対象者数が30人となるように無作為系統抽出を行う。

【本調査における地域区分】

- 中央地域：本庁管内
西部地域：元八王子・恩方・川口
西南部地域：浅川・横山・館
北部地域：加住・石川
東南部地域：由井・北野
東部地域：由木・由木東・南大沢



- (5) 調査方法：郵送配布・郵送回収
- (6) 調査期間：平成21年5月15日～5月29日
- (7) 調査機関：(株) エスピー研

3. 調査項目

- (1) 定住意向
- (2) 生活環境
- (3) 市政への要望
- (4) 生涯学習について
- (5) 地上デジタル等について
- (6) 「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の目標値に対する達成度

4. 回収結果

対象者数：3,000人

有効回収数：1,884票（有効回収率62.8%）

5. 報告書の見方

- (1) 集計は、小数第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が100%ちょうどにならない場合がある。
- (2) 回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を超えることがある。
- (3) 基数となるべき実数は、n（件数）として表示した。その比率は、n（件数）を100%として算出した。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) 分析の軸（＝表側）として回答者の属性や設問は、「無回答」を除いているため、各回答者の属性と基数の合計が全体と一致しない場合がある。
- (6) 本文やグラフの選択肢表記では、長文のものについては、語句を省略していることがある。
- (7) 標本誤差

標本誤差（サンプル誤差）はおおよそ下記の通りである。等間隔抽出法、すなわち無作為抽出法の標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、比率算出の基数（n）、および回答比率（P）によって異なる。

$$b = \pm 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差
 N = 母集団数
 n = 比率算出の基数（サンプル数）
 P = 回答比率

回答比率（P） 基数（n）	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,884	± 1.95	± 2.61	± 2.99	± 3.19	± 3.26
1,500	± 2.19	± 2.92	± 3.35	± 3.58	± 3.65
1,000	± 2.68	± 3.58	± 4.10	± 4.38	± 4.37
500	± 3.79	± 5.06	± 5.80	± 6.20	± 6.32
100	± 8.49	± 11.31	± 12.96	± 13.86	± 14.14

※上表は $\frac{N-n}{N-1} \div 1$ として算出している。この表の計算式の信頼度は95%である。

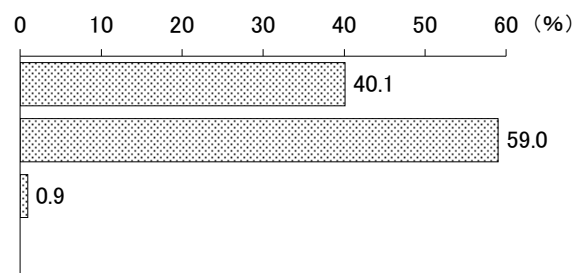
注）この表の見方

例えば、「ある設問の回答者数が1,884で、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±3.19%以内（56.8%～63.2%）である」と見ることができる。

6. 回答者の属性

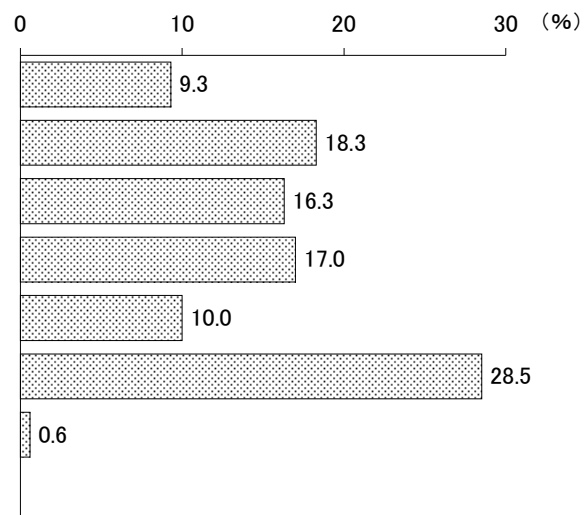
1 性別

	基数(人)	構成比(%)
1 男性	755	40.1
2 女性	1112	59.0
無 回 答	17	0.9
合 計	1,884	100.0



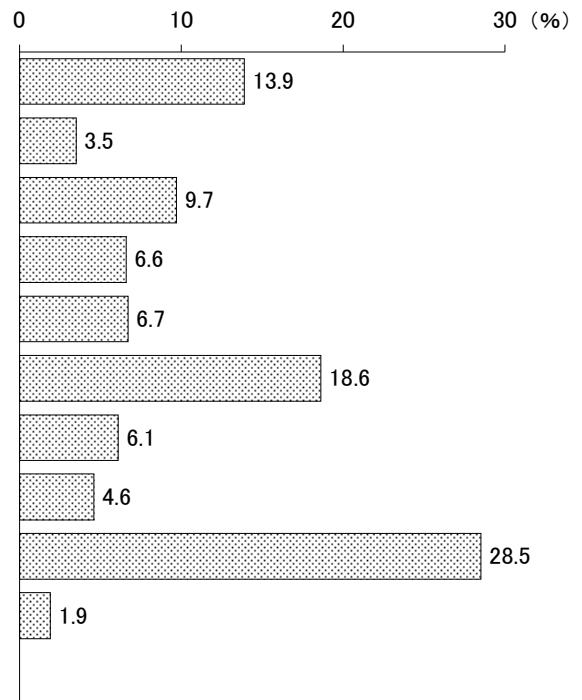
2 年齢

	基数(人)	構成比(%)
1 20歳代	175	9.3
2 30歳代	345	18.3
3 40歳代	308	16.3
4 50歳代	320	17.0
5 60～64歳	188	10.0
6 65歳以上	536	28.5
無 回 答	12	0.6
合 計	1,884	100.0



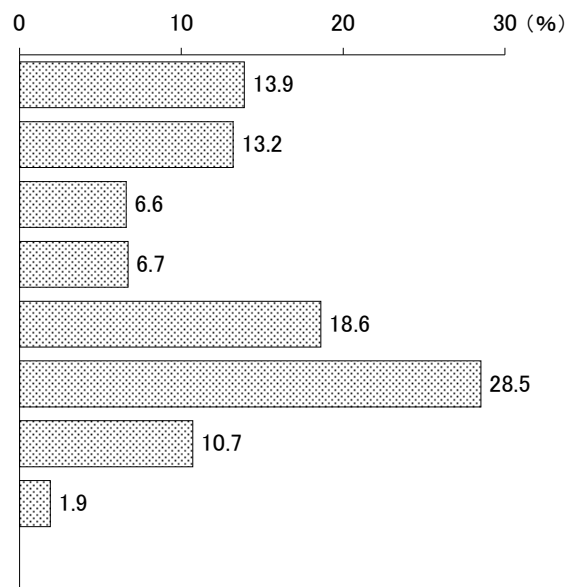
3 ライフステージ

	基数(人)	構成比(%)
1 20～39歳で単身者	262	13.9
2 20～39歳で配偶者がいて子どもがいない	65	3.5
3 20～64歳で一番下の子どもが小学校入学前	183	9.7
4 20～64歳で一番下の子どもが小学生	124	6.6
5 20～64歳で一番下の子どもが中学・高校生	127	6.7
6 20～64歳で一番下の子どもが高校を卒業している	351	18.6
7 40～64歳で単身者	114	6.1
8 40～64歳で配偶者がいて子どもがいない	87	4.6
9 65歳以上	536	28.5
無 回 答	35	1.9
合 計	1,884	100.0



■ ライフステージ (集約型)

	基数(人)	構成比(%)
1 独身期	262	13.9
2 家族形成期	248	13.2
3 家族成長前期	124	6.6
4 家族成長後期	127	6.7
5 家族成熟期	351	18.6
6 老齢期	536	28.5
7 その他	201	10.7
無 回 答	35	1.9
合 計	1,884	100.0

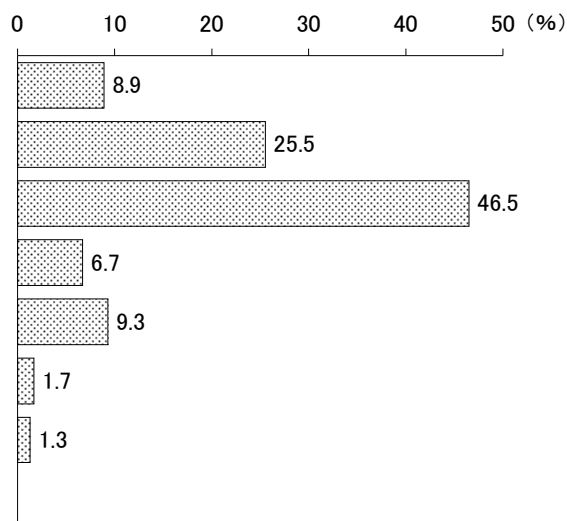


■ ライフステージ区分

独 身 期	20～39歳で単身者
家 族 形 成 期	20～39歳で配偶者がいて子どもがいない または、20～64歳で一番下の子どもが小学校入学前
家 族 成 長 前 期	20～64歳で一番下の子どもが小学生
家 族 成 長 後 期	20～64歳で一番下の子どもが中学・高校生
家 族 成 熟 期	20～64歳で一番下の子どもが高校を卒業している
老 齢 期	65歳以上
そ の 他	40～64歳で単身者 または、40～64歳で配偶者がいて子どもがいない

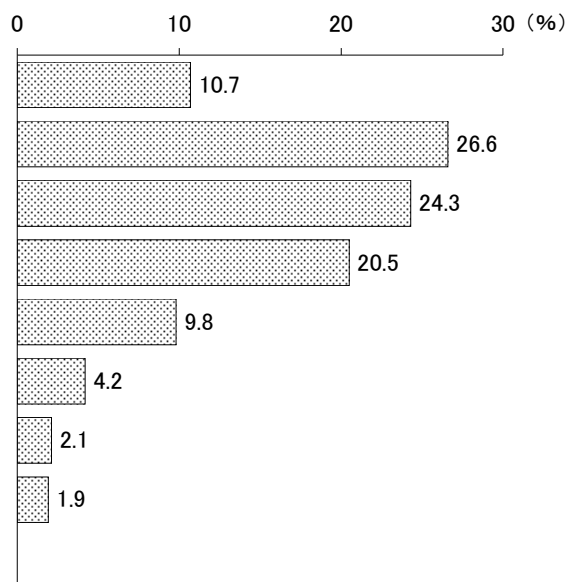
4 世帯構成

	基数(人)	構成比(%)
1 ひとり暮らし(単身世帯)	167	8.9
2 夫婦のみ(一世代世帯)	480	25.5
3 親と未婚の子ども (二世代会世帯)	877	46.5
4 親と子ども夫婦 (二世代会世帯)	127	6.7
5 親と子どもと孫(三世代会世帯)	176	9.3
6 その他	32	1.7
無 回 答	25	1.3
合 計	1,884	100.0



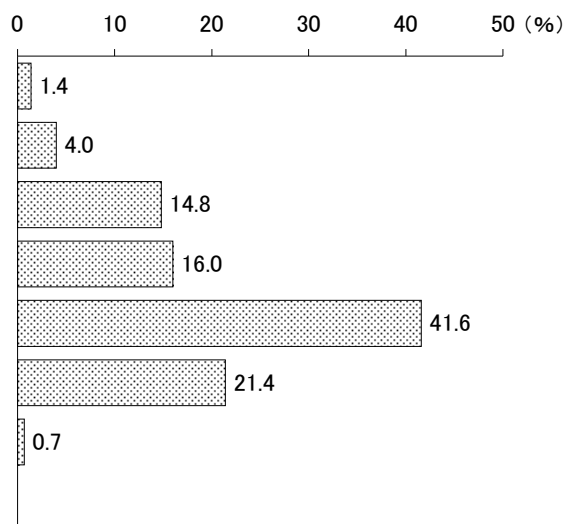
5 同居家族人数

	基数(人)	構成比(%)
1 1人	201	10.7
2 2人	501	26.6
3 3人	458	24.3
4 4人	386	20.5
5 5人	185	9.8
6 6人	79	4.2
7 7人以上	39	2.1
無 回 答	35	1.9
合 計	1,884	100.0



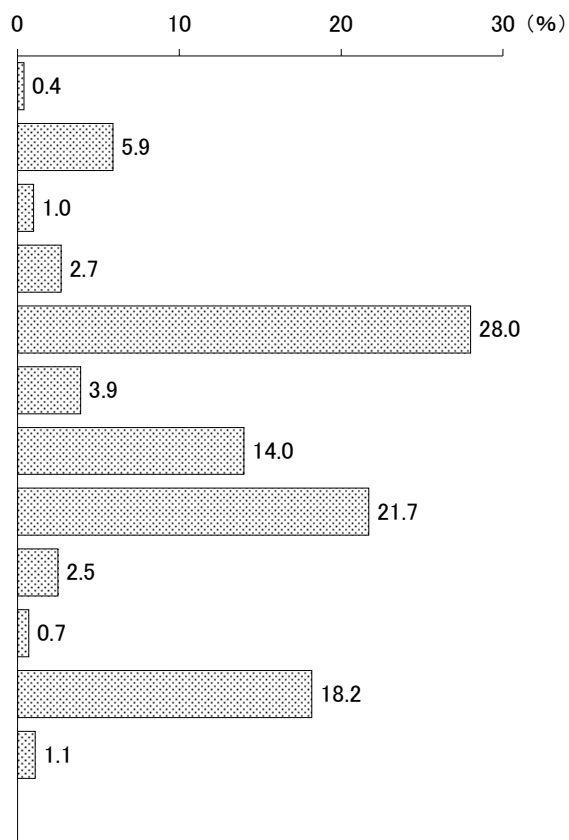
6 居住年数

	基数(人)	構成比(%)
1 1年未満	27	1.4
2 1～3年未満	76	4.0
3 3～10年未満	279	14.8
4 10～20年未満	301	16.0
5 20年以上	784	41.6
6 生まれてからずっと	404	21.4
無 回 答	13	0.7
合 計	1,884	100.0



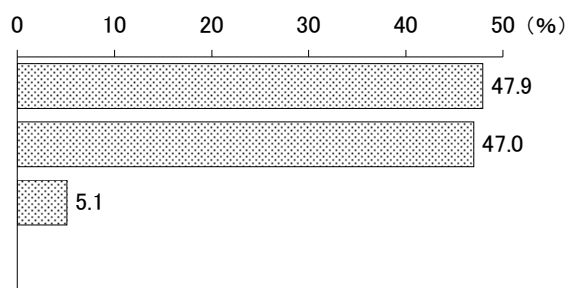
7 職業

	基数(人)	構成比(%)
1 農・林・漁業	7	0.4
2 自営業	111	5.9
3 自由業（開業医、弁護士、司法書士など）	18	1.0
4 会社や団体の役員	51	2.7
5 会社・商店・サービス業などの勤め人	527	28.0
6 教員・公務員	74	3.9
7 アルバイト・パート	263	14.0
8（専業）主婦・主夫	409	21.7
9 学生	48	2.5
10 その他	13	0.7
11 無職	343	18.2
無 回 答	20	1.1
合 計	1,884	100.0



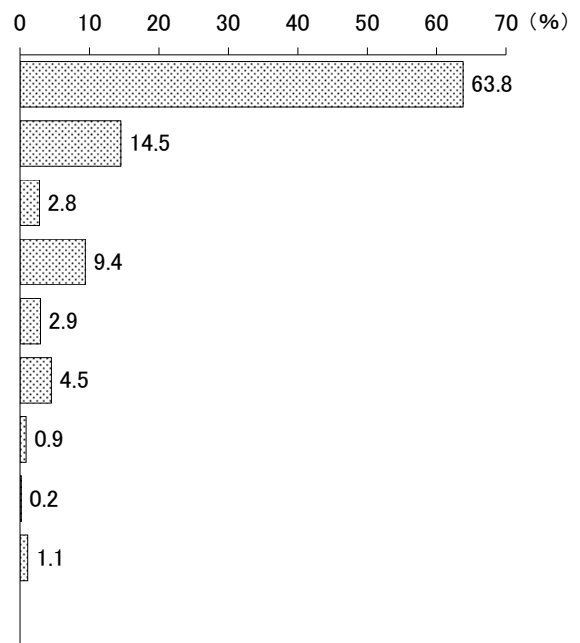
7-1 仕事場

	基数(人)	構成比(%)
1 八王子市内	503	47.9
2 八王子市外	494	47.0
無 回 答	54	5.1
合 計	1,051	100.0



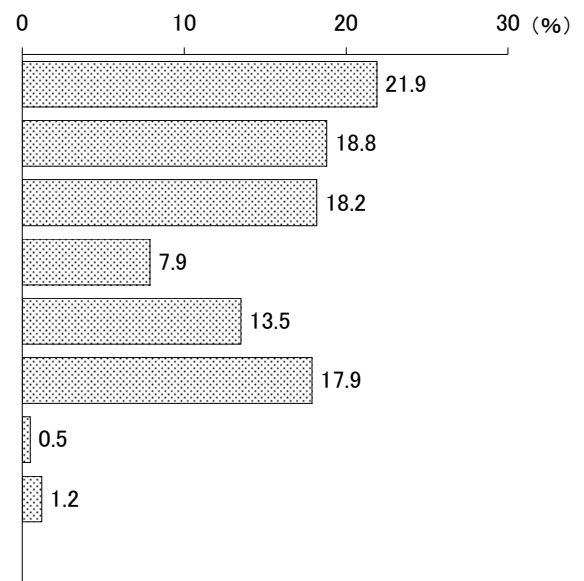
8 居住形態

	基数(人)	構成比(%)
1 一戸建て（持ち家）	1,202	63.8
2 分譲マンション	273	14.5
3 一戸建て（借家）	52	2.8
4 民間の賃貸アパート・マンション	177	9.4
5 都市再生機構（旧公団）・公社の賃貸住宅	54	2.9
6 都営・市営住宅	85	4.5
7 社宅・官舎・寮	17	0.9
8 その他	4	0.2
無 回 答	20	1.1
合 計	1,884	100.0



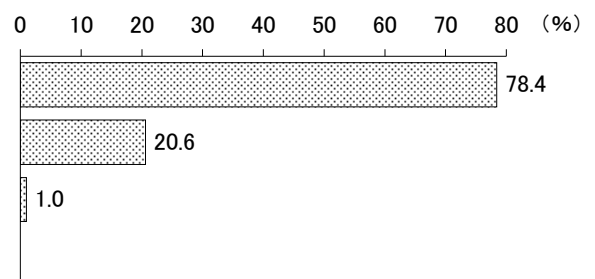
9 居住地域

	基数(人)	構成比(%)
1 本庁管内(中央地域)	413	21.9
2 元八王子・恩方・川口(西部地域)	355	18.8
3 浅川・横山・館(西南部地域)	343	18.2
4 加住・石川(北部地域)	149	7.9
5 由井・北野(東南部地域)	254	13.5
6 由木・由木東・南大沢(東部地域)	337	17.9
7 不明	10	0.5
無 回 答	23	1.2
合 計	1,884	100.0



10 町会・自治会の加入状況

	基数(人)	構成比(%)
1 入っている	1,477	78.4
2 入っていない	388	20.6
無 回 答	19	1.0
合 計	1,884	100.0



Ⅱ 調査結果の分析

第 1 章

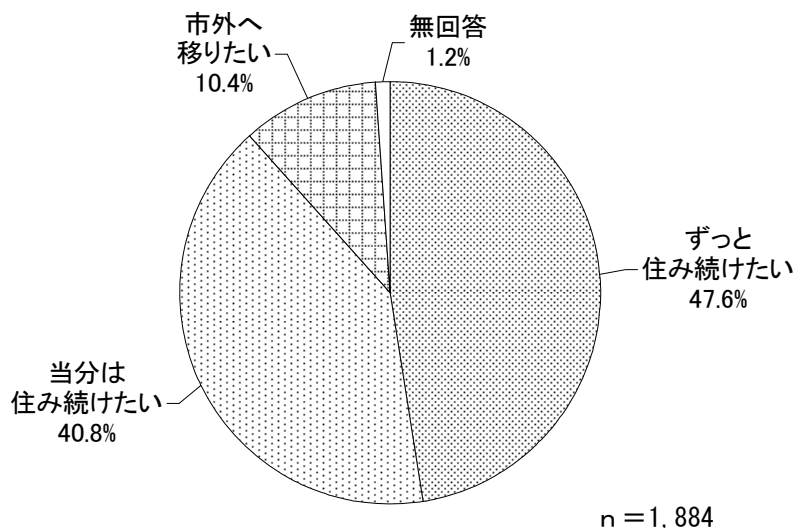
1. 定住意向

1-1 定住意向

◇『住み続けたい』が9割弱を占め、「市外へ移りたい」が約1割

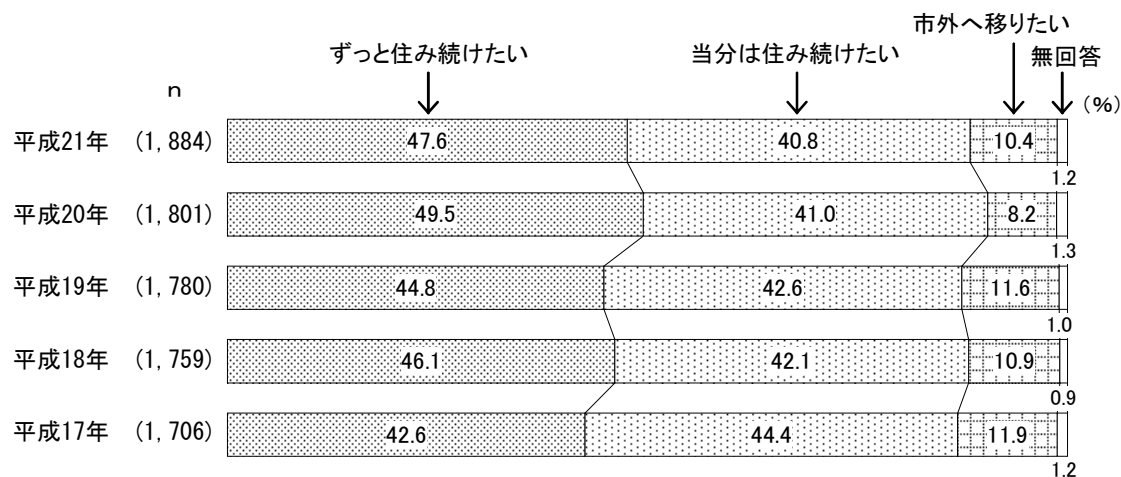
問1 あなたは、これからも八王子市に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

図 1-1-1



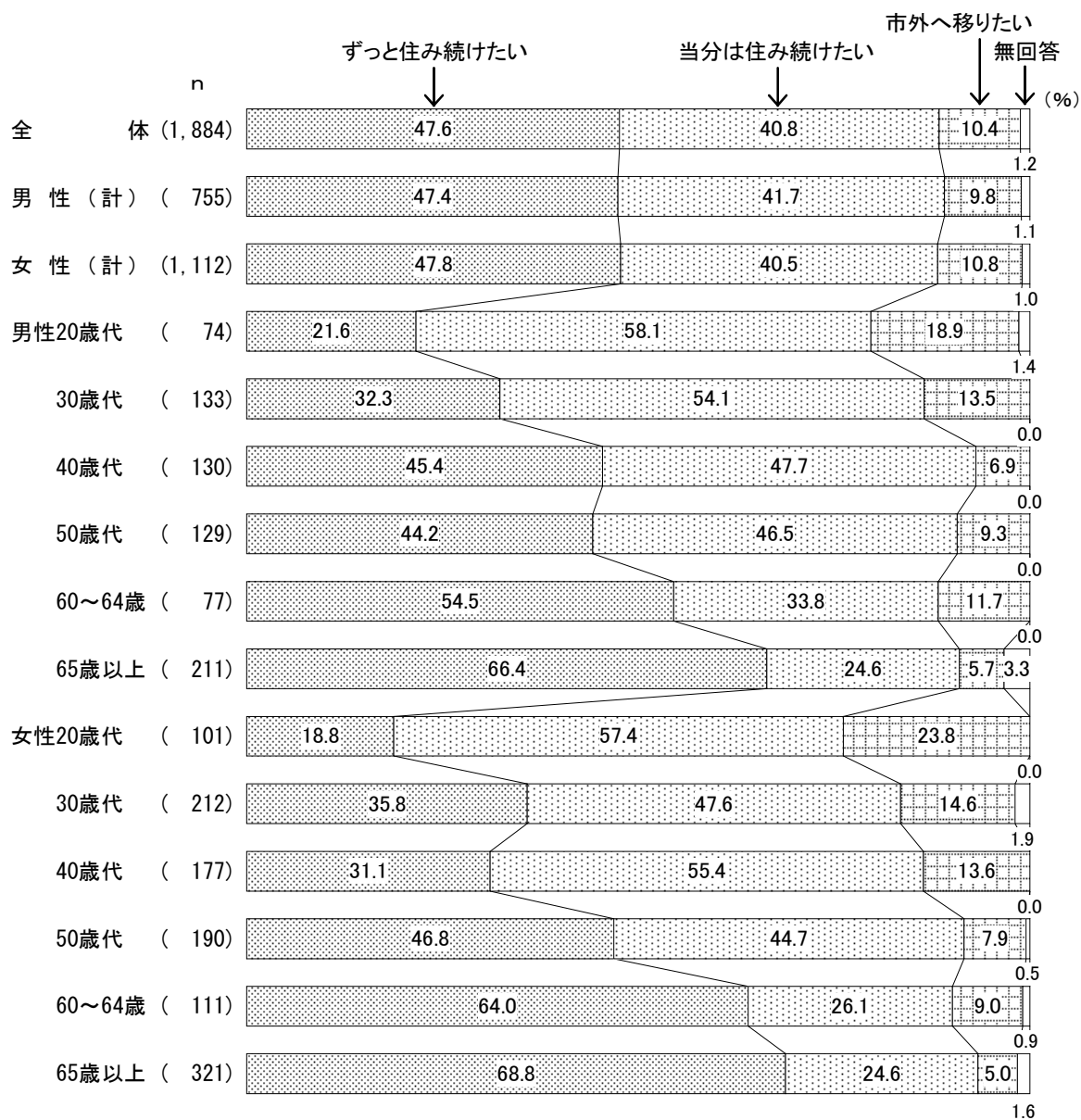
市への定住意向は、「ずっと住み続けたい」が5割弱（47.6%）と最も高く、「当分は住み続けたい」（40.8%）と合わせた『住み続けたい』は9割弱（88.4%）を占める。また、「市外へ移りたい」は約1割（10.4%）にとどまっている。（図 1-1-1）

図 1-1-2 定住意向一経年比較



過去の調査と比較すると、今回は平成17年より「ずっと住み続けたい」が5.0ポイント増加している。また『住み続けたい』は、平成20年より2.1ポイント減少していることを除くと、9割弱（88.4%）と過去5年間で最も高い水準となっている。（図 1-1-2）

図 1 - 1 - 3 定住意向－性別・年齢別

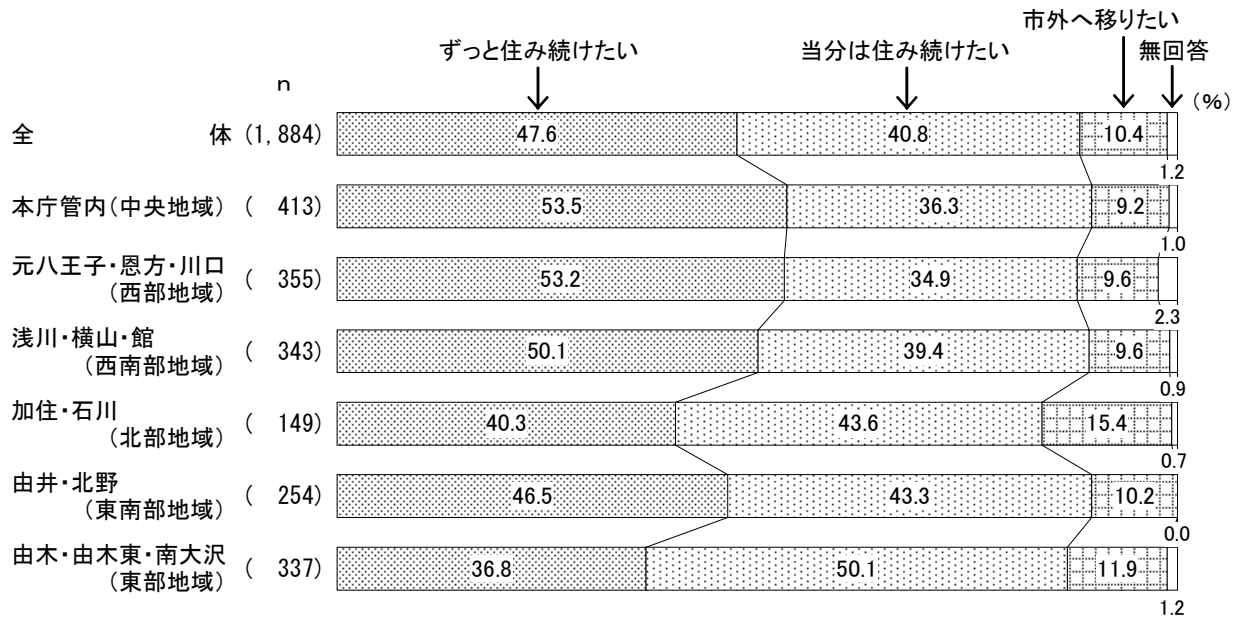


性別に大きな差はみられない。

性・年齢別にみると、「ずっと住みたい」は男女ともに高い年代ほど割合が高い傾向にあり、特に男性65歳以上（66.4%）と女性65歳以上（68.8%）の年代においては、ともに6割以上と高くなっている。

また、「市外へ移り住みたい」は女性20歳代が2割強（23.8%）と、他の年齢層に比べて高くなっている。（図1-1-3）

図 1 - 1 - 4 定住意向－居住地域別



居住地域別にみると、『住みたい』はすべての地域で8割以上を占め高くなっている。また、「ずっと住みたい」は本庁管内（中央地域）、元八王子・恩方・川口（西部地域）、浅川・横山・館（西南部地域）が5割以上と高くなっている。一方、由木・由木東・南大沢（東部地域）は「ずっと住みたい」が3割台半ば（36.8%）と、他の地域が4割を超えているのに比べ、低くなっている。（図 1 - 1 - 4）

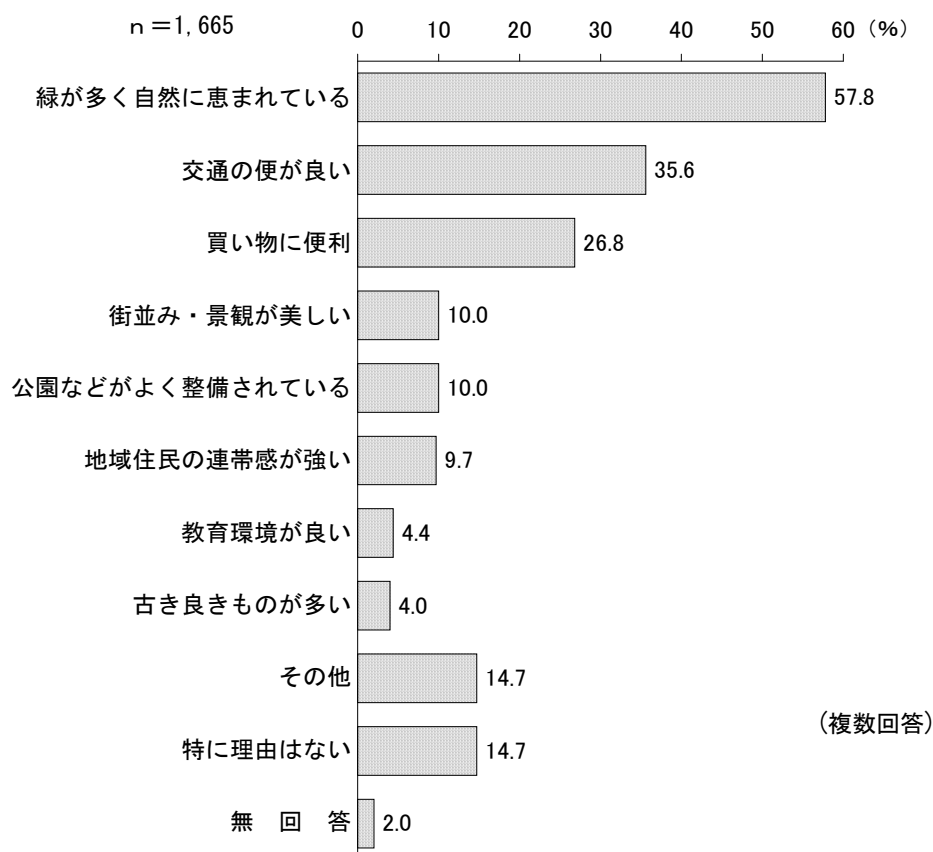
1－2 住み続けたい理由

◇「緑が多く自然に恵まれている」が6割弱と突出

(問1で「ずっと住み続けたい」または「当分は住み続けたい」とお答えの方に)

問1－1 住み続けたい主な理由は何ですか。(○は3つまで)

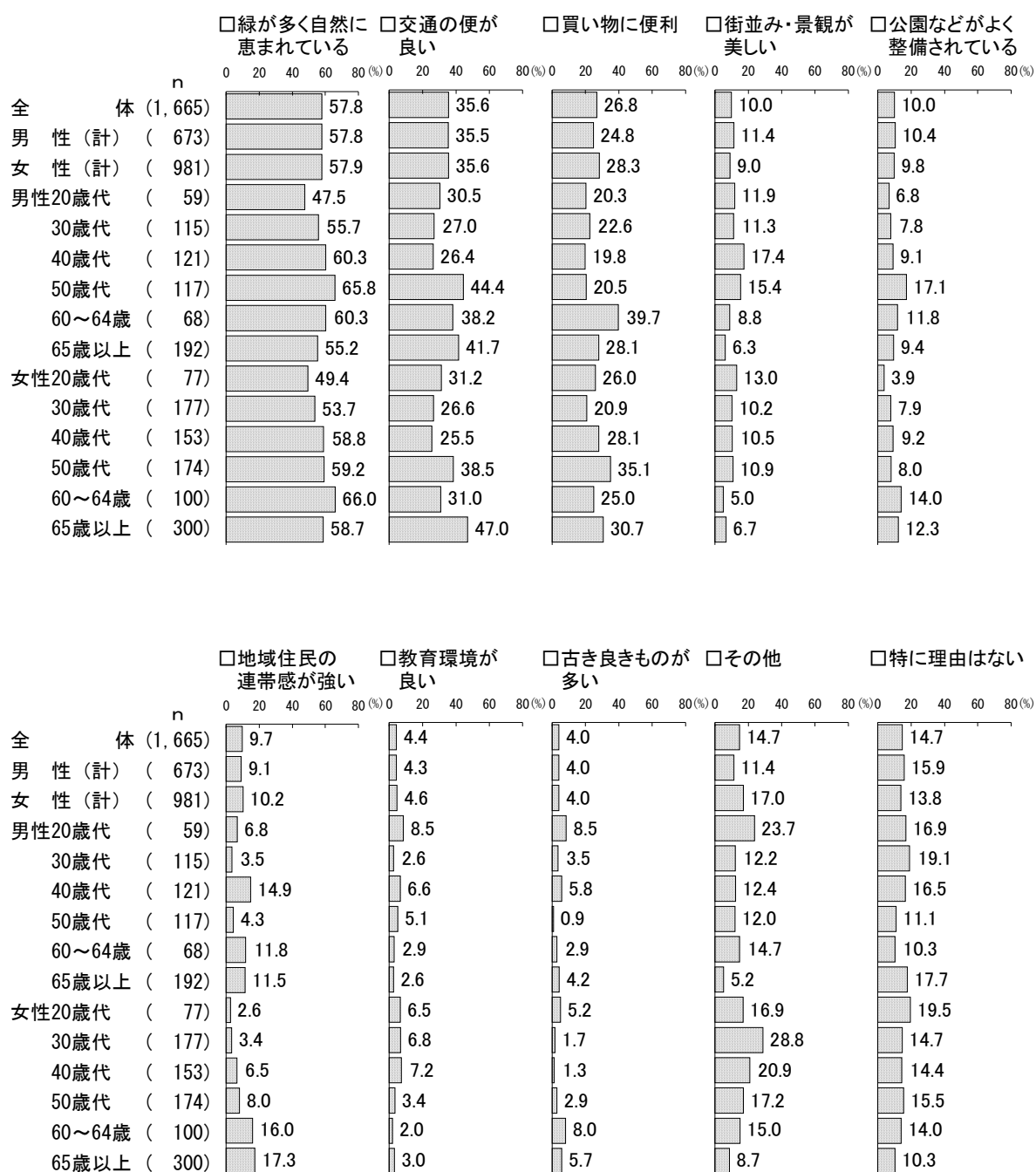
図1－2－1



八王子市への定住意向で「ずっと住み続けたい」または「当分は住み続けたい」と答えた人(1,665人)に、住み続けたい理由について聞いたところ、「緑が多く自然に恵まれている」が6割弱(57.8%)と最も高く、ついで「交通の便が良い」(35.6%)、「買い物に便利」(26.8%)、「街並み・景観が美しい」・「公園などがよく整備されている」(いずれも同率の10.0%)と続いている。

(図1－2－1)

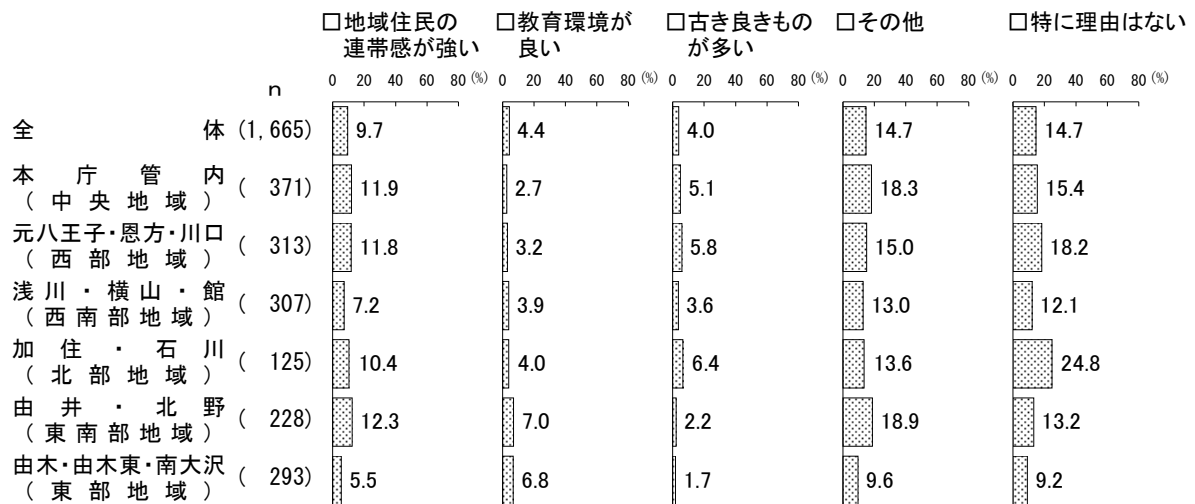
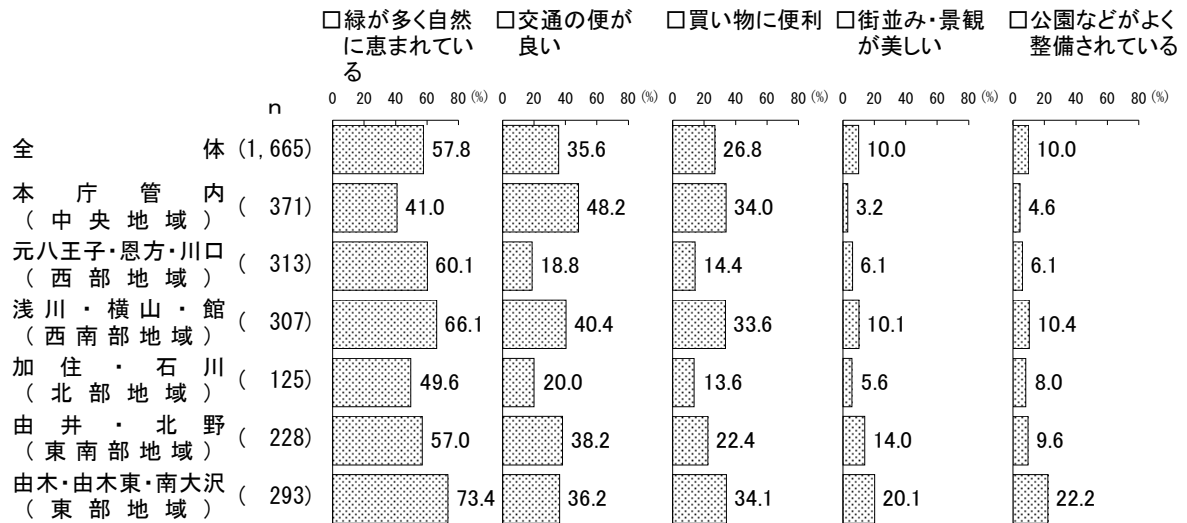
図 1－2－2 住み続けたい理由－性別・年齢別



性別にみると、女性は「買い物に便利」が男性よりも3.5ポイント高い。

性・年齢別にみると、「緑が多く自然に恵まれている」は、男女とも20歳代を除いて半数以上を占めており、特に男性50歳代と女性60～64歳は、ともに6割台半ばと高くなっている。(図1－2－2)

図 1-2-3 住み続けたい理由—居住地地域別



居住地地域別にみると、本庁管内（中央地域）では「交通の便が良い」が5割弱（48.2%）、「緑が多く自然に恵まれている」が4割強（41.0%）と高くなっている。由木・由木東・南大沢（東部地域）では「緑が多く自然に恵まれている」が7割強（73.4%）、「交通の便が良い」（36.2%）と「買い物に便利」（34.1%）が3割台半ばと高くなっている。（図1-2-3）

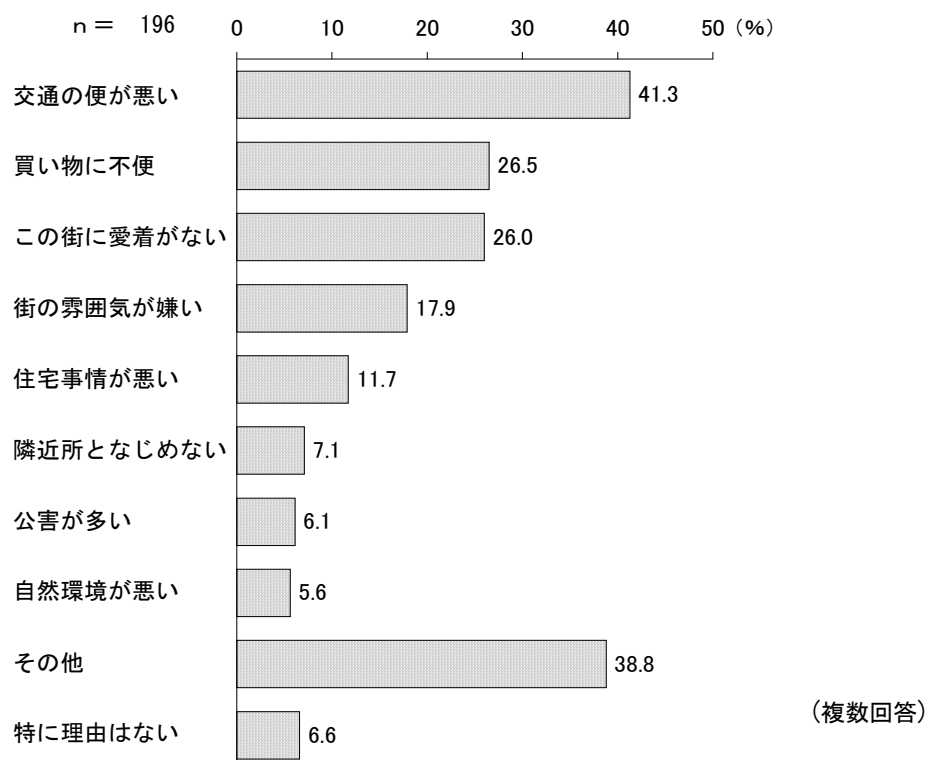
1－3 市外へ移りたい理由

◇「交通の便が悪い」が4割強、「買い物に不便」が2割台半ば

(問1で「市外へ移りたい」とお答えの方に)

問1－2 市外へ移りたい主な理由は何ですか。(○は3つまで)

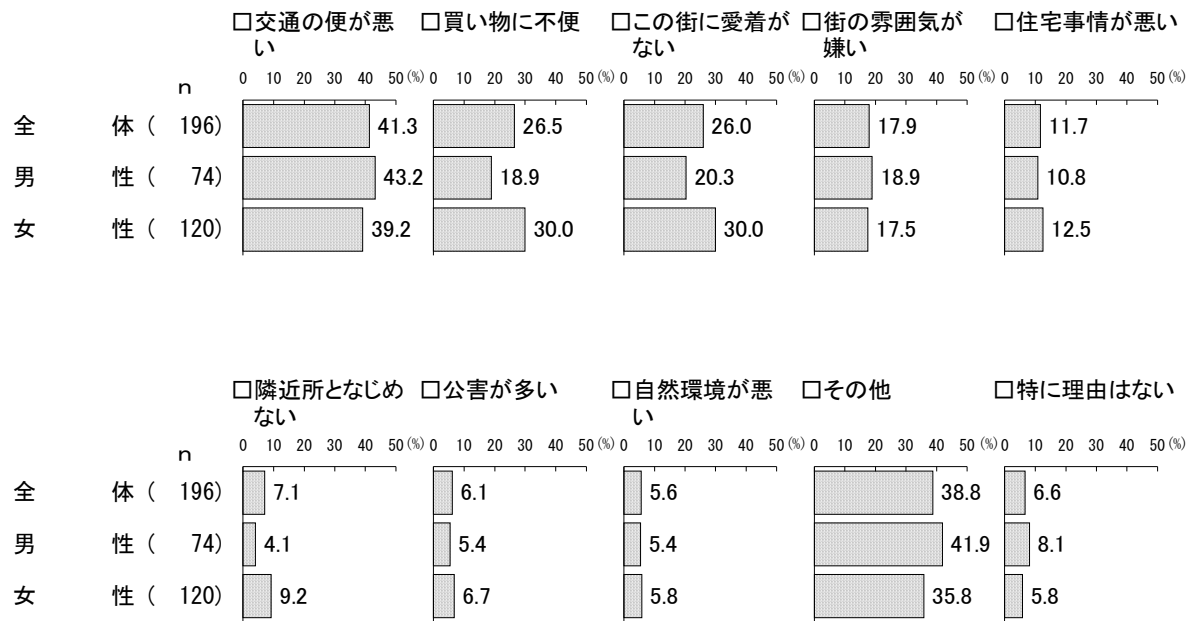
図1－3－1



八王子市への定住意向で「市外へ移りたい」と答えた人(196人)に、市外へ移りたい理由について聞いたところ、「交通の便が悪い」が4割強(41.3%)と最も高く、ついで「買い物に不便」(26.5%)、「この街に愛着がない」(26.0%)、「街の雰囲気が嫌い」(17.9%)と続いている。

(図1－3－1)

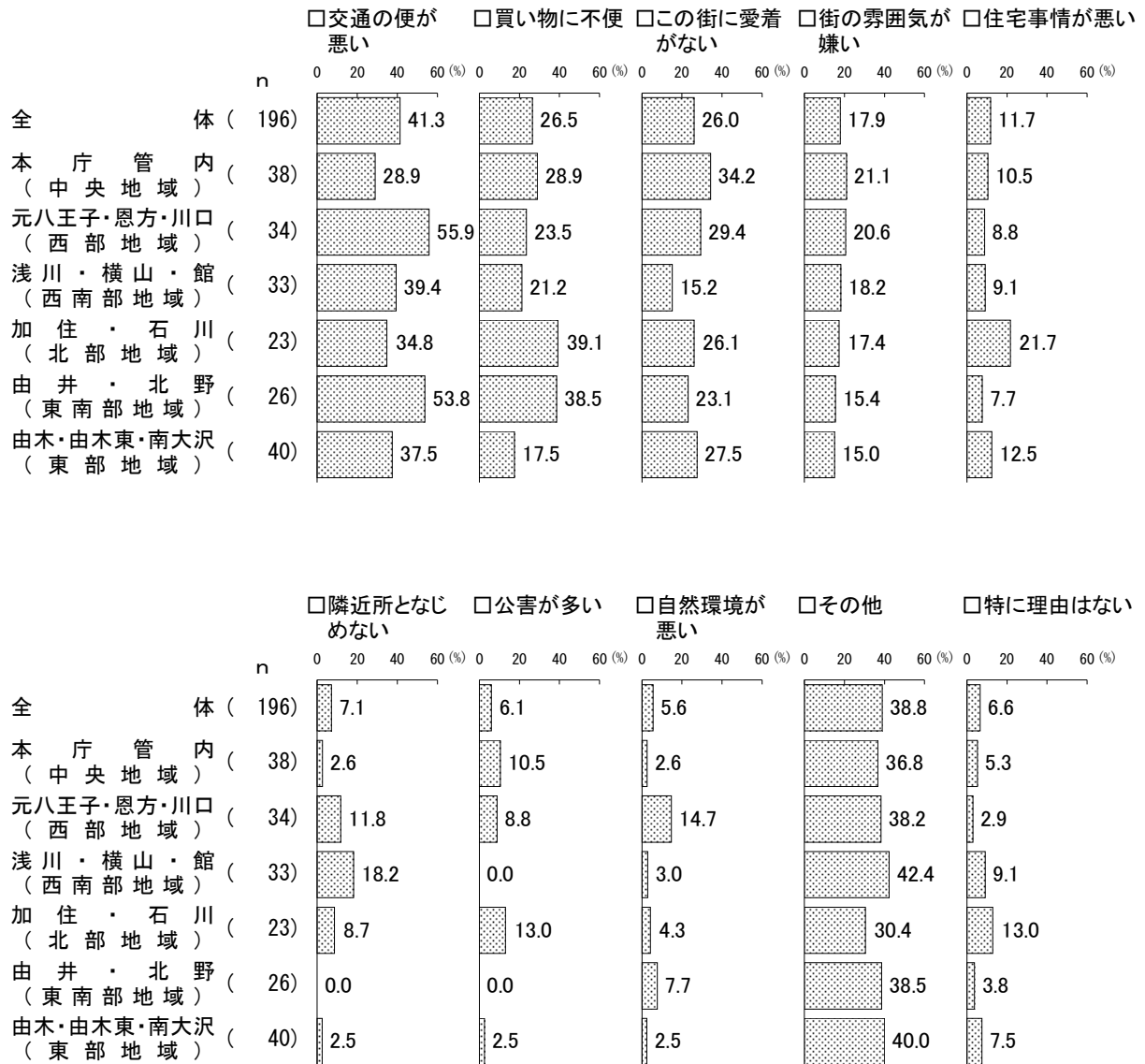
図 1－3－2 市外へ移りたい理由－性別



性別にみると、「交通の便が悪い」は男性のほうが4.0ポイント高く、逆に「買い物に不便」で11.1ポイント、「この街に愛着がない」では9.7ポイント、それぞれ女性のほうが高くなっている。

(図 1－3－2)

図 1-3-3 市外へ移りたい理由－居住地域別



居住地域別にみると、元八王子・恩方・川口（西部地域）と由井・北野（東南部地域）では「交通の便が悪い」が5割台半ばと特に高くなっている。本庁管内（中央地域）では「この街に愛着がない」が3割台半ば（34.2%）と比較的高くなっている。（図1-3-3）

2. 生活環境

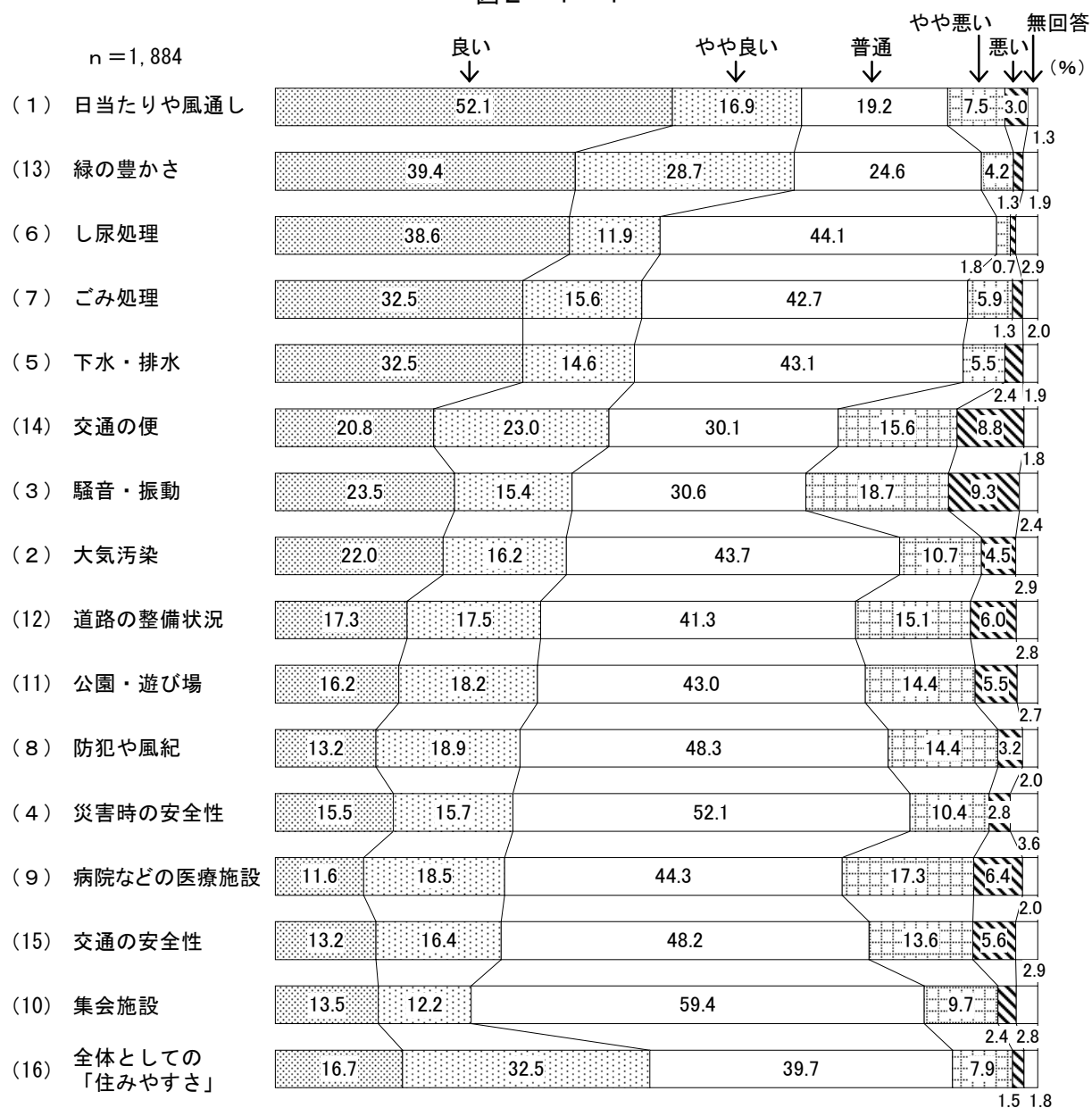
2-1 生活環境の評価

◇「日当たりや風通し」と「緑の豊かさ」の2項目の評価が高い

問2 あなたは、周囲の生活環境について日頃どのように感じていますか。

(1)～(16)の各項目それぞれについてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

図2-1-1



※【(16) 全体としての「住みやすさ」】を除き、「良い」と「やや良い」の合算で比率の高い順に並べた

周囲の生活環境について聞いたところ、「(1)日当たりや風通し」について「良い」が5割強(52.1%)と最も高く、「やや良い」(16.9%)と合わせた『良い』は7割弱(69.0%)となっている。一方、「(3)騒音・振動」では、「やや悪い」と「悪い」を合わせた『悪い』が3割弱(28.0%)と他の項目に比べて高くなっている。(図2-1-1)

■評価順位

生活環境を15の項目に分け、それぞれの評価を聞いた。

「良い」と「やや良い」の合計を【良い】とし、「やや悪い」と「悪い」の合計を【悪い】とみなした場合の、それぞれ上位5項目をあげると次のようになっている。(図2-1-1)

【良 い】		【悪 い】	
①日当たりや風通し	(69.0%)	①騒音・振動	(28.0%)
②緑の豊かさ	(68.1%)	②交通の便	(24.4%)
③し尿処理	(50.5%)	③病院などの医療施設	(23.7%)
④全体としての「住みやすさ」	(49.2%)	④道路の整備状況	(21.1%)
⑤ごみ処理	(48.1%)	⑤公園・遊び場	(19.9%)

なお、【(16) 全体としての「住みやすさ」】は、【良い】(49.2%)が半数近く、【悪い】(9.4%)が約1割となり、【良い】が【悪い】よりも39.8ポイント高くなっている。

加重平均値(満足度)

生活環境の評価を比率でみるのとは別に、その比較をより明確にするために、加重平均値による数量化を行った。これは、下記の計算式にあるように、数段階の評価に点数を与え、評価点を算出する方法である。

$$\text{評価点} = (\text{「良い」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「やや良い」の回答者数} \times 4 \text{点} + \text{「普通」の回答者数} \times 3 \text{点} + \text{「やや悪い」の回答者数} \times 2 \text{点} + \text{「悪い」の回答者数} \times 1 \text{点}) \div \text{回答者数}$$

この計算方法では、評価点は5.00点～1.00点の間に分布し、中間点の3.00点を境に、5.00点に近くなるほど満足度は高くなり、逆に1.00点に近くなるほど不満足度が高くなる。

■満足度順位

以上の算出方法による評価点の高いものと、低いものの上位5項目は次のようになっている。

(図2-1-2)

【上 位】		【下 位】	
①日当たりや風通し	(4.09点)	①病院などの医療施設	(3.12点)
②緑の豊かさ	(4.02点)	②交通の安全性	(3.18点)
③し尿処理	(3.88点)	③防犯や風紀	(3.25点)
④ごみ処理	(3.73点)	③集会施設	(3.25点)
⑤下水・排水	(3.71点)	⑤騒音・振動	(3.26点)
		⑤道路の整備状況	(3.26点)
		⑤公園・遊び場	(3.26点)

図 2-1-2 生活環境の評価点

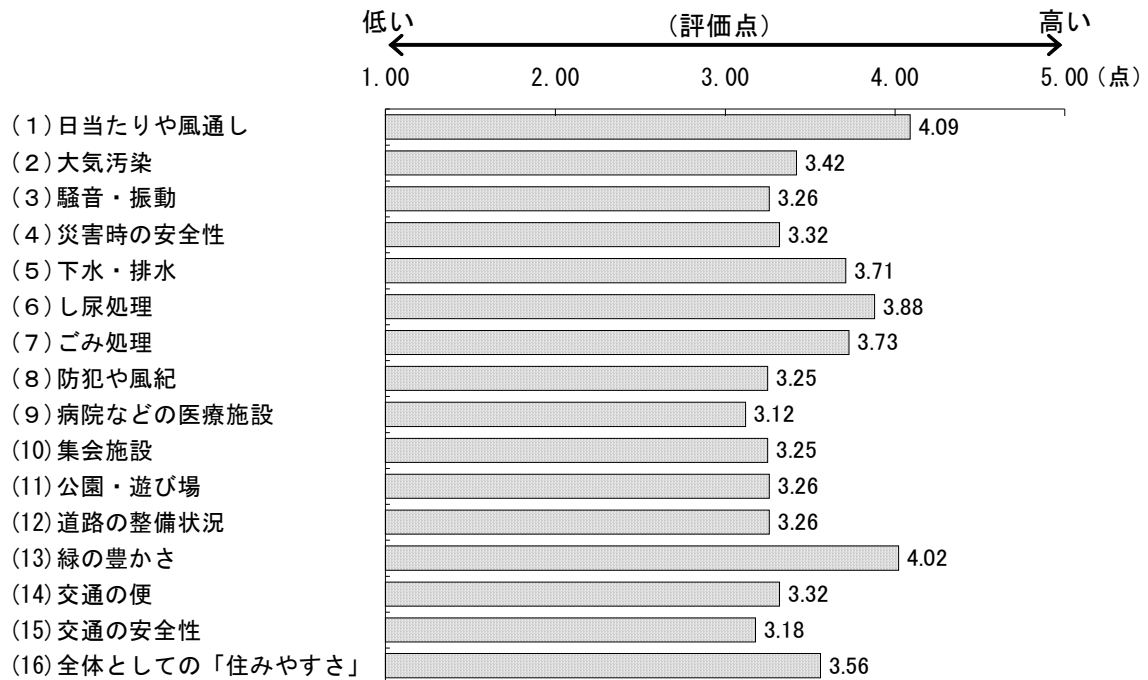


表 2-1-1 生活環境の評価点（加重平均）一居住地域別

	全 体	居 住 地 域					
		本 庁 管 内 地 域 (中 央 地 域)	元 八 王 子 ・ 恩 方 ・ 川 口 地 域 (西 部 地 域)	浅 川 ・ 南 横 山 地 域 (南 部 地 域)	加 住 ・ 石 川 地 域 (北 部 地 域)	由 井 ・ 北 野 地 域 (東 南 部 地 域)	南 大 沢 ・ 由 木 ・ 由 木 東 ・ 東 部 地 域 (東 部 地 域)
(1) 日当たりや風通し	4.09	3.86	4.21	4.11	3.99	4.06	4.33
(2) 大気汚染	3.42	3.00	3.56	3.56	2.99	3.62	3.70
(3) 騒音・振動	3.26	2.88	3.45	3.46	2.62	3.49	3.46
(4) 災害時の安全性	3.32	3.16	3.30	3.43	3.20	3.37	3.42
(5) 下水・排水	3.71	3.71	3.54	3.79	3.54	3.80	3.80
(6) し尿処理	3.88	3.88	3.79	3.95	3.76	3.97	3.95
(7) ごみ処理	3.73	3.70	3.76	3.83	3.57	3.82	3.68
(8) 防犯や風紀	3.25	3.09	3.29	3.35	3.14	3.39	3.25
(9) 病院などの医療施設	3.12	3.20	2.91	3.38	3.07	3.10	3.03
(10) 集会施設	3.25	3.26	3.24	3.36	3.12	3.24	3.24
(11) 公園・遊び場	3.26	3.06	3.10	3.47	2.88	3.28	3.63
(12) 道路の整備状況	3.26	3.16	2.85	3.32	3.14	3.27	3.77
(13) 緑の豊かさ	4.02	3.51	4.10	4.21	3.89	4.05	4.45
(14) 交通の便	3.32	3.72	2.69	3.48	2.86	3.40	3.44
(15) 交通の安全性	3.18	3.07	2.87	3.37	2.87	3.27	3.54
(16) 全体としての「住みやすさ」	3.56	3.45	3.36	3.72	3.23	3.70	3.81

(注1) ■ は項目内での最高値

■ は項目内での最低値

(注2) (5) 下水・排水について、由井・北野（東南部地域）の加重平均は3.798、由木・由木東・南大沢（東部地域）の加重平均は3.801である。また、元八王子・恩方・川口（西部地域）の加重平均は3.539、加住・石川（北部地域）の加重平均は3.538である。

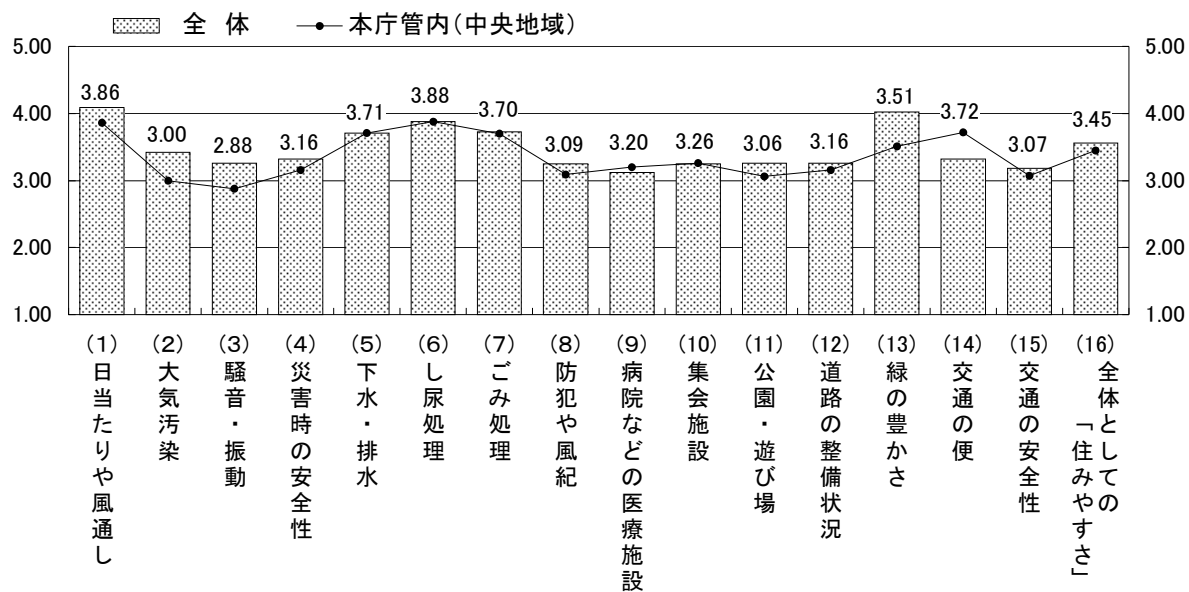
(注3) (15) 交通の安全性について、元八王子・恩方・川口（西部地域）の加重平均は2.865、加住・石川（北部地域）の加重平均は2.869である。

次に、16項目の評価の加重平均値を居住地域ごとに、市全体と対比させてグラフを表示する。

【本庁管内（中央地域）】

市全体より上回っているのは、16項目中3項目で、最も差が大きいのは、「交通の便」(+0.40ポイント)となっている。下回っているのは13項目で、最も差が大きいのは、「緑の豊かさ」(-0.51ポイント)で、他に差が大きいのは、「大気汚染」(-0.42ポイント)、「騒音・振動」(-0.38ポイント)となっている。(図2-1-3)

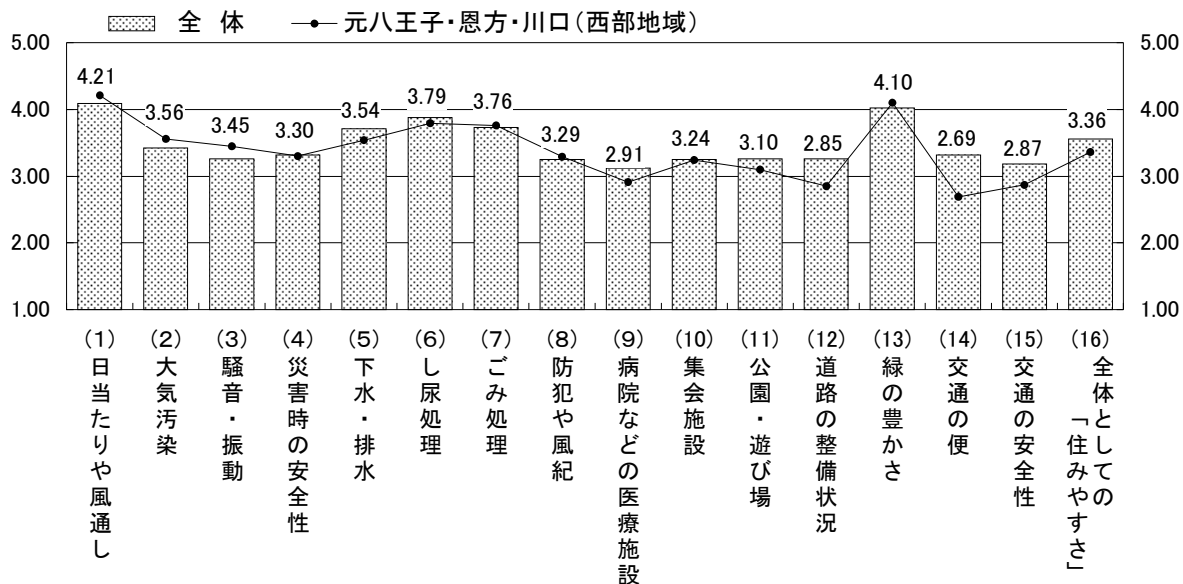
図2-1-3 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「本庁管内（中央地域）」



【元八王子・恩方・川口（西部地域）】

市全体より上回っているのは、16項目中6項目で、最も差が大きいのは、「騒音・振動」(+0.19ポイント)となっている。下回っているのは10項目で、最も差が大きいのは「交通の便」(-0.63ポイント)で、他に差が大きいのは、「道路の整備状況」(-0.41ポイント)、「交通の安全性」(-0.31ポイント)となっている。(図2-1-4)

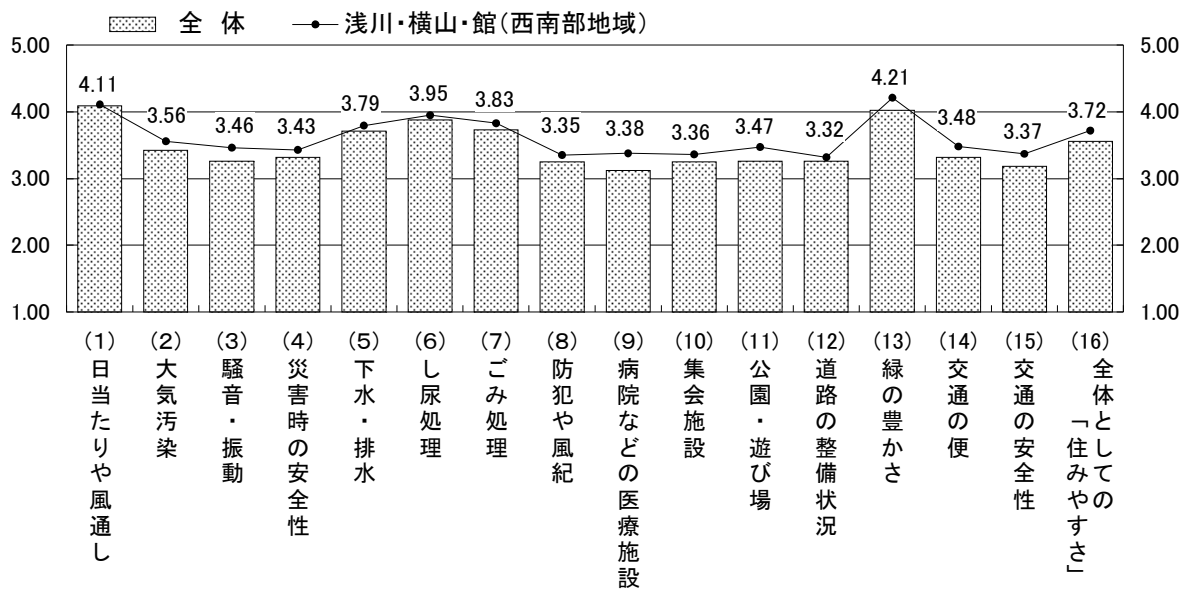
図2-1-4 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「元八王子・恩方・川口（西部地域）」



【浅川・横山・館（西南部地域）】

全項目において市全体より上回っており、最も差が大きいのは「病院などの医療施設」（＋0.26ポイント）で、他に差が大きいのは「公園・遊び場」（＋0.21ポイント）、「騒音・振動」（＋0.20ポイント）となっている。（図2－1－5）

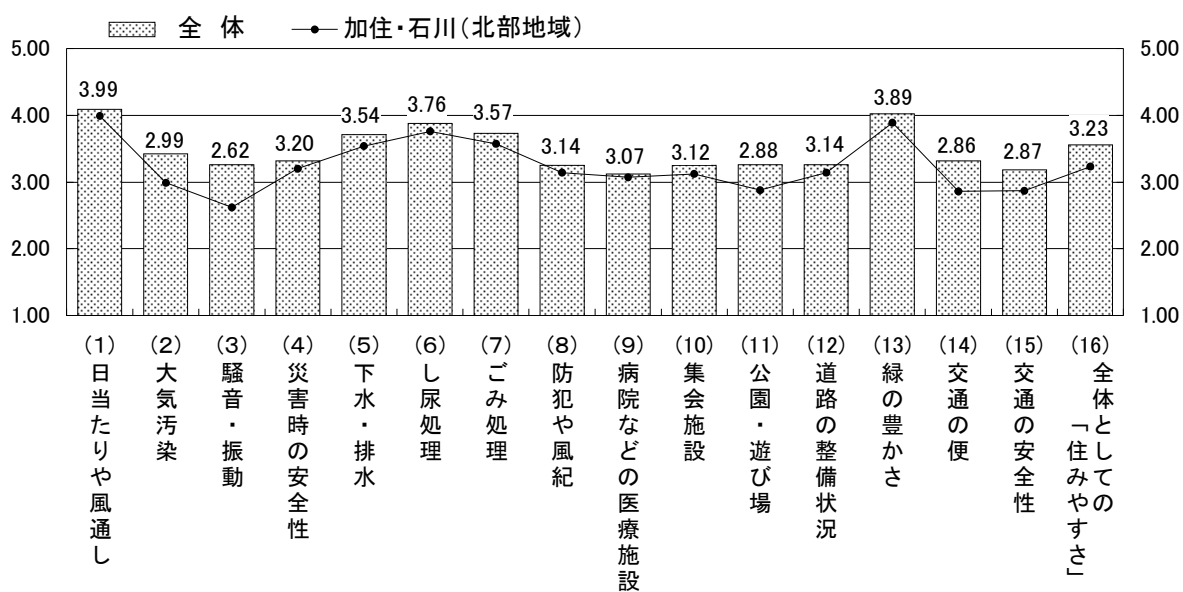
図2－1－5 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「浅川・横山・館（西南部地域）」



【加住・石川（北部地域）】

全項目において市全体より下回っており、最も差が大きいのは「騒音・振動」（－0.64ポイント）で、他に差が大きいのは「交通の便」（－0.46ポイント）、「大気汚染」（－0.43ポイント）となっている。（図2－1－6）

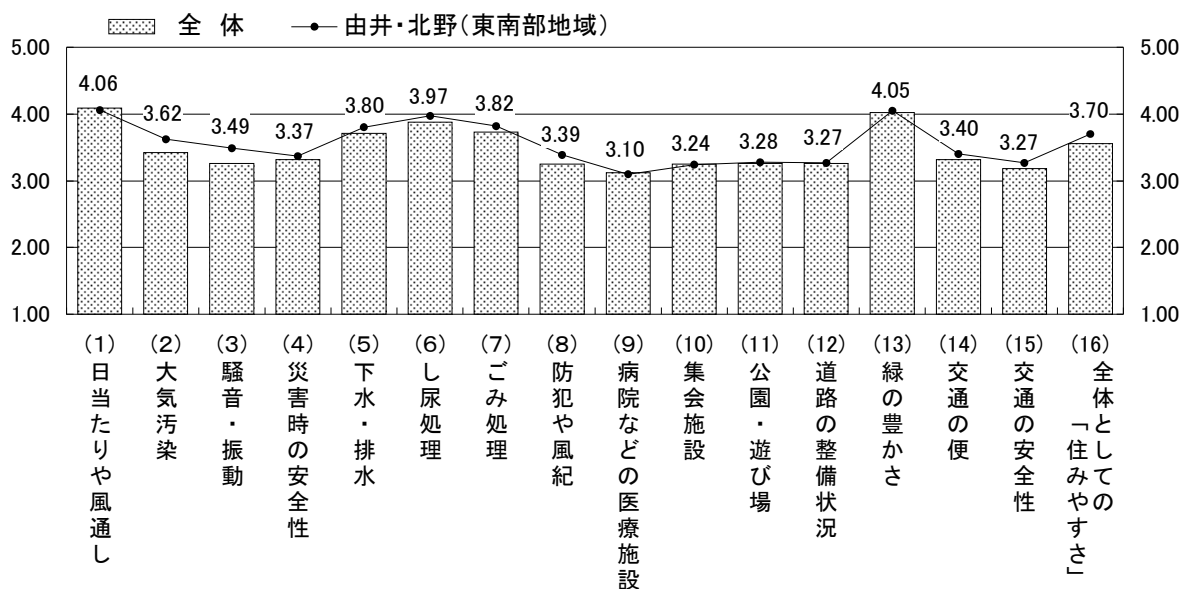
図2－1－6 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「加住・石川（北部地域）」



【由井・北野（東南部地域）】

市全体より上回っているのは、16項目中13項目で、最も差が大きいのは「騒音・振動」（＋0.23ポイント）で、他に差が大きいのは「大気汚染」（＋0.20ポイント）となっている。下回っているのは「日当たりや風通し」「病院などの医療施設」「集会施設」の3項目で、いずれも差が大きくなっている項目はみられない。（図2－1－7）

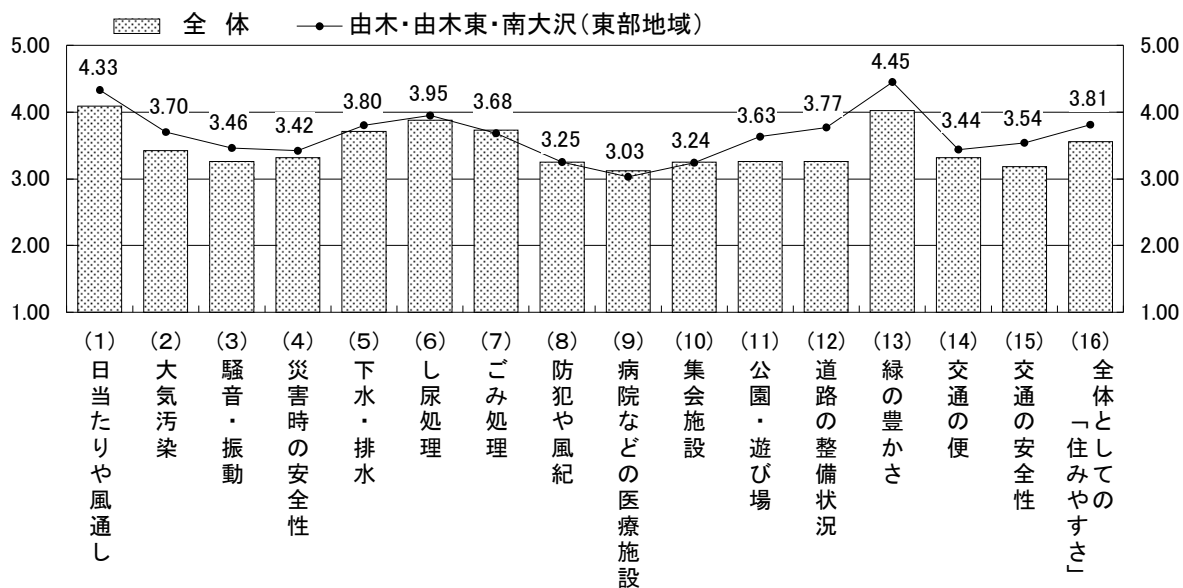
図2－1－7 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「由井・北野（東南部地域）」



【由木・由木東・南大沢（東部地域）】

市全体より上回っているのは、16項目中12項目で、最も差が大きいのは「道路の整備状況」（＋0.51ポイント）で、他に差が大きいのは「緑の豊かさ」（＋0.43ポイント）となっている。下回っているのは、「病院などの医療施設」「ごみ処理」「集会施設」の3項目で、いずれも差が大きくなっている項目はみられない。（図2－1－8）

図2－1－8 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「由木・由木東・南大沢（東部地域）」



3. 市政への要望

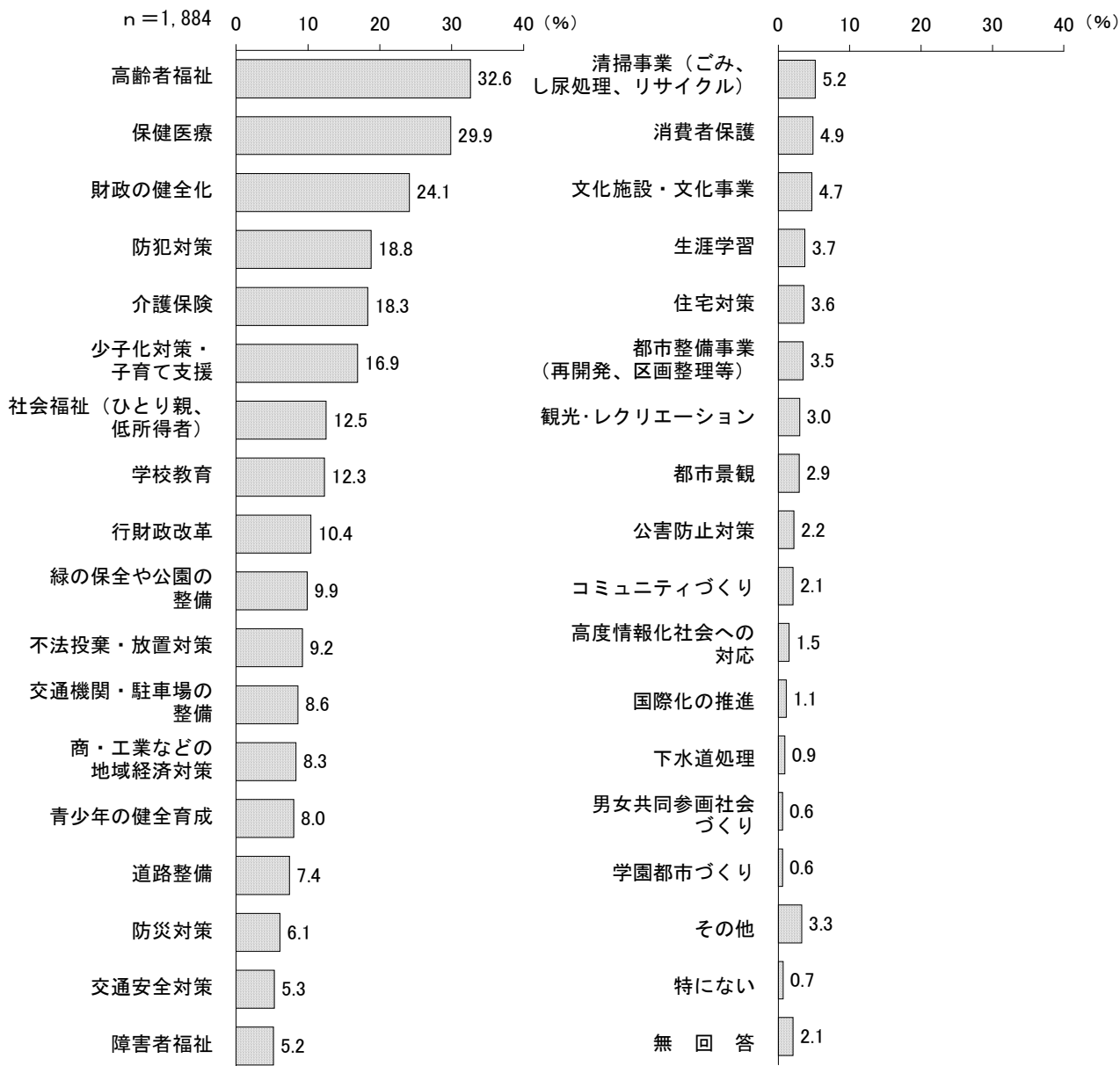
3-1 重点施策要望

◇「高齢者福祉」「保健医療」の2項目が3割前後

問3 市政全般において、あなたが特に力を入れてほしいと思う施策は何ですか。

(○は3つまで)

図3-1-1



市政全般において特に力を入れてほしいと思う施策について聞いたところ、「高齢者福祉」（32.6%）、「保健医療」（29.9%）の2項目が3割前後で高い。ついで「財政の健全化」（24.1%）、「防犯対策」（18.8%）、「介護保険」（18.3%）と続いている。（図3-1-1）

経年での変化を見ると、前回から引き続き第1位は「高齢者福祉」であり、数値は若干高くなっている。第2位から第4位までの順位の変動はないが、「介護保険」が4.5ポイント高くなり、第6位から第5位となっている。（表3-1-1）

表3-1-1 重点施策要望一経年比較

年					(%)
順位	平成19年		平成20年		平成21年
第1位	高齢者福祉 (29.0)	→	高齢者福祉 (31.9)	→	高齢者福祉 (32.6)
第2位	保健医療 (26.6)	→	保健医療 (29.9)	→	保健医療 (29.9)
第3位	財政の健全化 (26.3)	→	財政の健全化 (26.5)	→	財政の健全化 (24.1)
第4位	防犯対策 (24.3)	→	防犯対策 (21.9)	→	防犯対策 (18.8)
第5位	少子化対策・子育て支援 (15.7)	→	少子化対策・子育て支援 (13.9)	↗	介護保険 (18.3)
第6位	介護保健 (14.7)	→	介護保健 (13.8)	↘	少子化対策・子育て支援 (16.9)
第7位	学校教育 (14.5)	→	学校教育 (13.3)	↗	社会福祉 (ひとり親、低所得者) (12.5)
第8位	不法投棄・放置対策 (自動車、自転車、バイク、ゴミ等) (12.0)	↗	社会福祉 (ひとり親、低所得者) (12.4)	↘	学校教育 (12.3)
第9位	社会福祉 (ひとり親、低所得者) (10.9)	↘	緑の保全や公園の整備 (9.8)	↗	行財政改革 (10.4)
第10位	道路整備 (10.8)		行財政改革 (9.7)	↘	緑の保全や公園の整備 (9.9)

性別にみると、男女ともに第1位「高齢者福祉」、第2位「保健医療」、第3位「財政の健全化」となっている。「高齢者福祉」については、女性のほうが3.8ポイント高くなっている。

性・年齢別に第1位をみると、男女とも20歳代・30歳代では「少子化対策・子育て支援」が第1位または第2位となっており、50歳以上の年代では男女ともに「高齢者福祉」が第1位となっている。

「財政の健全化」は男女ともすべての年代で第5位までに入っている。また、「高齢者福祉」は男女ともに高い年代ほど割合が高い傾向にあり、女性60歳以上と男性65歳以上では5割前後を占めている。(表3-1-2)

表3-1-2 重点施策要望－性別・年齢別

(%)

属性	順位 n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体	1,884	高齢者福祉 (32.6)	保健医療 (29.9)	財政の健全化 (24.1)	防犯対策 (18.8)	介護保険 (18.3)
男 性	755	高齢者福祉 (30.3)	保健医療 (29.3)	財政の健全化 (25.4)	防犯対策 (18.5)	介護保険 (14.7)
女 性	1,112	高齢者福祉 (34.1)	保健医療 (30.3)	財政の健全化 (23.3)	介護保険 (20.7)	少子化対策・ 子育て支援 (19.6)
男性20歳代	74	財政の健全化 (24.3)	少子化対策・ 子育て支援 (20.3)	防犯対策 (17.6)	学校教育／ 緑の保全や公園の整備 (16.2)	
30歳代	133	防犯対策 (27.1)	少子化対策・ 子育て支援 (26.3)	保健医療／財政の健全化 (22.6)		学校教育 (18.0)
40歳代	130	財政の健全化 (36.2)	保健医療 (25.4)	防犯対策 (24.6)	学校教育 (22.3)	高齢者福祉 (20.8)
50歳代	129	高齢者福祉／保健医療 (35.7)		財政の健全化 (25.6)	防犯対策 (19.4)	社会福祉(ひとり 親、低所得者) (17.8)
60～64歳	77	高齢者福祉 (40.3)	保健医療 (37.7)	財政の健全化 (24.7)	介護保険 (22.1)	行財政改革 (19.5)
65歳以上	211	高齢者福祉 (47.4)	保健医療 (34.6)	介護保険 (22.7)	財政の健全化 (21.3)	行財政改革 (15.6)
女性20歳代	101	少子化対策・ 子育て支援 (37.6)	防犯対策 (30.7)	保健医療	学校教育 (18.8)	財政の健全化 (16.8)
30歳代	212	少子化対策・ 子育て支援 (43.9)	保健医療 (28.3)	防犯対策 (23.6)	財政の健全化 (22.6)	学校教育 (22.2)
40歳代	177	保健医療 (38.4)	学校教育 (25.4)	財政の健全化 (23.7)	高齢者福祉 (22.6)	防犯対策 (18.1)
50歳代	190	高齢者福祉／保健医療 (34.2)		財政の健全化 (30.5)	介護保険 (22.1)	防犯対策 (18.9)
60～64歳	111	高齢者福祉 (50.5)	保健医療 (34.2)	介護保険 (32.4)	財政の健全化 (27.0)	少子化対策・ 子育て支援 (14.4)
65歳以上	321	高齢者福祉 (53.0)	介護保険 (33.6)	保健医療 (27.1)	財政の健全化 (19.9)	防犯対策 (17.4)

居住地域別で第1位をみると、本庁管内（中央地域）、元八王子・恩方・川口（西部地域）、浅川・横山・館（西南部地域）、加住・石川（北部地域）では「高齢者福祉」、由井・北野（東南部地域）、由木・由木東・南大沢（東部地域）では「保健医療」となっている。また、すべての居住地域で「高齢者福祉」が第2位までに入っている。（表3-1-3）

表3-1-3 重点施策要望－居住地域別

		(%)				
属性	順位 n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体	1,884	高齢者福祉 (32.6)	保健医療 (29.9)	財政の健全化 (24.1)	防犯対策 (18.8)	介護保険 (18.3)
本 庁 管 内 (中 央 地 域)	413	高齢者福祉 (33.4)	財政の健全化 (27.8)	保健医療 (25.7)	防犯対策 (18.6)	介護保険 (18.2)
元 八 王 子 ・ 恩 方 ・ 川 口 (西 部 地 域)	355	高齢者福祉 (32.1)	保健医療 (29.0)	財政の健全化 (23.7)	介護保険 (20.8)	道路整備 (16.9)
浅川・横山・館 (西南部地域)	343	高齢者福祉 (38.2)	保健医療 (32.7)	財政の健全化 (21.0)	防犯対策／介護保険 (20.7)	
加 住 ・ 石 川 (北 部 地 域)	149	高齢者福祉 (34.9)	保健医療 (33.6)	財政の健全化 (23.5)	介護保険 (20.1)	防犯対策 (19.5)
由 井 ・ 北 野 (東 南 部 地 域)	254	保健医療 (32.7)	高齢者福祉 (28.7)	財政の健全化 (24.8)	少子化対策・ 子育て支援 (19.7)	防犯対策 (19.3)
由木・由木東・ 南 大 沢 (東 部 地 域)	337	保健医療 (30.9)	高齢者福祉 (29.4)	少子化対策・ 子育て支援 (23.7)	財政の健全化 (23.4)	防犯対策 (22.3)

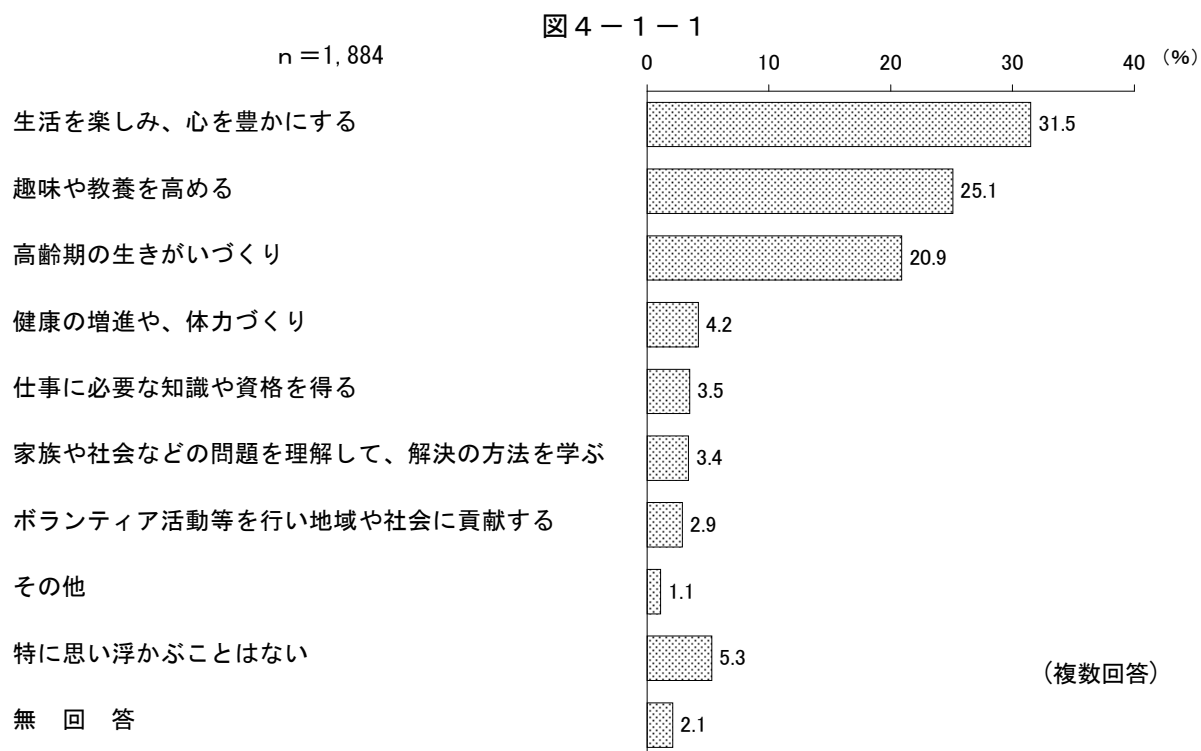
4. 生涯学習について

4-1 生涯学習のイメージ

◇「生活を楽しみ、心を豊かにする」が3割強

問4 あなたは「生涯学習」という言葉から、どのようなことを思い浮かべますか。

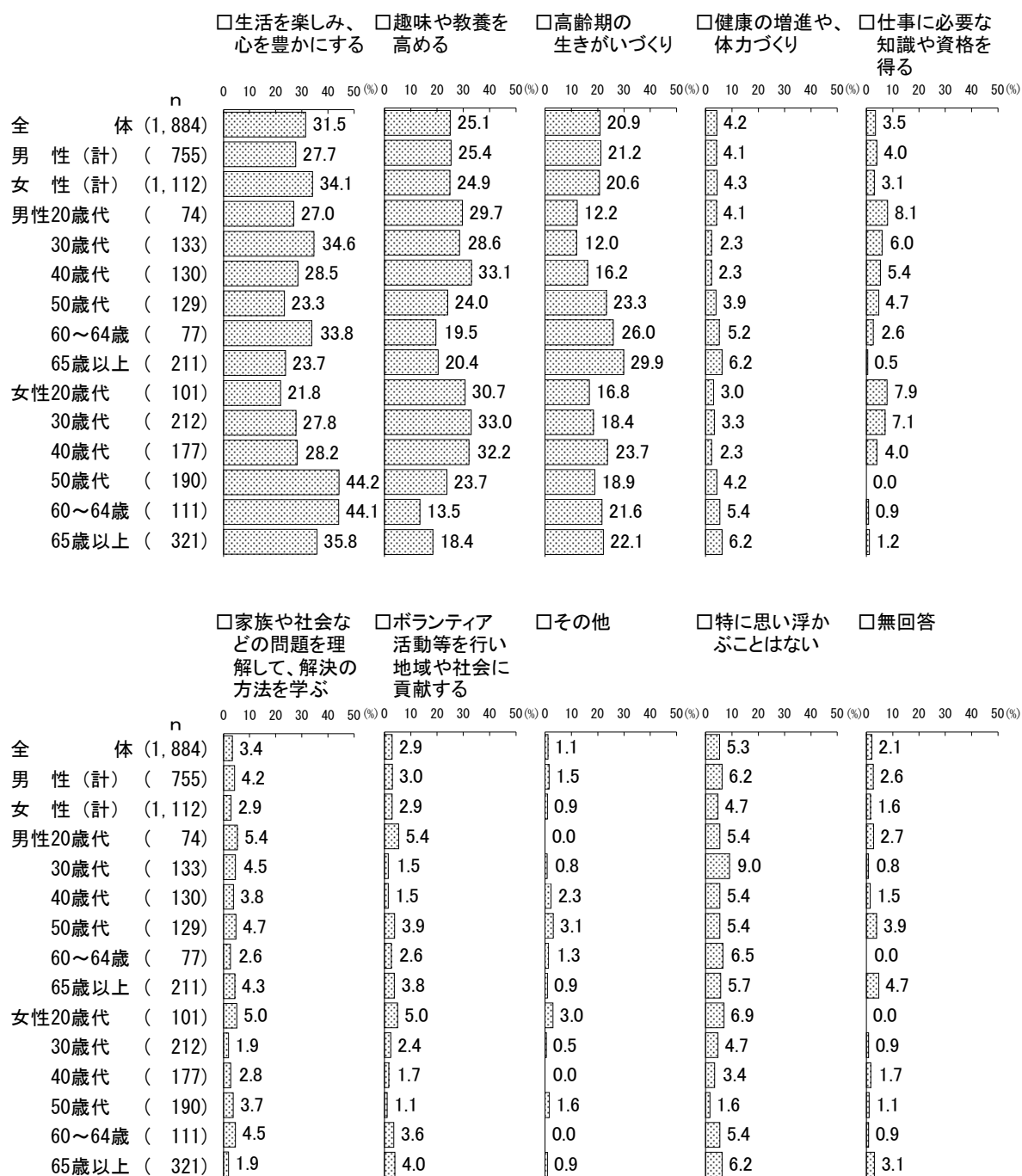
(○は1つだけ)



生涯学習のイメージを聞いたところ、「生活を楽しみ、心を豊かにする」が3割強（31.5%）と最も高く、ついで「趣味や教養を高める」（25.1%）、「高齢期の生きがいづくり」（20.9%）と続いている。

(図4-1-1)

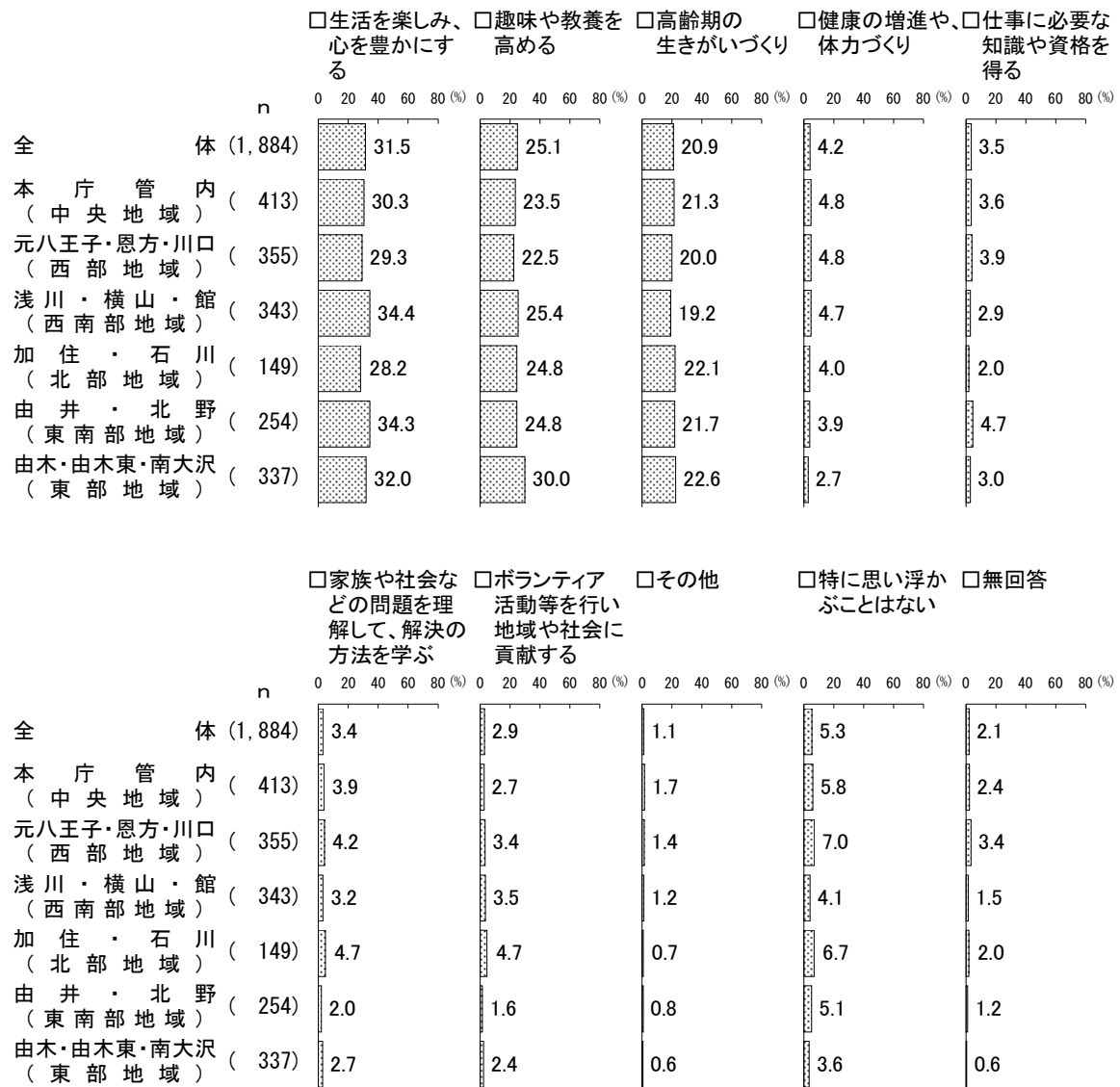
図 4-1-2 生涯学習のイメージ性別・年齢別



性別にみると、女性は「生活を楽しむ、心を豊かにする」が男性よりも6.4ポイント高い。

性・年齢別にみると、「生活を楽しむ、心を豊かにする」は女性の50歳代と60～64歳で4割以上を占め、特に高くなっている。「高齢者の生きがいづくり」では、概ね年齢が高くなるほど割合も高くなる傾向にあり、男性の65歳以上で約3割（29.9%）と最も高くなっている。（図4-1-2）

図 4-1-3 生涯学習のイメージ居住地地域別



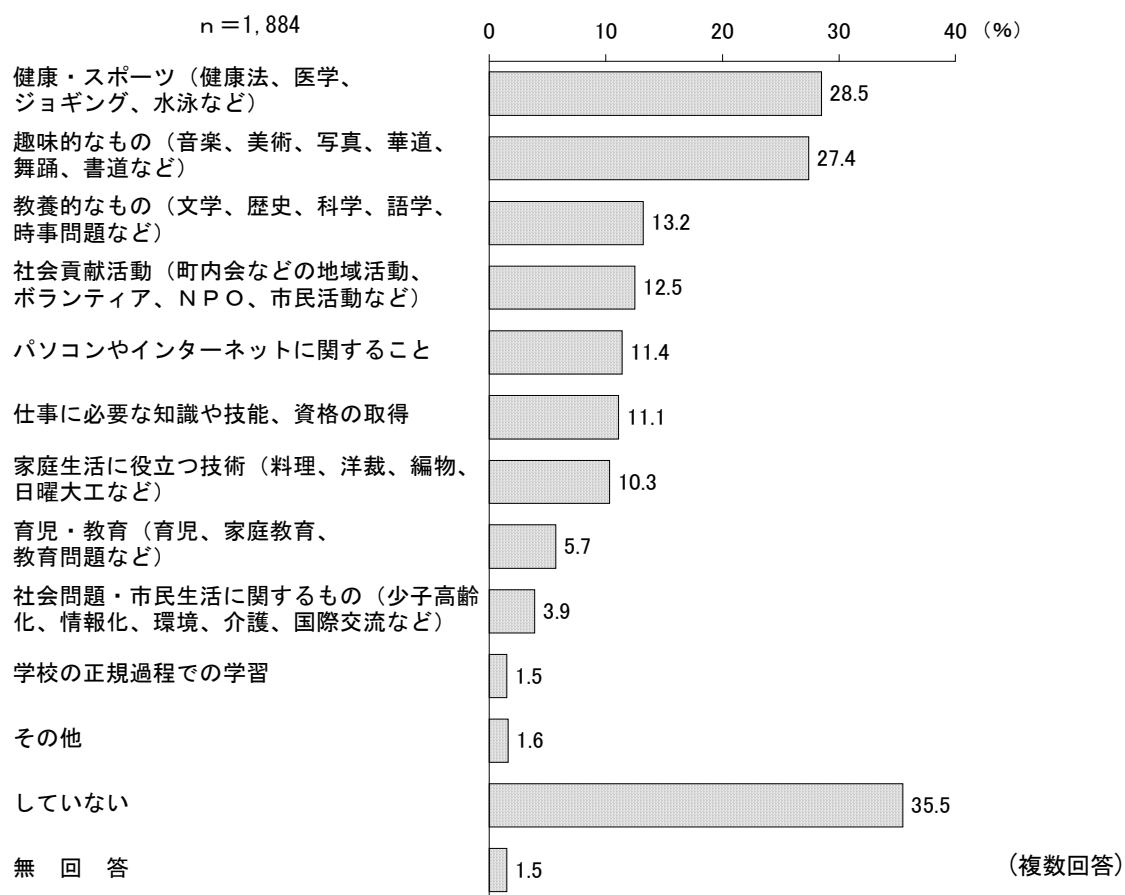
居住地地域別にみると、「生活を楽しむ、心を豊かにする」は浅川・横山・館（西南部地域）、由井・北野（東南部地域）で3割台半ばと比較的高くなっている。また、「趣味や教養を高める」は由木・由木東・南大沢（東部地域）が3割（30.0%）と最も高くなっている。（図4-1-3）

4-2 この1年間の生涯学習活動の実施状況

◇「健康・スポーツ」と「趣味的なもの」が3割弱

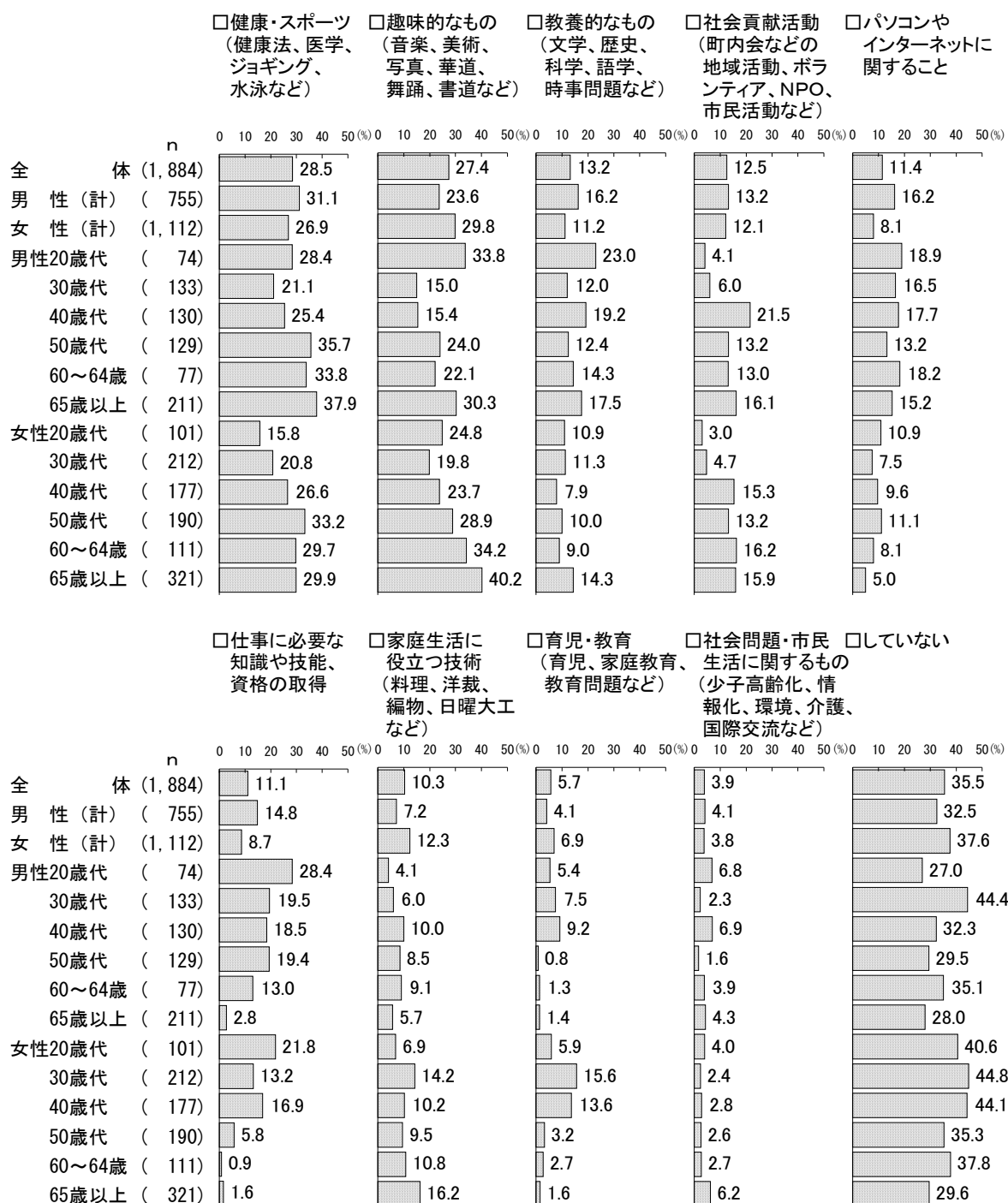
問5 あなたは過去1年の間に、次のうちどのような生涯学習活動に取り組んで（学んだり、活動したりして）いますか。（○はいくつでも）

図4-2-1



この1年間にどのような生涯学習活動に取り組んだか聞いたところ、「健康・スポーツ（健康法、医学、ジョギング、水泳など）」(28.5%)と「趣味的なもの（音楽、美術、写真、華道、舞踊、書道など）」(27.4%)が3割弱と、特に高くなっている。一方、「していない」(35.5%)は3割台半ばを占めている。(図4-2-1)

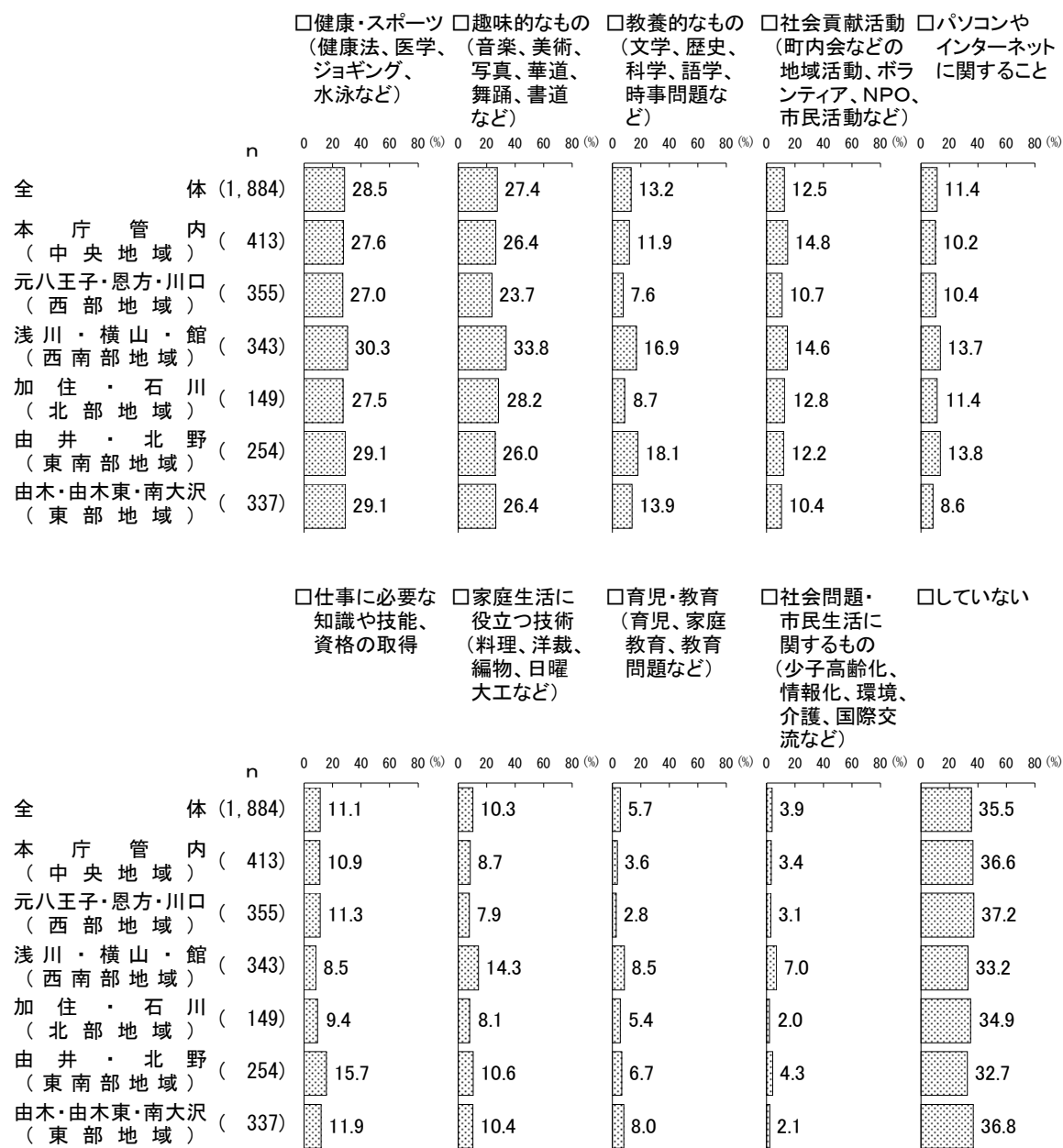
図4-2-2 この1年間の生涯学習の実施状況－性別・年齢別（上位10項目）



性別にみると、「パソコンやインターネットに関すること」は男性のほうが8.1ポイント高く、「趣味的なもの（音楽、美術、写真、華道、舞踊、書道など）」は女性のほうが6.2ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「健康・スポーツ（健康法、医学、ジョギング、水泳など）」は男性の50歳代以上と女性の50歳代で3割以上と高くなっており、「趣味的なもの（音楽、美術、写真、華道、舞踊、書道など）」では、女性の65歳以上で約4割（40.2%）となっている。（図4-2-2）

図4-2-3 この1年間の生涯学習の実施状況一居住地域別（上位10項目）



居住地域別にみると、浅川・横山・館（西南部地域）では「趣味的なもの（音楽、美術、写真、華道、舞踊、書道など）」（33.8%）と「健康・スポーツ（健康法、医学、ジョギング、水泳など）」（30.3%）が3割以上と他の地域と比較して高い割合となっている。（図4-2-3）

4－3 生涯学習活動をしていない理由

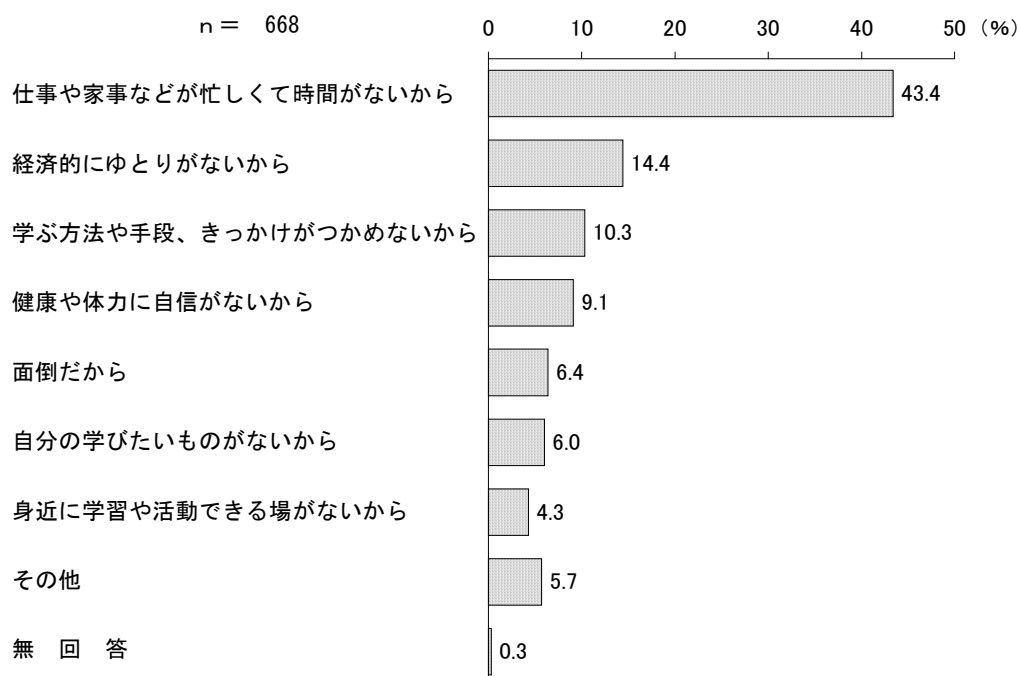
◇「仕事や家事などが忙しくて時間がないから」が4割強と突出

(問5で「していない」とお答えの方に)

問5－1 あなたが学んだり、活動したりしていない(できない)主な理由は何ですか。

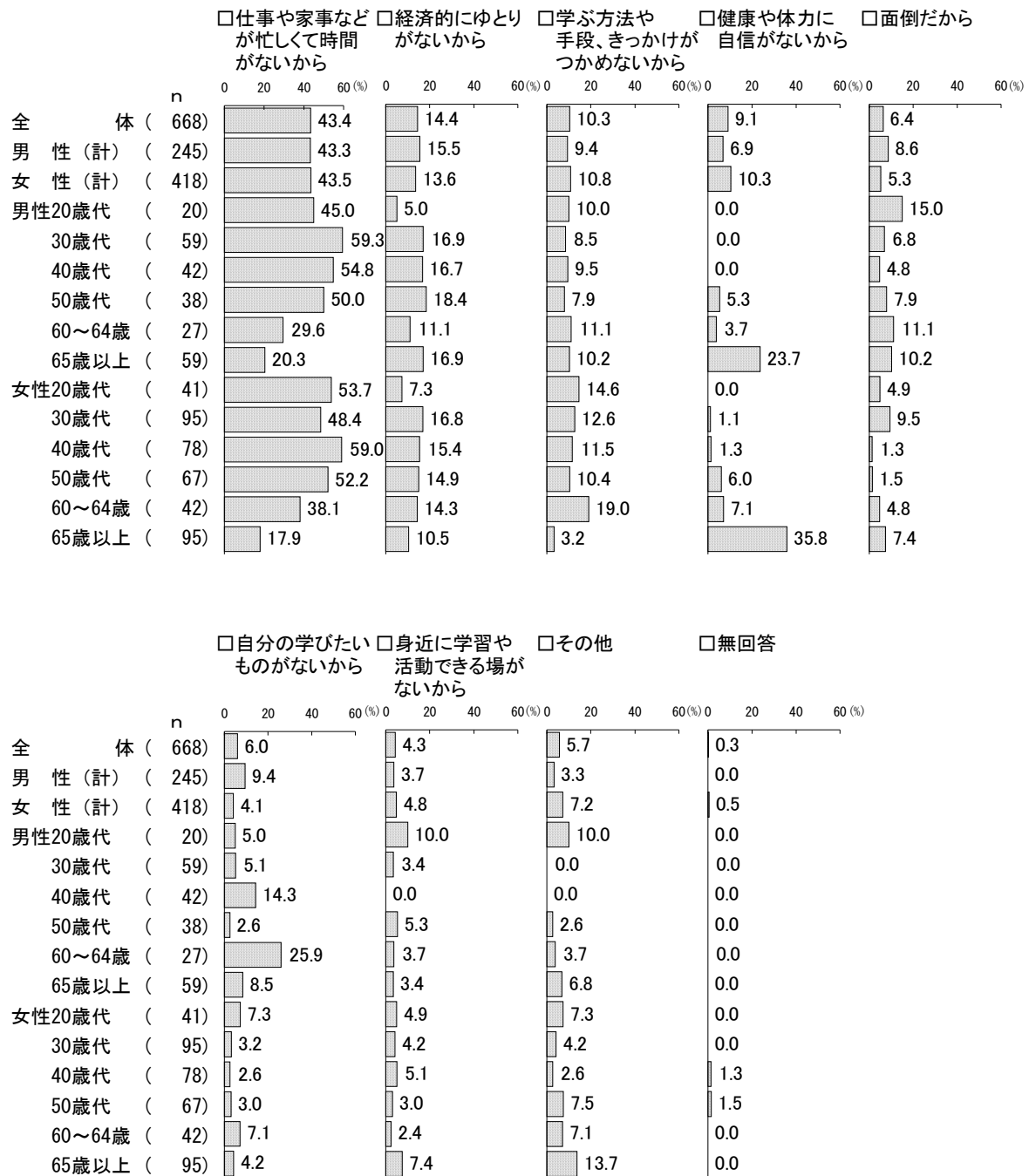
(○は1つだけ)

図4－3－1



この1年間で取り組んだ生涯学習活動で「していない」と答えた人(668人)に、生涯学習活動をしていない理由を聞いたところ、「仕事や家事などが忙しくて時間がないから」が4割強(43.4%)と最も高く、ついで「経済的にゆとりがないから」(14.4%)、「学ぶ方法や手段、きっかけがつかめないから」(10.3%)の順で続いている。(図4－3－1)

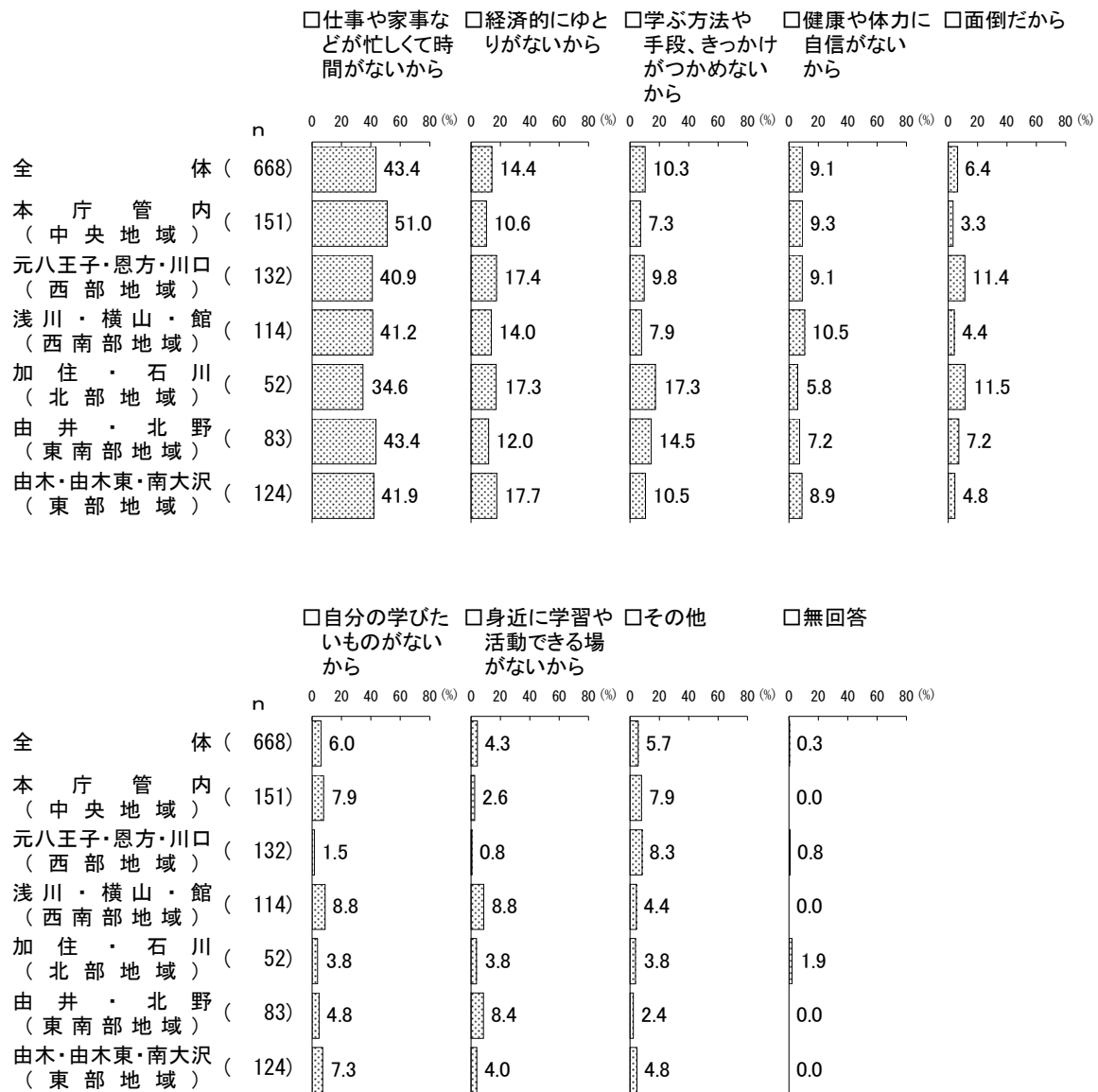
図 4-3-2 生涯学習活動をしていない理由—性別・年齢別



性別にみると、男性のほうが「自分の学びたいものがないから」が5.3ポイント高く、女性のほうが「健康や体力に自信がないから」が3.4ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、男性の30歳と女性の40歳は「仕事や家事などが忙しくて時間がないから」が6割弱と特に高くなっている。また、男女とも65歳以上では「健康や体力に自信がないから」が最も高くなっている。(図4-3-2)

図 4－3－3 生涯学習活動をしていない理由－居住地地域別



居住地域別にみると、いずれの地域でも「仕事や家事などが忙しくて時間がないから」が最も高い割合となっており、本庁管内（中央地域）は5割強（51.0%）で特に高くなっている。

（図 4－3－3）

4－4 生涯学習活動の情報を知った方法

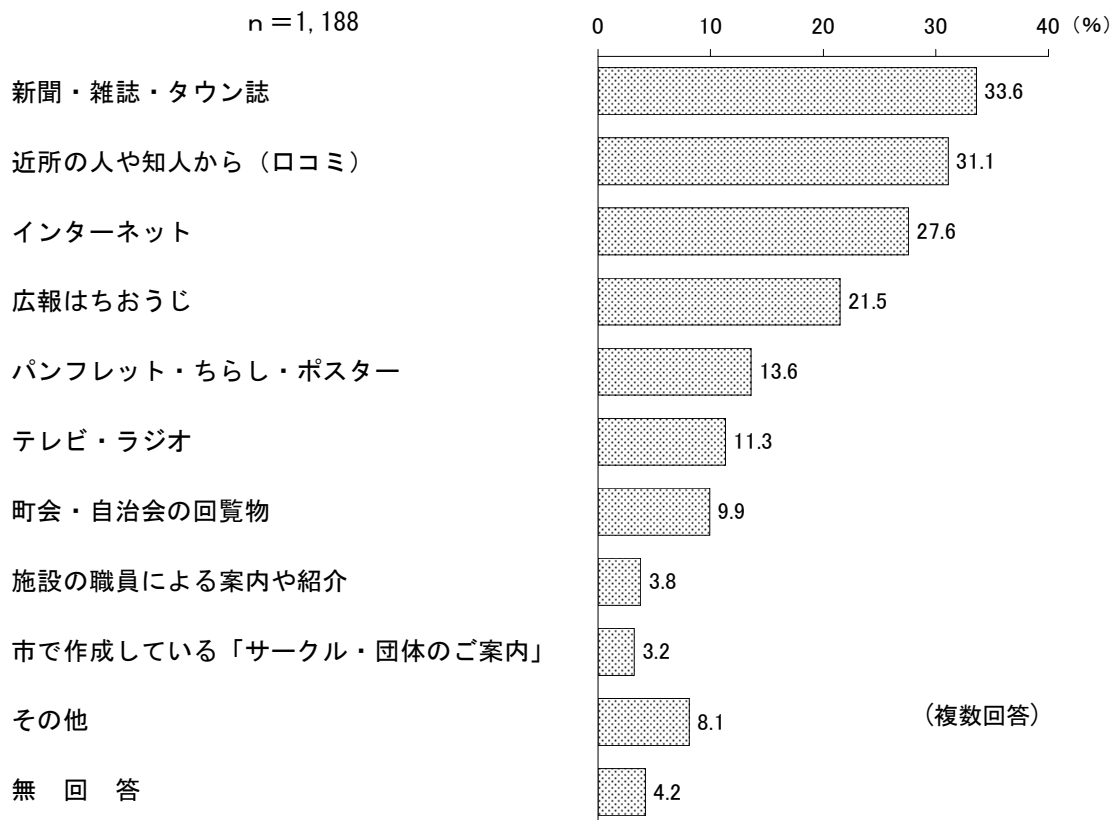
◇「新聞・雑誌・タウン誌」と「近所の人や知人から（口コミ）」が3割強

（問5で「1」～「11」のいずれかにお答えの方に）

問5－2 あなたが行っている学習や活動に関する情報を何でお知りになりましたか。

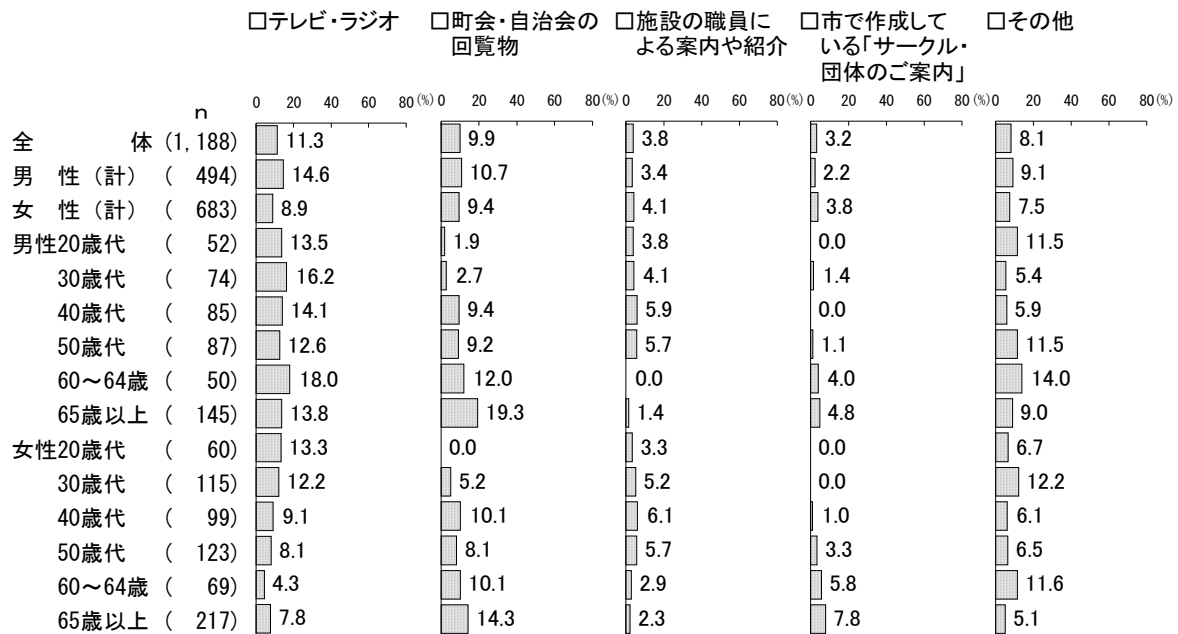
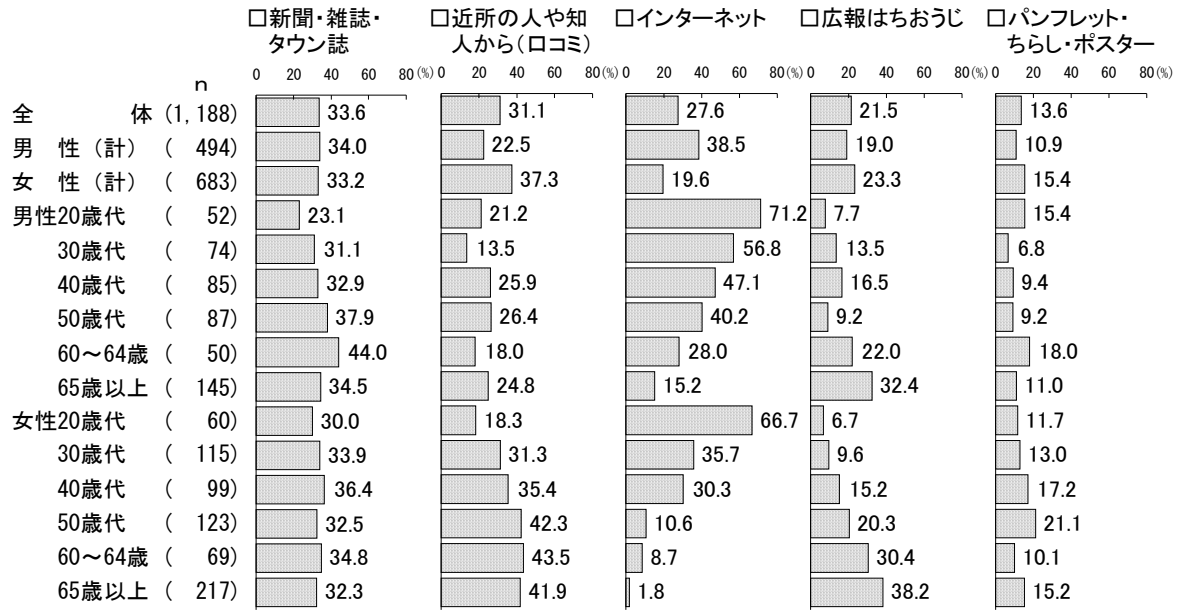
（○は3つまで）

図4－4－1



この1年間で、生涯学習活動に取り組んでいると答えた人（1,188人）に生涯学習活動の情報を知った方法について聞いてみたところ、「新聞・雑誌・タウン誌」（33.6%）と「近所の人や知人から（口コミ）」（31.1%）が3割強と最も高く、ついで「インターネット」（27.6%）と「広報はちおうじ」（21.5%）が続いている。（図4－4－1）

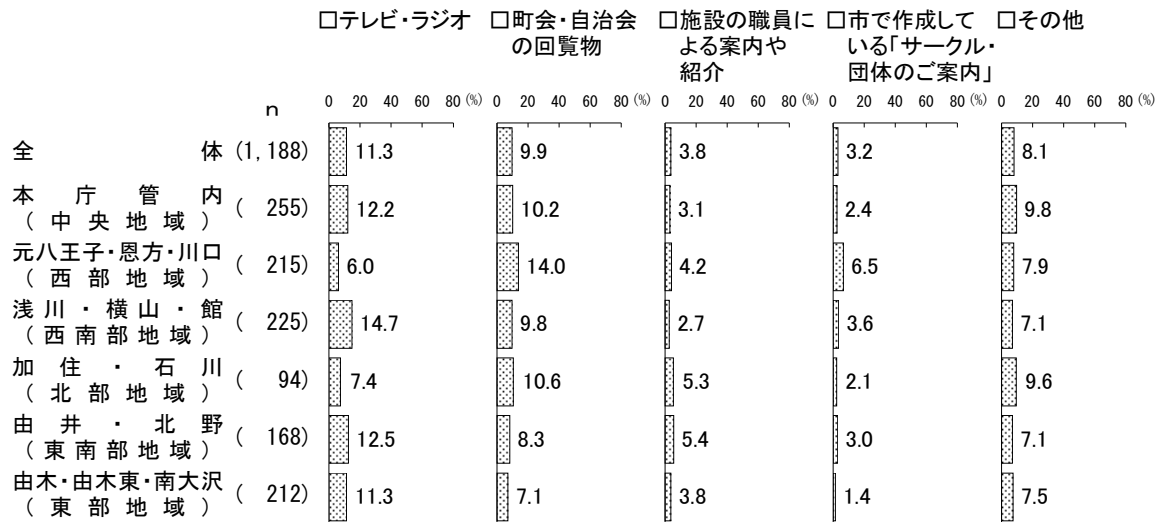
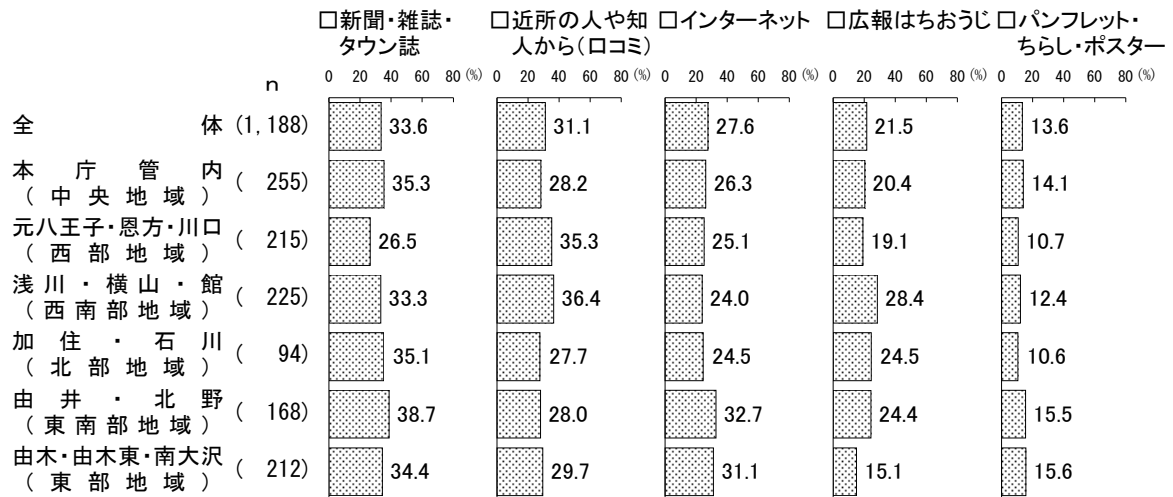
図 4-4-2 生涯学習活動の情報を知った方法－性別・年齢別



性別にみると、男性のほうが「インターネット」が18.9ポイント高く、女性のほうが「近所の人や知人から（口コミ）」が14.8ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「インターネット」は年齢が低くなるほど割合が高くなり、男女とも20歳代で7割前後と突出して高くなっている。（図4-4-2）

図４－４－３ 生涯学習活動の情報を知った方法－居住地地域別



居住地地域別にみると、浅川・横山・館（西南部地域）と元八王子・恩方・川口（西部地域）では「近所の人や知人から（口コミ）」が３割台半ばで最も高い割合となっているのに対し、それ以外の地域では「新聞・雑誌・タウン誌」が最も高くなっている。（図４－４－３）

4－5 生涯学習活動に参加する手段

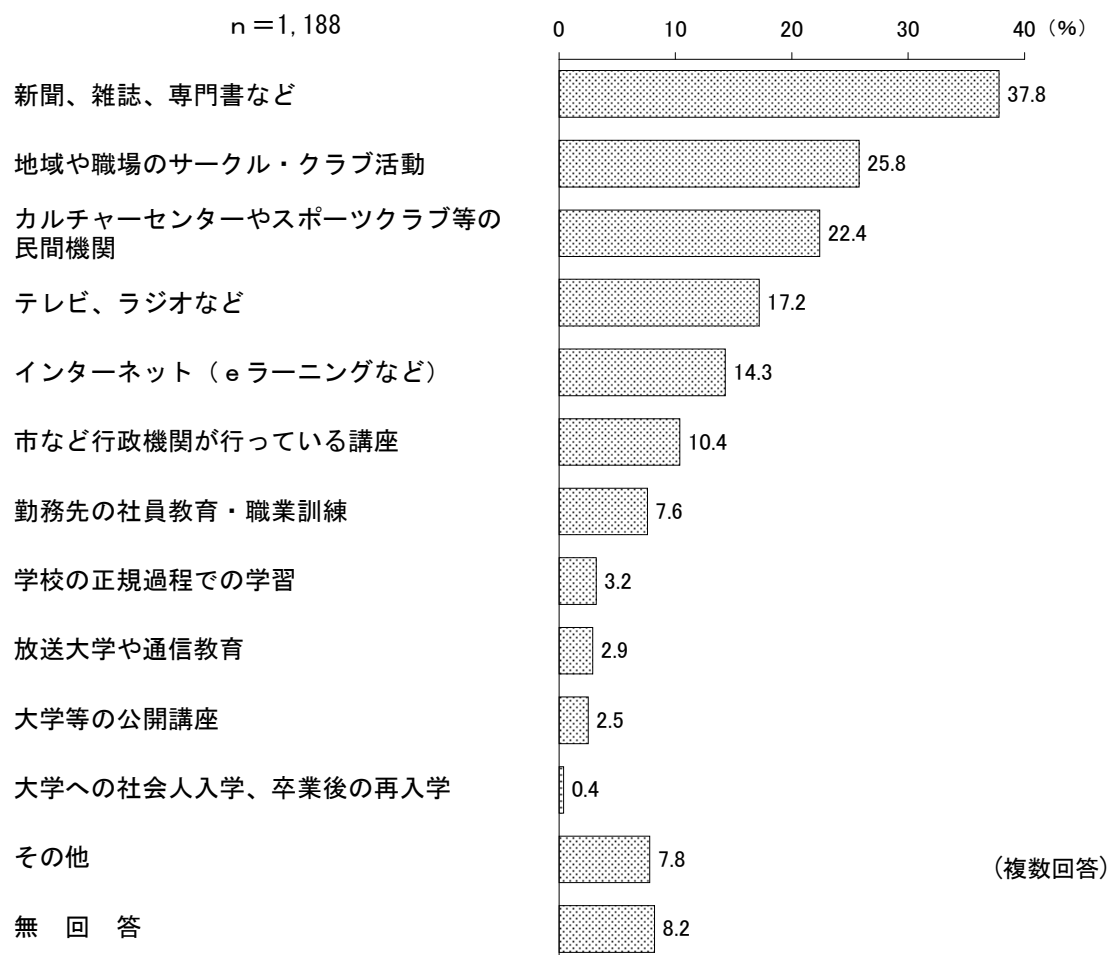
◇「新聞、雑誌、専門書など」が4割弱

(問5で「1」～「11」のいずれかにお答えの方に)

問5－3 あなたは、どのような方法で、学んだり、活動したりしていますか。

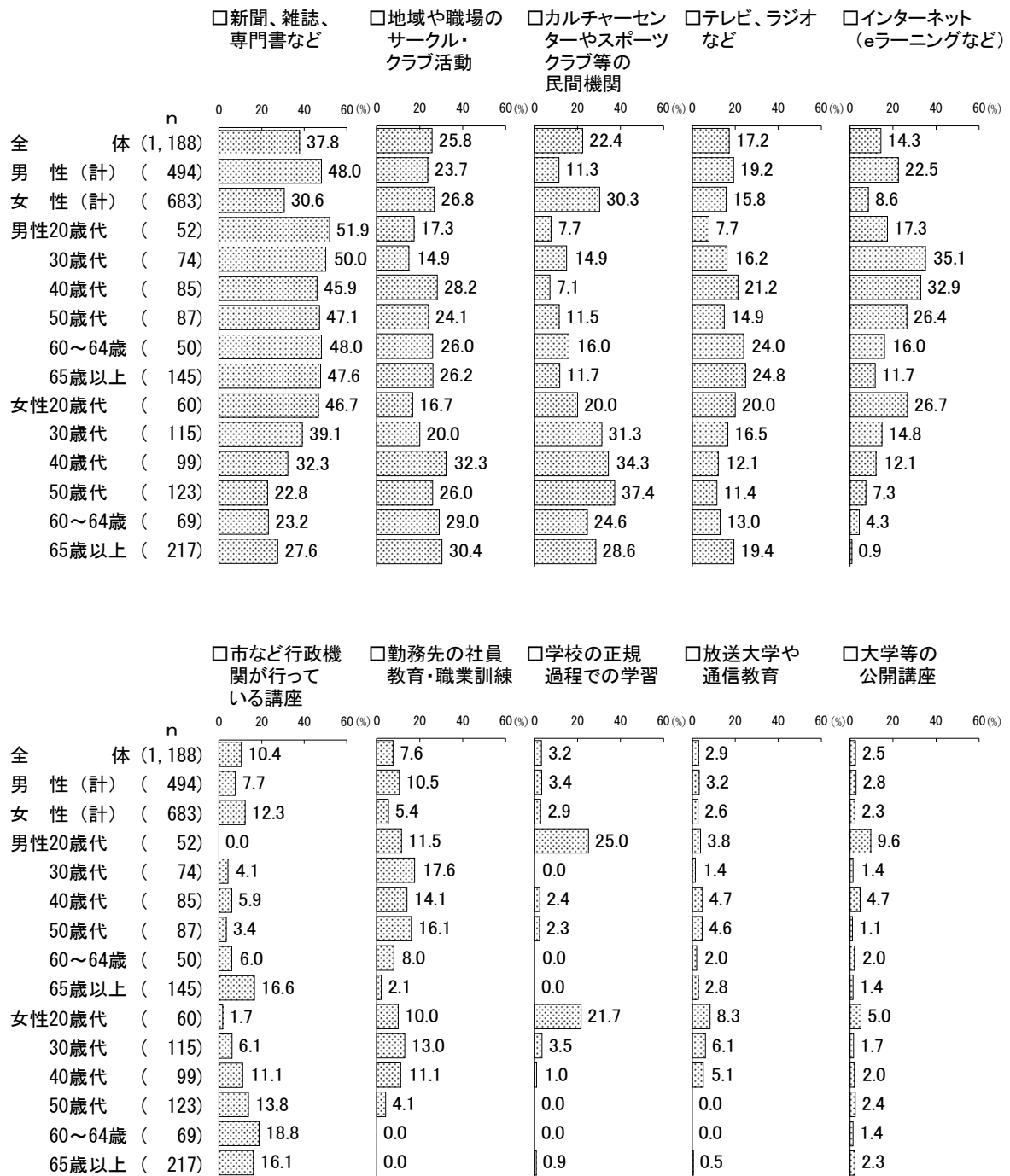
(○はいくつでも)

図4－5－1



この1年間で、生涯学習活動に取り組んでいると答えた人(1,188人)に、生涯学習活動に参加する手段について聞いたところ、「新聞、雑誌、専門書など」が4割弱(37.8%)と最も高く、ついで「地域や職場のサークル・クラブ活動」(25.8%)、「カルチャーセンターやスポーツクラブ等の民間機関」(22.4%)と続いている。(図4－5－1)

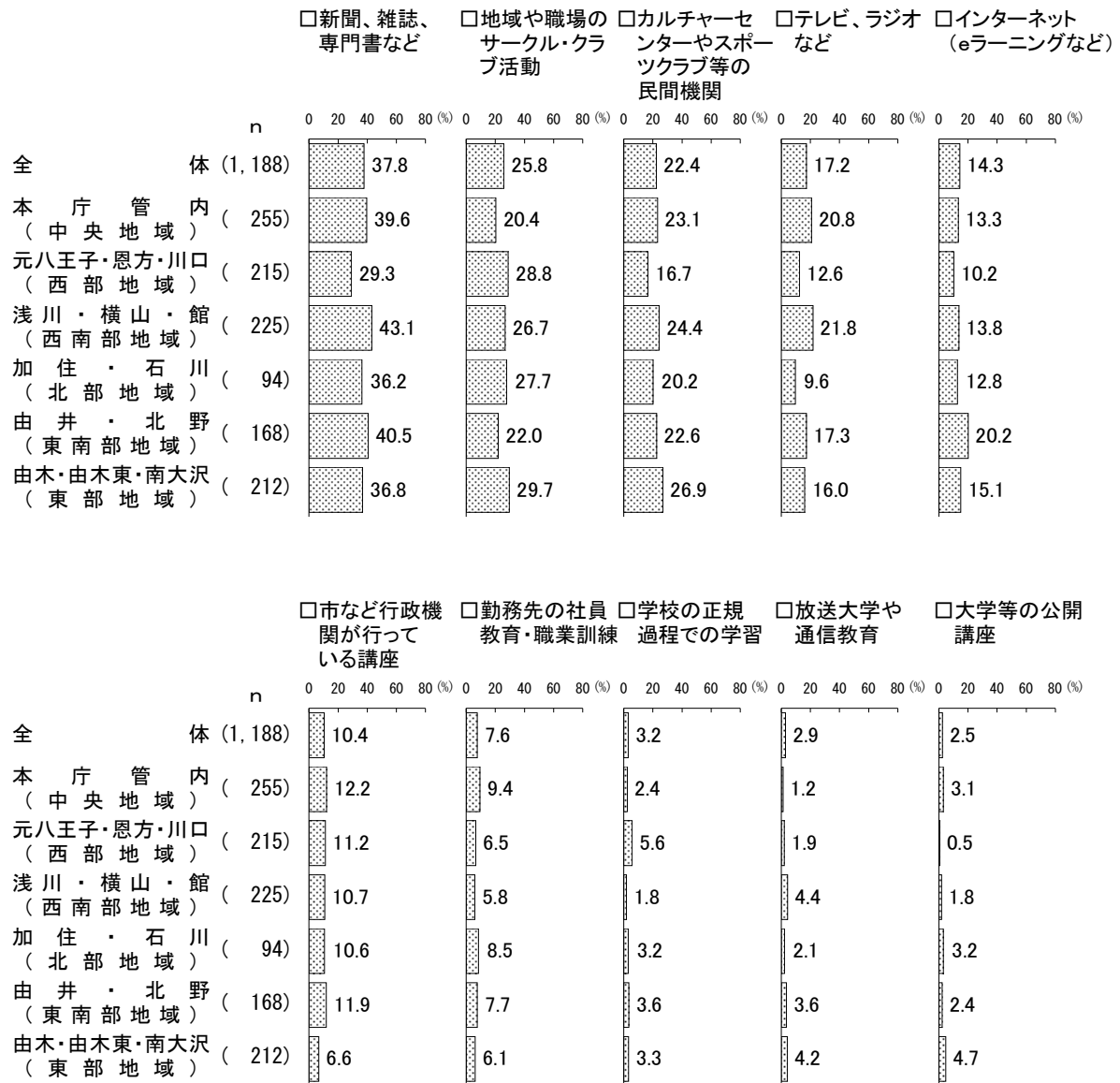
図 4-5-2 生涯学習活動に参加する手段－性別・年齢別



性別にみると、男性のほうが「新聞、雑誌、専門書など」で17.4ポイント、「インターネット（eラーニングなど）」では13.9ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、男性のすべての年齢層と女性の20歳代では「新聞、雑誌、専門書など」が4割以上となっており、特に男性の20歳代・30歳代は半数以上と高くなっている。また、女性の30歳代～50歳代で「カルチャーセンターやスポーツクラブ等の民間機関」が3割以上と他の年齢層より高くなっている。(図4-5-2)

図 4-5-3 生涯学習活動に参加する手段－居住地域別



居住地域別にみると、「地域や職場のサークル・クラブ活動」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で約3割（29.7%）、「インターネット（eラーニングなど）」は由井・北野（東南部地域）で約2割（20.2%）と他の地域より高くなっている。（図4-5-3）

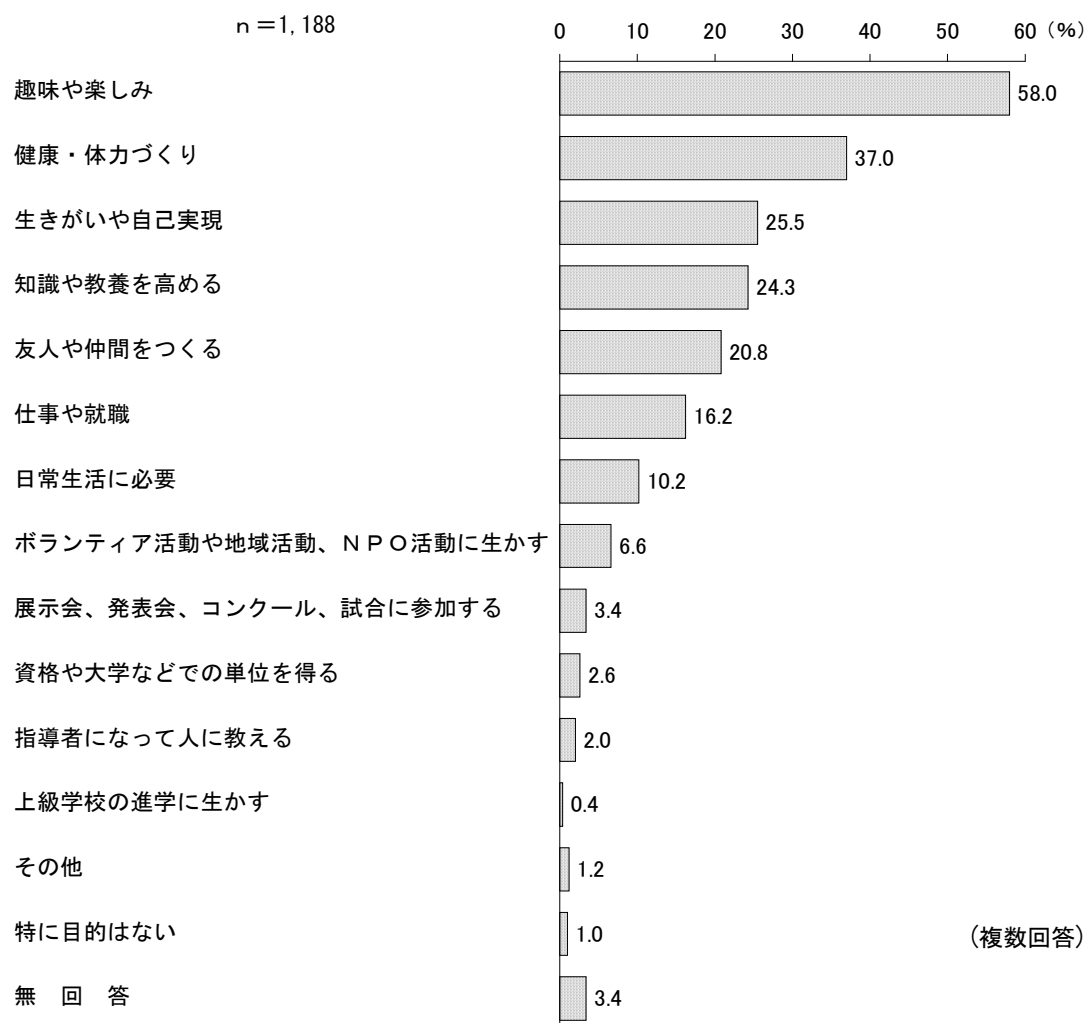
4－6 生涯学習活動に参加する目的

◇「趣味や楽しみ」が6割弱

(問5で「1」～「11」のいずれかにお答えの方に)

問5－4 あなたは、どのような目的で、学んだり、活動したりしていますか。(○は3つまで)

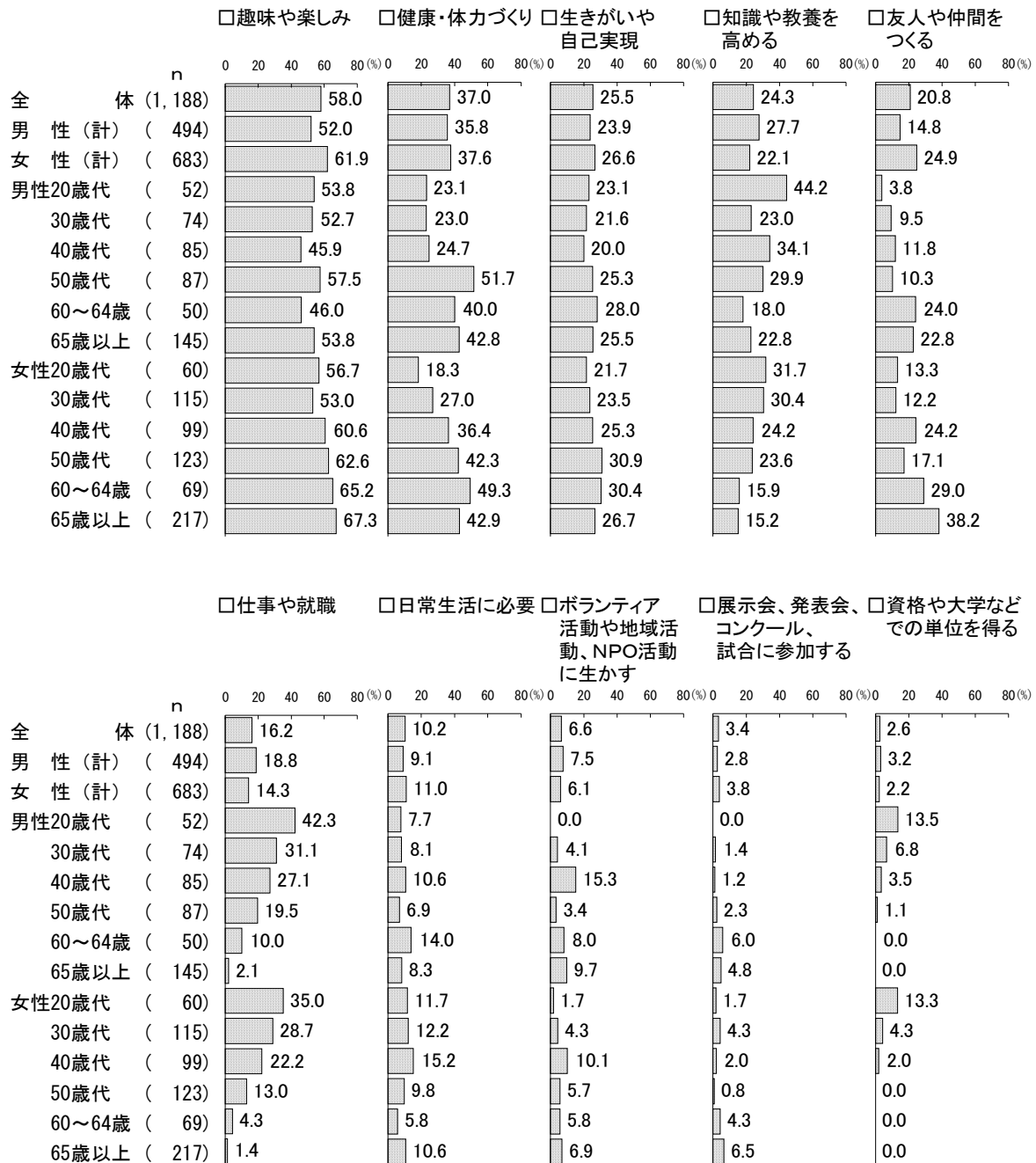
図4－6－1



この1年間で、生涯学習活動に取り組んでいると答えた人(1,188人)に、生涯学習活動に参加する目的について聞いたところ、「趣味や楽しみ」が6割弱(58.0%)と最も高く、ついで「健康・体力づくり」(37.0%)、「生きがいや自己実現」(25.5%)、「知識や教養を高める」(24.3%)と続いている。

(図4－6－1)

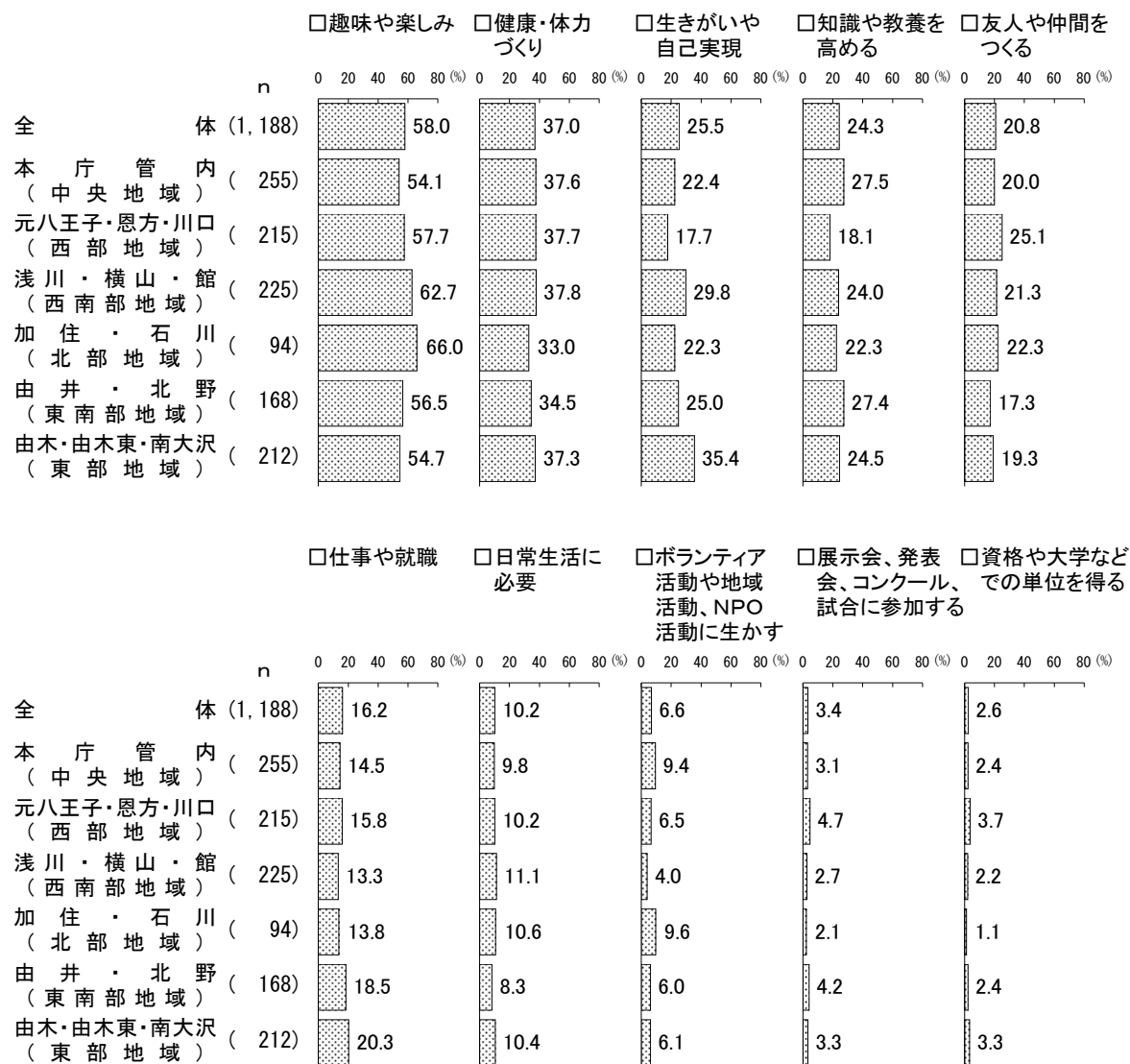
図 4-6-2 生涯学習活動に参加する目的—性別・年齢別



性別にみると、女性のほうが、「友人や仲間をつくる」で10.1ポイント、「趣味や楽しみ」で9.9ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「健康・体力づくり」は男女とも50歳代以上で4割以上と高く、男性の50歳代では、半数を超えて特に高くなっている。(図4-6-2)

図 4－6－3 生涯学習活動に参加する目的－居住地域別



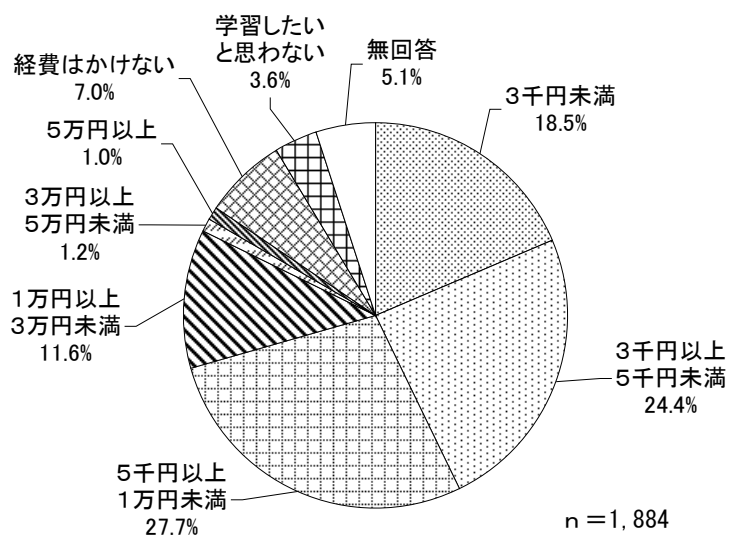
居住地域別にみると、「趣味や楽しみ」は加住・石川（北部地域）と浅川・横山・館（西南部地域）で6割以上、「生きがいや自己実現」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で3割台半ば（35.4%）と高くなっている。（図4－6－3）

4－7 生涯学習活動に支出できる費用

◇『1万円未満』が約7割

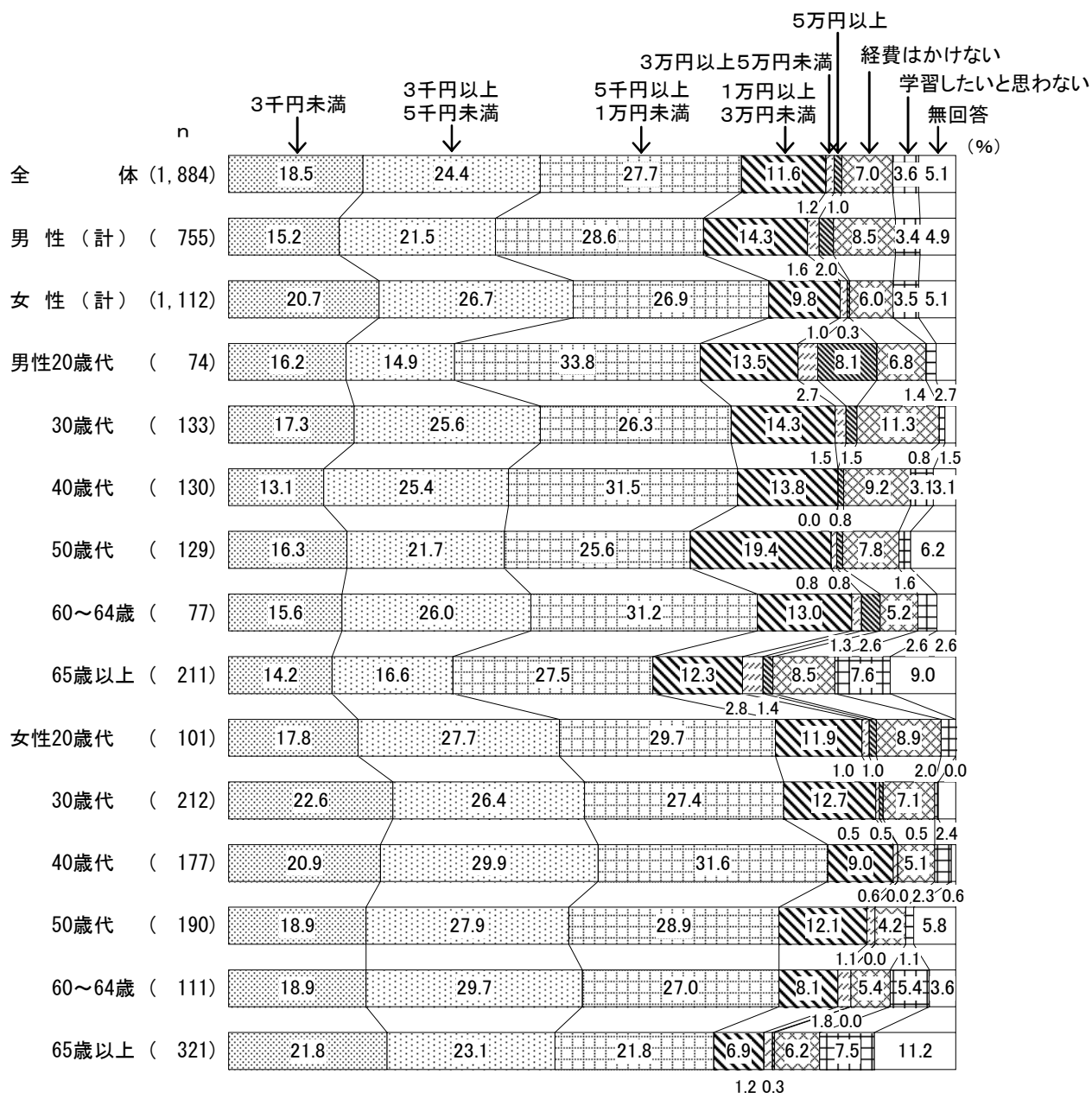
問6 あなたが学習活動に支出している経費、または、これから学習したいと考えたときに支出してもよいと考える金額は、1ヶ月いくらくらいですか。(○は1つだけ)

図4－7－1



生涯学習活動に支出できる費用について聞いたところ、「5千円以上1万円未満」が3割弱(27.7%)と最も高く、ついで「3千円以上5千円未満」(24.4%)、「3千円未満」(18.5%)と続き、3項目を合わせた『1万円未満』(70.6%)は約7割となっている。(図4－7－1)

図4-7-2 生涯学習活動に支出できる費用—性別・年齢別

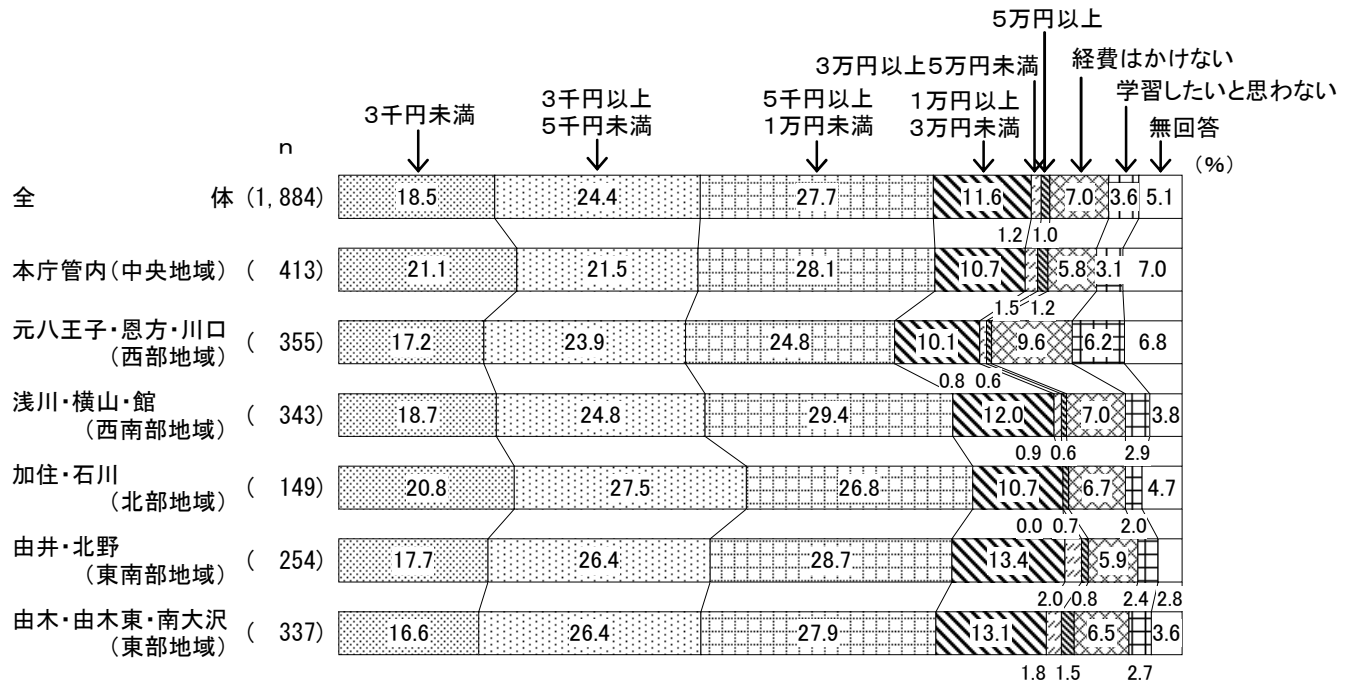


性別にみると、女性は「3千円未満」が5.5ポイント、「3千円以上5千円未満」が5.2ポイント男性よりも高く、男性は「1万円以上3万円未満」が4.5ポイント女性より高くなっている。

性・年齢別にみると、すべての年齢において『1万円未満』が半数以上を占めており、なかでも女性の40歳代は8割強（82.4%）で最も高く、男性の65歳以上は6割弱（58.3%）と最も低くなっている。

（図4-7-2）

図 4－7－3 生涯学習活動に支出できる費用－居住地域別



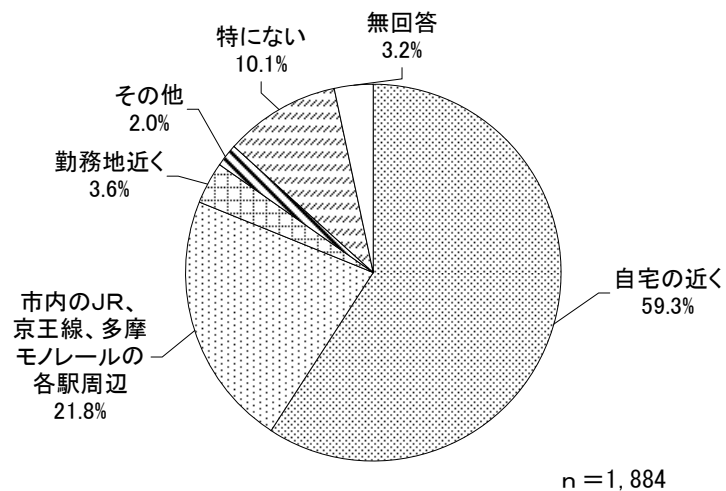
居住地域別にみると、元八王子・恩方・川口（西部地域）をのぞいたすべての地域で『1万円未満』が7割以上を占めている。（図4－7－3）

4－8 生涯学習活動に参加できる場所

◇「自宅の近く」が6割弱

問7 あなたが学習を続けていくために、または、これから学習したいと考えたときに、学習活動の場がどの場所にあればよいと思いますか。(○は1つだけ)

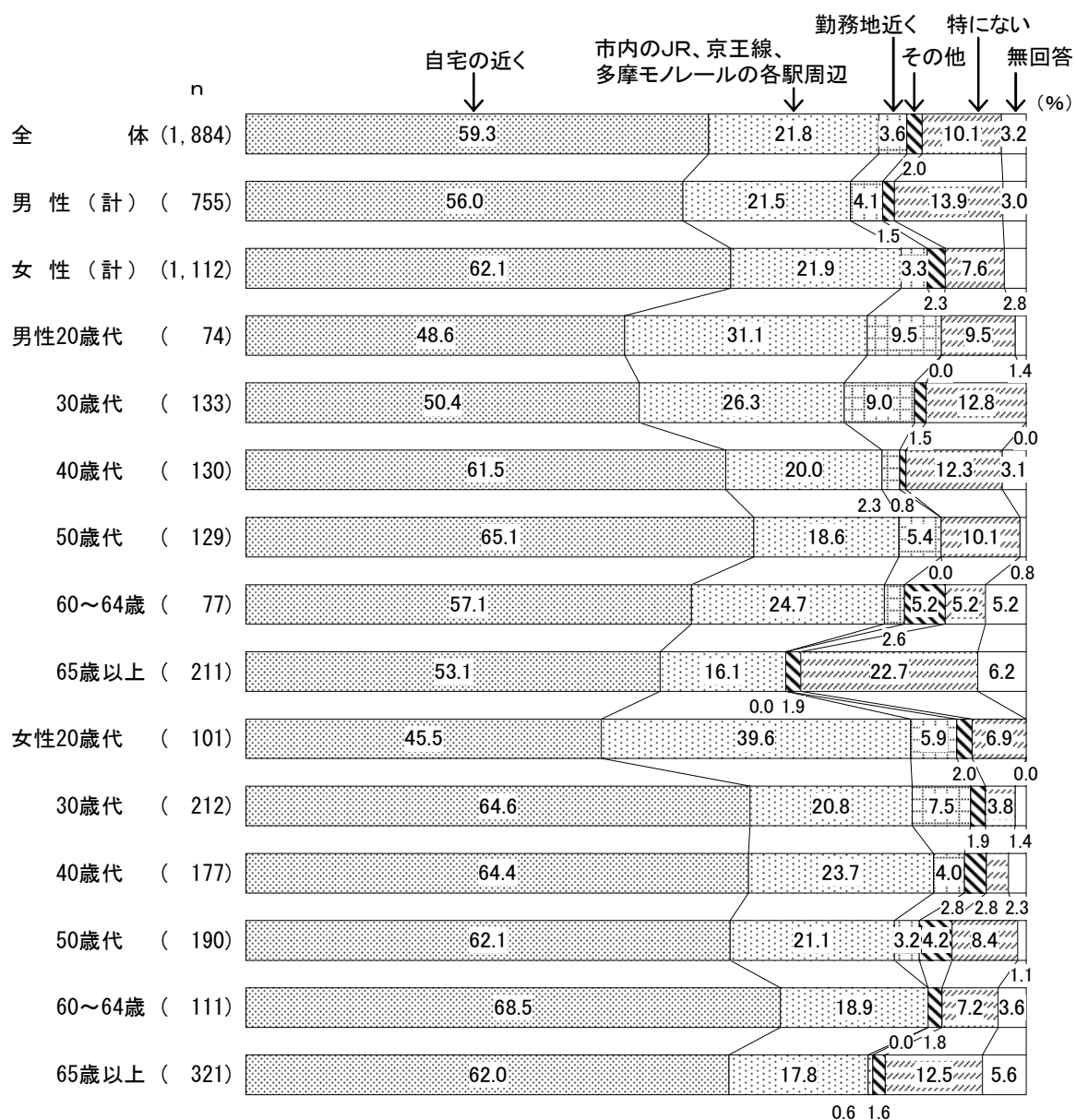
図4－8－1



生涯学習活動に参加できる場所について聞いたところ、「自宅の近く」が6割弱（59.3%）と最も高く、ついで「市内のJR、京王線、多摩モノレールの各駅周辺」（21.8%）が続いている。

（図4－8－1）

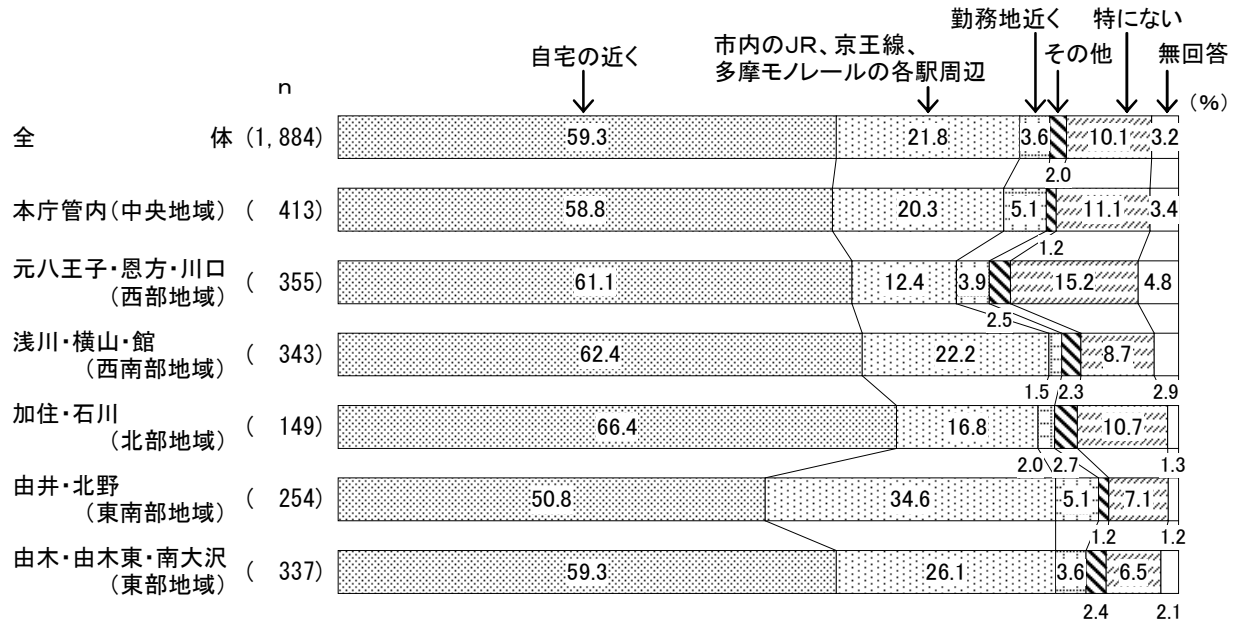
図4-8-2 生涯学習活動に参加できる場所－性別・年齢別



性別にみると、女性は「自宅の近く」が男性よりも6.1ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「自宅の近く」が男女とも30歳以上で半数を超えている。(図4-8-2)

図 4－8－3 生涯学習活動に参加できる場所－居住地域別



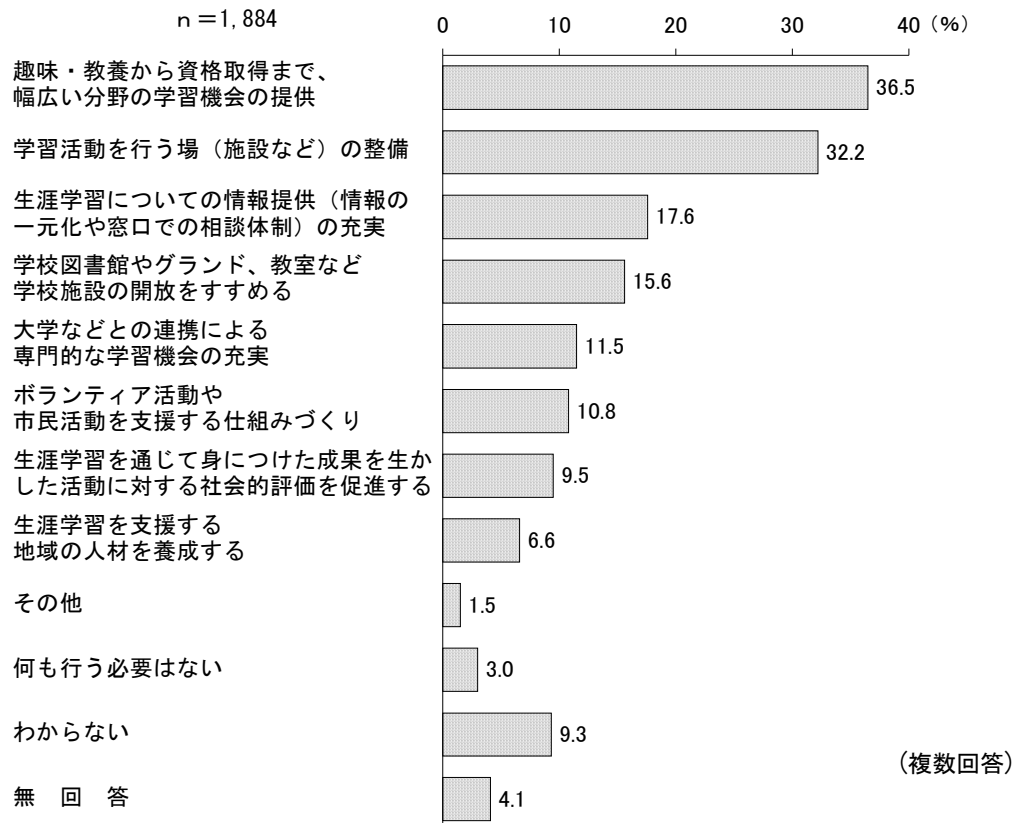
居住地域別にみると、由井・北野（東南部地域）を除いた地域で「自宅の近く」が6割前後と高くなっている。由井・北野（東南部地域）では、「市内のJR、京王線、多摩モノレールの各駅周辺」が3割台半ば（34.6%）と他の地域と比較して高くなっている。（図4－8－3）

4－9 生涯学習活動の推進のための取組

◇「趣味・教養から資格取得まで、幅広い分野の学習機会の提供」「学習活動を行う場（施設など）の整備」の2項目が3割以上

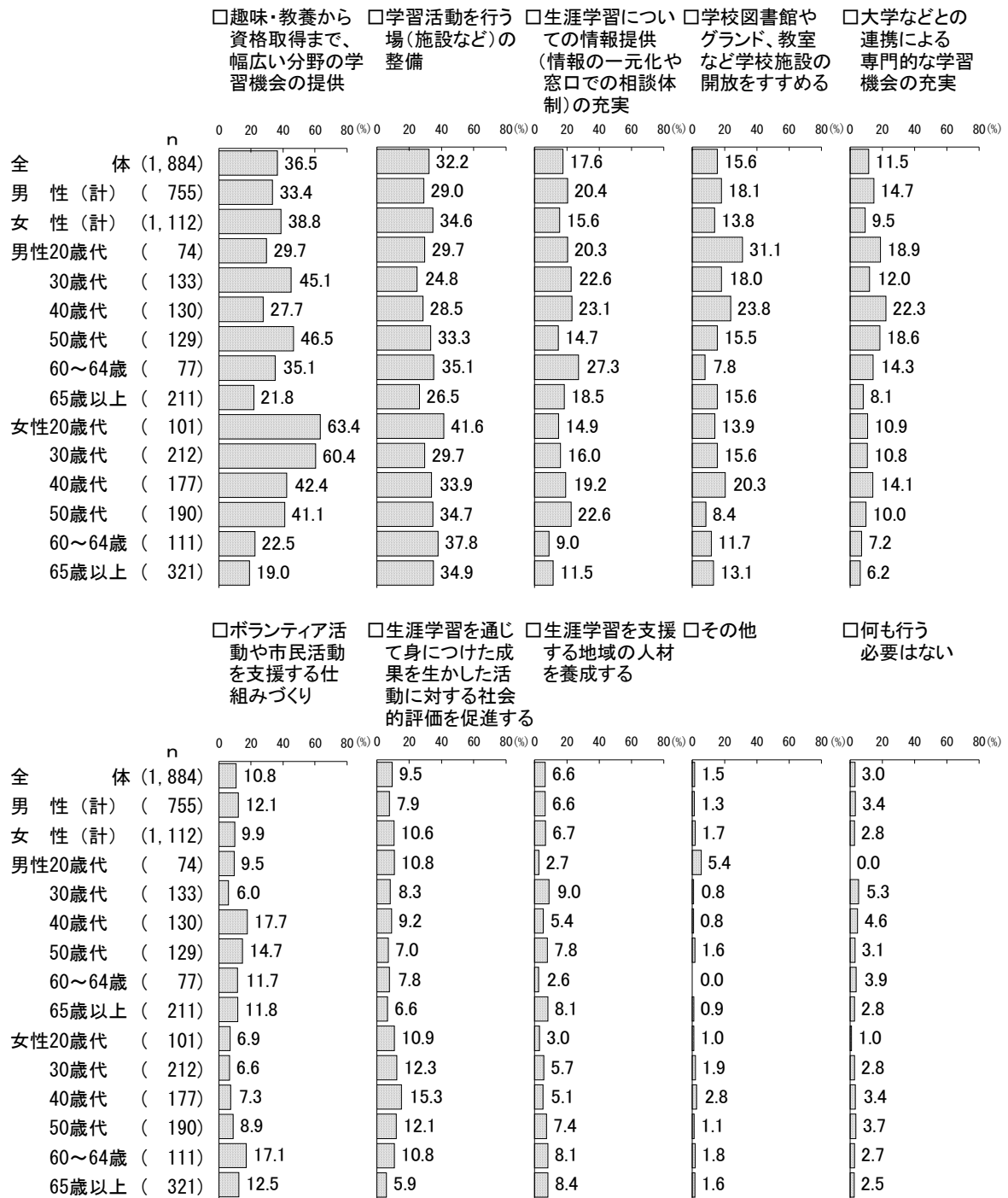
問8 今後、市が市民の生涯学習活動を支援していくにあたり、どのような施策を推進すべきだと思いますか。（○は2つまで）

図4－9－1



生涯学習活動の推進のための取組について聞いたところ、「趣味・教養から資格取得まで、幅広い分野の学習機会の提供」（36.5%）、「学習活動を行う場（施設など）の整備」（32.2%）の2項目で3割以上と高くなっている。ついで、「生涯学習についての情報提供（情報の一元化や窓口での相談体制）の充実」（17.6%）、「学校図書館やグラウンド、教室など学校施設の開放をすすめる」（15.6%）と続いている。（図4－9－1）

図 4－9－2 生涯学習活動の推進のための取組－性別・年齢別

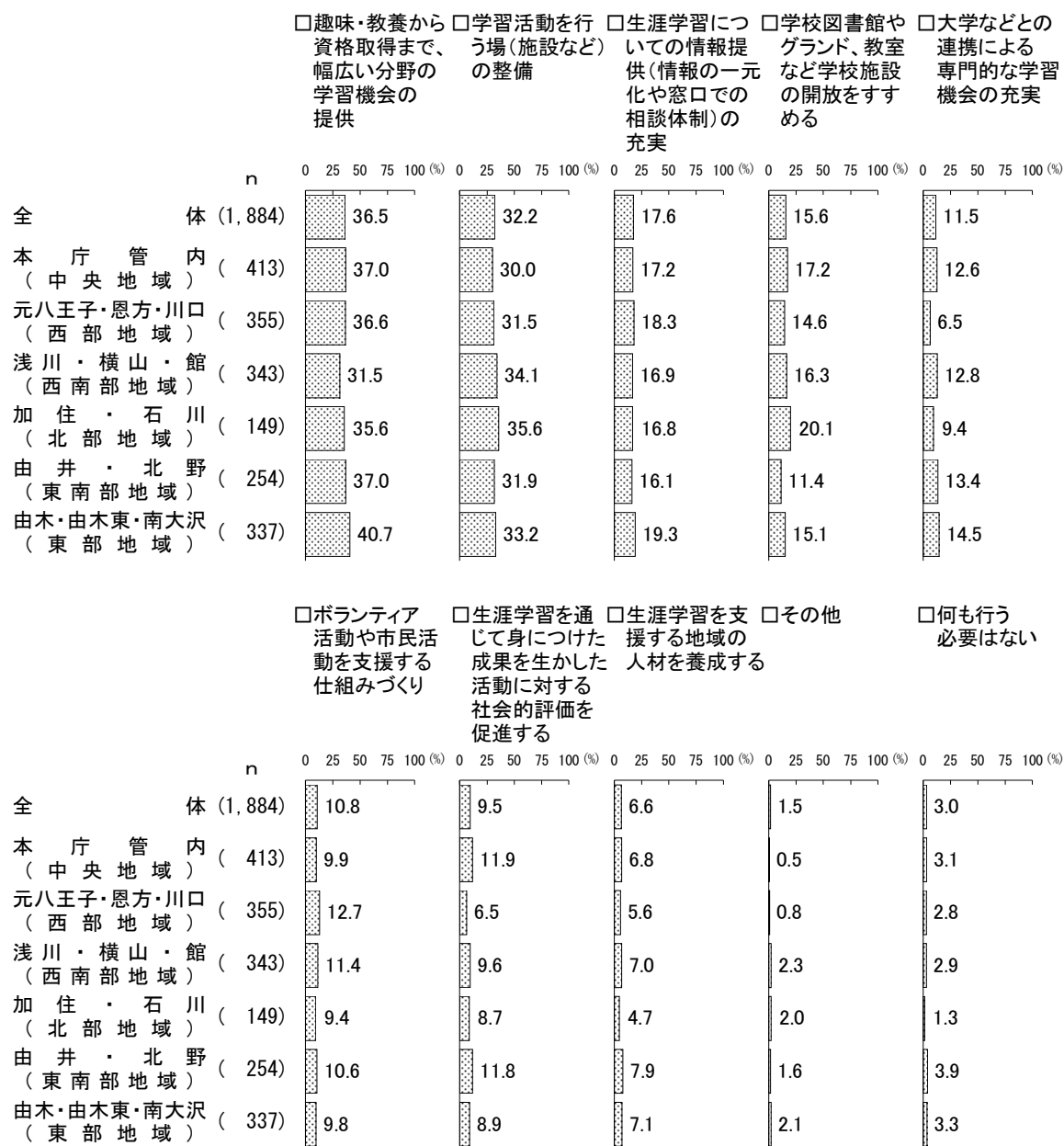


性別にみると、女性は「学習活動を行う場（施設など）の整備」が男性よりも5.6ポイント高く、男性は「大学などとの連携による専門的な学習機会の充実」が女性よりも5.2ポイント高い。

性・年齢別にみると「趣味・教養から資格取得まで、幅広い分野の学習機会の提供」は、女性の年齢が低くなるほど割合が高くなり、特に女性の20歳代・30歳代は6割以上と高くなっている。

(図 4－9－2)

図 4-9-3 生涯学習活動の推進のための取組—居住地域別



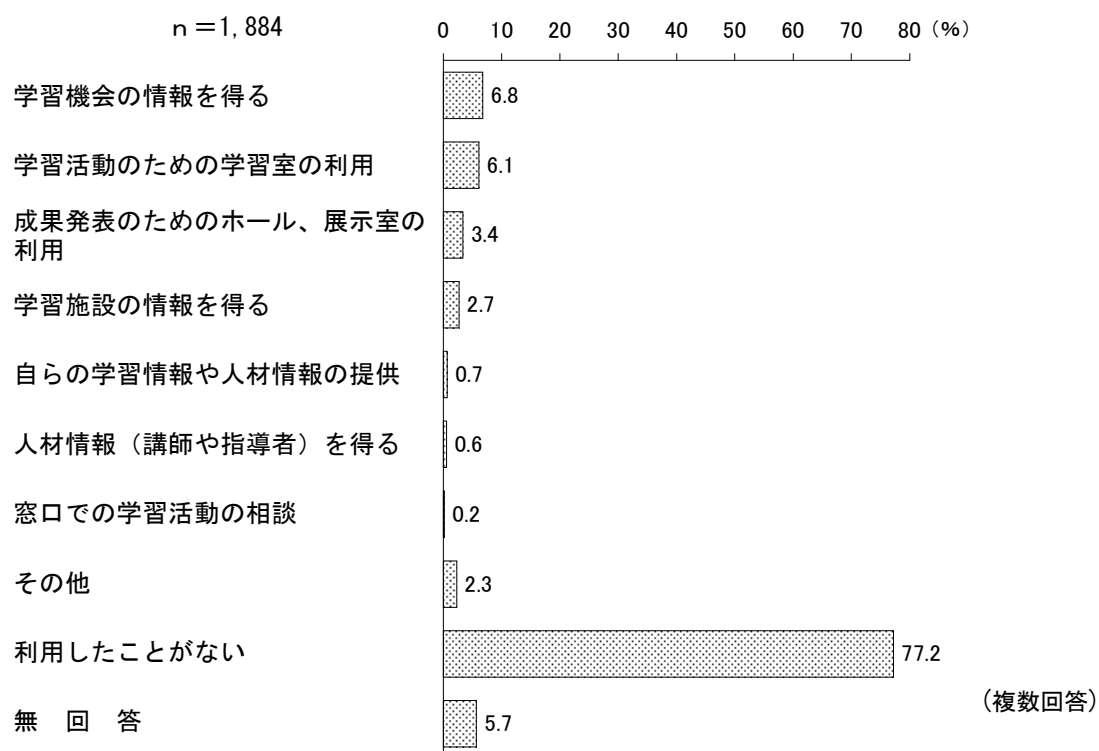
居住地域別にみると、「趣味・教養から資格取得まで、幅広い分野の学習機会の提供」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で約4割（40.7%）と最も高く、浅川・横山・館（西南部地域）で3割強（31.5%）と最も低い割合となっている。（図4-9-3）

4-10 生涯学習センターの利用目的

◇「利用したことがない」が8割弱

問9 市は市民の生涯学習活動の拠点として、生涯学習センター（クリエイトホール）、同センター川口分館、南大沢分館を開設しています。あなたは過去1年の間に生涯学習センターをどのように利用しましたか。（○はいくつでも）。

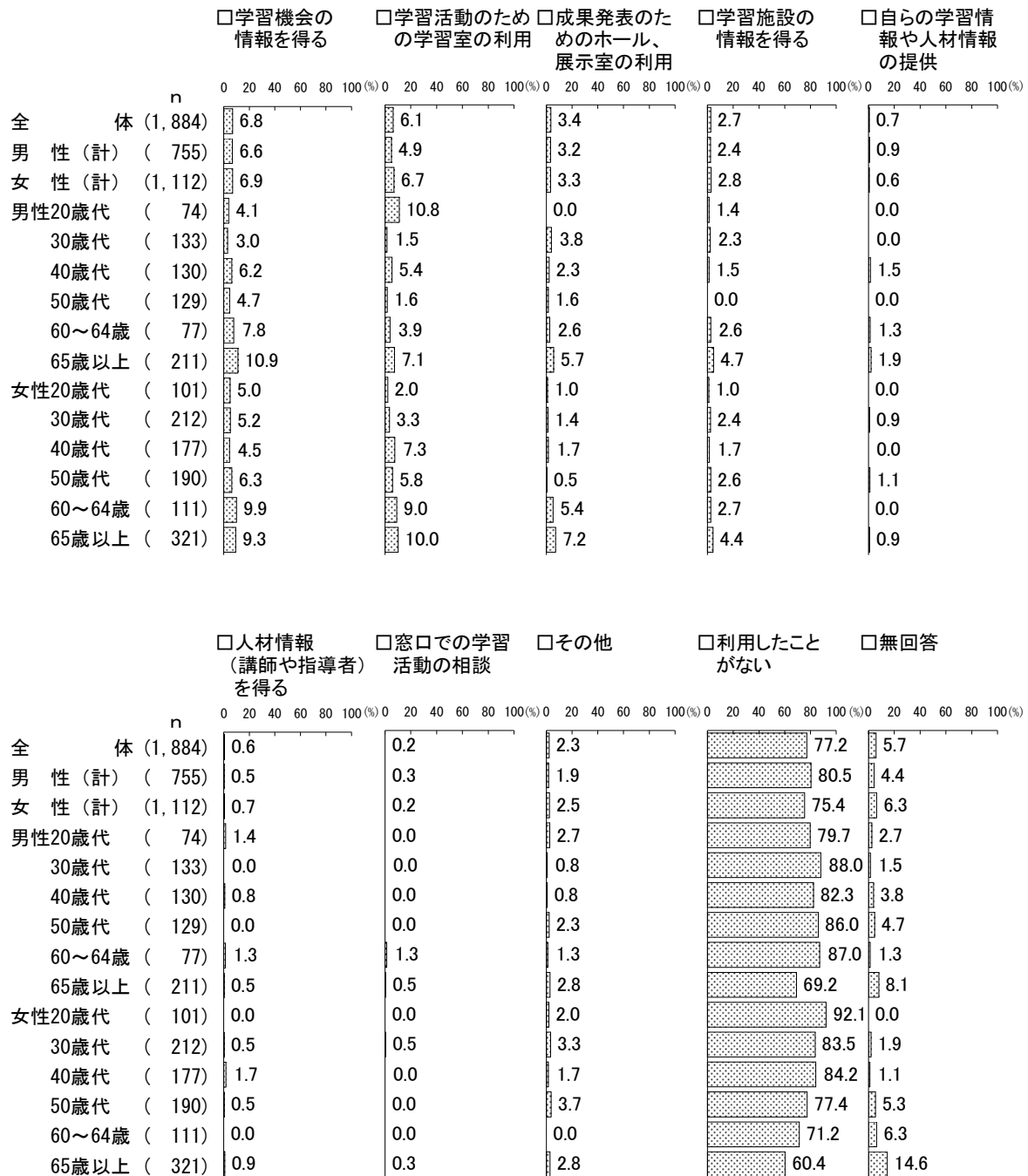
図4-10-1



生涯学習センターの利用目的について聞いたところ、利用したことがある人のうち「学習機会の情報を得る」（6.8%）、「学習活動のための学習室の利用」（6.1%）が高くなっているが、いずれも1割に満たない。一方「利用したことがない」は8割弱（77.2%）と突出して高くなっている。

（図4-10-1）

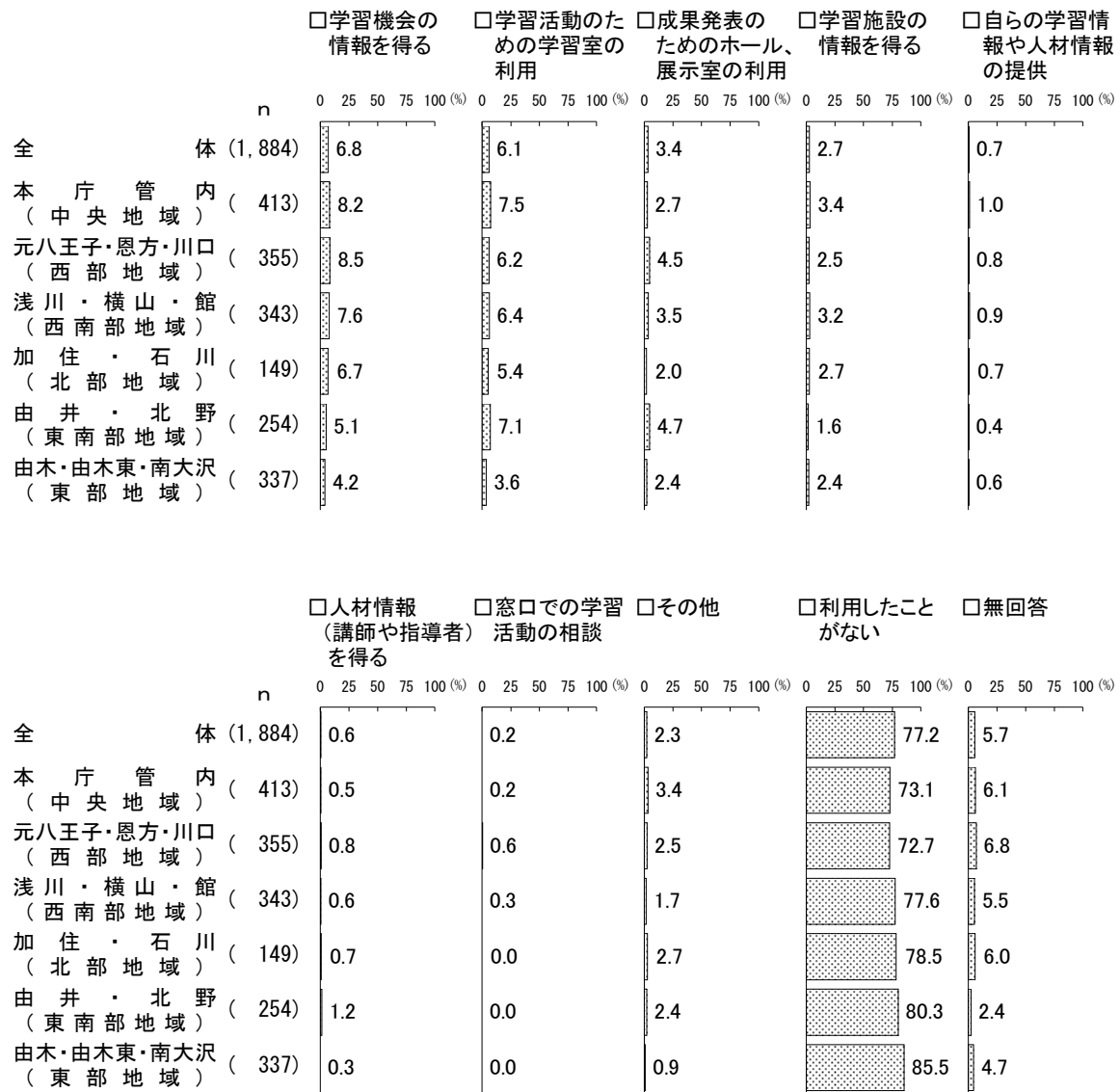
図 4-10-2 生涯学習センターの利用目的—性別・年齢別



性別にみると、男性のほうが「利用したことがない」で5.1ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、男女ともすべての年齢層で「利用したことがない」の割合が最も高くなっているが、男女とも65歳以上では6割台と比較的低くなっている。(図 4-10-2)

図 4-10-3 生涯学習センターの利用目的—居住地域別



居住地域別にみると、どの地域でも「利用したことがない」が最も高い割合となっており、なかでも由木・由木東・南大沢（東部地域）と由井・北野（東南部地域）は8割以上と他の地域に比べ、高くなっている。（図 4-10-3）

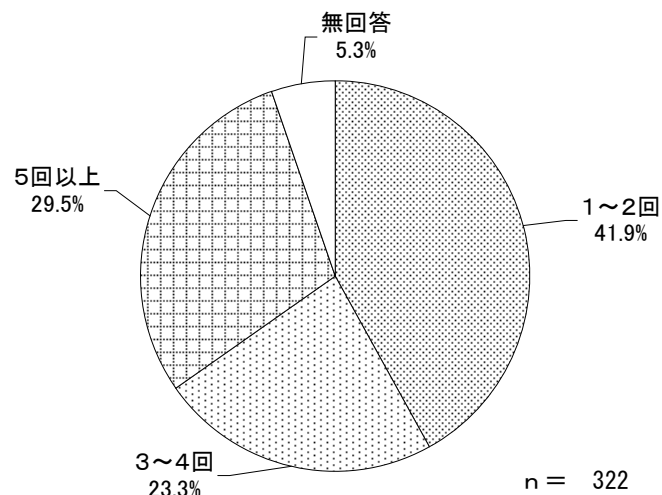
4-11 生涯学習センターの利用頻度

◇「1～2回」が4割強

(問9で「1」～「8」のいずれかにお答えの方に)

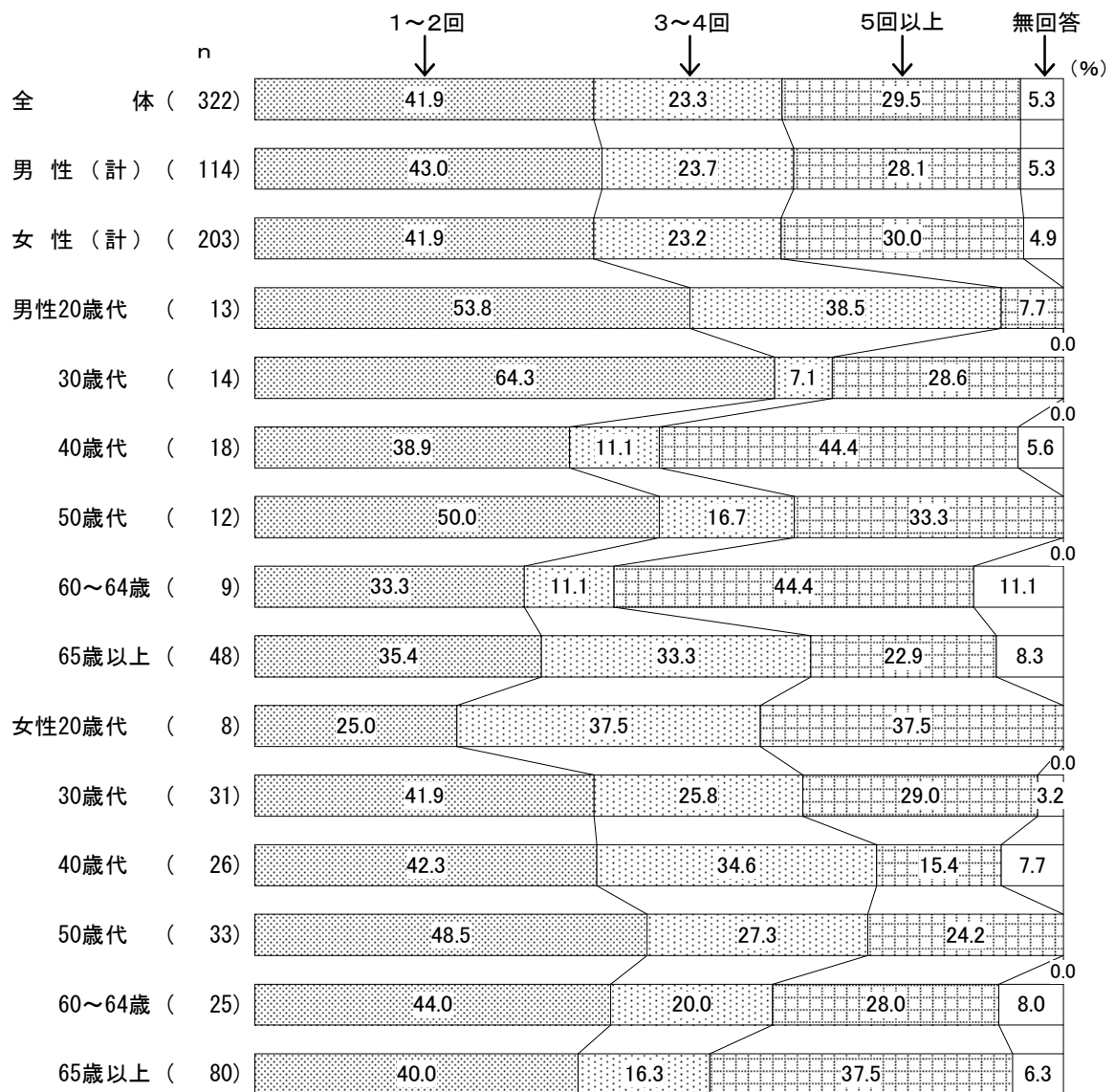
問9-1 過去1年間で何回位利用しましたか。(○は1つだけ)

図4-11-1



この1年間に生涯学習センターを利用した人(322人)に、生涯学習センターの利用頻度について聞いたところ、「1～2回」が4割強(41.9%)と最も高く、ついで「5回以上」(29.5%)、「3～4回」(23.3%)の順となっている。(図4-11-1)

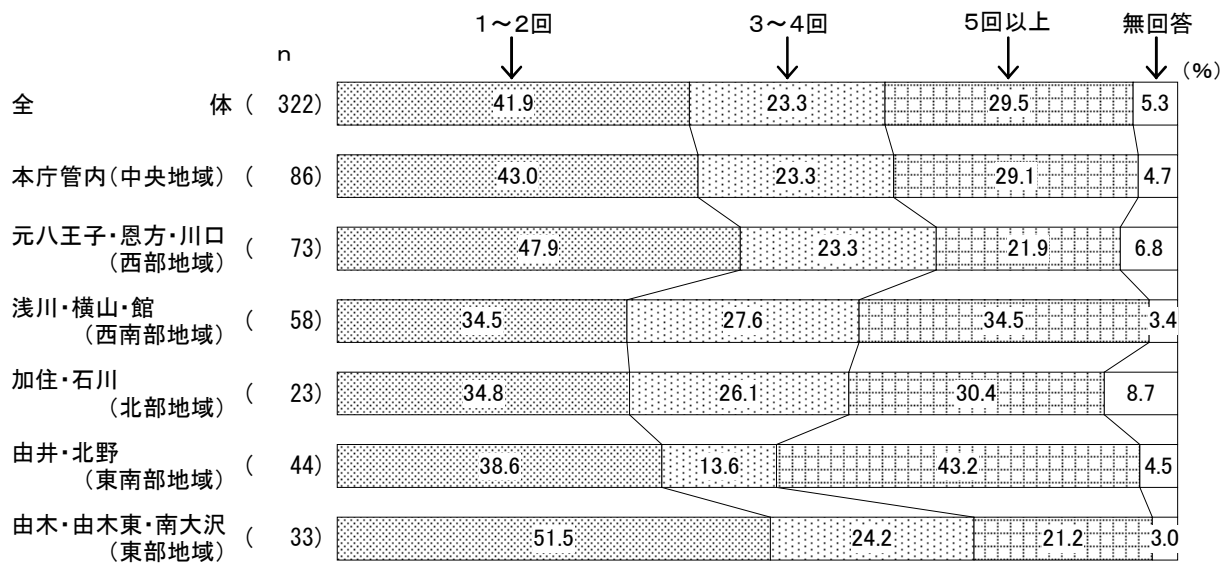
図 4-11-2 生涯学習センターの利用頻度－性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

性・年齢別にみると、「1~2回」は男性の30歳代で6割台半ば（64.3%）と最も高くなっている。
（図 4-11-2）

図 4-11-3 生涯学習センターの利用頻度－居住地域別



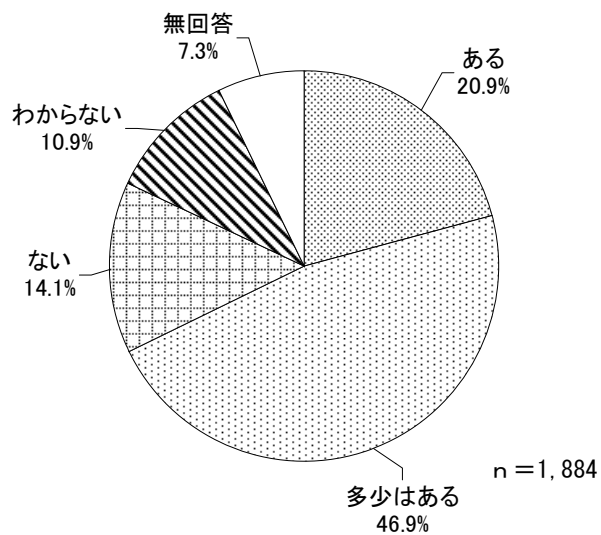
居住地域別にみると、由木・由木東・南大沢（東部地域）では「1～2回」が5割強（51.5%）と最も高く、由井・北野（東南部地域）は「5回以上」で4割強（43.2%）と他の地域に比べて高くなっている。（図 4-11-3）

4-12 生涯学習に対する関心度

◇『ある』が7割弱

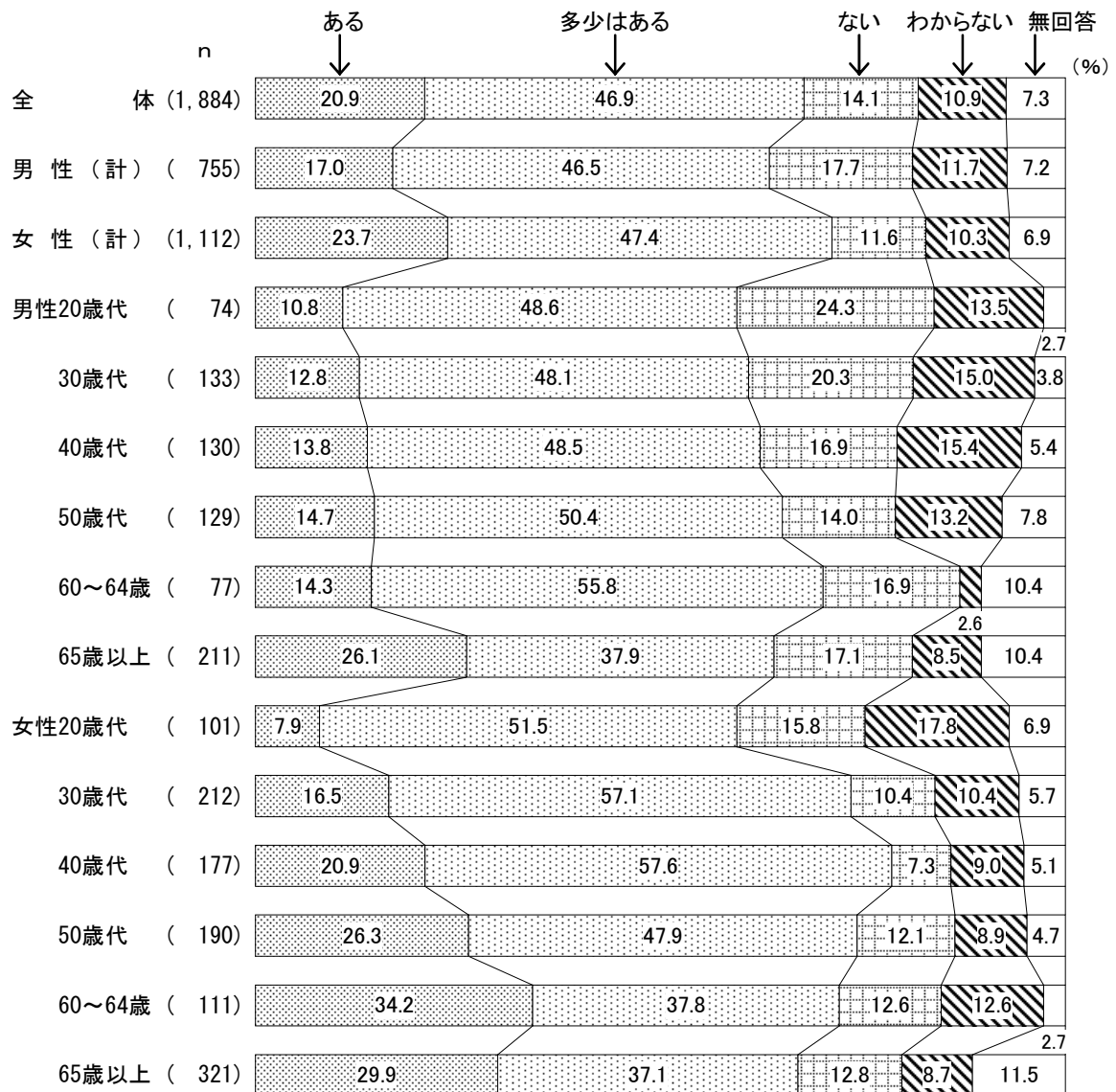
問10 あなたは、生涯学習に関する講座や教室に関心がありますか。(○は1つだけ)

図4-12-1



生涯学習に対する関心度について聞いたところ、「多少はある」が4割台半ば（46.9%）と最も高くなっており、「ある」（20.9%）と合わせた『ある』は7割弱（67.8%）を占めている。一方、「ない」は1割台半ば（14.1%）にとどまっている。（図4-12-1）

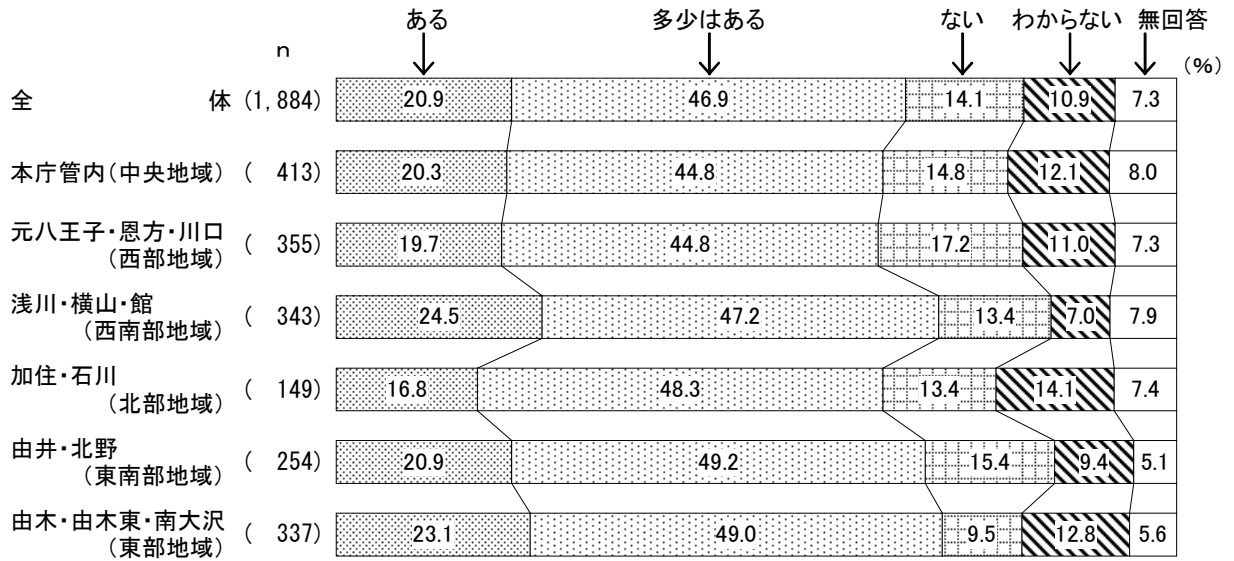
図4-12-2 生涯学習に対する関心度—性別・年齢別



性別にみると、女性のほうが『ある』で男性よりも7.6ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「ある」は女性の65歳以上を除き、概ね年齢が高くなるほど割合が高くなっている。特に女性の60～64歳で3割台半ば（34.2%）と最も高い割合となっている。（図4-12-2）

図 4-12-3 生涯学習に対する関心度－居住地域別



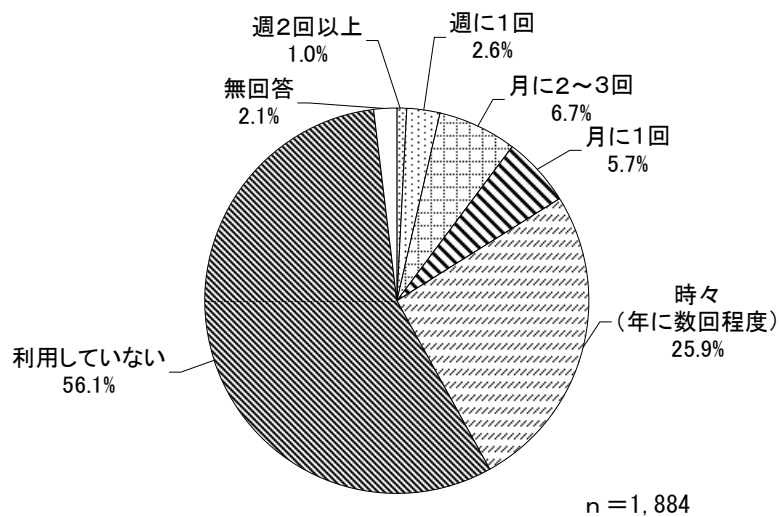
居住地域別にみると、浅川・横山・館（西南部地域）で「ある」が２割台半ば（24.5%）と他の地域に比べ高くなっている。（図 4-12-3）

4-13 図書館の利用頻度

◇「利用していない」が5割台半ば

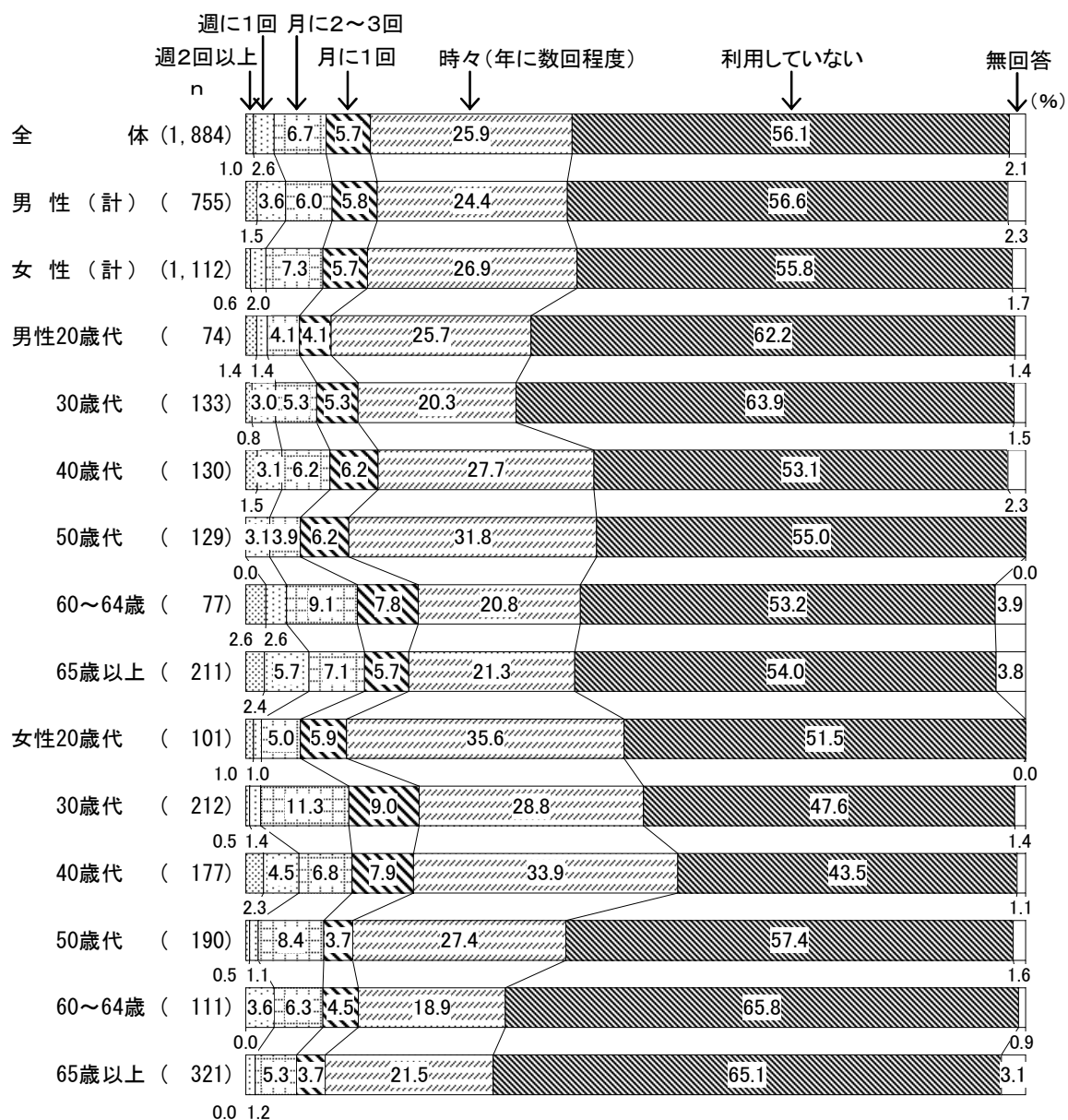
問11 あなたは、図書館をどの程度利用していますか。(○は1つだけ)

図4-13-1



図書館の利用頻度について聞いたところ、利用しているなかでは「時々 (年に数回程度)」が2割台半ば (25.9%) と突出して高くなっている。一方「利用していない」は5割台半ば (56.1%) と半数を超えている。(図4-13-1)

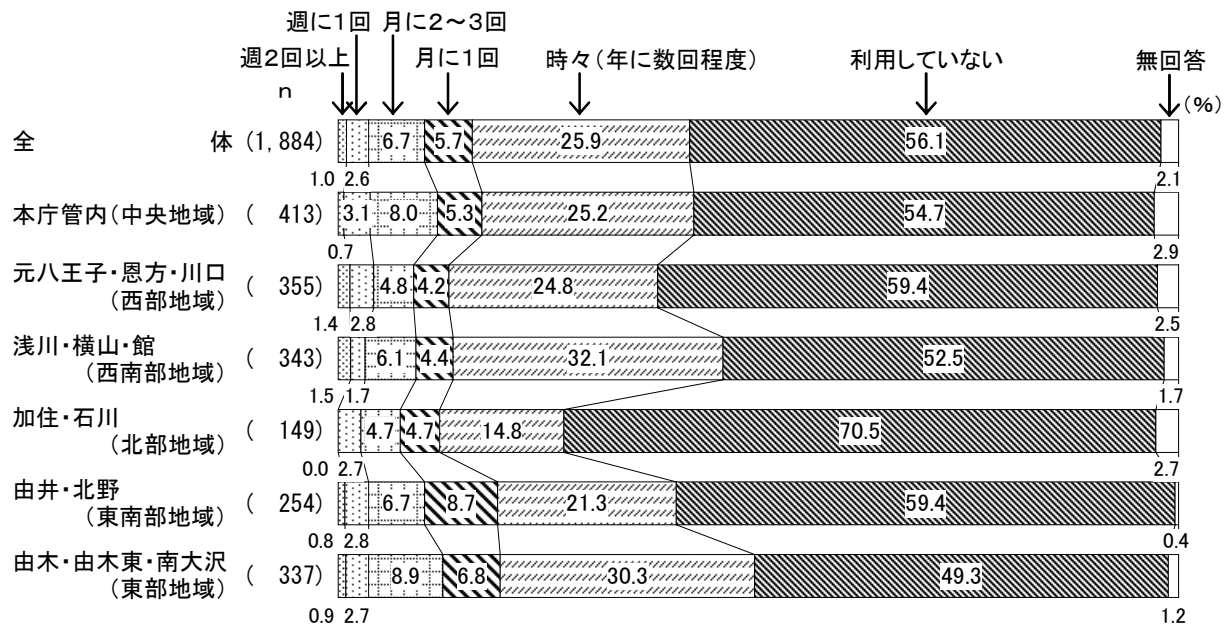
図 4-13-2 図書館の利用頻度－性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

性・年齢別にみると、女性の30歳代・40歳代で「利用していない」が4割台と比較的低くなっている。(図 4-13-2)

図 4-13-3 図書館の利用頻度－居住地域別



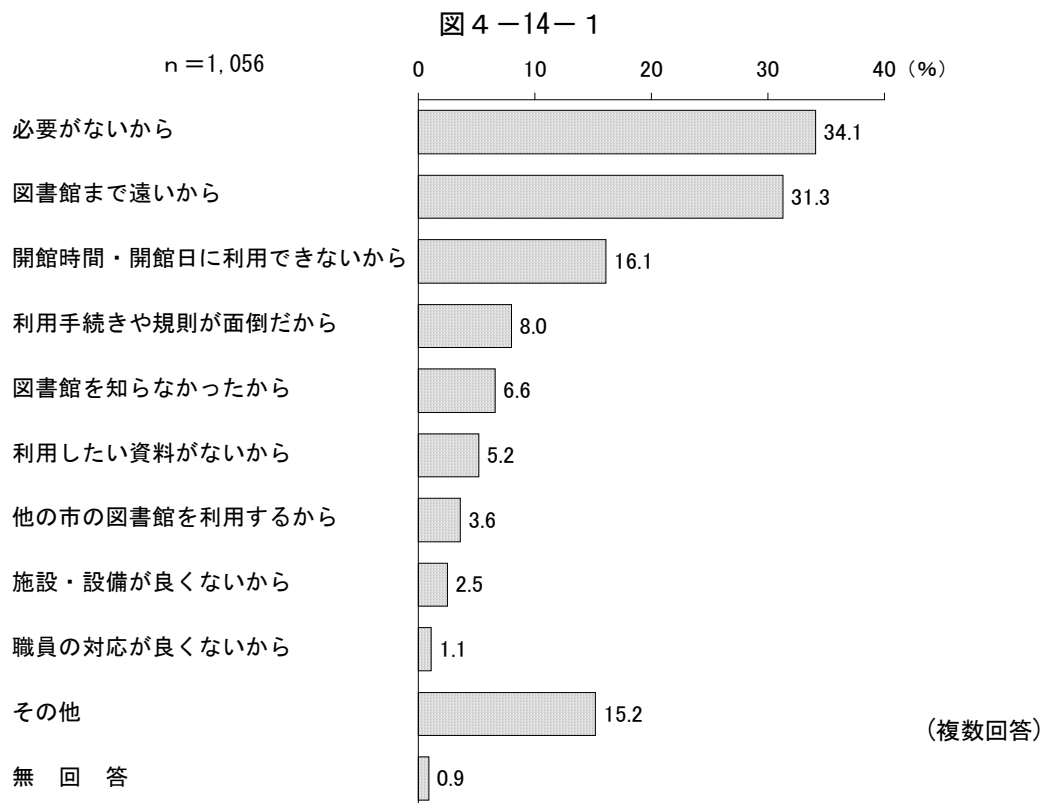
居住地域別にみると、「利用していない」が加住・石川（北部地域）で約7割（70.5%）と他の地域と比較して高くなっている。（図 4-13-3）

4-14 図書館を利用していない理由

◇「必要がないから」と「図書館まで遠いから」の2項目が3割以上

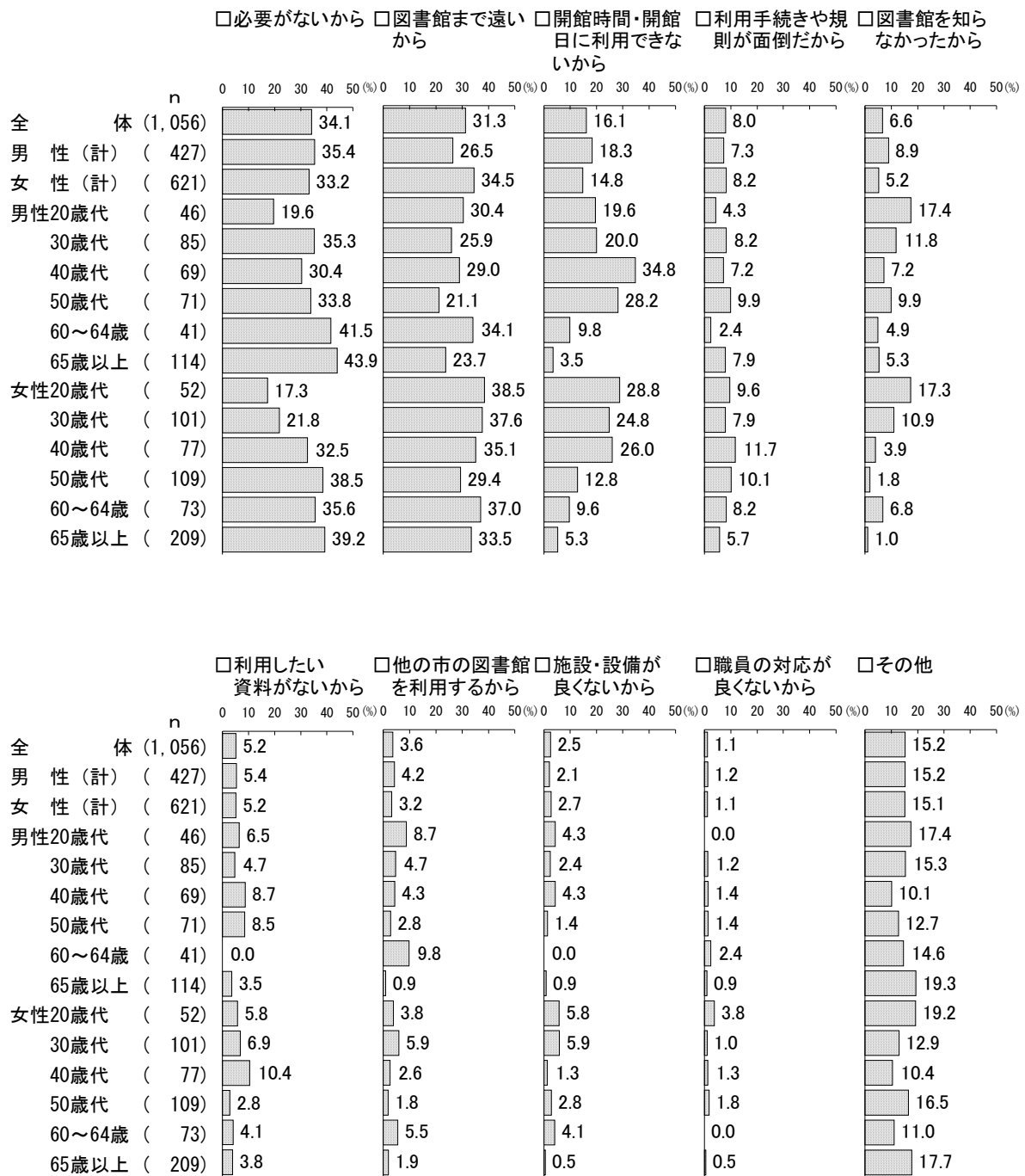
(問11で「利用していない」とお答えの方に)とお答えの方に)

問11-1 図書館を利用しない理由は何ですか。(○は3つまで)



図書館の利用頻度で「利用していない」と答えた人(1,056人)に、図書館を利用していない理由について聞いたところ、「必要がないから」(34.1%)と「図書館まで遠いから」(31.3%)の2項目が3割以上で高くなっている。ついで「開館時間・開館日に利用できないから」(16.1%)、「利用手続きや規則が面倒だから」(8.0%)の順で続いている。(図4-14-1)

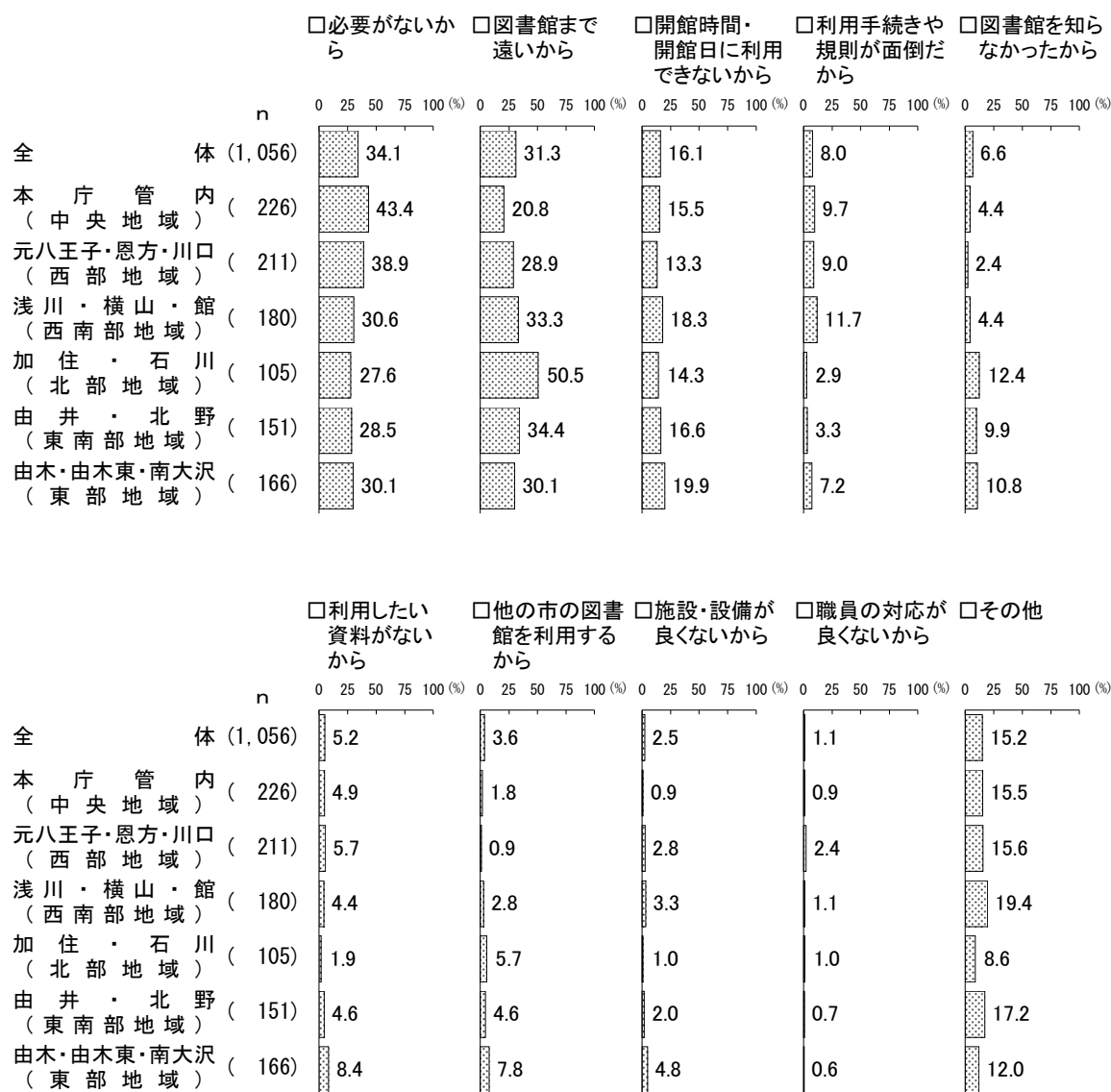
図 4-14-2 図書館を利用していない理由－性別・年齢別



性別にみると、男性のほうが「図書館を知らなかったから」で3.7ポイント、「開館時間・開館日に利用できないから」で3.5ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「必要がないから」は男性の60歳以上では4割強を占め、比較的高い割合となっている。「開館時間・開館日に利用できないから」では、男性の40歳代で3割台半ば（34.8%）と最も高く、「図書館を知らなかったから」は男女とも20歳代で1割台半ばと、他の年齢層と比較して高い割合となっている。（図 4-14-2）

図 4-14-3 図書館を利用していない理由—居住地域別



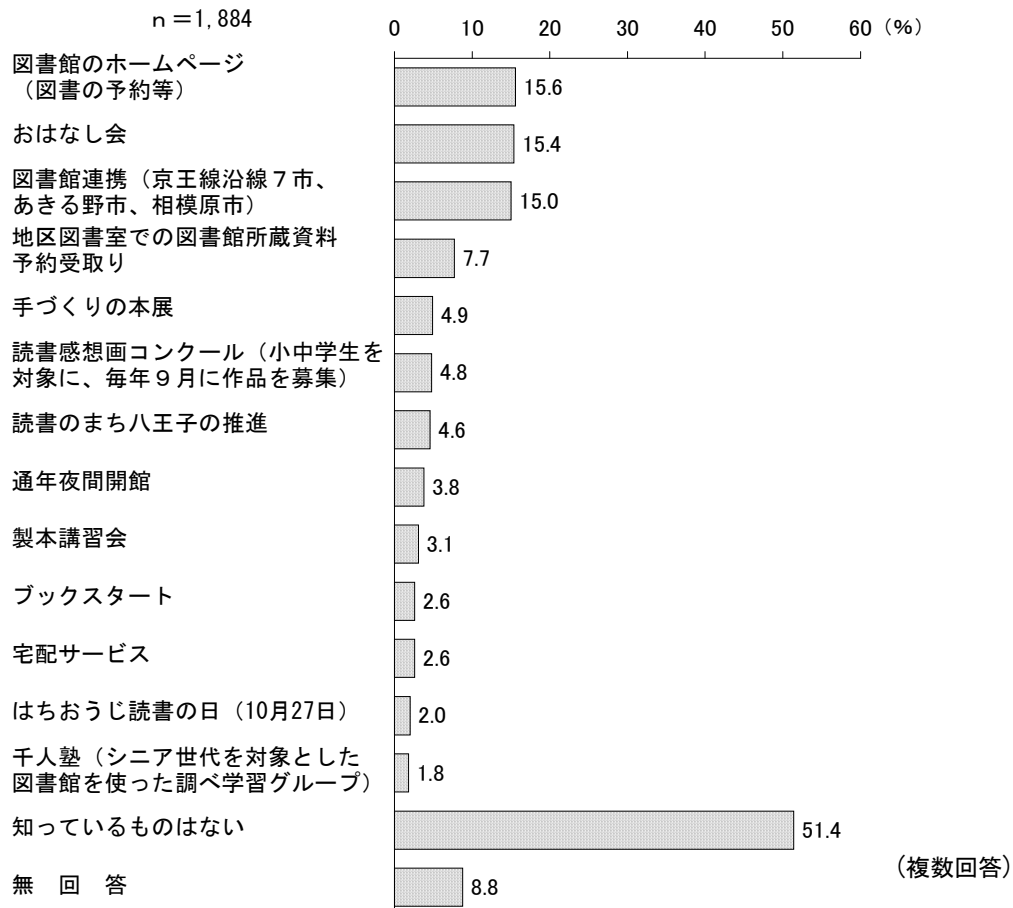
居住地域別にみると、「図書館まで遠いから」では加住・石川（北部地域）が約 5 割（50.5%）と最も高く、本庁管内（中央地域）が約 2 割（20.8%）と最も低くなっている。（図 4-14-3）

4-15 図書館の活動・サービスの認知度

◇「図書館のホームページ（図書の予約等）」「おはなし会」「図書館連携（京王線沿線7市、あきる野市、相模原市）」が1割台半ば

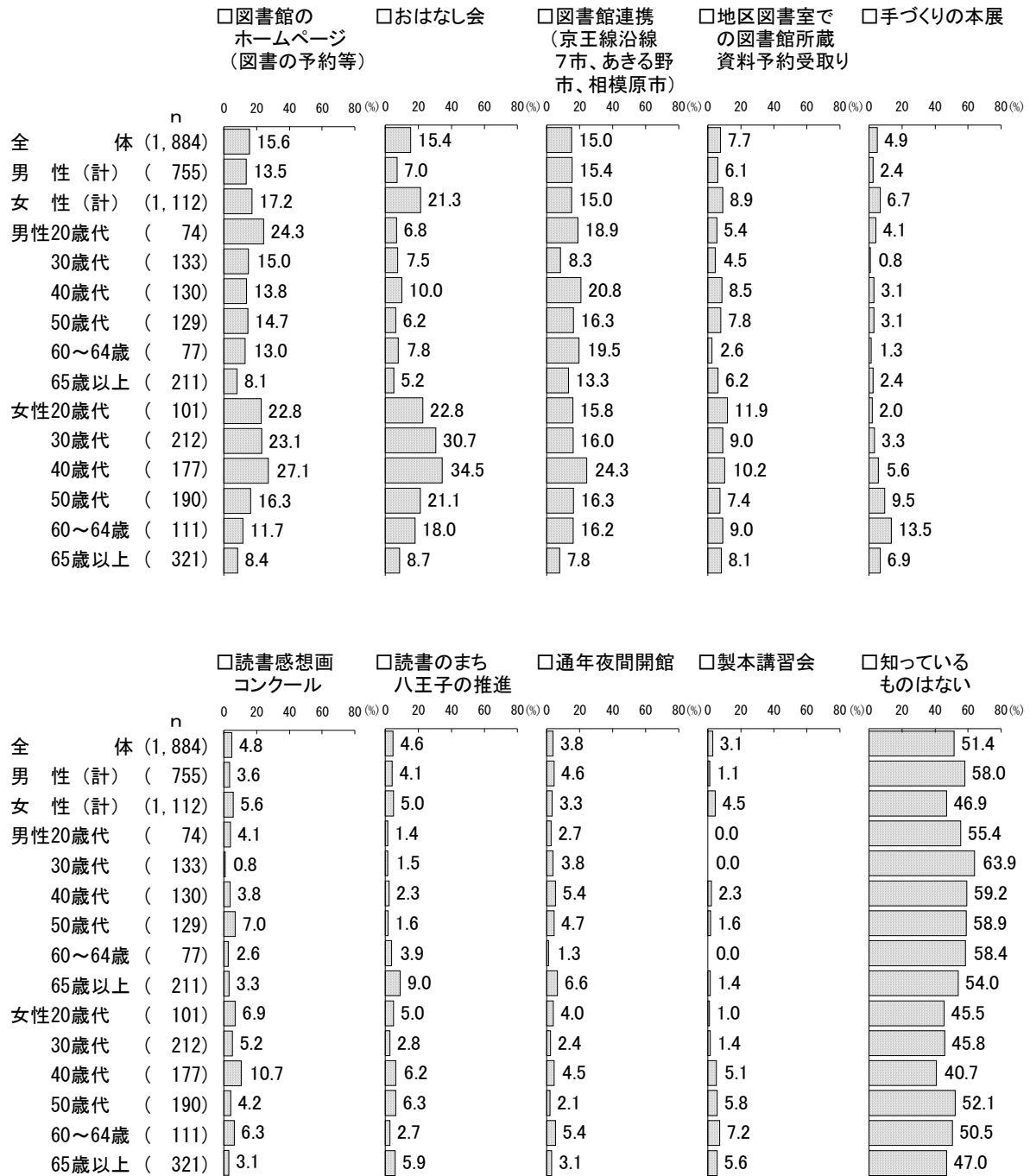
問12 図書館に関する項目の中で、ご存知のものはありますか。（○はいくつでも）

図4-15-1



図書館の活動・サービスの認知度について聞いたところ、「図書館のホームページ（図書の予約等）」（15.6%）と「おはなし会」（15.4%）、「図書館連携（京王線沿線7市、あきる野市、相模原市）」（15.0%）がいずれも1割台半ばとなり、上位3項目となっている。一方「知っているものはない」は5割強（51.4%）と半数を超えている。（図4-15-1）

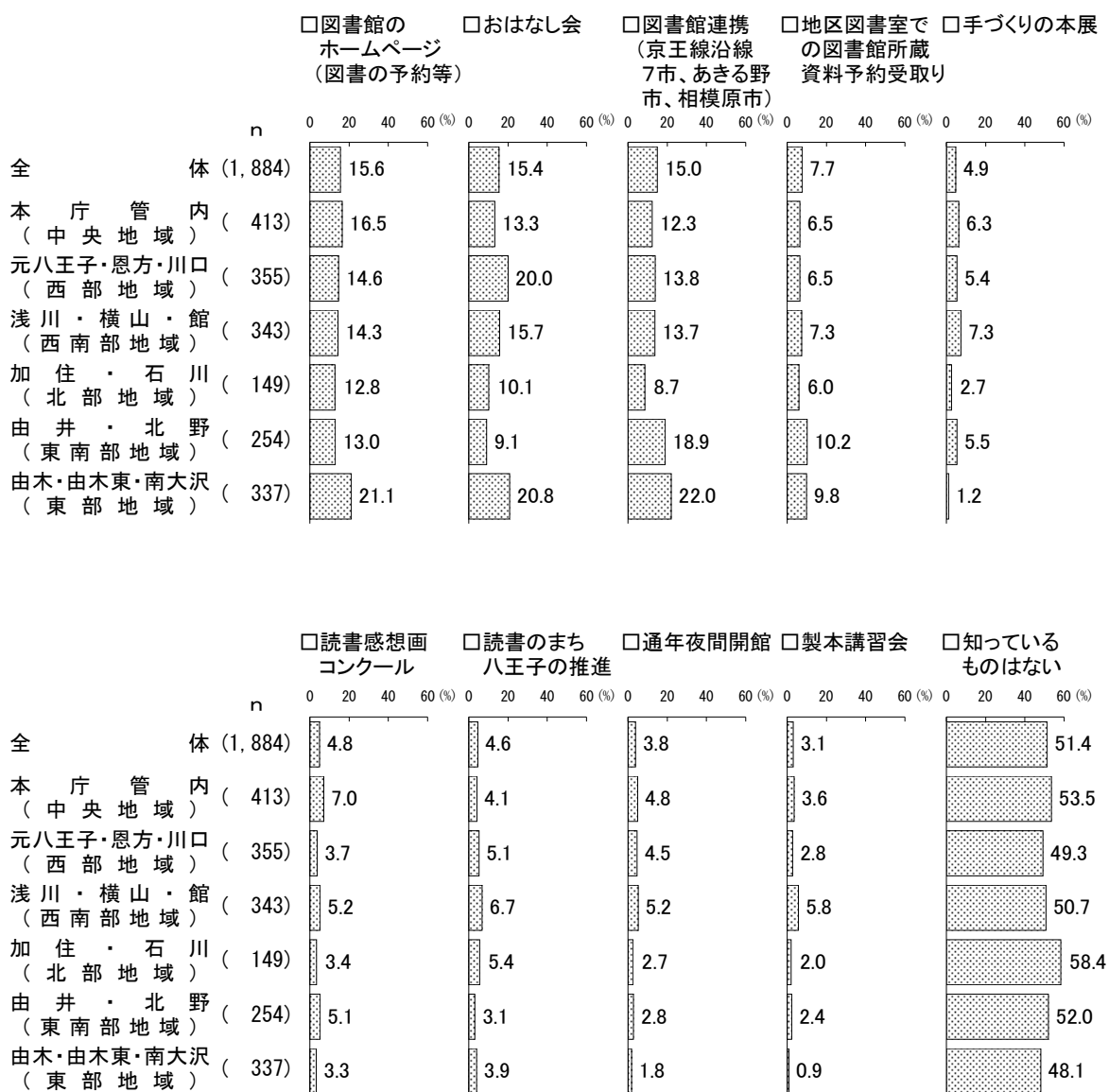
図4-15-2 図書館の活動・サービスの認知度－性別・年齢別



性別にみると、男性のほうが「知っているものはない」で11.1ポイント、女性のほうが「おはなし会」で14.3ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「図書館のホームページ（図書の予約等）」では、男性の20歳代と女性の20歳～40歳代で2割以上と高くなっている。「おはなし会」は、女性の30歳代・40歳代で3割以上と他の年齢層と比較して高くなっている。（図4-15-2）

図 4-15-3 図書館の活動・サービスの認知度－居住地域別



居住地域別にみると、「おはなし会」は由木・由木東・南大沢（東部地域）と元八王子・恩方・川口（西部地域）で約2割と認知度が比較的高くなっている。また、「図書館連携（京王線沿線7市、あきる野市、相模原市）」では、由木・由木東・南大沢（東部地域）が2割強（22.0%）と他の地域に比べ高い割合となっている。（図4-15-3）

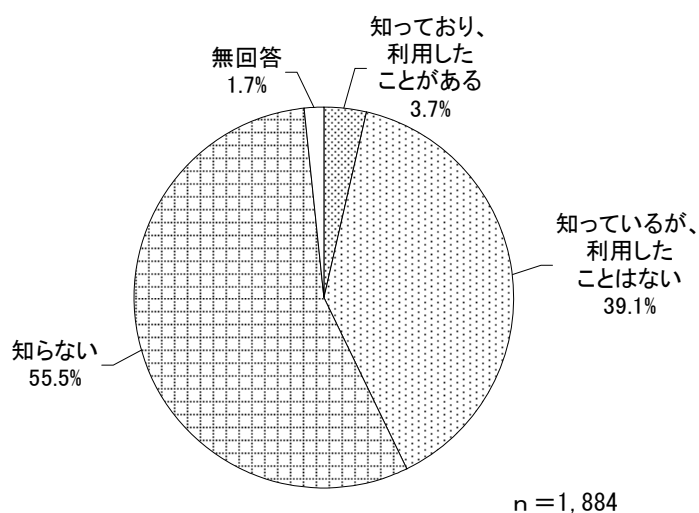
5. 地上デジタル等について

5-1 市ホームページの防災に関する情報の利用状況

◇『知っている』が4割強

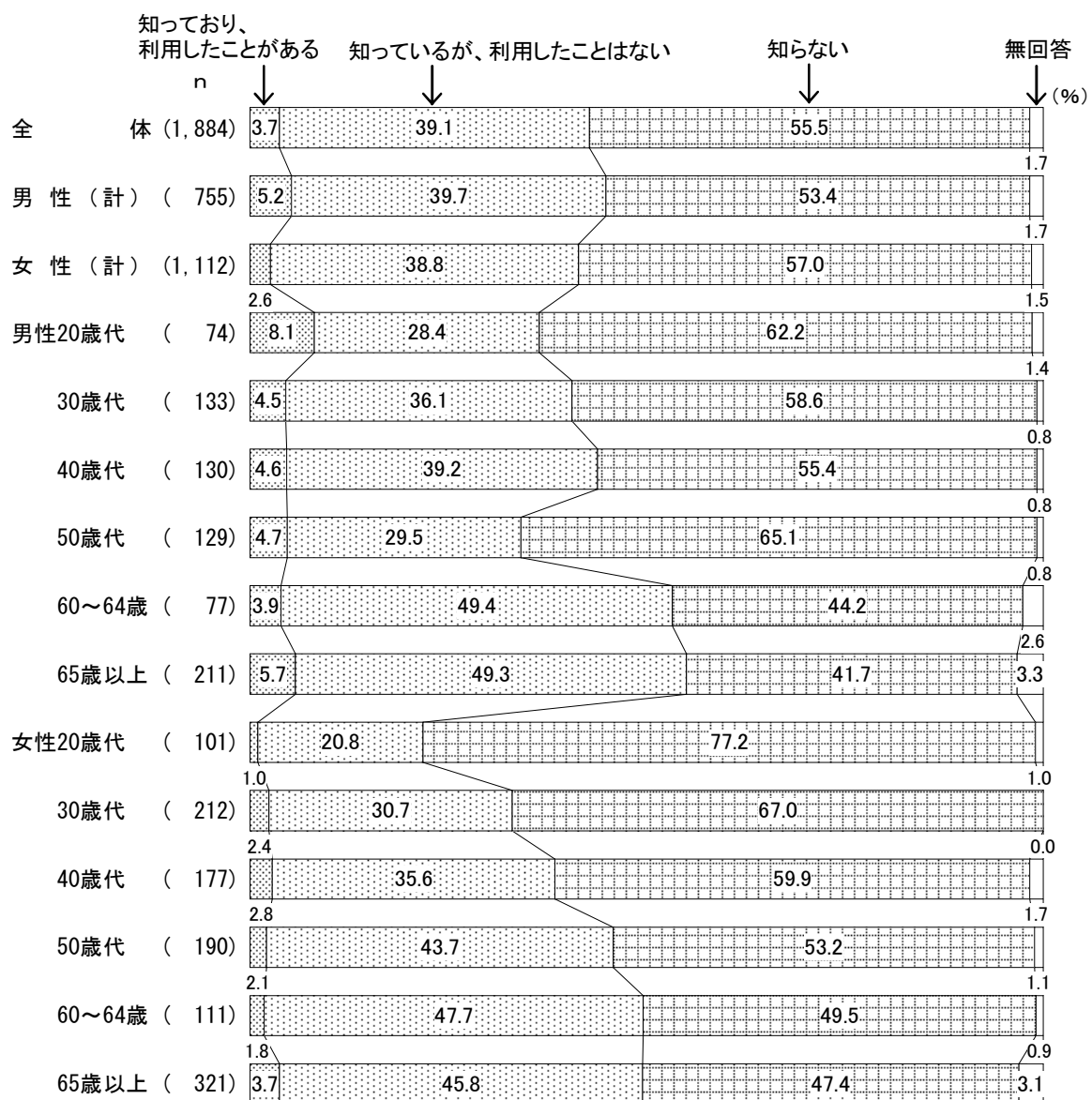
問13 あなたは、市のホームページなどで防災マップ等の防災に関する情報を提供していることを知っていますか。(○は1つだけ)

図5-1-1



市ホームページの防災に関する情報の利用状況について聞いたところ、「知っているが、利用したことはない」が4割弱（39.1%）と高く、「知っており、利用したことがある」（3.7%）と合わせた『知っている』は4割強（42.8%）を占めている。一方、「知らない」は5割台半ば（55.5%）となっている。（図5-1-1）

図5－1－2 市ホームページの防災に関する情報の利用状況－性別・年齢別



性別にみると、「知らない」は女性のほうが3.6ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、男性の50歳代を除き、年齢が高くなるほど『知っている』の割合が高くなっている。「知っているが、利用したことはない」は男性の60歳以上と女性の50歳代以上で4割以上となっており、他の年齢層と比べて高い割合となっている。(図5－1－2)

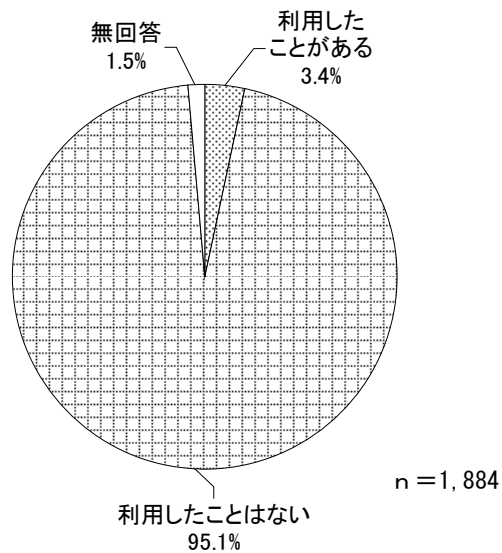
5－2 市の携帯電話版ホームページの利用経験

◇「利用したことはない」が9割台半ばで突出

問14 あなたは、市の携帯電話版ホームページを利用したことがありますか。

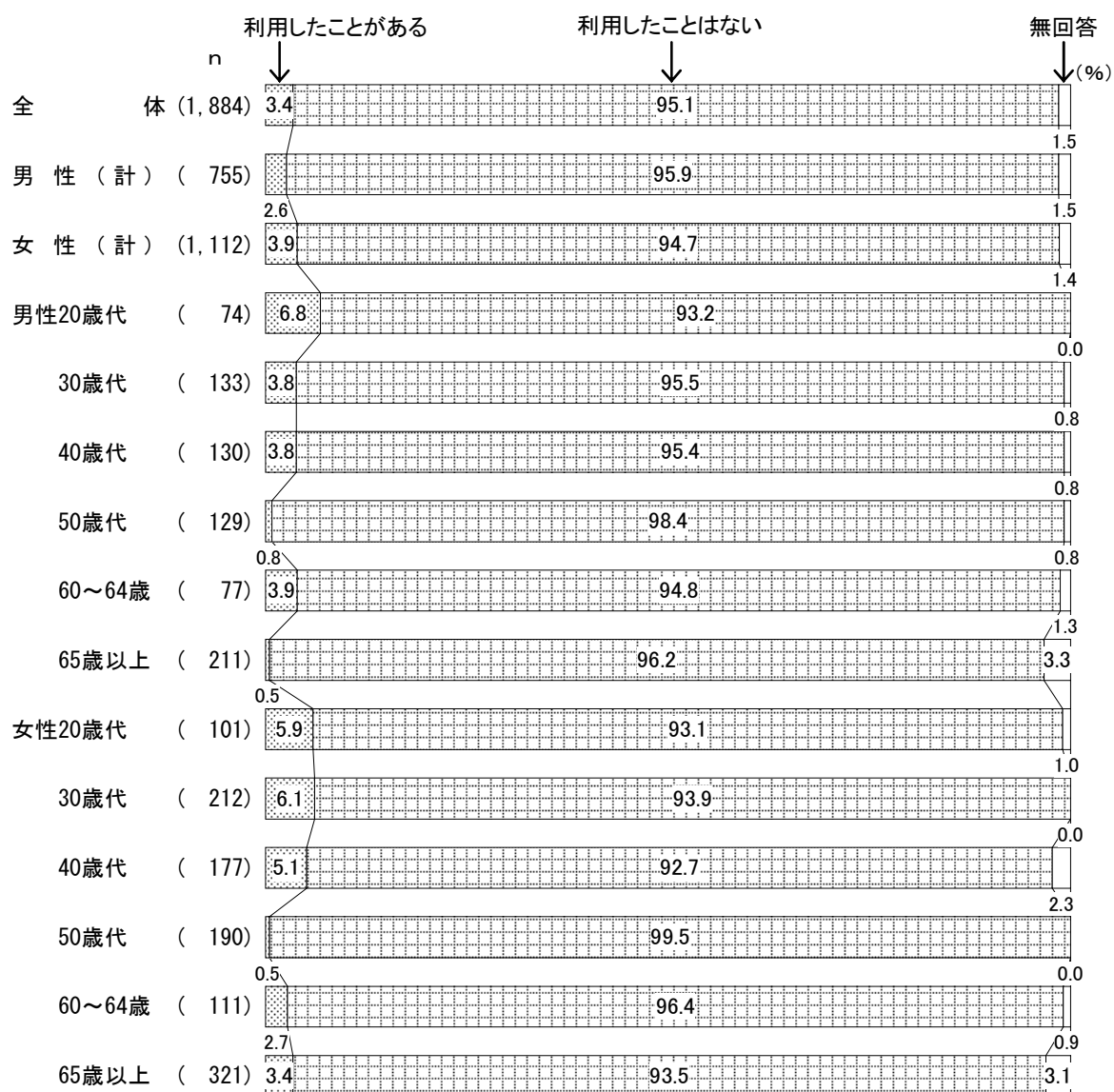
(○は1つだけ)

図5－2－1



市の携帯電話版ホームページの利用経験を聞いたところ、「利用したことはない」が大多数の9割台半ば（95.1%）を占め、「利用したことがある」は1割に満たない。（図5－2－1）

図 5 - 2 - 2 市の携帯電話版ホームページの利用経験－性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

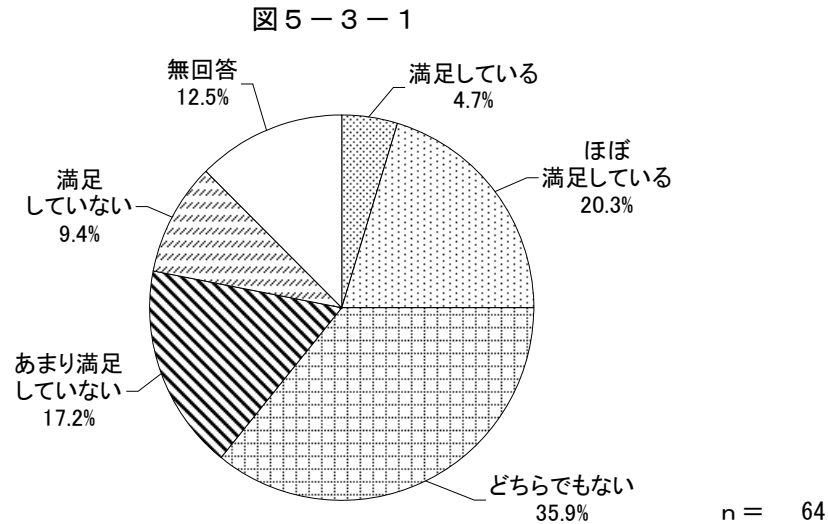
性・年齢別にみると、すべての年齢において「利用したことはない」が9割以上となっている。
(図 5 - 2 - 2)

5-3 市の携帯電話版ホームページの満足度

◇『満足している』が2割台半ば

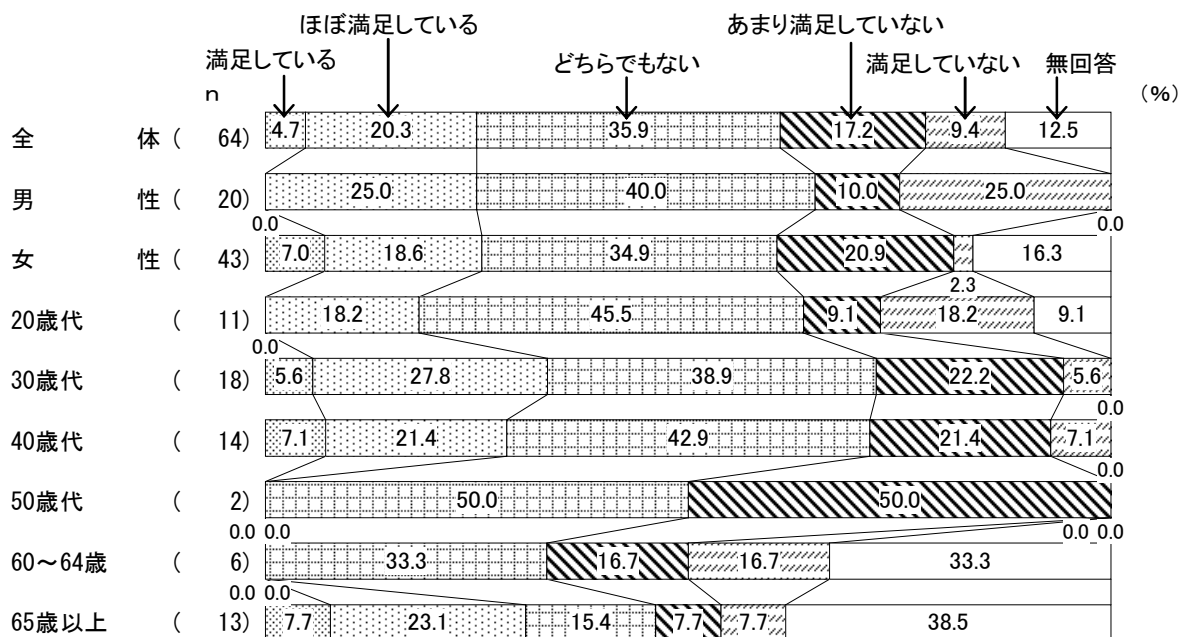
(問14で「利用したことがある」とお答えの方に)

問14-1 あなたは、市の携帯電話版ホームページに満足していますか。(○は1つだけ)



市の携帯電話版ホームページを利用したことがあると回答した人(64人)に市の携帯電話版ホームページの満足度を聞いたところ、「ほぼ満足している」(20.3%)と「満足している」(4.7%)を合わせた『満足している』は2割台半ば(25.0%)となっている。また、「あまり満足していない」(17.2%)と「満足していない」(9.4%)を合わせた『満足していない』についても2割台半ば(26.6%)と拮抗している。(図5-3-1)

図5-3-2 市の携帯電話版ホームページの満足度-性別・年齢別



性別にみると、『満足していない』は男性のほうが11.8ポイント高くなっている。

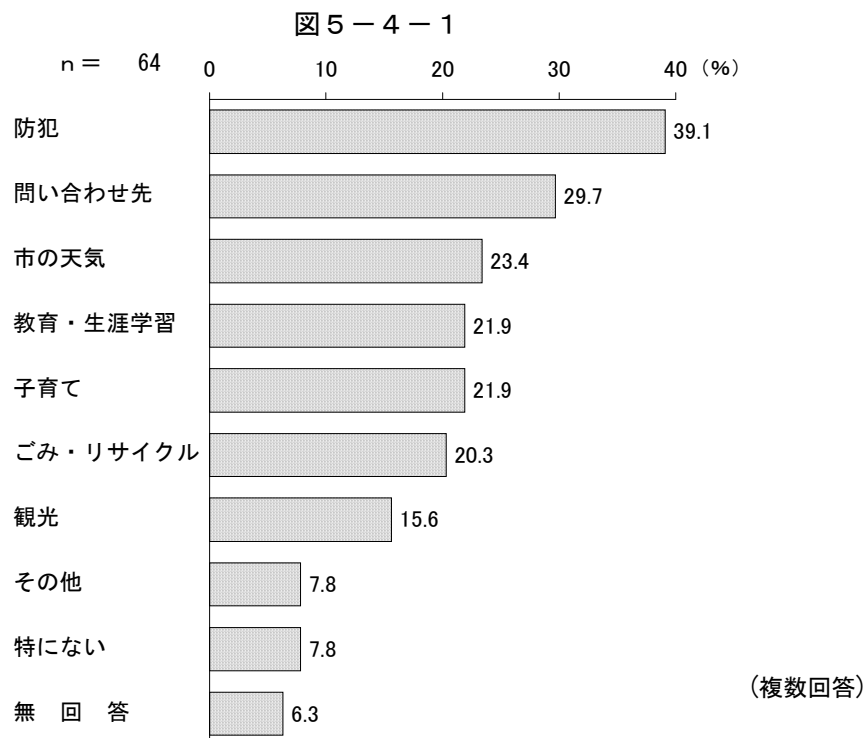
年齢別にみると、『満足している』は30歳代が3割強(33.4%)と最も高い。(図5-3-2)

5－4 市の携帯電話版ホームページで望む情報

◇「防犯」が4割弱

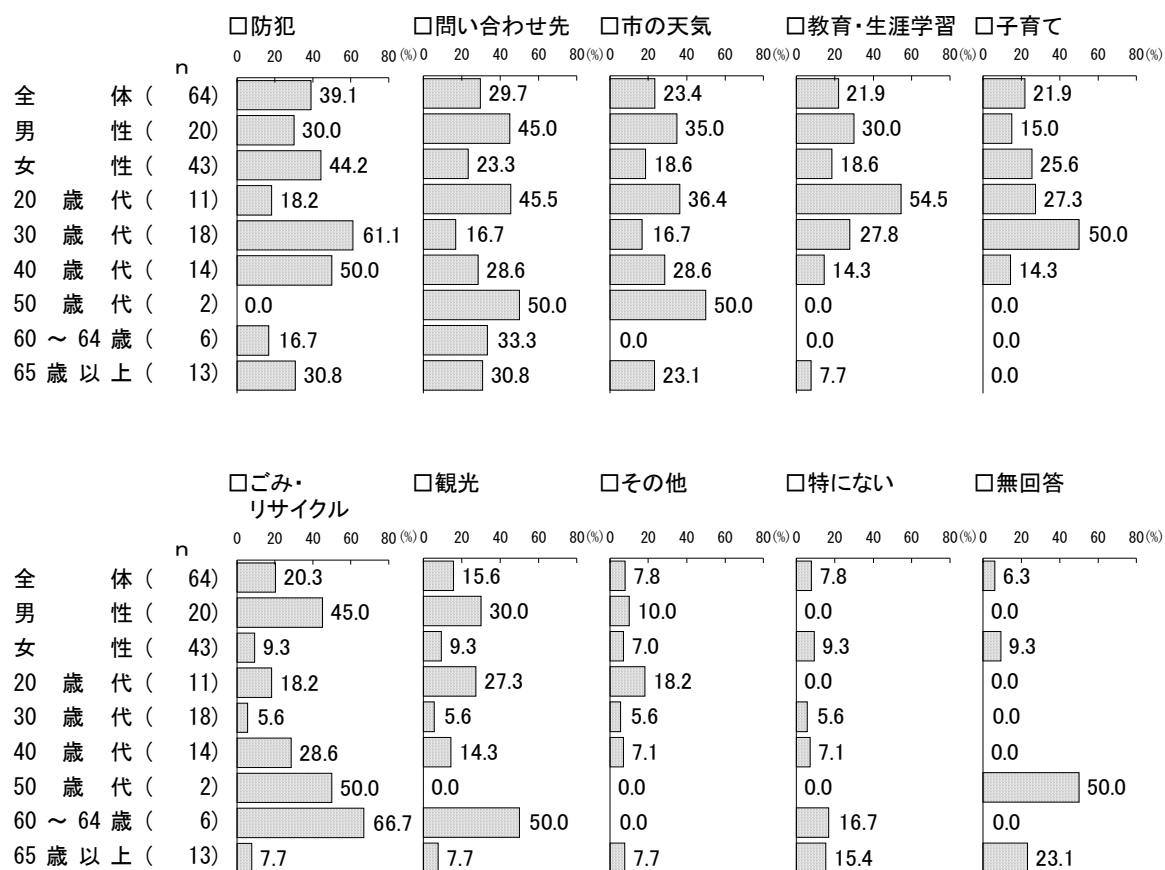
（問14で「利用したことがある」とお答えの方に）

問14－2 あなたは、市の携帯電話版ホームページにどのような情報を充実させてほしいですか。（○はいくつでも）



市の携帯電話版ホームページを利用したことがあると答えた人（64人）に市の携帯電話版ホームページにどのような情報を充実させてほしいかを聞いたところ、「防犯」が4割弱（39.1%）と最も高く、ついで「問い合わせ先」（29.7%）、「市の天気」（23.4%）の順で続いている。（図 5－4－1）

図５－４－２ 市の携帯電話版ホームページで望む情報－性別・年齢別



性別にみると、男性のほうが「ごみ・リサイクル」で35.7ポイント、「観光」で20.7ポイント高くなっており、女性では「防犯」で14.2ポイント、「子育て」で10.6ポイント男性より高くなっている。

年齢別にみると、「防犯」は30歳代と40歳代で半数以上の高い割合となっているほか、「教育・生涯学習」で20歳代が5割台半ば（54.5%）と、他の年齢層と比較して最も高い割合となっている。

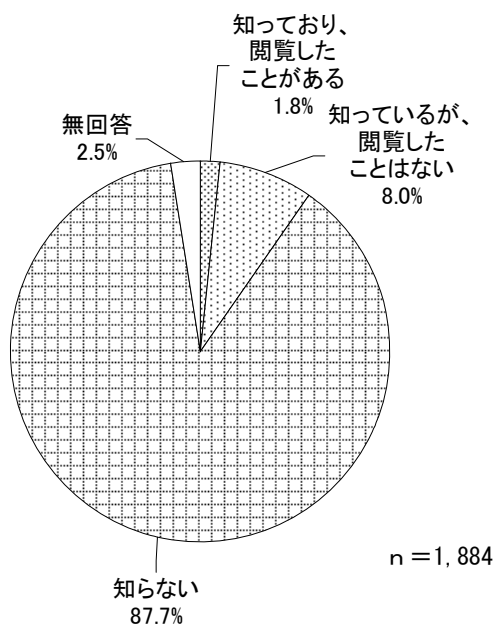
（図５－４－２）

5-5 ホームページ「ハチポ」の利用状況

◇『知っている』は約1割

問15 あなたは、イベント情報や市民が書いた記事などを掲載しているホームページ「ハチポ」を知っていますか。(○は1つだけ)

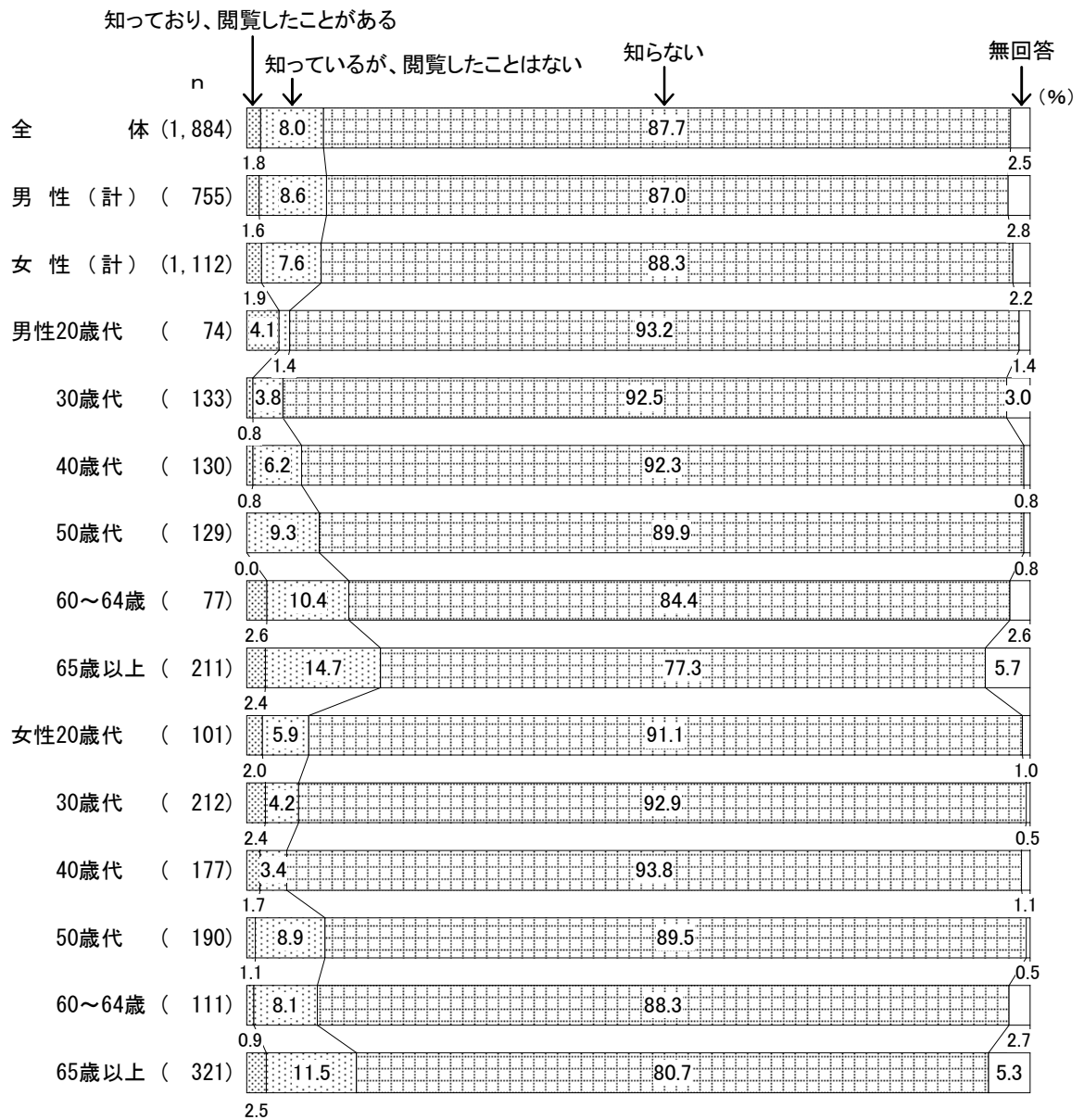
図5-5-1



ホームページ「ハチポ」の利用状況について聞いたところ、「知っているが、閲覧したことはない」(8.0%)と「知っており、閲覧したことがある」(1.8%)を合わせた『知っている』は約1割(9.8%)にとどまっている。一方、「知らない」は8割台半ば(87.7%)を占めている。

(図5-5-1)

図 5-5-2 ホームページ「ハチポ」の利用状況－性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

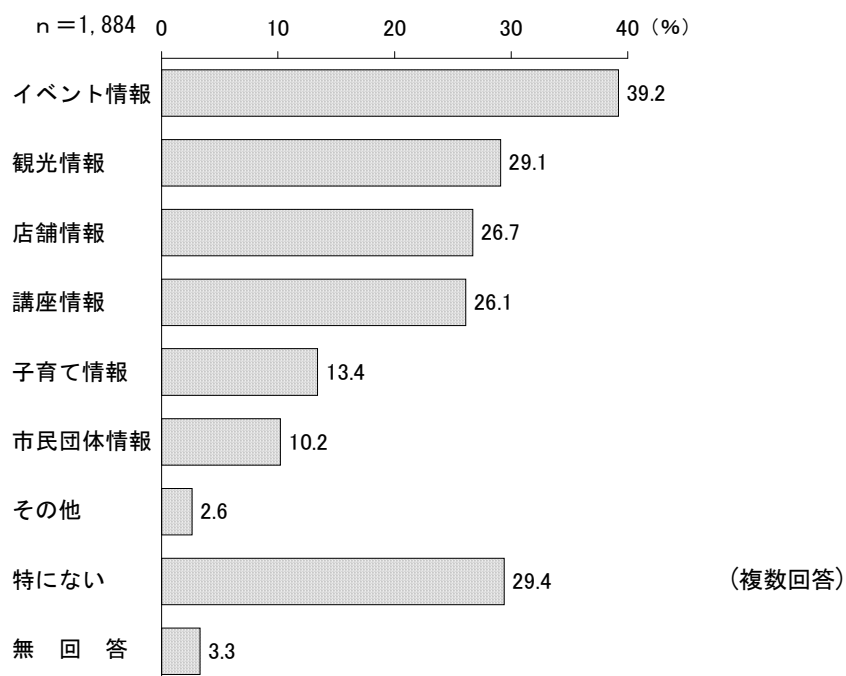
性・年齢別にみると、『知っている』は男性の60歳以上と女性の65歳以上で1割以上となっており、他の年齢層と比べて高い割合となっている。(図5-5-2)

5－6 行政の情報以外に知りたい市内の情報

◇「イベント情報」が4割弱

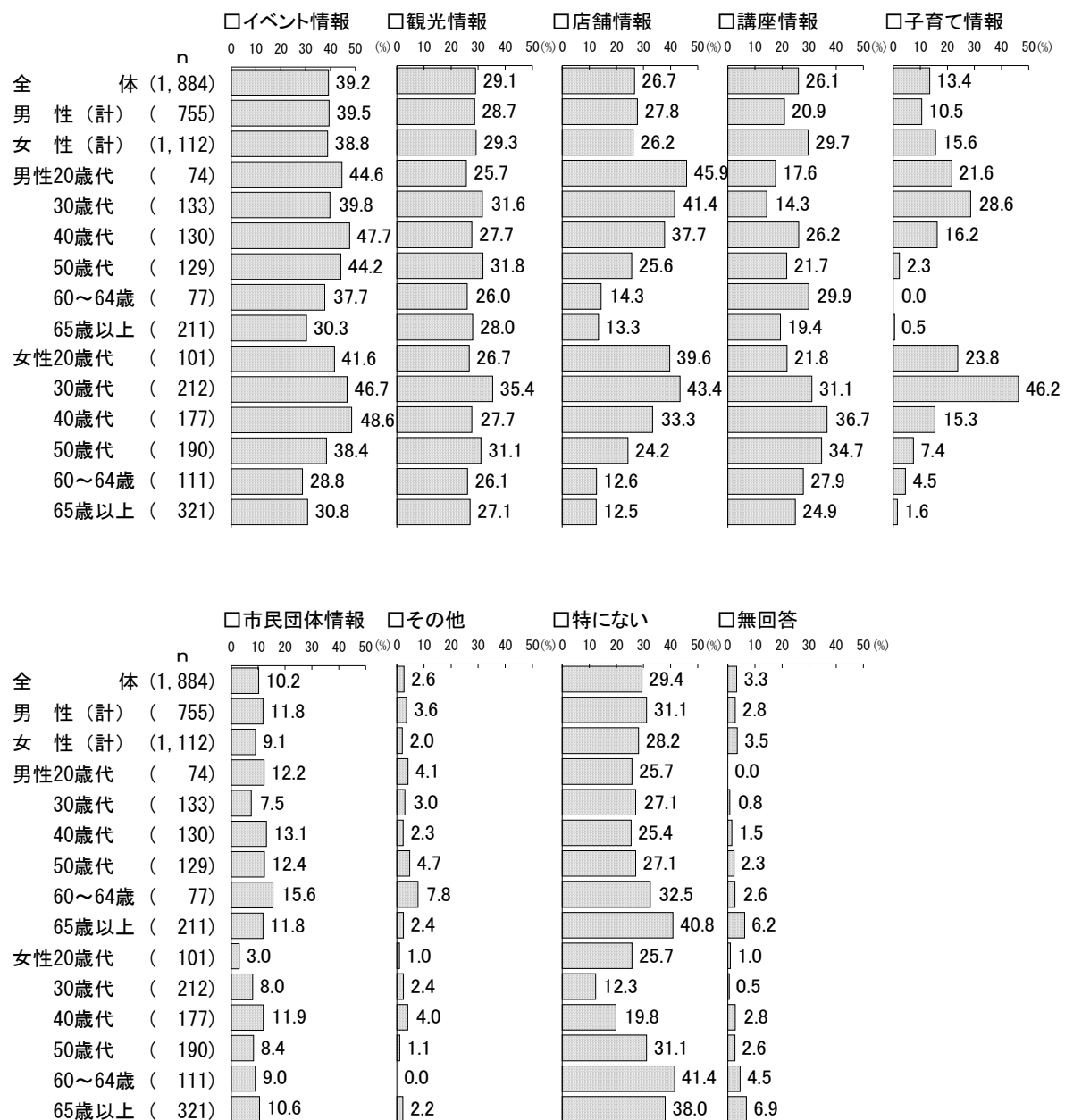
問16 あなたは、行政の情報以外で知りたい八王子市の情報はありますか。（○はいくつでも）

図5－6－1



行政の情報以外に知りたい市内の情報について聞いたところ、「イベント情報」が4割弱（39.2%）と最も高く、ついで「観光情報」（29.1%）、「店舗情報」（26.7%）、「講座情報」（26.1%）の順が続いている。（図5－6－1）

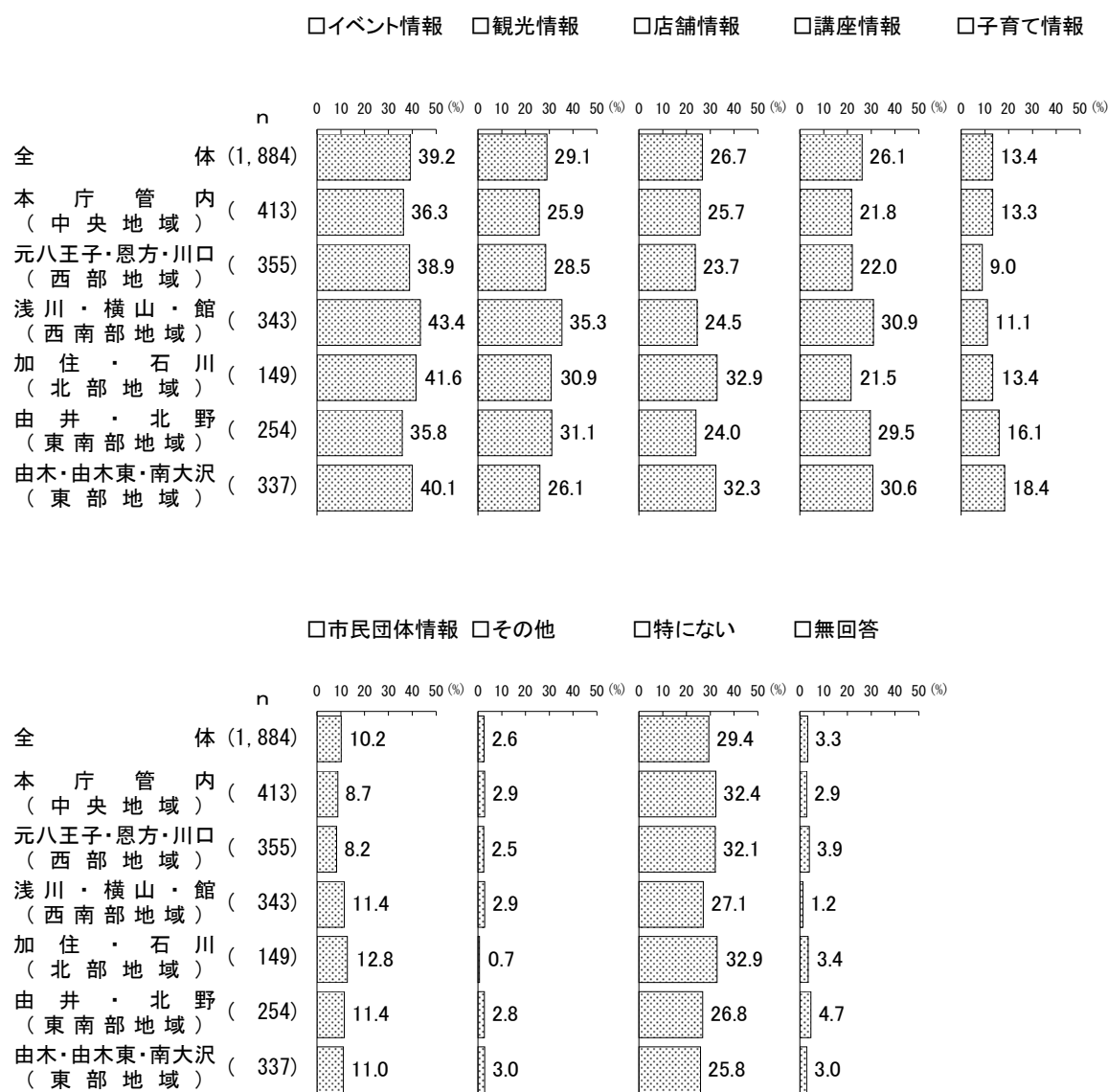
図5-6-2 行政情報以外に知りたい市内の情報－性別・年齢別



性別にみると、女性のほうが「講座情報」が8.8ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「子育て情報」は女性の30歳で4割台半ば（46.2%）と、他の年齢層と比べ突出して高くなっている。また、「店舗情報」では、概ね年齢が高くなるほど割合が低くなる傾向となっている。（図5-6-2）

図5-6-3 行政情報以外に知りたい市内の情報－居住地域別



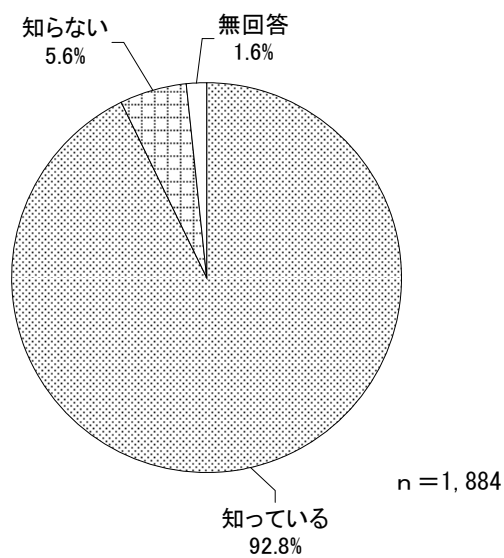
居住地域別にみると、浅川・横山・館（西南部地域）と加住・石川（北部地域）、由木・由木東・南大沢（東部地域）で「イベント情報」が4割以上と高い割合となっている。（図5-6-3）

5－7 地上アナログ放送の終了時期の認知度

◇「知っている」が9割強

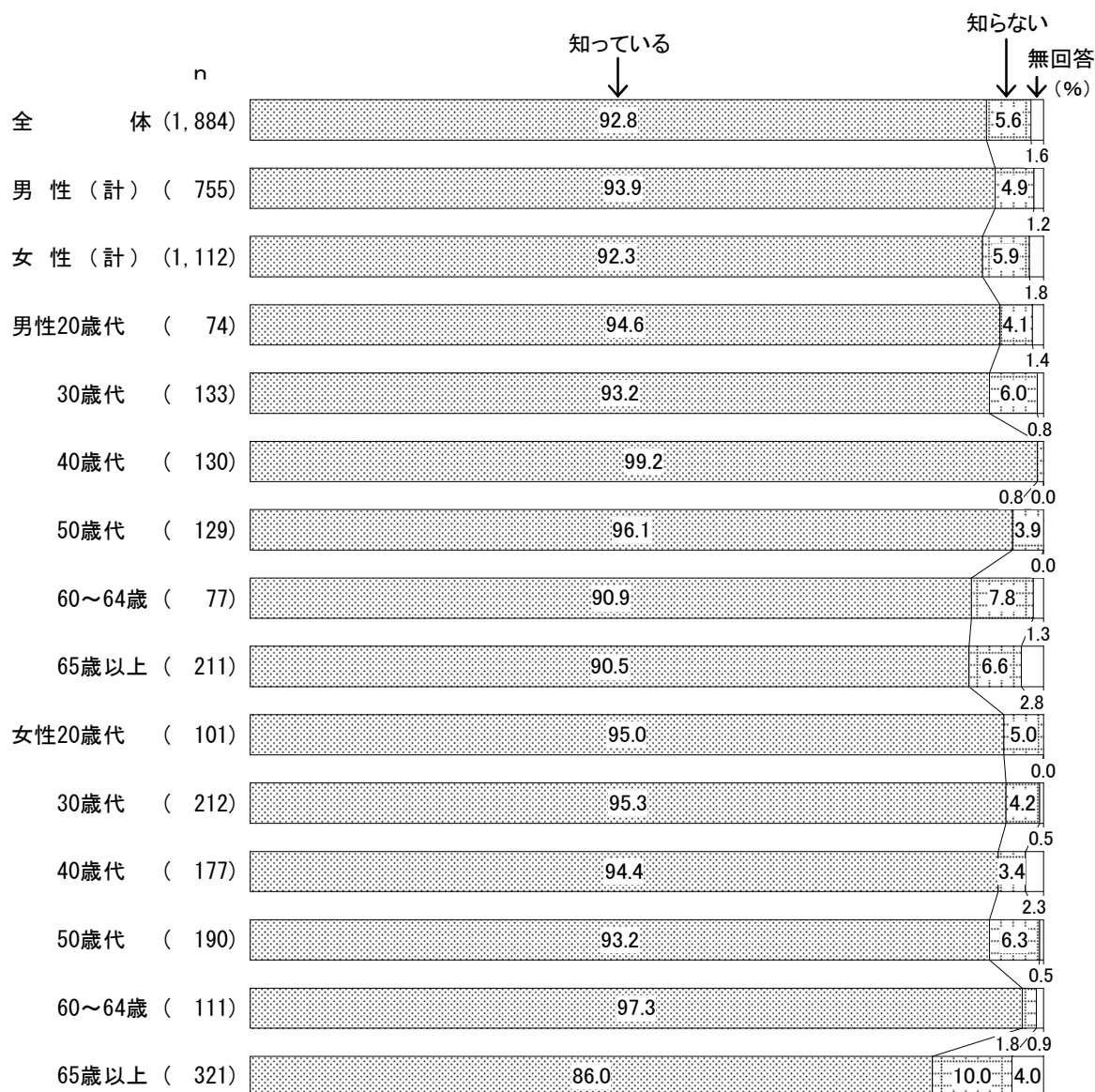
問17 あなたは、地上アナログ放送が終了する時期を知っていますか。(○は1つだけ)

図5－7－1



地上アナログ放送の終了時期について聞いたところ、「知っている」が大多数の9割強（92.8%）を占め、「知らない」は1割に満たない。（図5－7－1）

図 5－7－2 地上アナログ放送の終了時期の認知度－性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

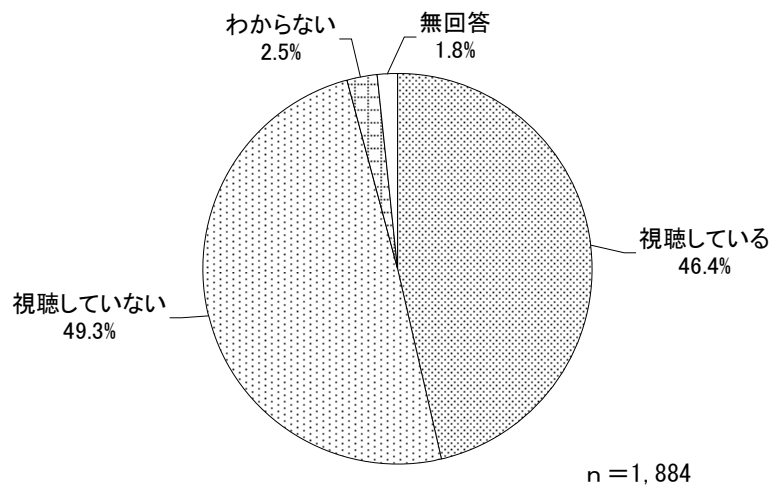
性・年齢別にみると「知っている」が、女性の65歳以上を除いたすべての年齢で9割以上と大多数を占めている。女性の65歳以上で「知らない」が1割（10.0%）と他の年齢よりも比較的高い割合となっている。（図 5－7－2）

5－8 地上デジタル放送の視聴状況

◇「視聴している」が4割台半ば

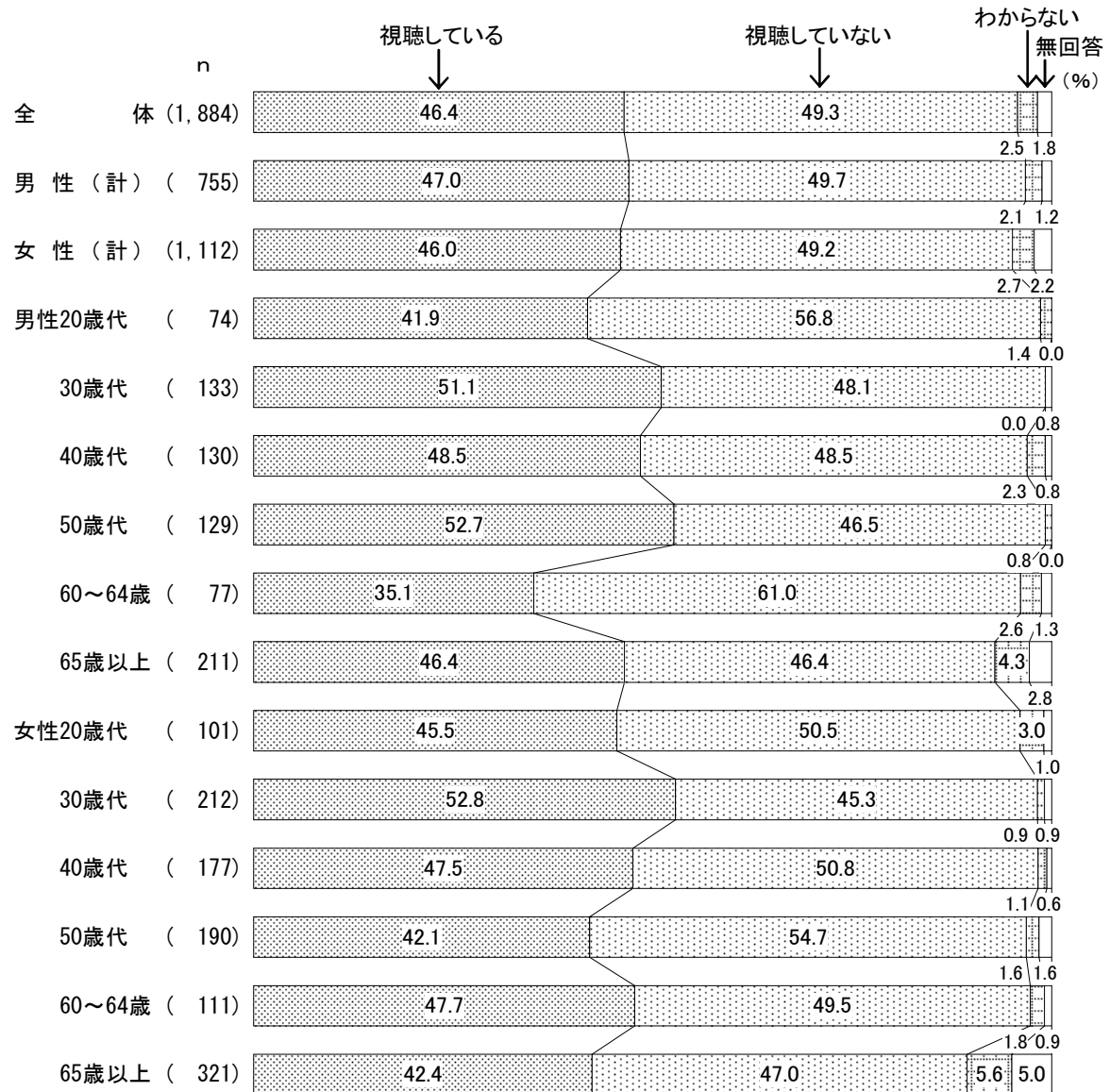
問18 あなたは、現在、地上デジタル放送を視聴していますか。(○は1つだけ)

図5－8－1



地上デジタル放送の視聴状況について聞いたところ、「視聴している」が4割台半ば（46.4%）となっている。一方「視聴していない」は5割弱（49.3%）を占め、「視聴している」よりも2.9ポイント高くなっている。（図5－8－1）

図5-8-2 地上デジタル放送の視聴状況－性別・年齢別

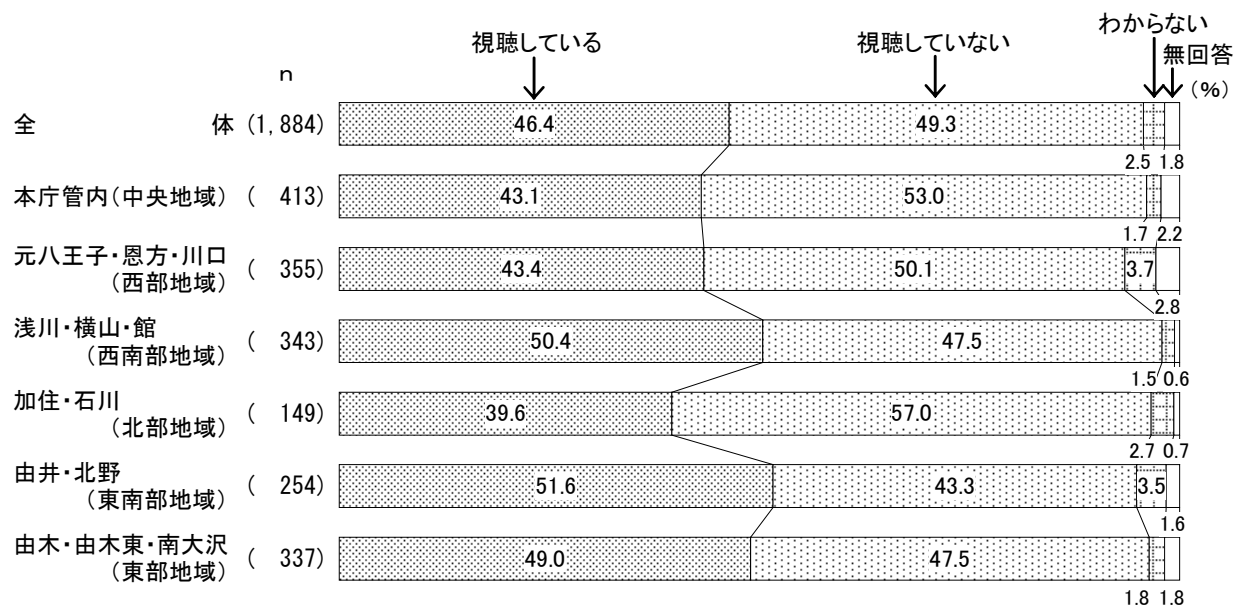


性別には、大きな差はみられない。

性・年齢別にみると、男性の30歳代・50歳代と女性の30歳代は「視聴している」が半数以上と比較的高い割合となっており、男性の60～64歳では3割台半ば（35.1%）と最も低くなっている。

（図5-8-2）

図 5－8－3 地上デジタル放送の視聴状況－居住地域別



居住地域別にみると、由井・北野（東南部地域）と浅川・横山・館（西南部地域）では「視聴している」が半数以上で高く、加住・石川（北部地域）では約４割（39.6%）と最も低くなっている。

（図 5－8－3）

5－9 地上デジタル放送受信機の種類

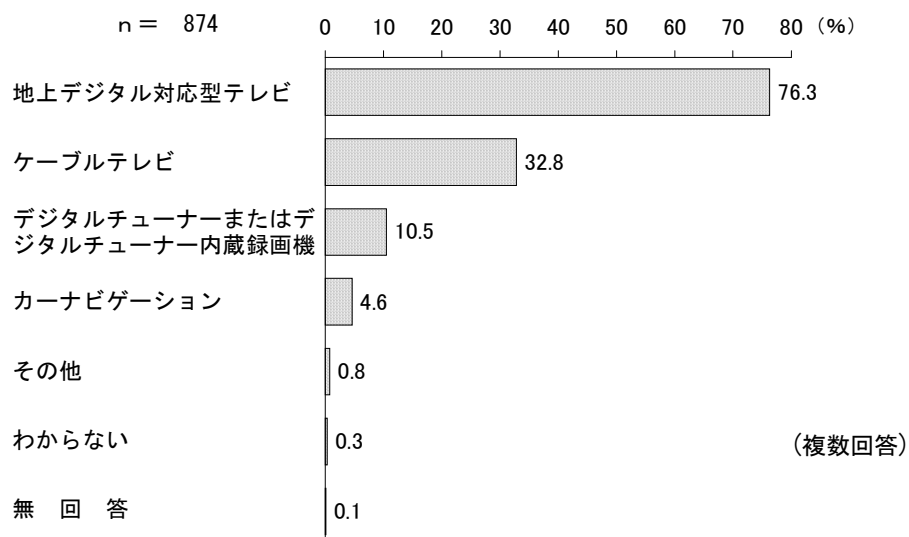
◇「地上デジタル対応型テレビ」が7割台半ばで突出している

(問18で「1 視聴している」とお答えの方に)

問18－1 あなたは、どのような機器で地上デジタル放送を視聴していますか。

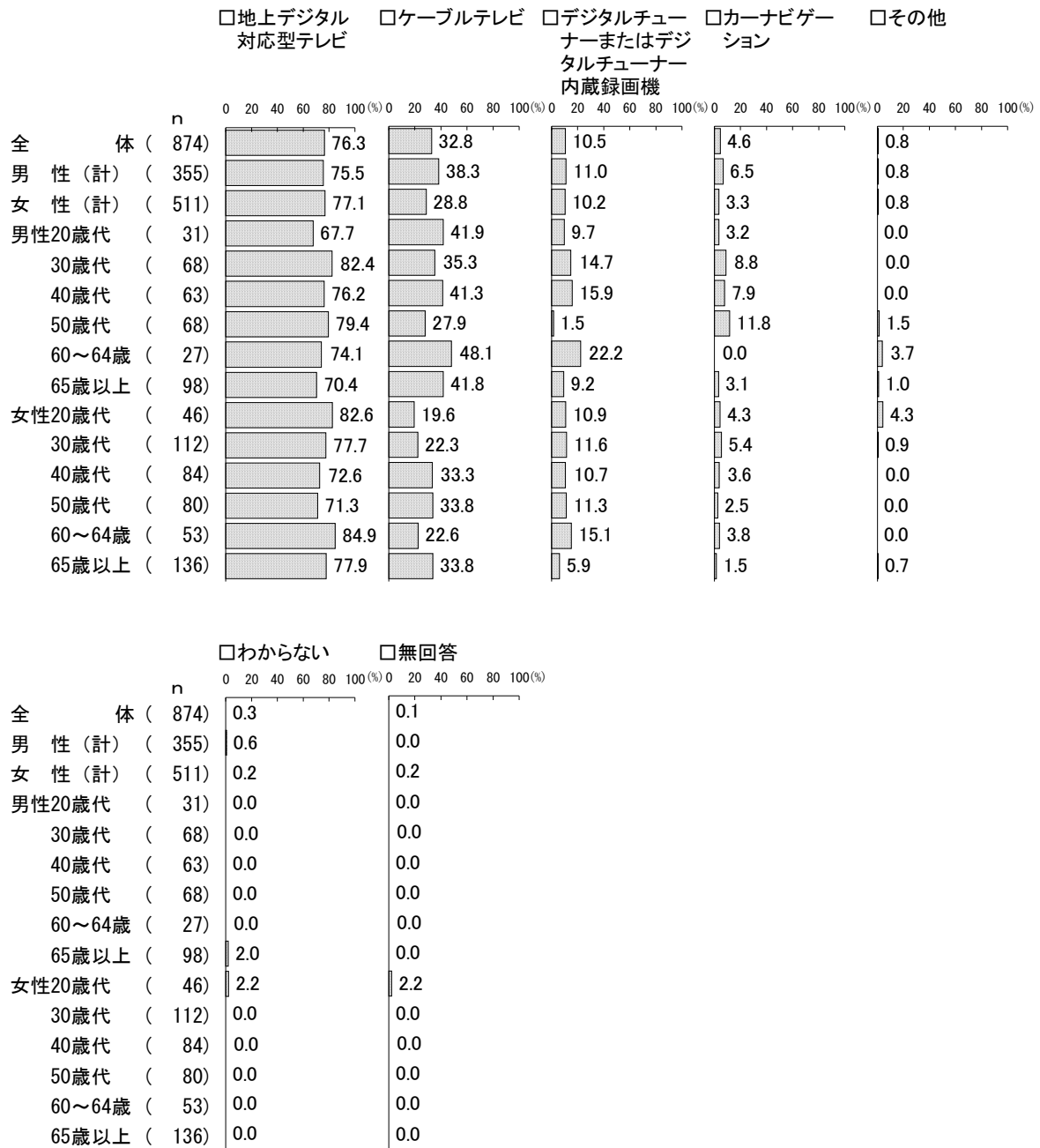
(○はいくつでも)

図5－9－1



地上デジタル放送を「視聴している」(874人)と答えた人に、地上デジタル放送受信機の種類について聞いたところ、「地上デジタル対応型テレビ」が7割台半ば(76.3%)と大多数を占めている。ついで「ケーブルテレビ」(32.8%)、「デジタルチューナーまたはデジタルチューナー内蔵録画機」(10.5%)となっている。(図5－9－1)

図5-9-2 地上デジタル放送受信機の種類－性別・年齢別



性別にみると、「ケーブルテレビ」は男性のほうが9.5ポイント高い。

性・年齢別にみると、「地上デジタル対応型テレビ」では、男性の20歳代を除いたすべての年齢で7割以上と大多数を占め、「デジタルチューナーまたはデジタルチューナー内蔵録画機」では男性の60～64歳が2割強と、他の年齢と比べて高くなっている。(図5-9-2)

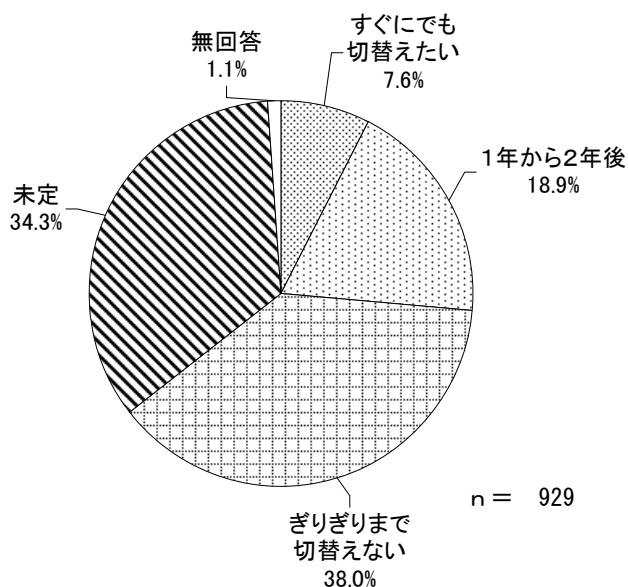
5-10 地上デジタル放送受信機へ切替え予定の時期

◇「ぎりぎりまで切替えない」が4割弱

(問18で「2 視聴していない」とお答えの方に)

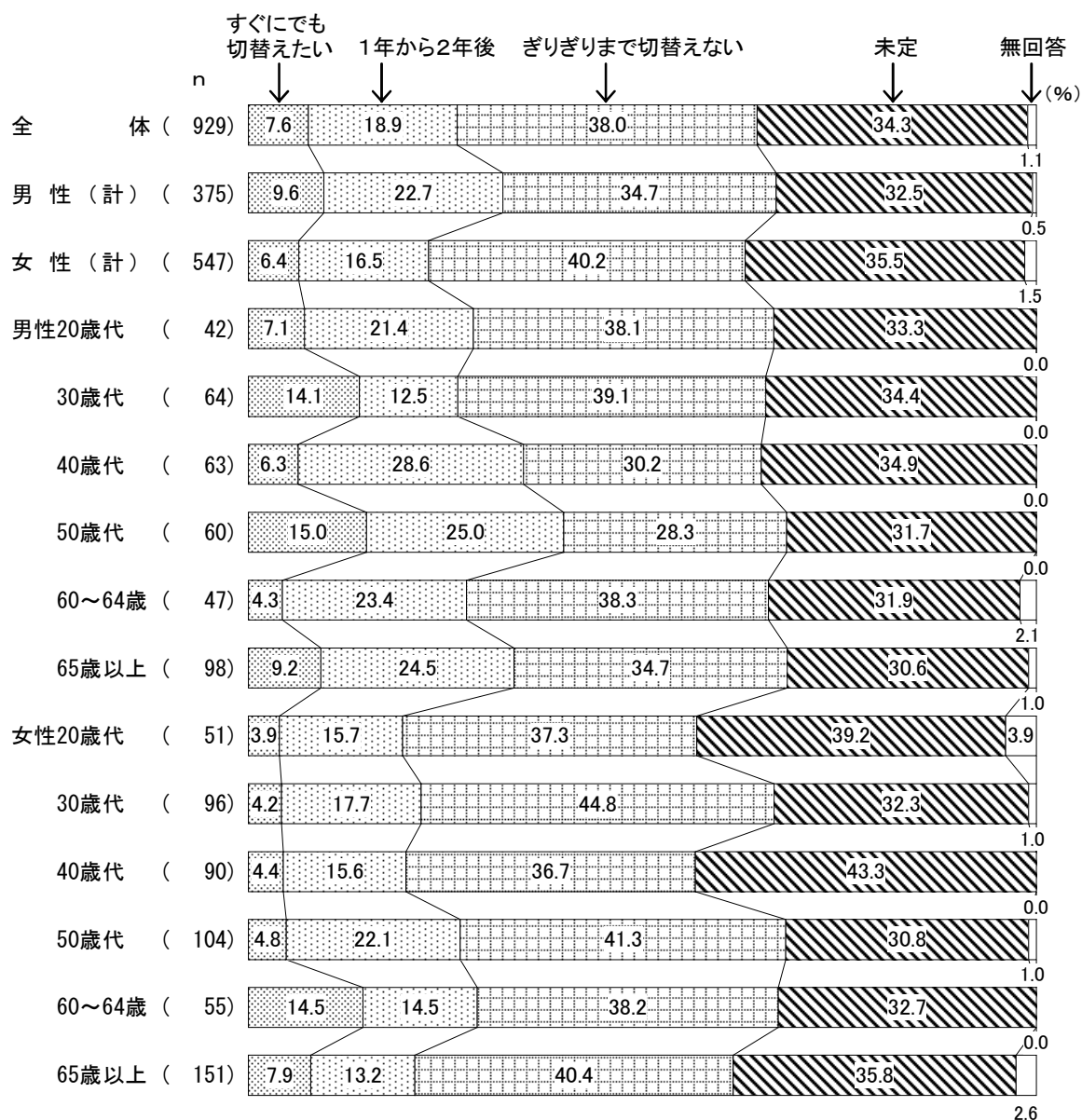
問18-2 あなたは、いつ頃地上デジタル視聴機器に切替える予定ですか。(○は1つだけ)

図5-10-1



地上デジタル放送を「視聴していない」(929人)と答えた人に、地上デジタル放送受信機へ切替え予定の時期を聞いたところ、「ぎりぎりまで切替えない」が4割弱(38.0%)で最も高くなっており、ついで「1年から2年後」(18.9%)、「すぐにでも切替えたい」(7.6%)と続いている。一方で「未定」と答えた人は3割台半ば(34.3%)となっている。(図5-10-1)

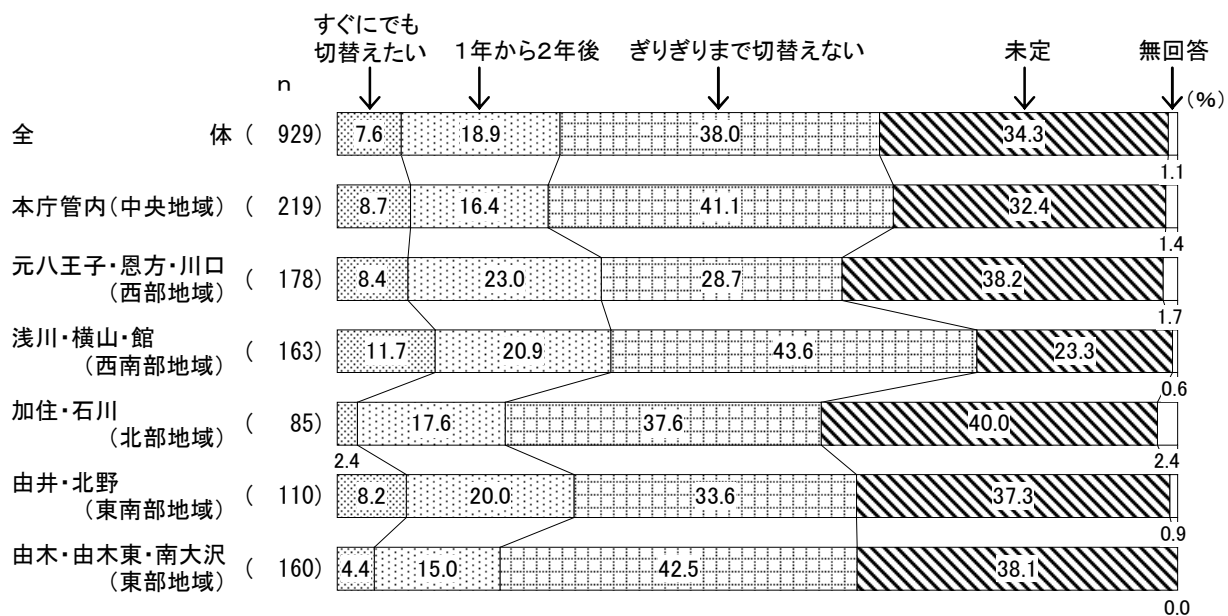
図5-10-2 地上デジタル放送受信機へ切替え予定の時期－性別・年齢別



性別にみると、男性のほうが「1年から2年後」で6.2ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、男性の30歳代・50歳代と女性の60～64歳は「すぐにでも切替えたい」が1割台半ばで、他の年齢層より高い割合となっている。(図5-10-2)

図5-10-3 地上デジタル放送受信機へ切替え予定の時期－居住地域別



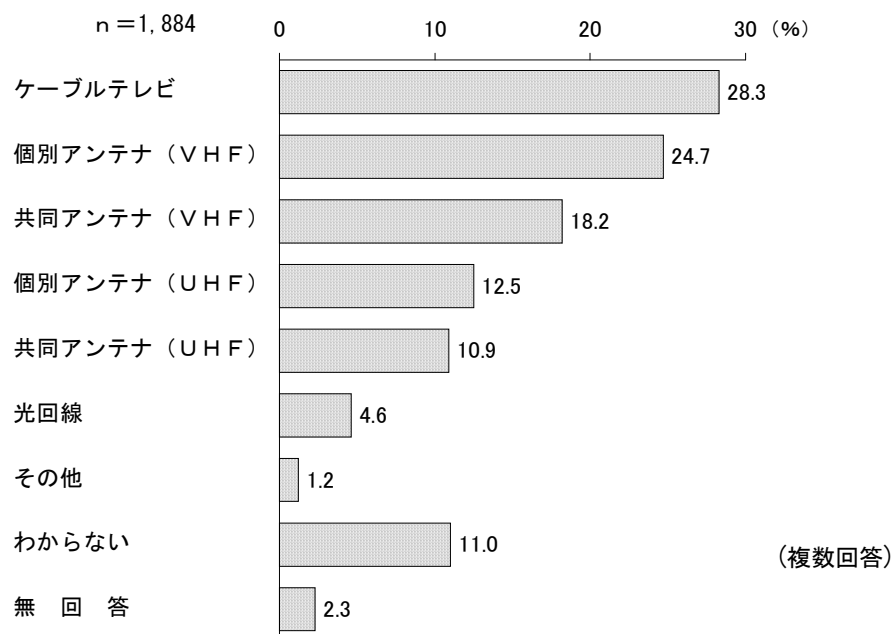
居住地域別にみると、浅川・横山・館（西南部地域）、由木・由木東・南大沢（東部地域）、本庁管内（中央地域）では「ぎりぎりまで切替えない」が4割以上と高くなっている。一方、浅川・横山・館（西南部地域）では「すぐにでも切替えたい」が1割強（11.7%）と他の地域より高い割合となっている。（図5-10-3）

5-11 テレビ放送の電波等の受信方法

◇「ケーブルテレビ」が3割弱、「個別アンテナ（VHF）」が2割台半ば

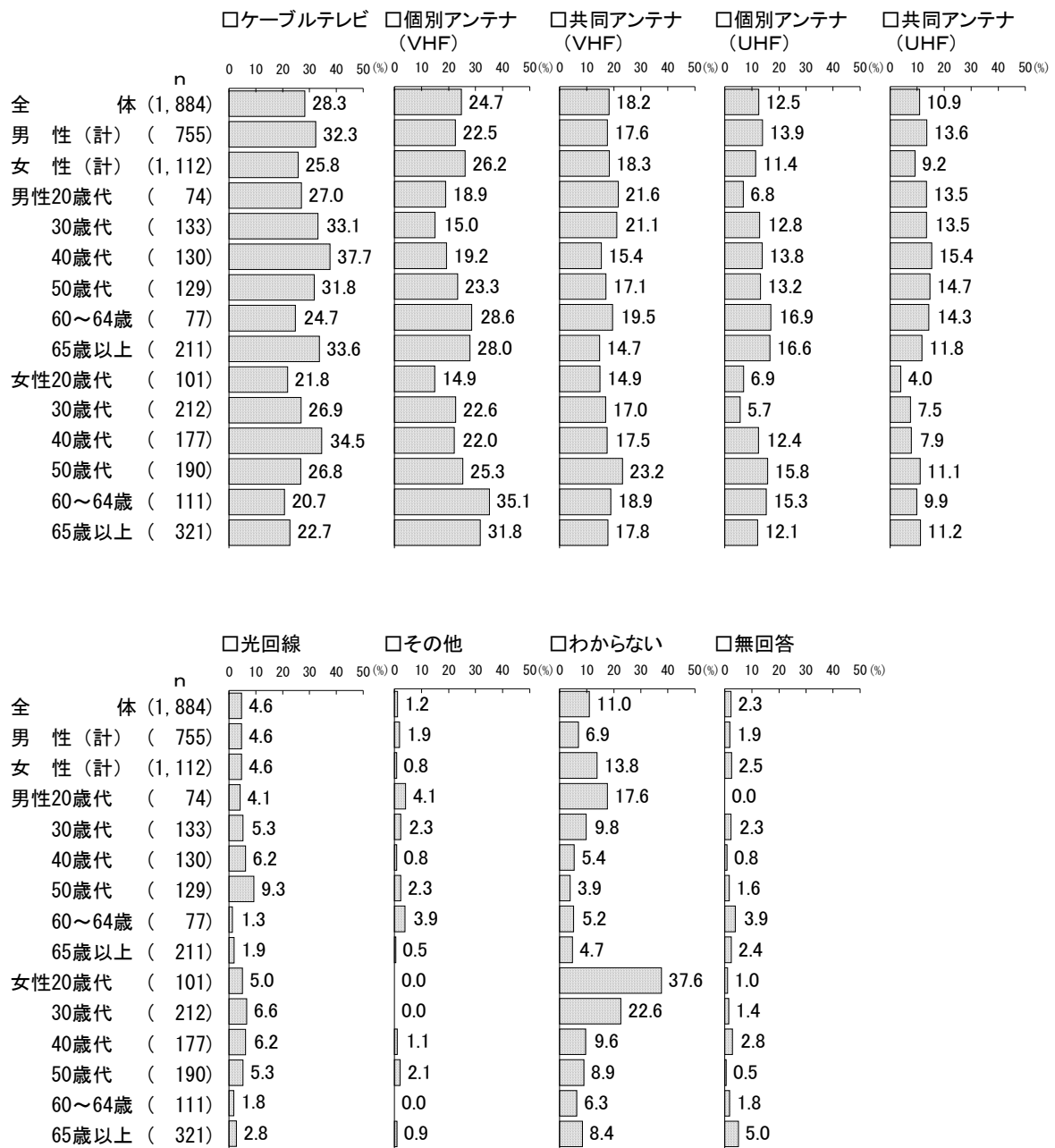
問19 あなたは現在、どのような方法でテレビ放送を受信されていますか。（○はいくつでも）

図5-11-1



テレビ放送の電波等の受信方法について聞いたところ、「ケーブルテレビ」が3割弱（28.3%）と最も高く、ついで「個別アンテナ（VHF）」（24.7%）、「共同アンテナ（VHF）」（18.2%）の順で続いている。（図5-11-1）

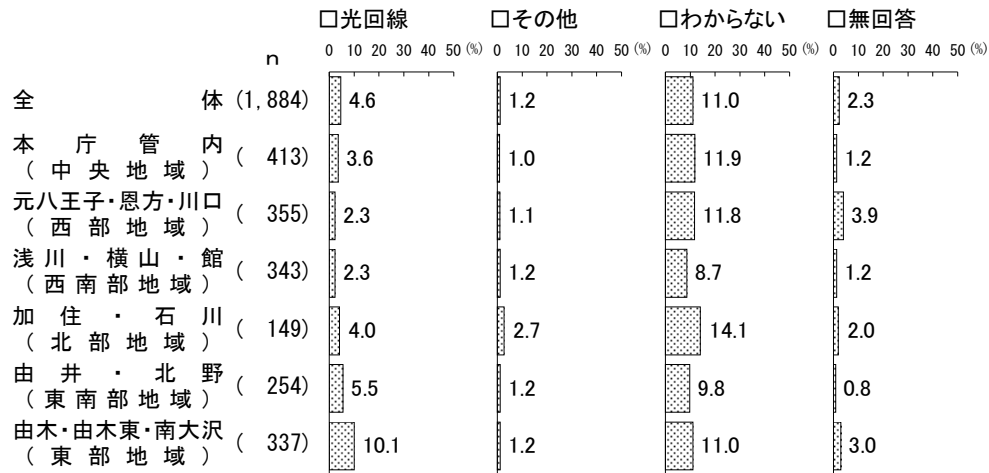
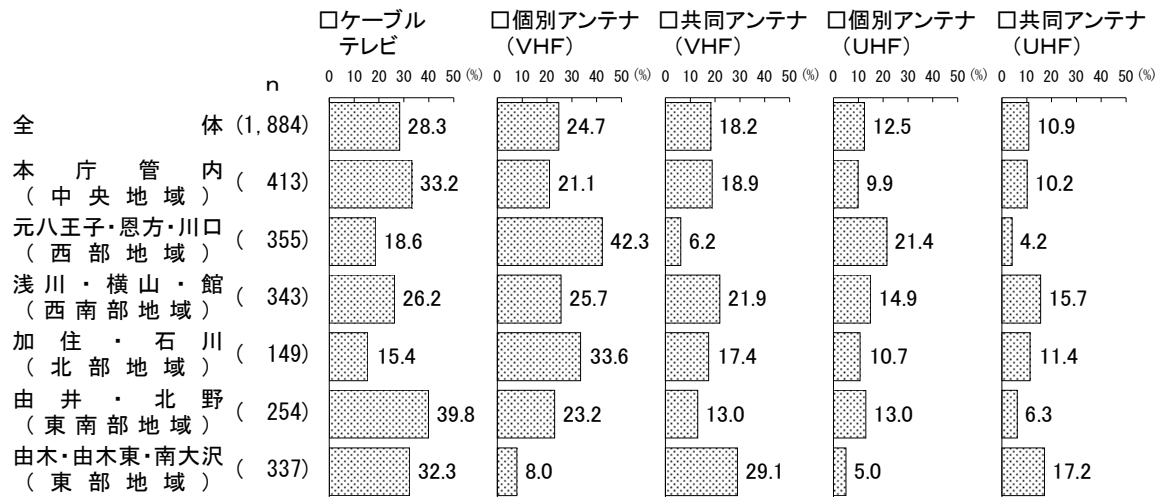
図5-11-2 テレビ放送の電波等の受信方法－性別・年齢別



性別にみると、「ケーブルテレビ」は男性のほうが6.5ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「個別アンテナ (VHF)」は女性の60歳以上が3割台と他の年齢層と比べて高くなっている。一方で、「わからない」では男女とも年齢が低くなるほど割合が高くなり、特に女性の20歳代では4割弱 (37.6%) と最も高くなっている。(図5-11-2)

図5-11-3 テレビ放送の電波等の受信方法－居住地域別



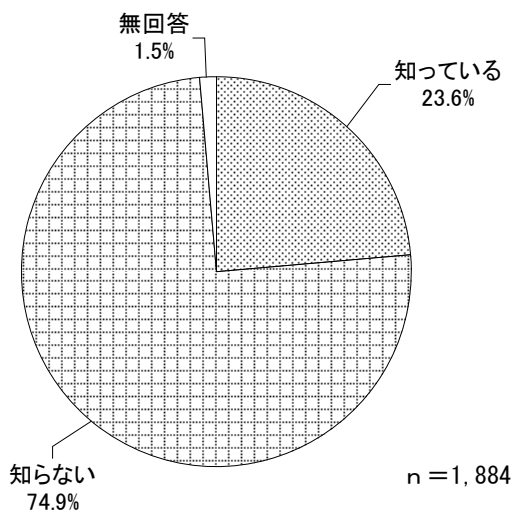
居住地域別にみると、元八王子・恩方・川口（西部地域）で「個別アンテナ（VHF）」が4割強（42.3%）と最も高くなっている。由井・北野（東南部地域）では「ケーブルテレビ」が約4割（39.8%）と他の地域と比べ高い割合となっている。（図5-11-3）

5-12 地上デジタル放送受信機設置等補助制度の認知度

◇「知っている」が2割強

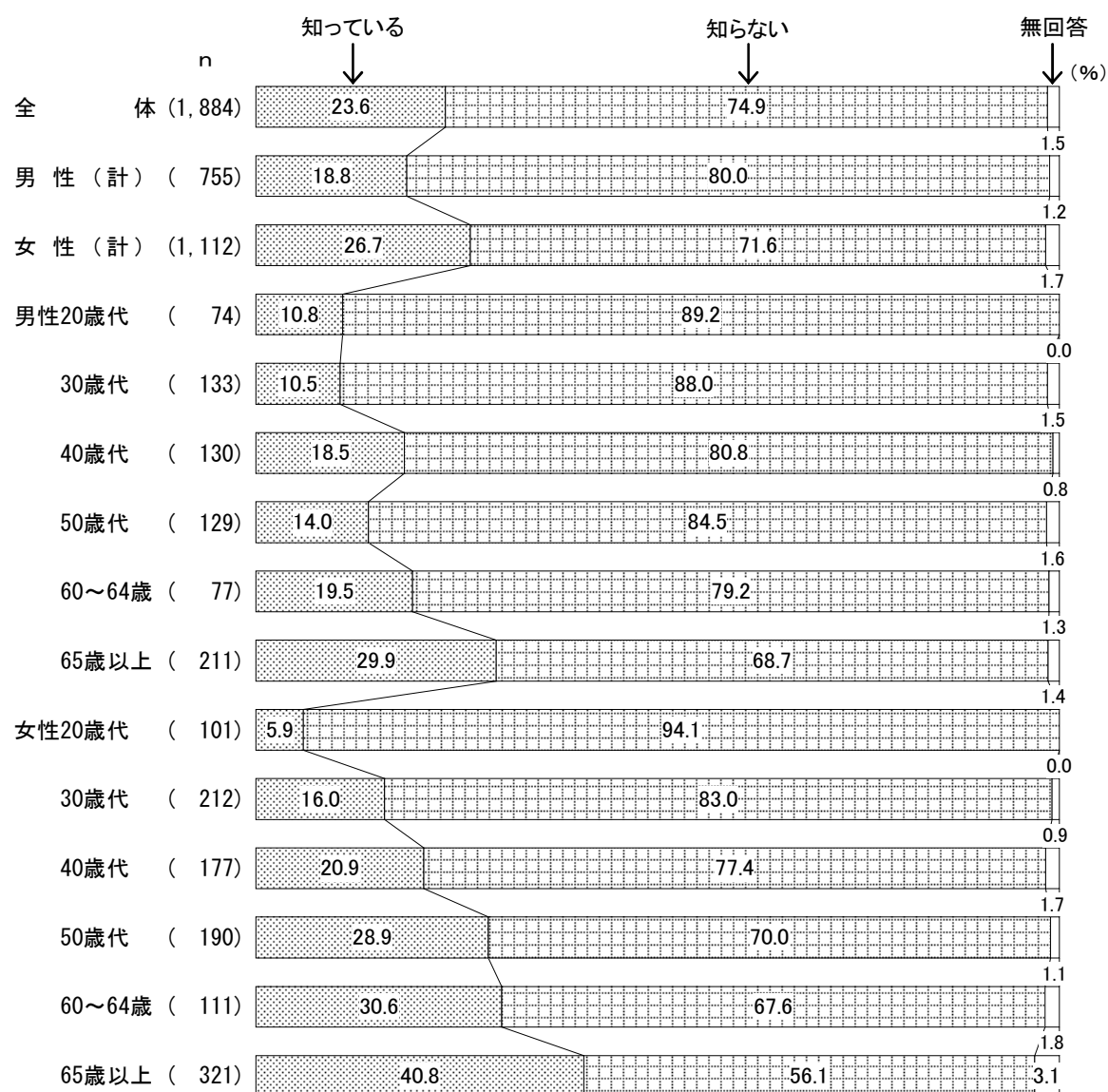
問20 八王子市では65歳以上の方で構成する市・都民税非課税世帯に対し、地上デジタル視聴機器の設置費の補助を行っていますが、このことを知っていますか。(○は1つだけ)

図5-12-1



地上デジタル放送受信機設置等補助制度の認知度について聞いたところ、「知っている」が2割強(23.6%)、一方「知らない」が7割台半ば(74.9%)となっている。(図5-12-1)

図5-12-2 地上デジタル放送受信機設置等補助制度の認知度－性別・年齢別



性別にみると、「知っている」は女性のほうが7.9ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「知っている」は男性の40歳代を除いて、概ね年齢が高くなるほど割合が高くなっており、女性の65歳以上では約4割（40.8%）と最も高い割合となっている。（図5-12-2）

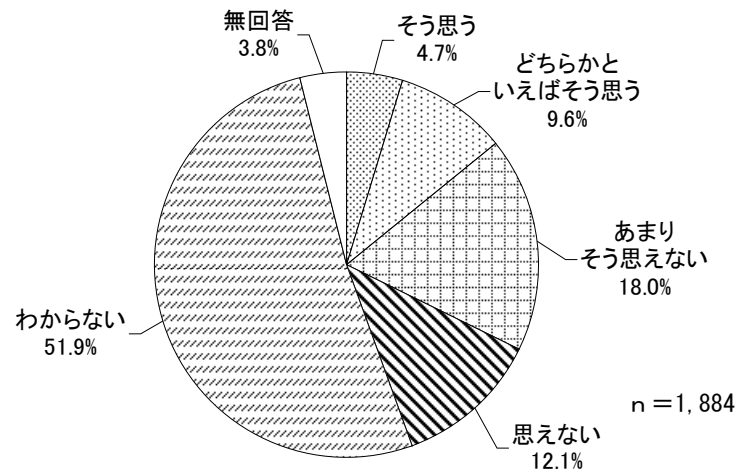
6.「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の目標値に対する達成度

6-1 市民協働の推進状況

◇『そう思う』は1割台半ば

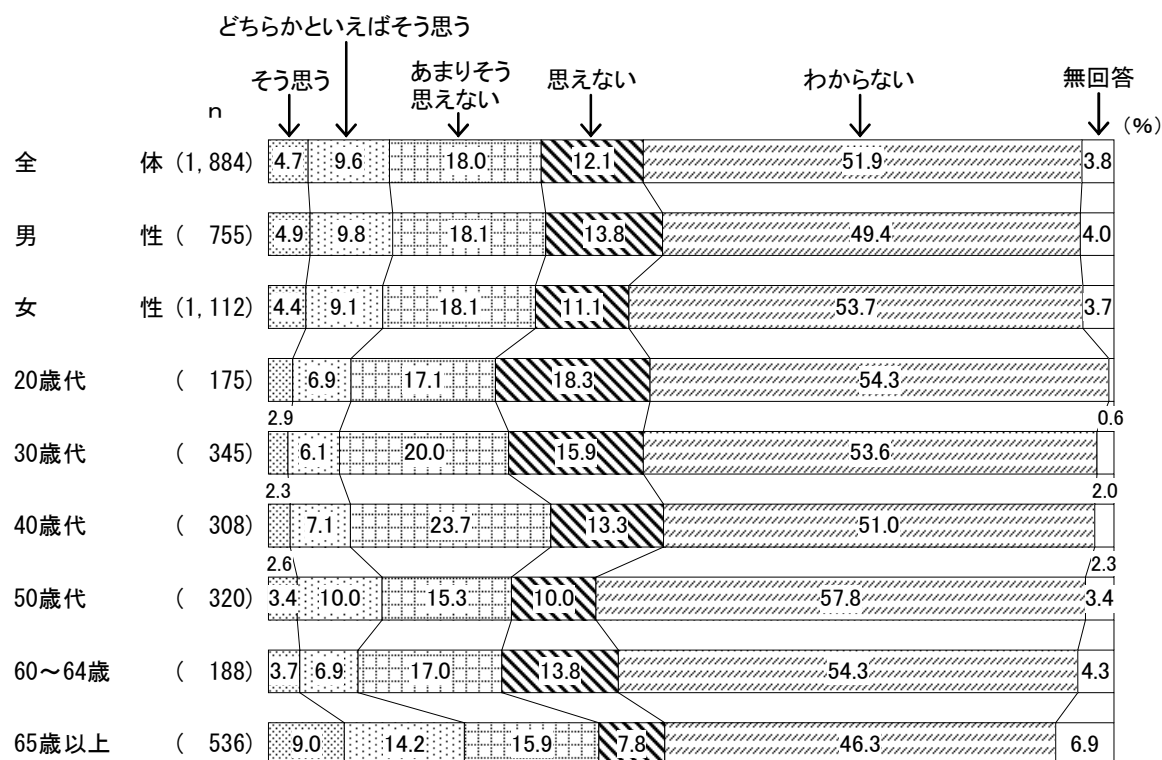
問21 あなたは、市が市民協働のまちを進めていると感じますか。(○は1つだけ)

図6-1-1



市が市民協働のまちを進めていると感じるかどうか聞いたところ、「そう思う」は4.7%にとどまり、「どちらかといえはそう思う」(9.6%)と合わせた『そう思う』は1割台半ば(14.3%)となっている。一方、「あまりそう思えない」(18.0%)と「思えない」(12.1%)を合わせた『思えない』は約3割(30.1%)となっている。(図6-1-1)

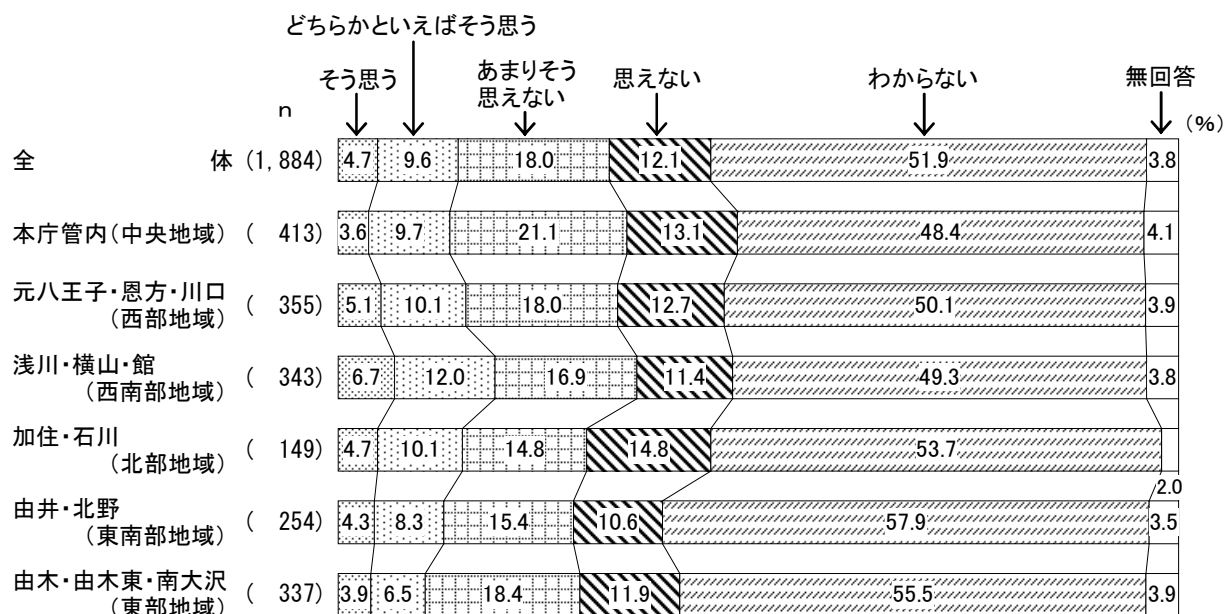
図 6-1-2 市民協働の推進状況一性別・年齢別



性別にみると、「思えない」は男性のほうが2.7ポイント高く、「わからない」は女性のほうが4.3ポイント高い。

年齢別にみると、『そう思う』は65歳以上で2割を超え、高くなっている。(図6-1-2)

図 6-1-3 市民協働の推進状況一居住地域別



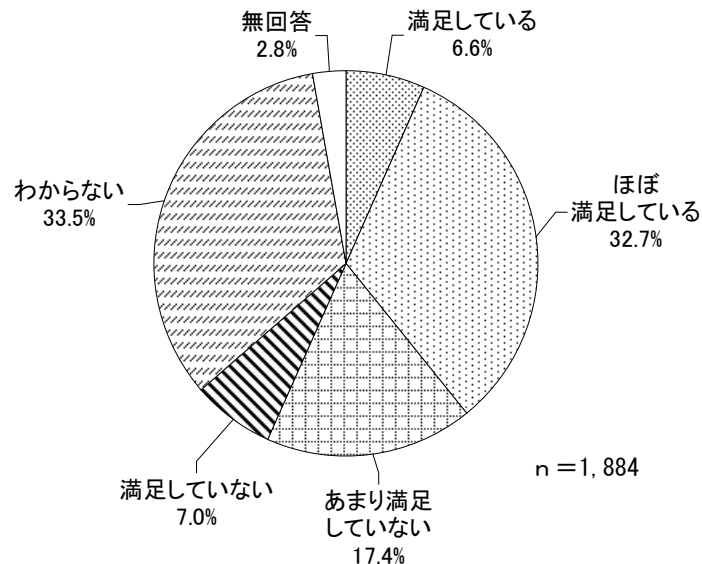
居住地域別にみると、『そう思う』は浅川・横山・館（西南部地域）で2割弱（18.7%）と最も高く、由木・由木東・南大沢（東部地域）で約1割（10.4%）と最も低くなっている。（図6-1-3）

6－2 現在の市政情報入手方法の満足度

◇『満足』が4割弱

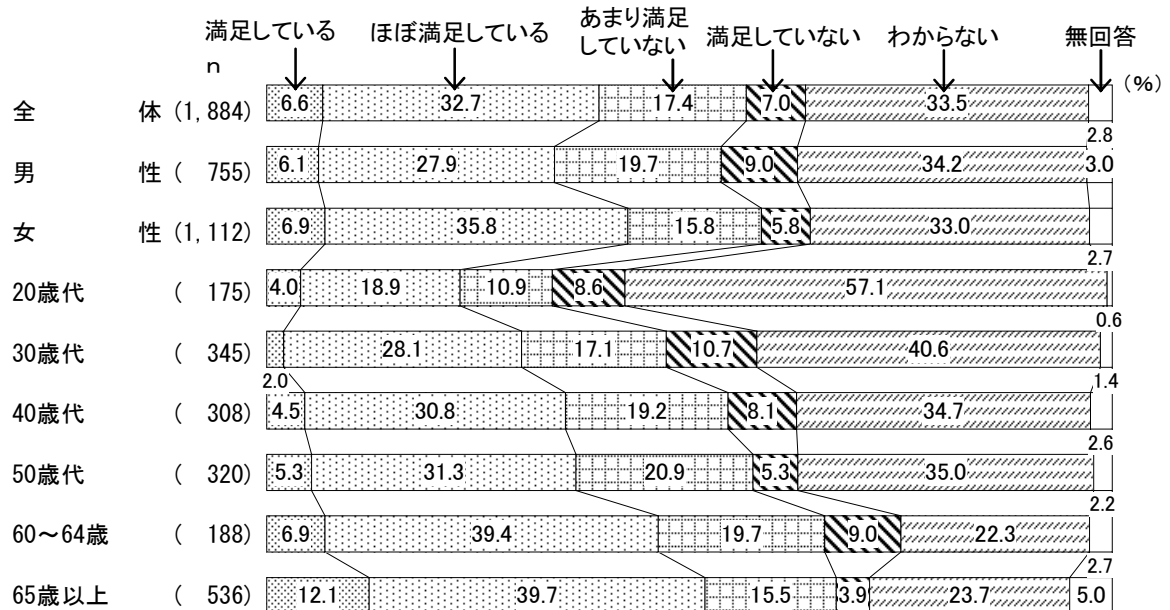
問22 市は、市政の情報を、積極的に配信・提供していますが、あなたは、現在の市政情報の入手方法に満足していますか。(○は1つだけ)

図6－2－1



現在の市政情報入手方法の満足度について聞いたところ、「ほぼ満足している」は3割強（32.7%）と最も高く、「満足している」（6.6%）と合わせた『満足』は4割弱（39.3%）となっている。一方、「あまり満足していない」（17.4%）と「満足していない」（7.0%）を合わせた『満足していない』は、2割台半ば（24.4%）となっている。（図6－2－1）

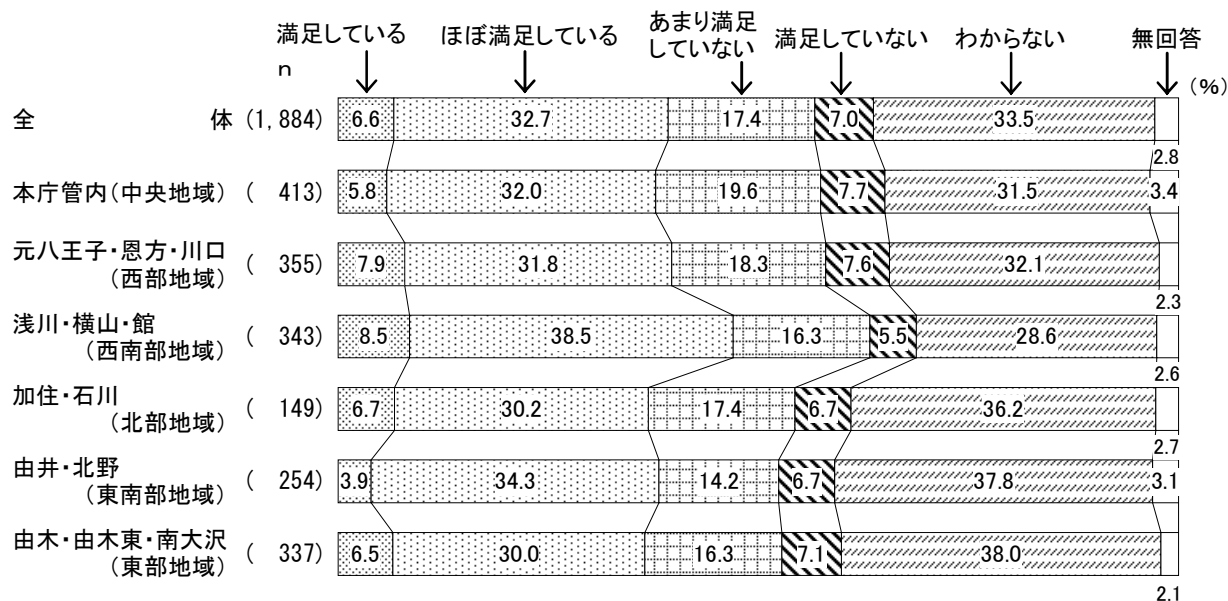
図6－2－2 現在の市政情報入手方法の満足度－性別・年齢別



性別にみると、『満足』は女性のほうが8.7ポイント高い。

年齢別にみると、『満足』は65歳以上で5割強と高くなっている。（図6－2－2）

図 6－2－3 現在の市政情報入手方法の満足度－居住地域別



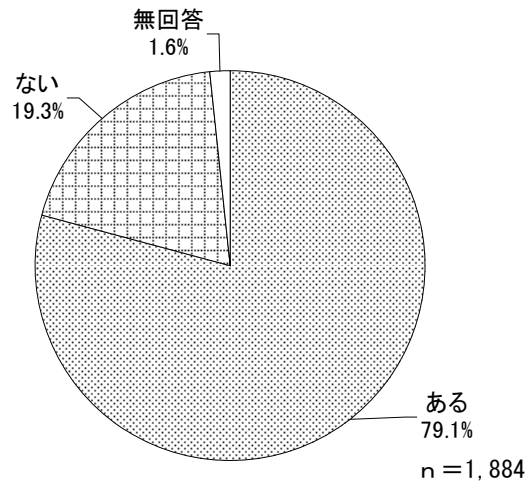
居住地域別にみると、浅川・横山・館（西南部地域）で『満足』が4割台半ば（47.0%）と他の地域に比べ高くなっている。（図 6－2－3）

6－3 市の窓口の利用の有無

◇利用したことが「ある」人は大多数の8割弱

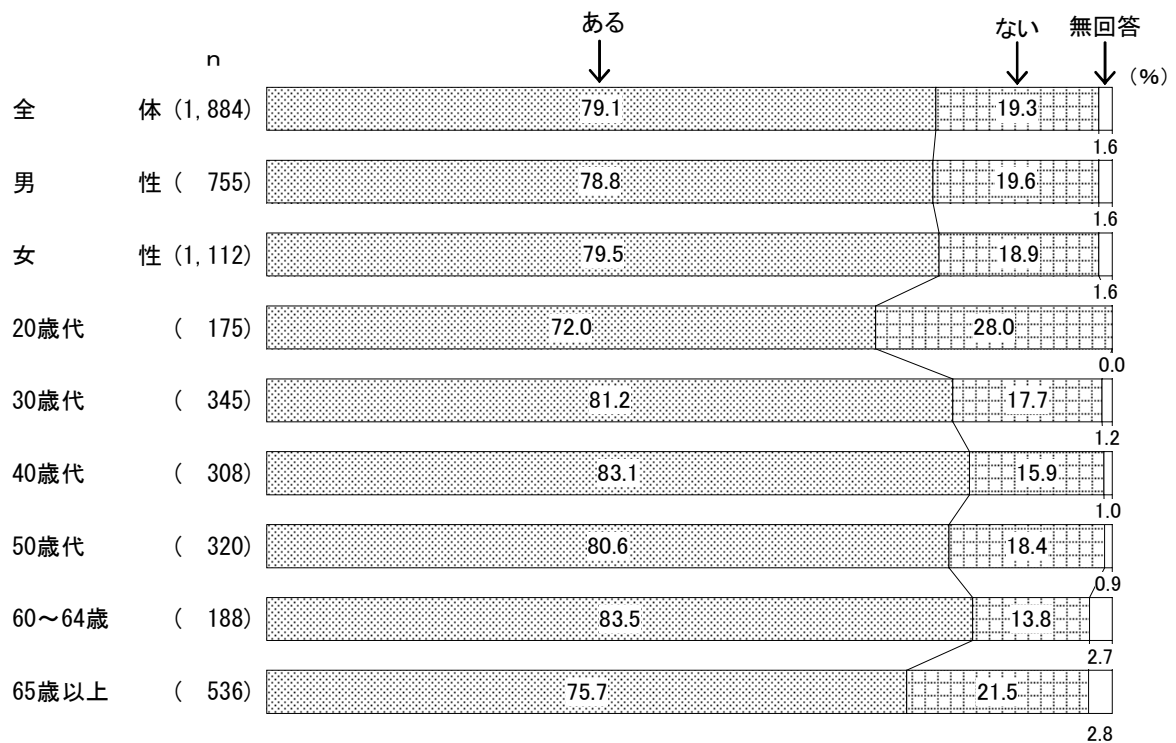
問23 あなたは、この1年間に市役所、事務所、図書館、体育館、保健センターなど、市の窓口を利用したことはありますか。(○は1つだけ)

図6－3－1



この1年間に市役所、事務所、図書館、体育館、保健センターなど、市の窓口を利用したことがあるか聞いたところ、「ある」が大多数の8割弱（79.1%）を占め、「ない」は2割弱（19.3%）となっている。（図6－3－1）

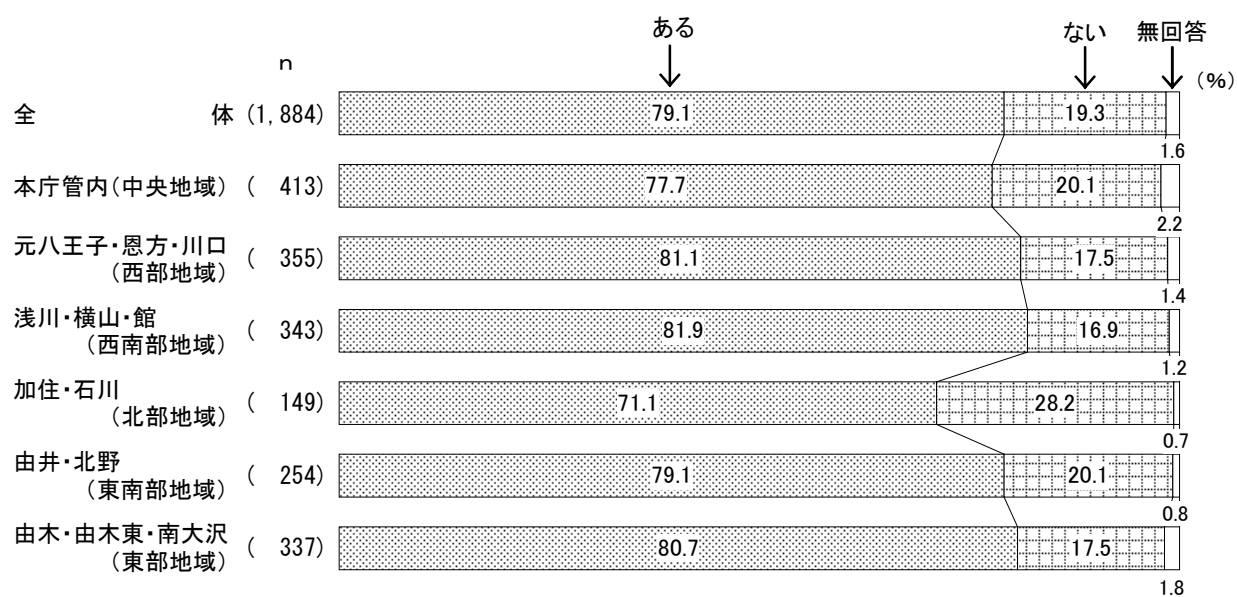
図6－3－2 市の窓口の利用の有無－性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、「ある」は20歳代と65歳以上を除き、8割を超えている。（図6－3－2）

図 6－3－3 市の窓口の利用の有無－居住地地域別



居住地地域別にみると、「ある」はすべての地域で7割を超えている。(図 6－3－3)

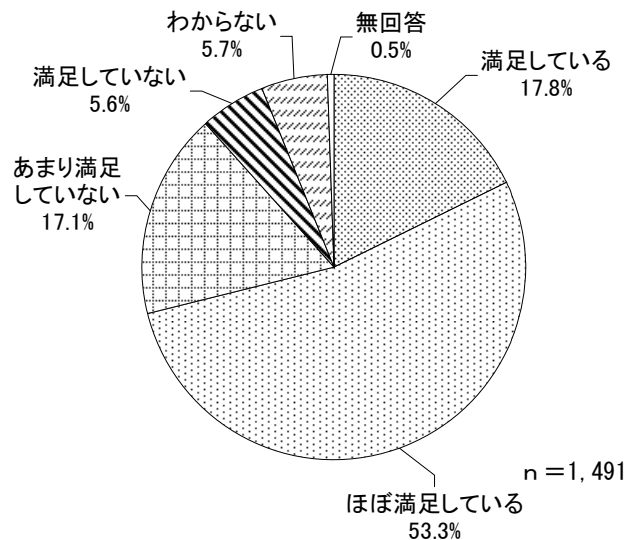
6-4 市の窓口サービスの満足度

◇『満足』が7割強を占める

(問23で「ある」とお答えの方に)

問23-1 あなたは、市の窓口サービスに満足していますか。(○は1つだけ)

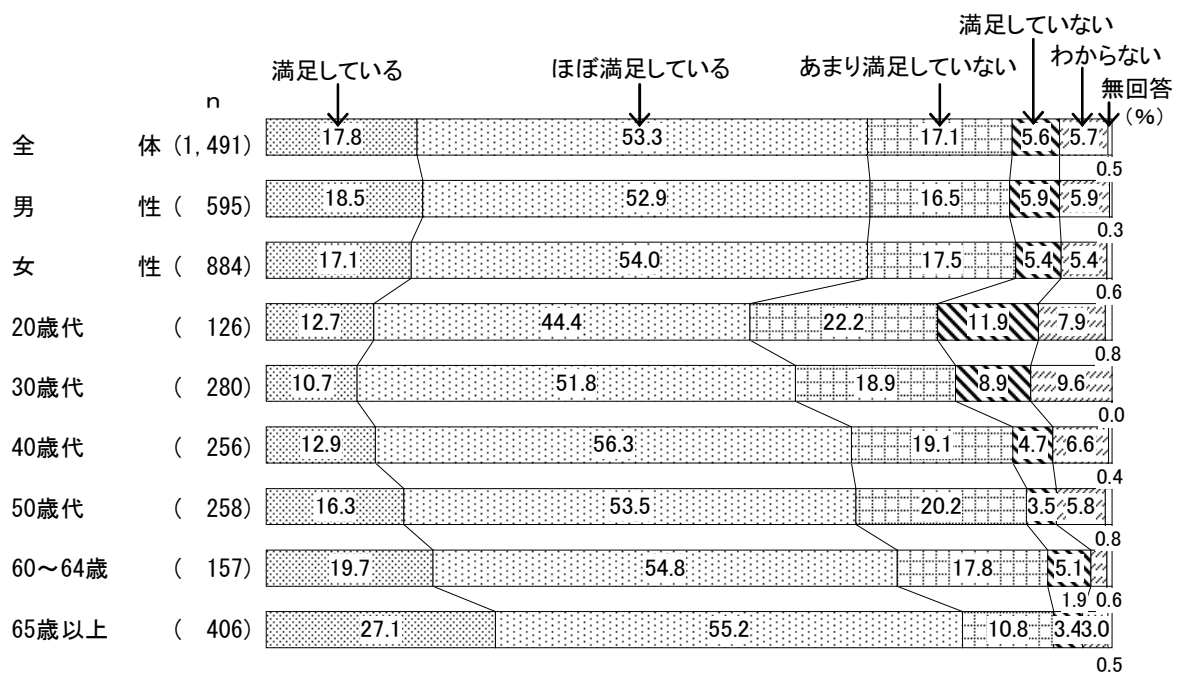
図6-4-1



この1年間で市の窓口の利用が「ある」(1,491人)と答えた人に、市の窓口サービスの満足度について聞いたところ、「ほぼ満足している」が5割強(53.3%)と最も高く、「満足している」(17.8%)と合わせた『満足』は7割強(71.1%)となっている。「あまり満足していない」(17.1%)と「満足していない」(5.6%)を合わせた『満足していない』は2割強(22.7%)となっている。

(図6-4-1)

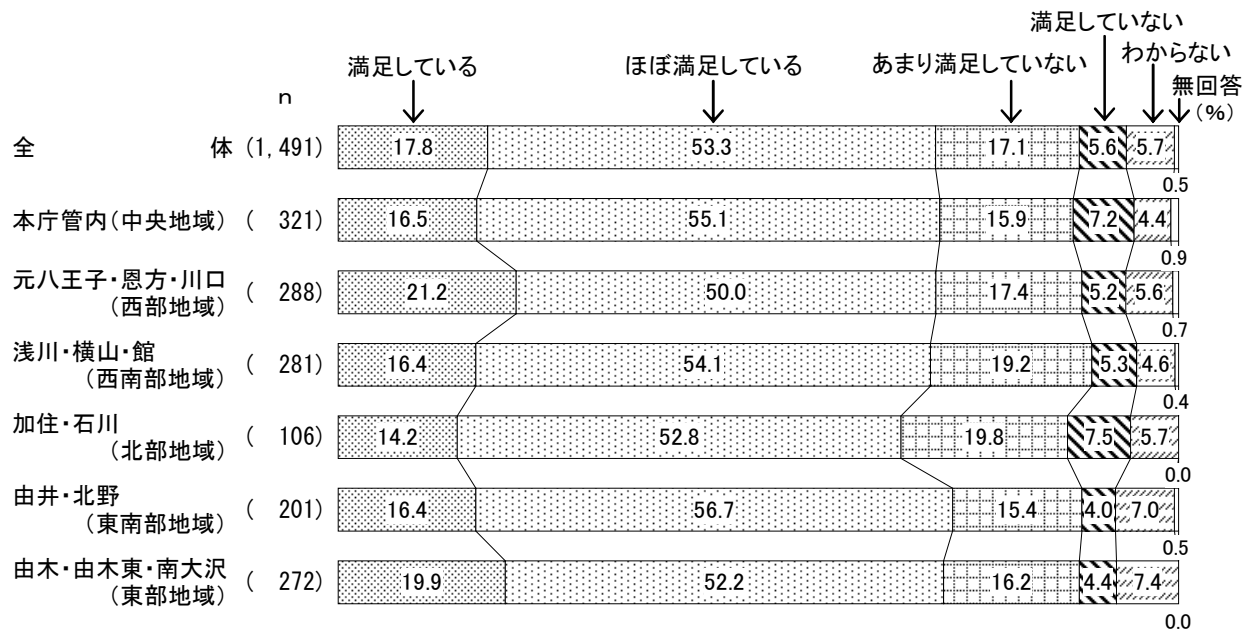
図6-4-2 市の窓口サービスの満足度-性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど『満足』の割合が高くなる傾向がみられる。(図6-4-2)

図 6－4－3 市の窓口サービスの満足度－居住地域別



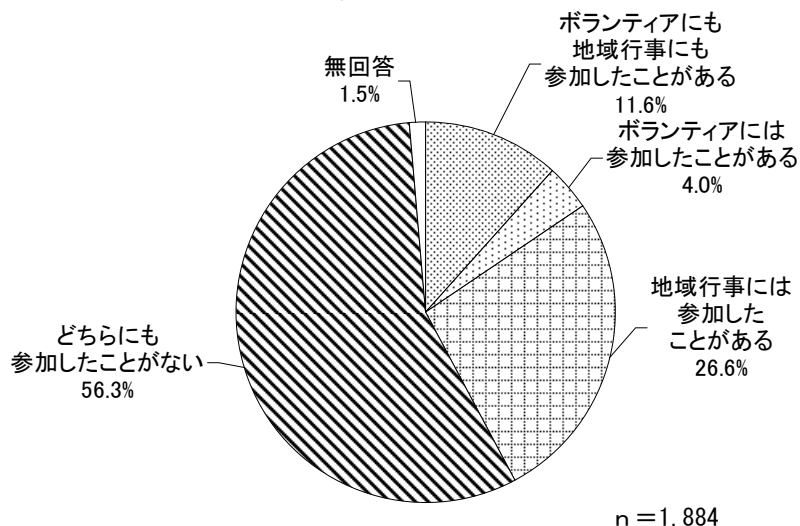
居住地域別にみると、加住・石川（北部地域）で『満足』が６割台半ば（67.0%）と、他の地域に比べて低くなっている。（図 6－4－3）

6-5 この1年間の地域行事への参加

◇『参加したことがある』が4割強

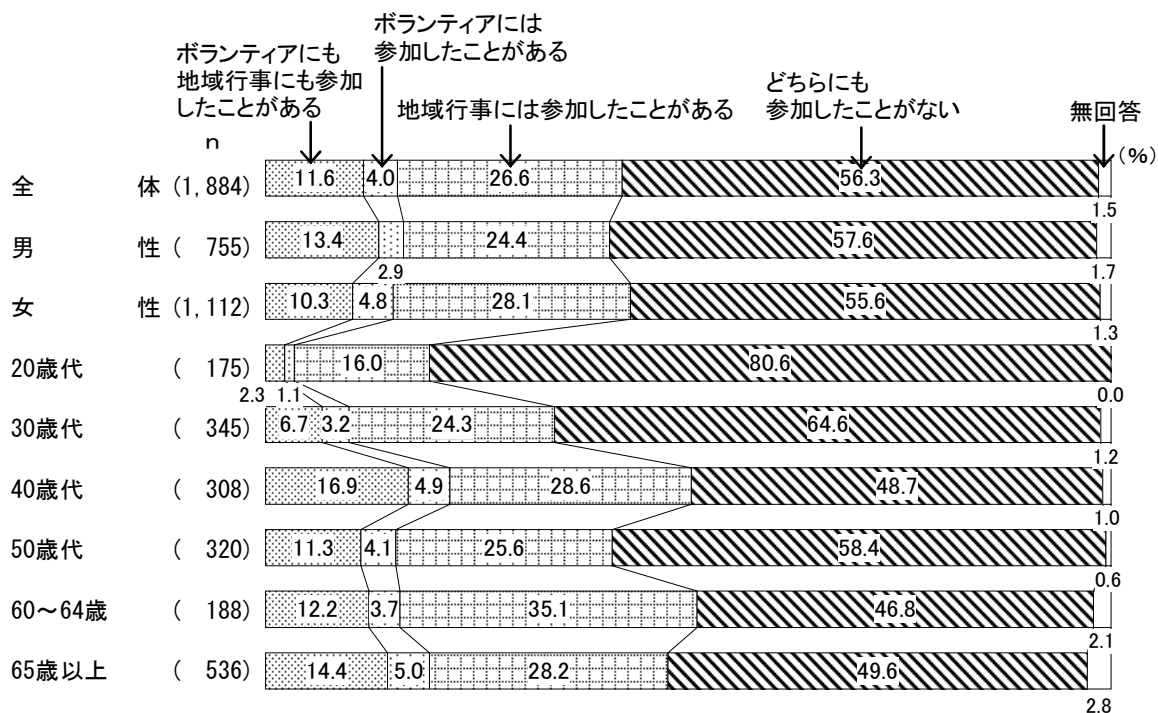
問24 あなたは、この1年間に公園清掃などのボランティア活動や盆踊りなど地域行事に参加したことがありますか。(〇は1つだけ)

図6-5-1



この1年間に公園清掃などのボランティア活動や盆踊りなどの地域行事に参加したことがあるか聞いたところ、「地域行事には参加したことがある」は2割台半ば(26.6%)、「ボランティアにも地域行事にも参加したことがある」(11.6%)、「ボランティアには参加したことがある」(4.0%)と続き、3項目を合わせた『参加したことがある』は4割強(42.2%)となっている。一方、「どちらにも参加したことがない」は5割台半ば(56.3%)となっている。(図6-5-1)

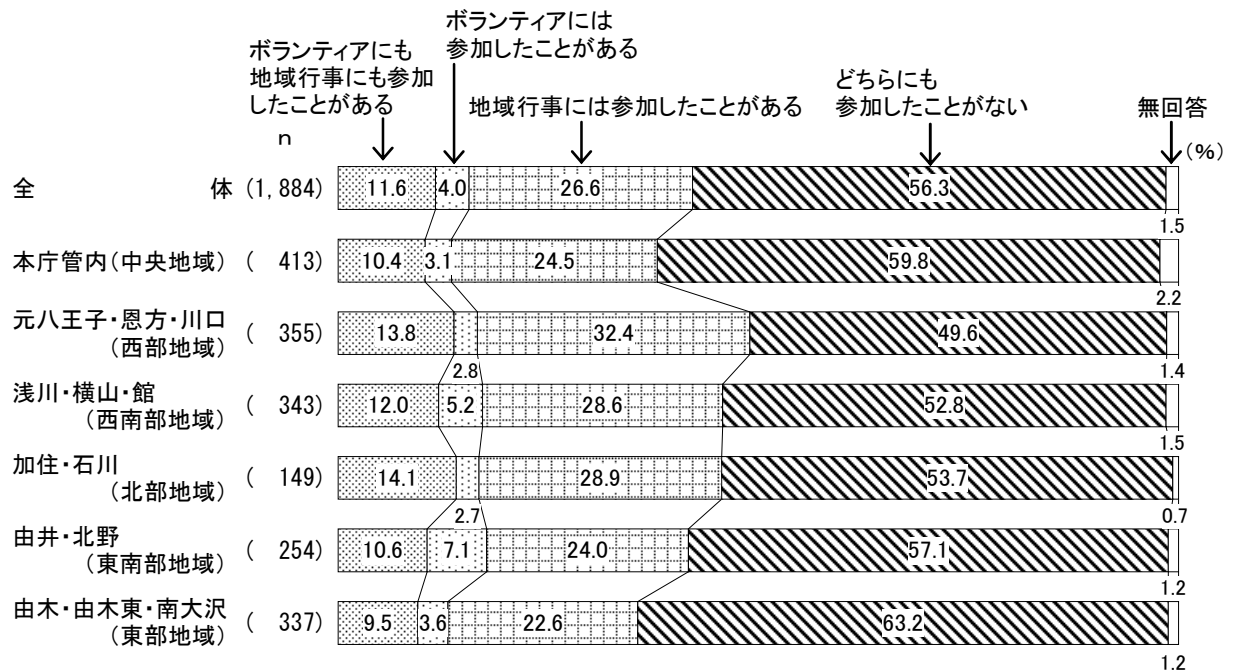
図6-5-2 この1年間の地域行事への参加—性別・年齢別



性別にみると、『参加したことがある』は女性のほうが2.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『参加したことがある』では20歳代(19.4%)が極端に低く、40歳代と60~64歳では5割強と高くなっている。(図6-5-2)

図 6－5－3 この1年間の地域行事への参加－居住地域別



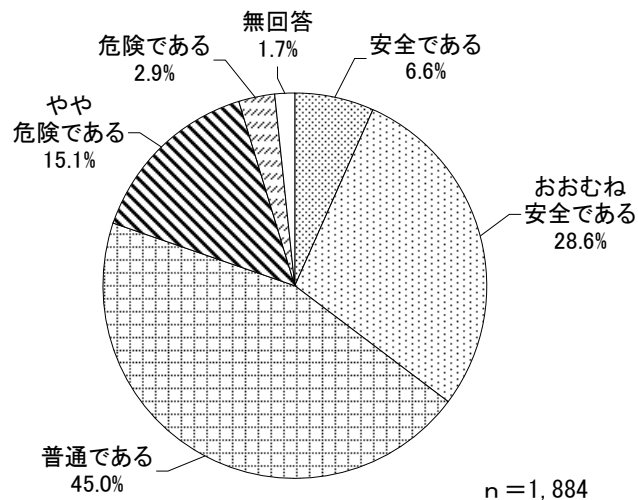
居住地域別にみると、『参加したことがある』は元八王子・恩方・川口（西部地域）で5割弱（49.0%）と最も高く、由木・由木東・南大沢（東部地域）で3割台半ば（35.7%）と最も低くなっている。（図 6－5－3）

6-6 日常生活環境の安全度

◇「普通である」が4割台半ば

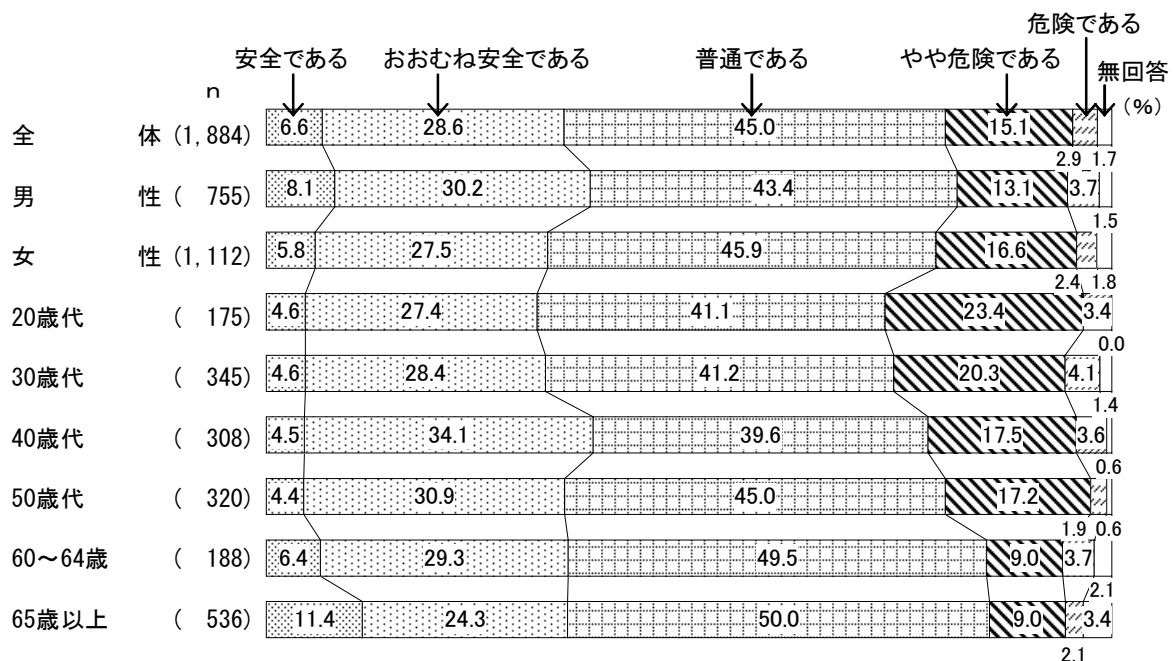
問25 あなたは、あなたのお住まいの地域が安全であると感じますか。(○は1つだけ)

図6-6-1



住まいの地域が安全であると感じるかどうか聞いたところ、「普通である」が4割台半ば（45.0%）と最も高く、「安全である」（6.6%）と「おおむね安全である」（28.6%）を合わせた『安全である』は3割台半ば（35.2%）となっている。一方、「やや危険である」（15.1%）と「危険である」（2.9%）を合わせた『危険である』は2割弱（18.0%）となっている。（図6-6-1）

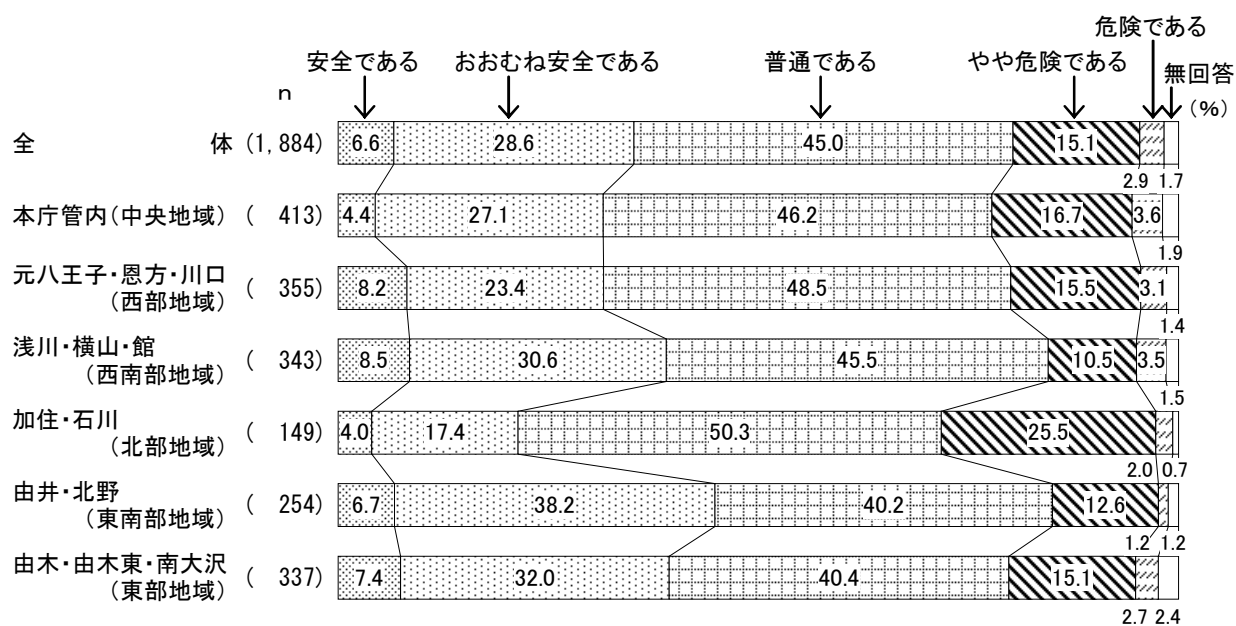
図6-6-2 日常生活環境の安全度—性別・年齢別



性別にみると、『安全である』は男性のほうが5.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『危険である』割合が20歳代（26.8%）、30歳代（24.4%）、40歳代（21.1%）は高く、年齢が低くなるほど『危険である』割合が増加する傾向がみられる。（図6-6-2）

図 6－6－3 日常生活環境の安全度－居住地域別



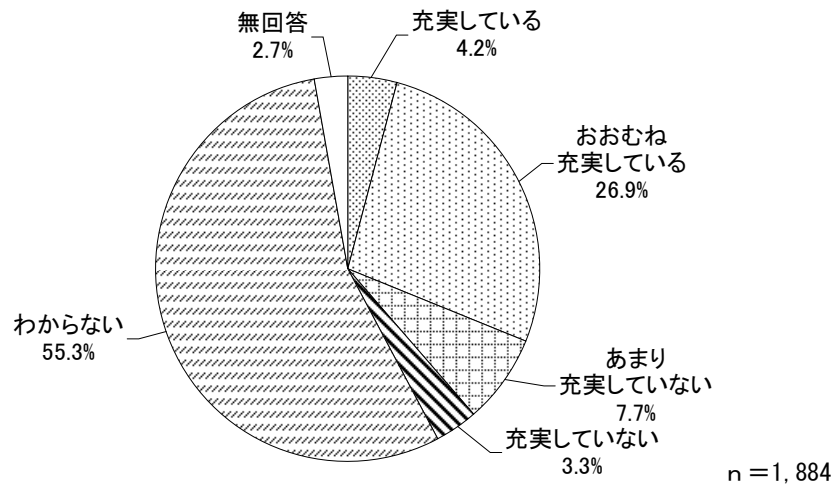
居住地域別にみると、『安全である』は由井・北野（東南部地域）で4割台半ば（44.9%）と最も高く、加住・石川（北部地域）で2割強（21.4%）と最も低くなっている。（図6－6－3）

6-7 市の相談窓口の充実度

◇『充実している』が3割強

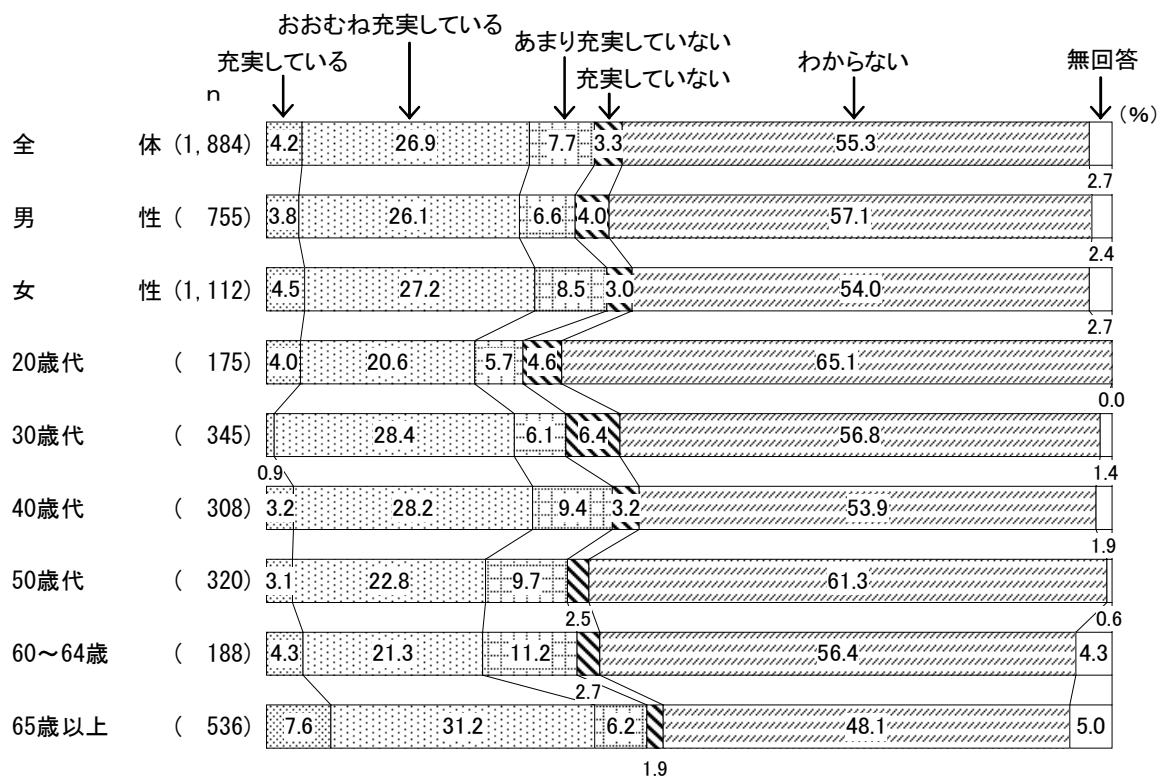
問26 市では、様々な相談を行っています、あなたは、市の相談窓口が充実していると思いますか。(〇は1つだけ)

図6-7-1



市の相談窓口が充実しているかどうか聞いたところ、「おおむね充実している」(26.9%)と「充実している」(4.2%)を合わせた『充実している』は3割強(31.1%)となっている。一方、「あまり充実していない」(7.7%)と「充実していない」(3.3%)を合わせた『充実していない』は1割強(11.0%)となっている。(図6-7-1)

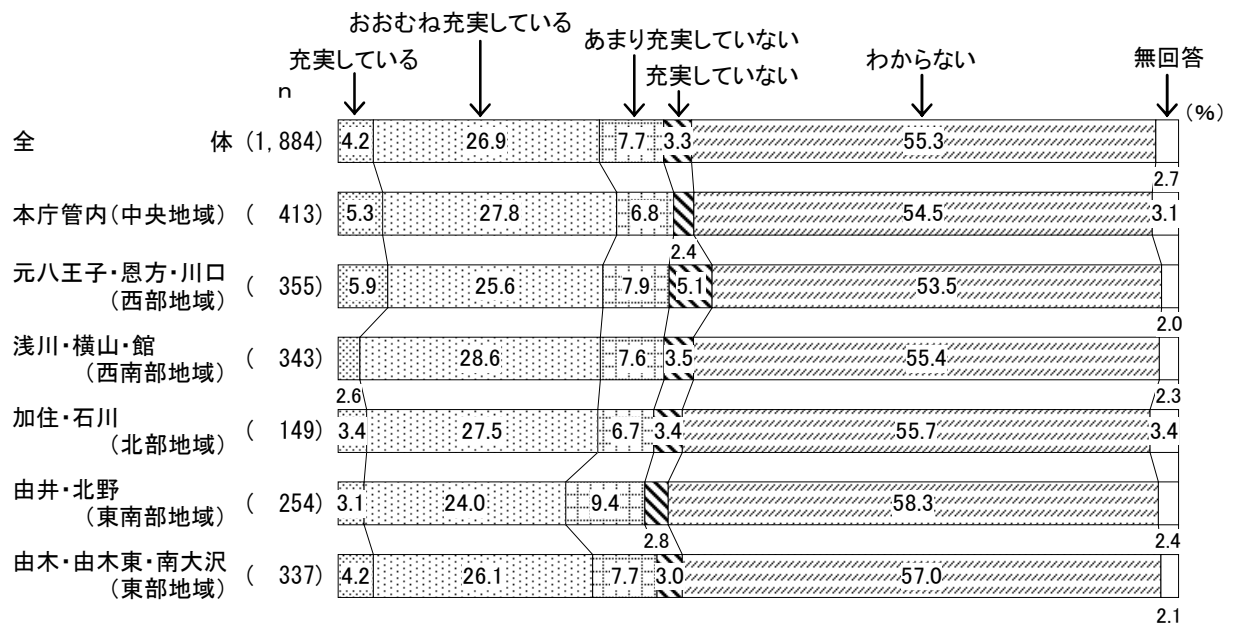
図6-7-2 市の相談窓口の充実度—性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、『充実している』は65歳以上で4割弱と最も高くなっている。(図6-7-2)

図 6－7－3 市の相談窓口の充実度－居住地域別



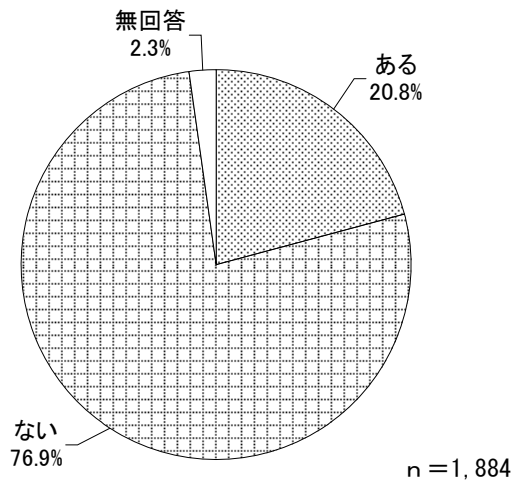
居住地域別にみると、『充実している』は本庁管内（中央地域）で3割強（33.1%）と他の地域に比べ高くなっている。（図6－7－3）

6－8 市の相談窓口の利用の有無

◇利用したことが「ある」人は約2割にとどまる

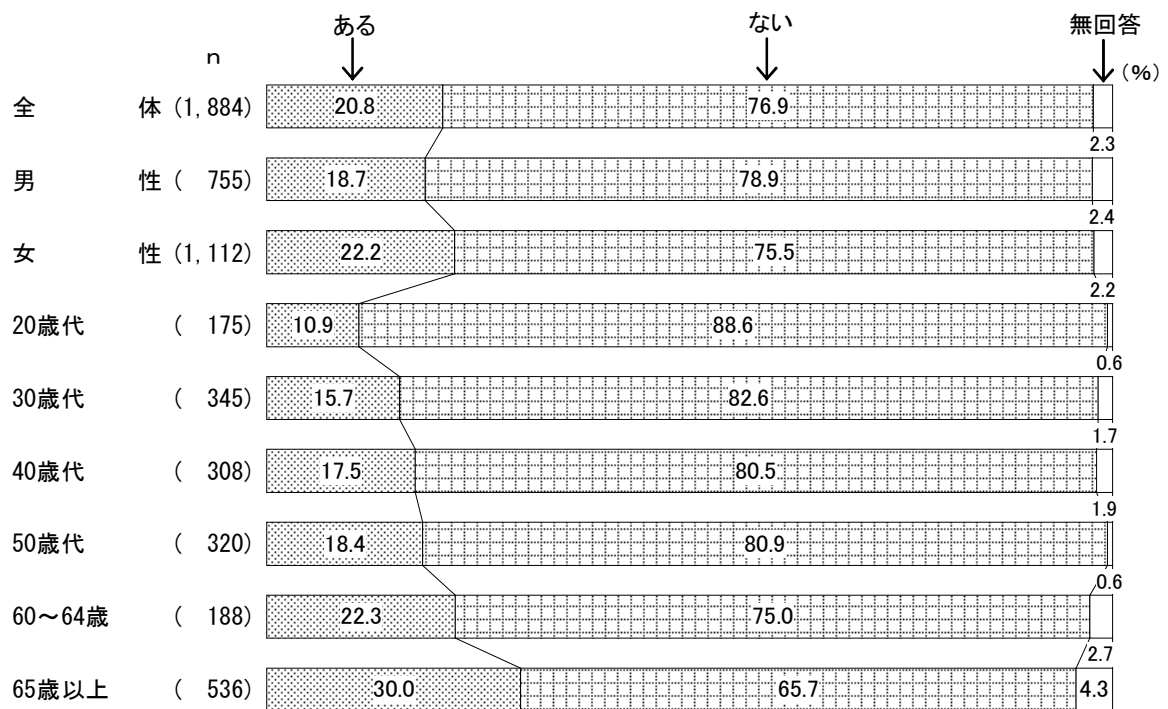
問27 あなたは、市の相談窓口を利用したことがありますか。（○は1つだけ）

図6－8－1



市の相談窓口を利用したことがあるか聞いたところ、「ない」が大多数の7割台半ば（76.9%）を占め、一方、「ある」は約2割（20.8%）となっている。（図6－8－1）

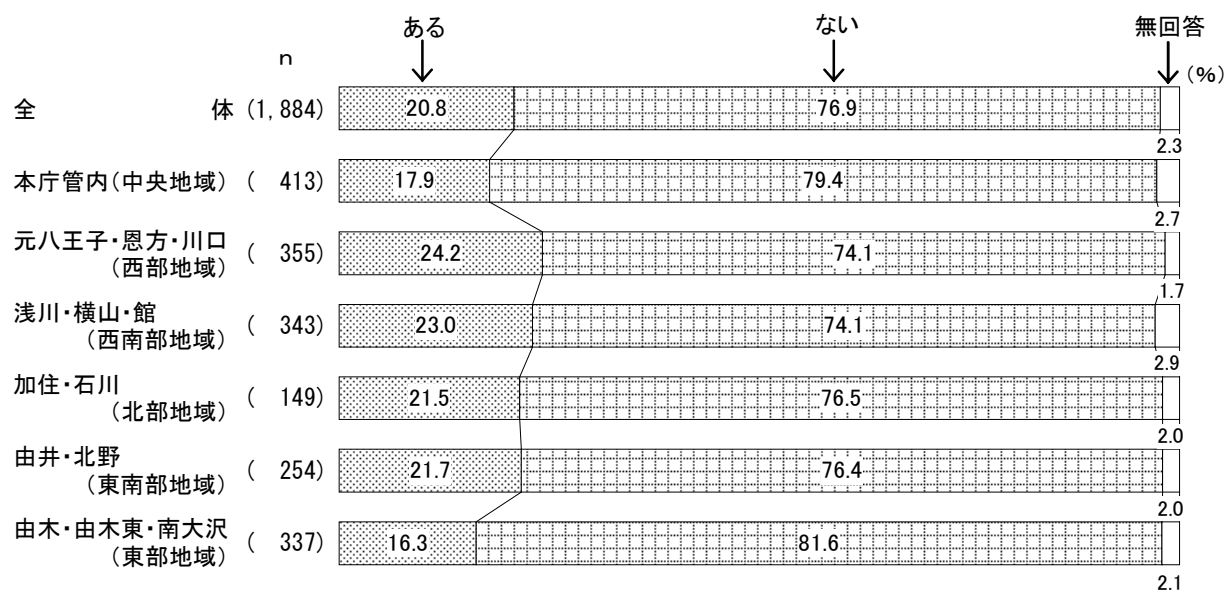
図6－8－2 市の相談窓口の利用の有無－性別・年齢別



性別にみると、女性のほうが「ある」の割合が3.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「ある」の割合が増加する傾向がみられる。（図6－8－2）

図 6－8－3 市の相談窓口の利用の有無－居住地域別



居住地域別にみると、「ある」は元八王子・恩方・川口（西部地域）で2割台半ば（24.2%）と他の地域と比べて高くなっている。（図6－8－3）

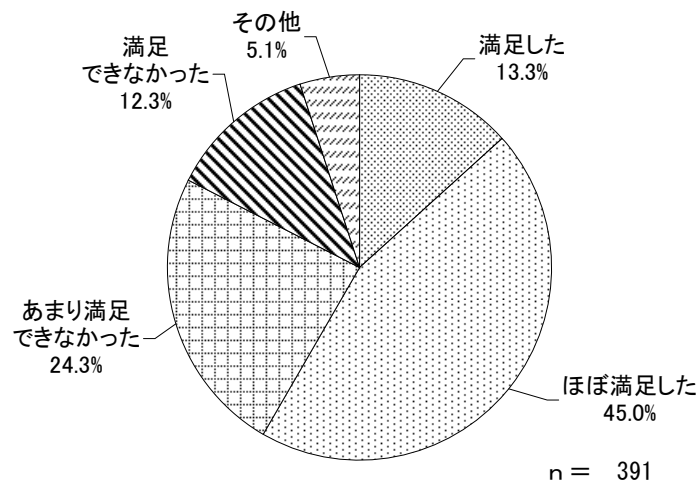
6－9 相談窓口の満足度

◇『満足した』が6割弱

(問27で「ある」とお答えの方に)

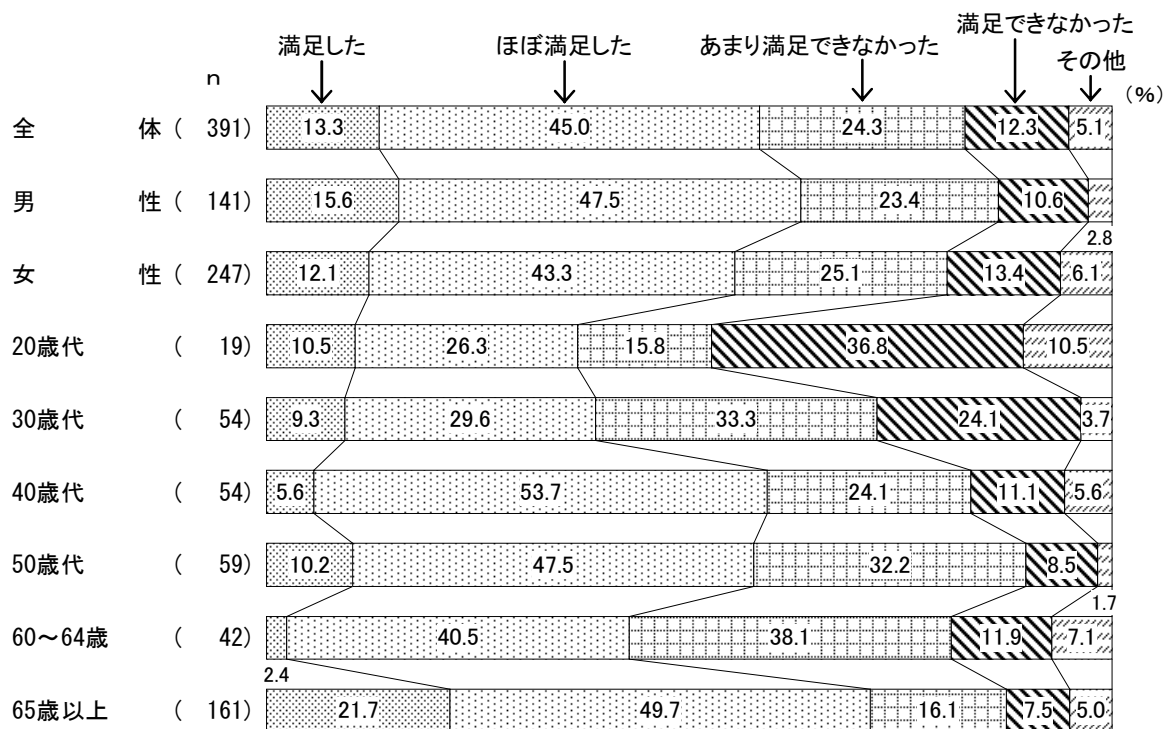
問27－1 市の相談窓口を利用してどう感じましたか。(○は1つだけ)

図6－9－1



市の相談窓口の利用で「ある」と答えた人(391人)に、市の相談窓口を利用してどう感じたか聞いたところ、「ほぼ満足した」が4割台半ば(45.0%)と最も高く、「満足した」(13.3%)と合わせた『満足した』は6割弱(58.3%)となっている。一方、「あまり満足できなかった」(24.3%)と「満足できなかった」(12.3%)を合わせた『満足できなかった』は3割台半ば(36.6%)となっている。(図6－9－1)

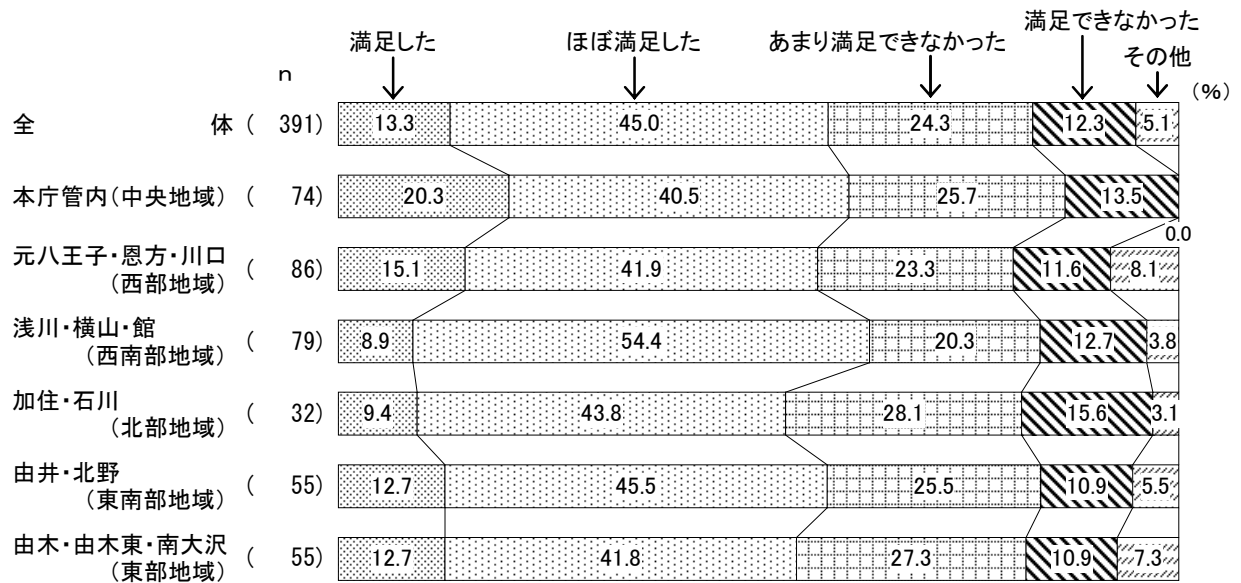
図6－9－2 相談窓口の満足度－性別・年齢別



性別にみると、男性のほうが『満足した』が7.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『満足した』割合は、65歳以上(71.4%)が特に高くなっている。(図6－9－2)

図 6－9－3 相談窓口の満足度－居住地域別



居住地域別にみると、『満足した』はすべての地域で5割以上を占めている。また、「満足した」では本庁管内（中央地域）が約2割（20.3%）と他の地域に比べて特に高くなっている。

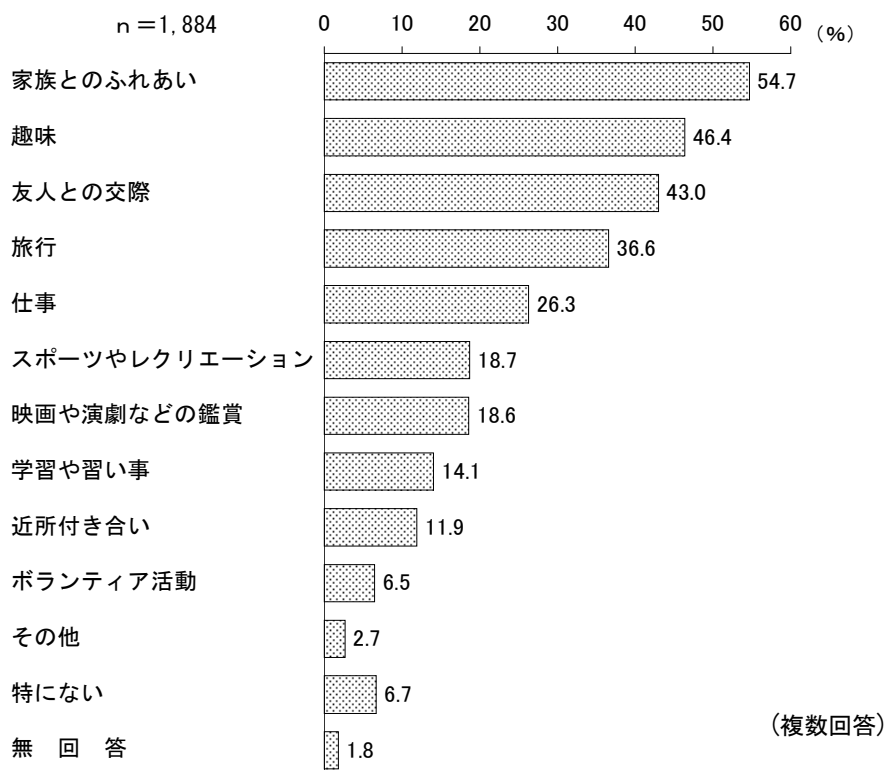
（図 6－9－3）

6-10 現在の生きがい

◇「家族とのふれあい」が5割台半ば

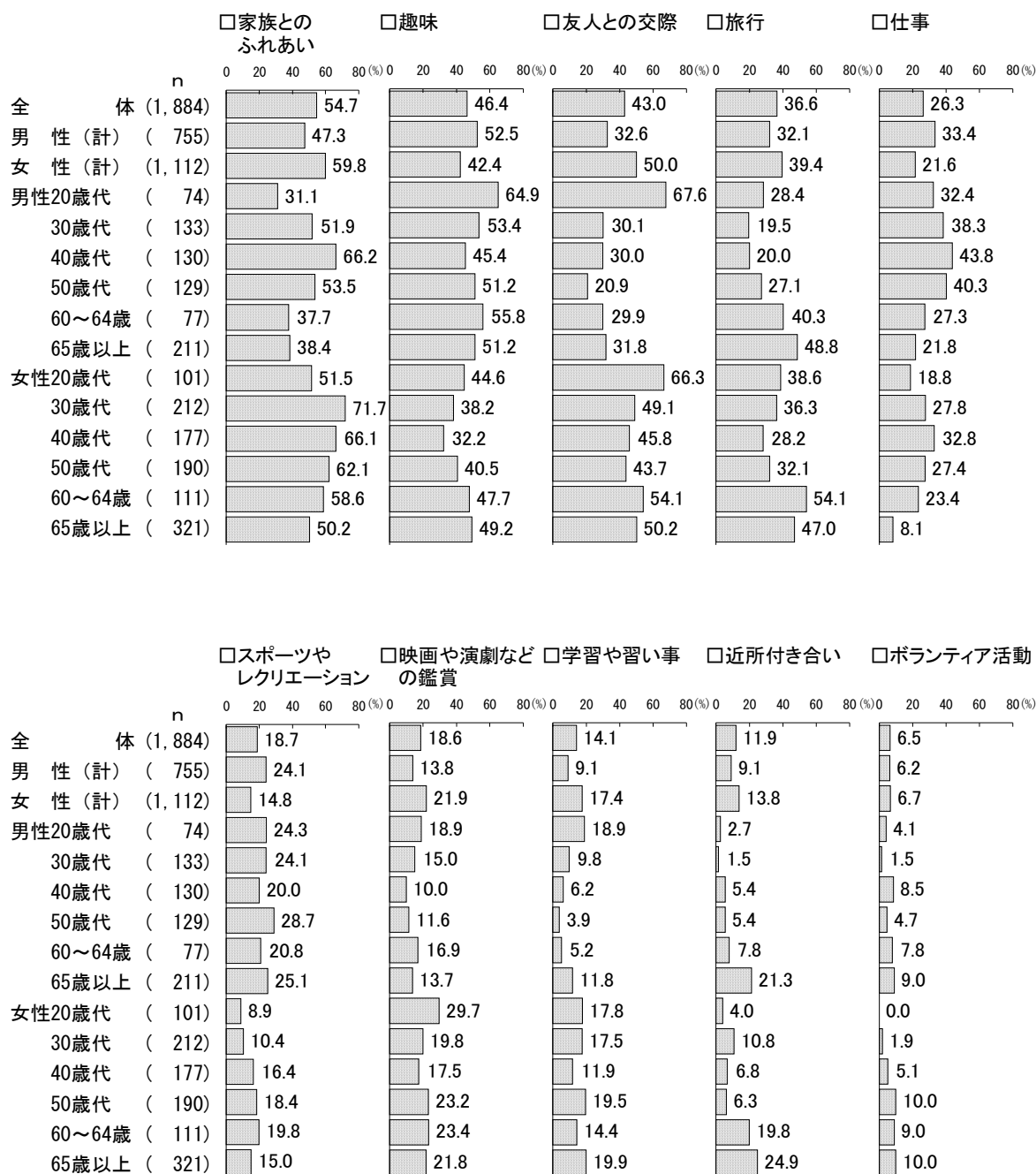
問28 あなたの現在の生きがいはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

図6-10-1



現在の生きがいについて聞いたところ、「家族とのふれあい」が5割台半ば（54.7%）と最も高く、ついで「趣味」（46.4%）、「友人との交際」（43.0%）、「旅行」（36.6%）、「仕事」（26.3%）の順で続いている。（図6-10-1）

図6-10-2 現在の生きがいー性別・年齢別（上位10項目）



性別にみると、「友人との交際」は女性のほうが17.4ポイント高く、「仕事」は男性のほうが11.8ポイント高くなっている。

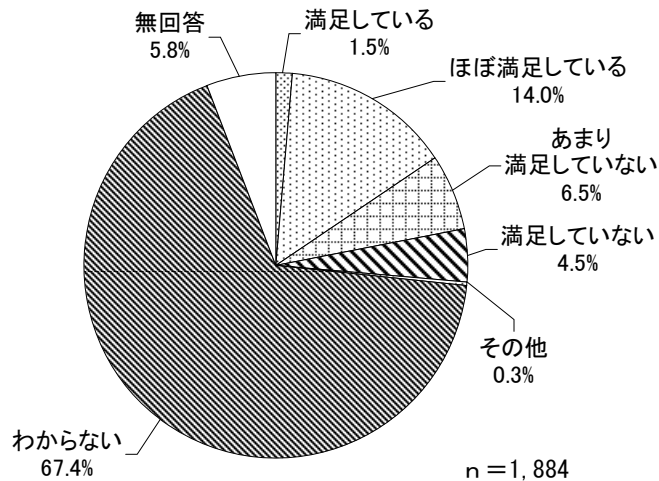
性・年齢別にみると、「家族とのふれあい」は、女性の30歳代で7割強と高く、「趣味」は男性の40歳代を除いた男性の年齢層で5割を超えている。「友人との交際」は男性と女性の20歳代で6割台と高く、「旅行」は女性の60～64歳で5割を超え、「仕事」は男性の40歳代・50歳代で4割台と最も高い。「スポーツやレクリエーション」は男性のすべての年齢層で2割以上と高く、「映画や演劇などの鑑賞」は女性の20歳代で3割弱となっている。また、「近所付き合い」は男女とも65歳以上で2割以上となっている。（図6-10-2）

6-11 市の子育て支援施策の満足度

◇「ほぼ満足している」が1割台半ば

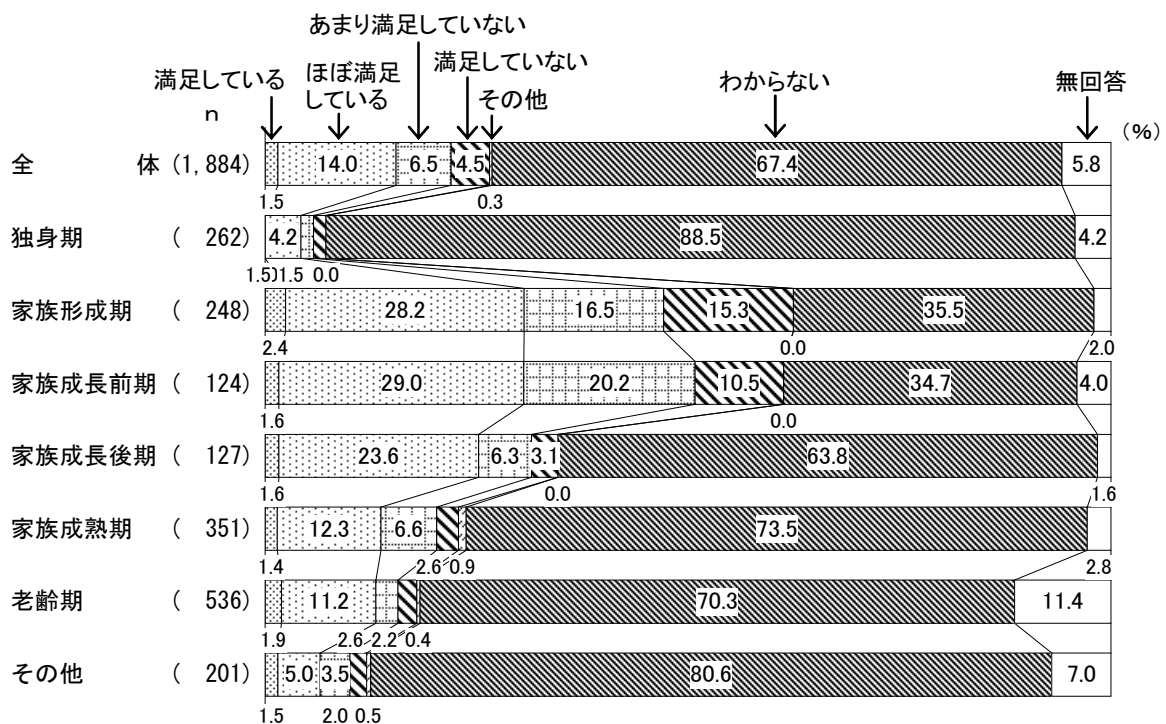
問29 あなたは、市が行っている様々な子育て支援策について、日頃どのように感じていますか。(〇は1つだけ)

図6-11-1



市の子育て支援施策についてどのように感じているかについて聞いたところ、「満足している」(1.5%)と「ほぼ満足している」(14.0%)を合わせた『満足』は1割台半ば(15.5%)となっている。一方、「あまり満足していない」(6.5%)と「満足していない」(4.5%)を合わせた『満足していない』(11.0%)は1割強となっている。(図6-11-1)

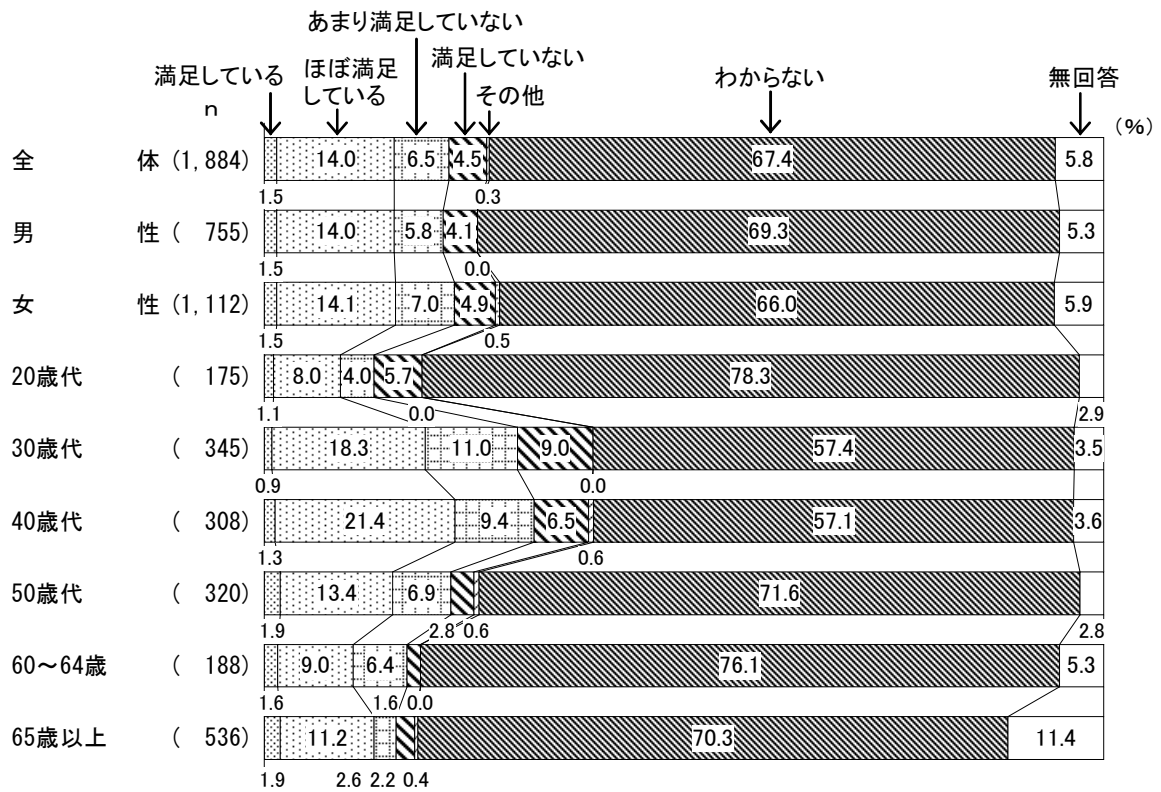
図6-11-2 市の子育て支援施策の満足度—ライフステージ別



ライフステージ別にみると、家族成長後期では『満足』が『満足していない』を15.8ポイント上回っている。家族形成期、家族成長前期以外のステージは「わからない」が過半数を占めている。

(図6-11-2)

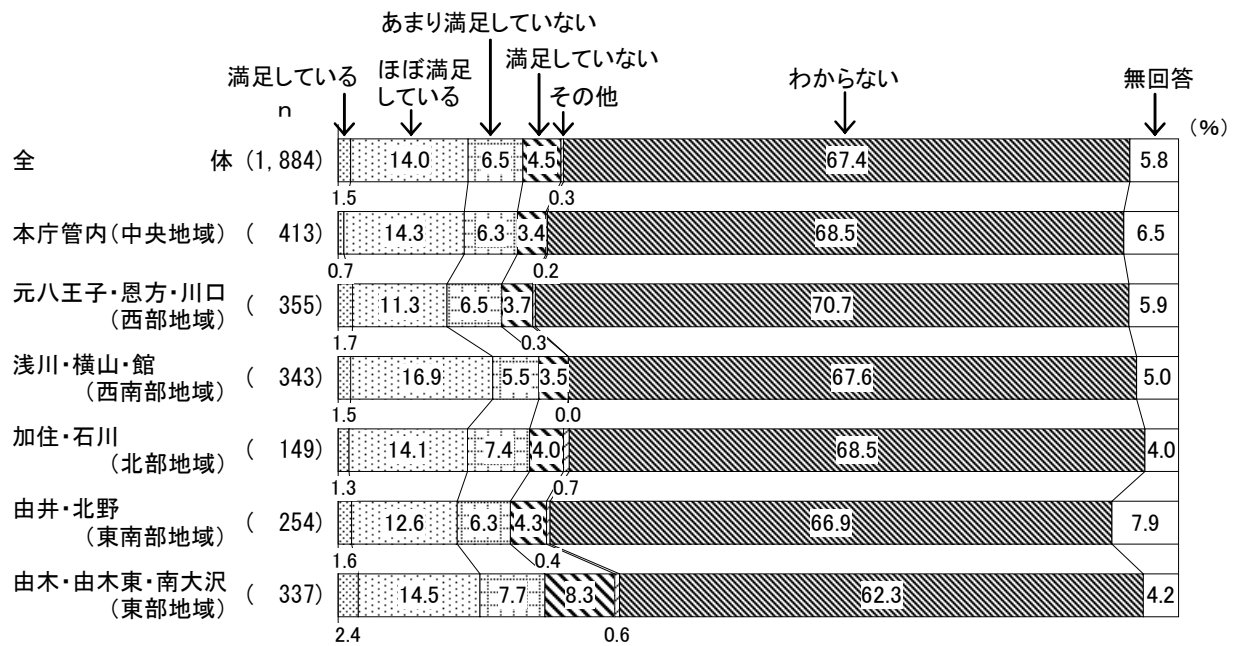
図6-11-3 市の子育て支援施策の満足度－性別・年齢別



性別にみると、女性のほうが『満足していない』が2.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、20歳代を除き、年齢が高くなるほど『満足していない』の割合が減少する傾向となっている。(図6-11-3)

図 6-11-4 市の子育て支援施策の満足度－居住地域別



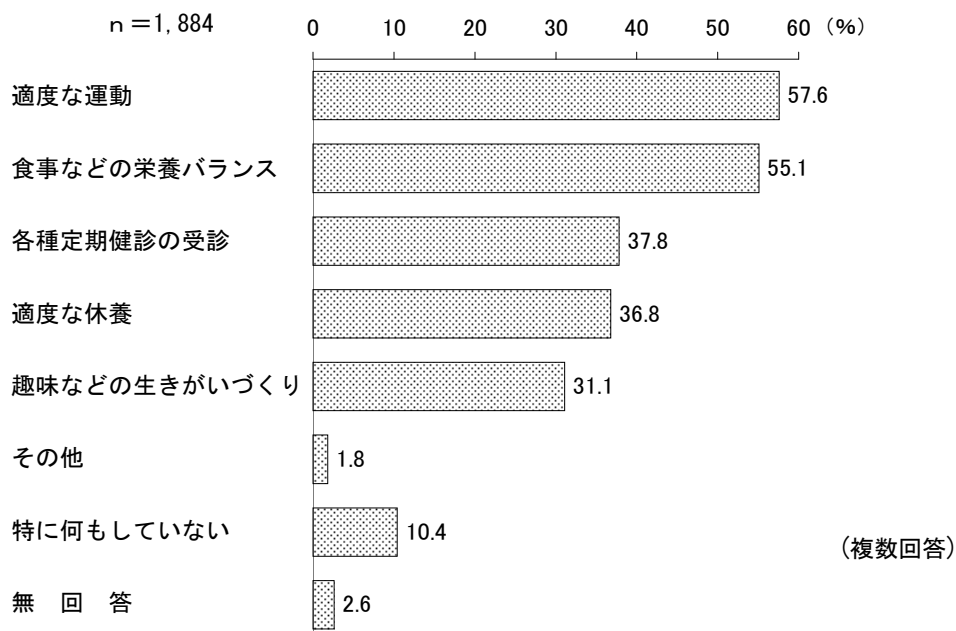
居住地域別にみると、『満足』は浅川・横山・館（西南部地域）で2割弱（18.4%）と最も高くなっている。（図 6-11-4）

6-12 健康のために心がけていること

◇「適度な運動」「食事などの栄養バランス」がともに5割台半ば

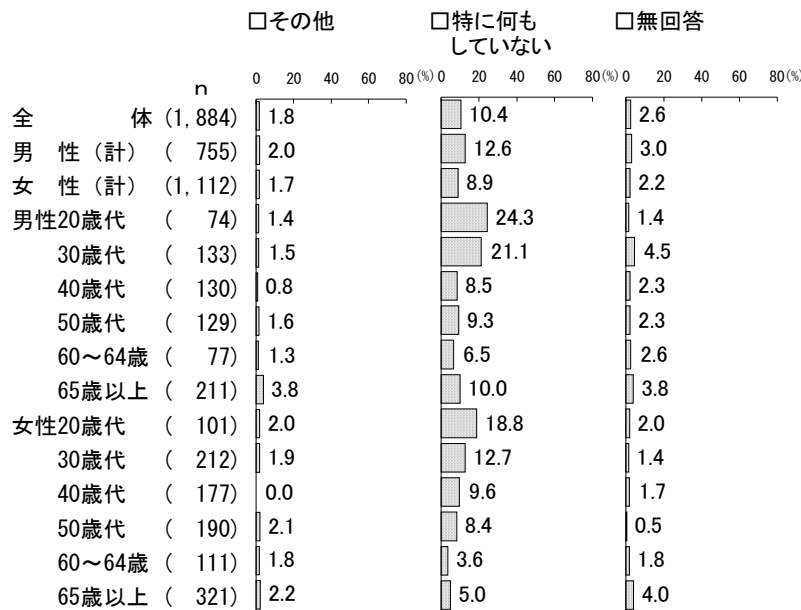
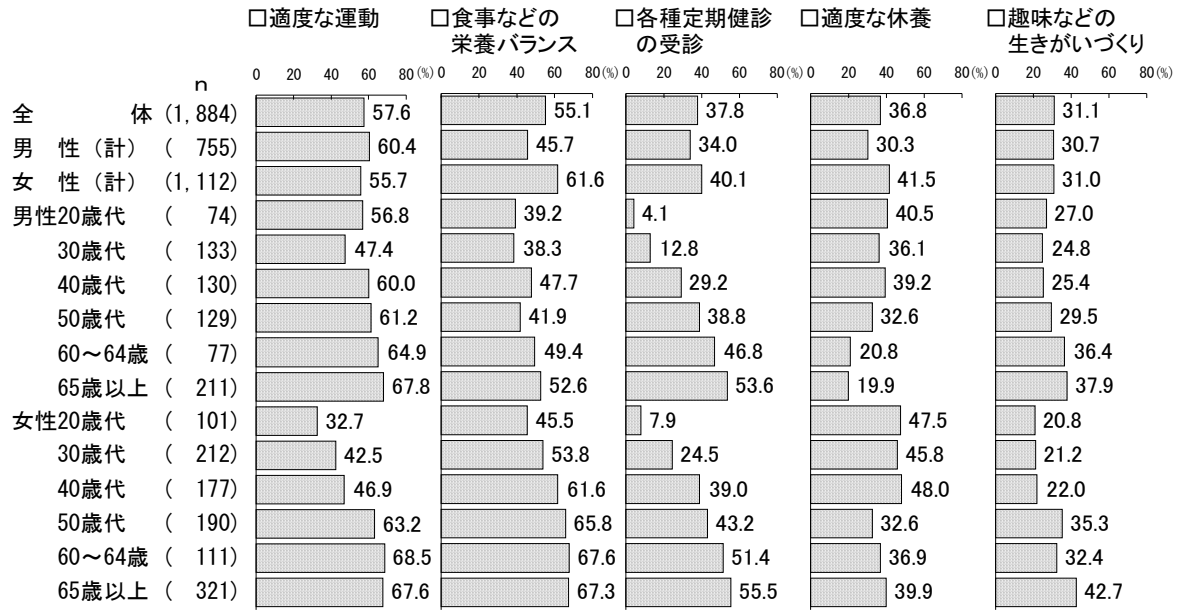
問30 あなたが健康の維持・増進のために、自ら心がけて行動していることはどれですか。
(○はいくつでも)

図6-12-1



健康の維持・増進のために自ら心がけて行動していることについて聞いたところ、「適度な運動」(57.6%)と「食事などの栄養バランス」(55.1%)がともに5割台半ばとなっており、ついで「各種定期健診の受診」(37.8%)、「適度な休養」(36.8%)と続いている。(図6-12-1)

図6-12-2 健康のために心がけていること－性別・年齢別



性別にみると、「食事などの栄養バランス」は女性のほうが15.9ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「適度な運動」は男女とも概ね年齢が高くなるほど割合が増加している。「食事などの栄養バランス」では女性の40歳以上で6割台と高くなっている。「各種定期健診の受診」は男女とも年齢が高くなるほど割合が増加する傾向がみられ、特に女性の65歳以上では5割台半ば（55.5%）を占めている。「適度な休養」は男性20歳代と女性の40歳代以下で4割台と高くなっており、「趣味などの生きがいがづくり」は女性65歳代で4割強（42.7%）と高くなっている。

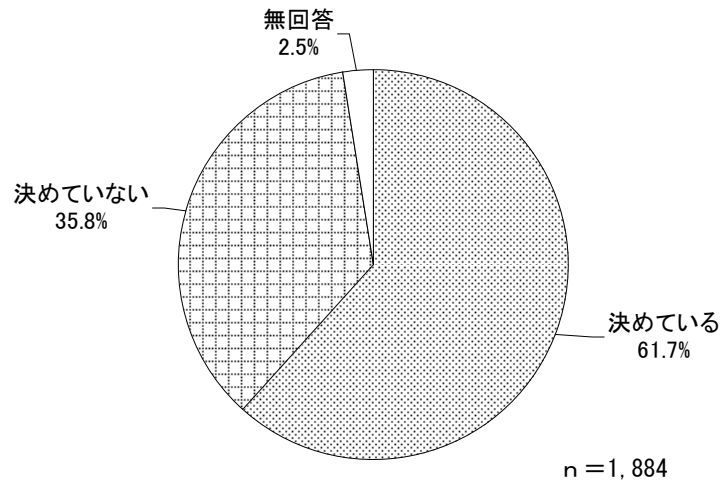
（図6-12-2）

6-13 かかりつけの医療機関の有無

◇「決めている」人は6割強

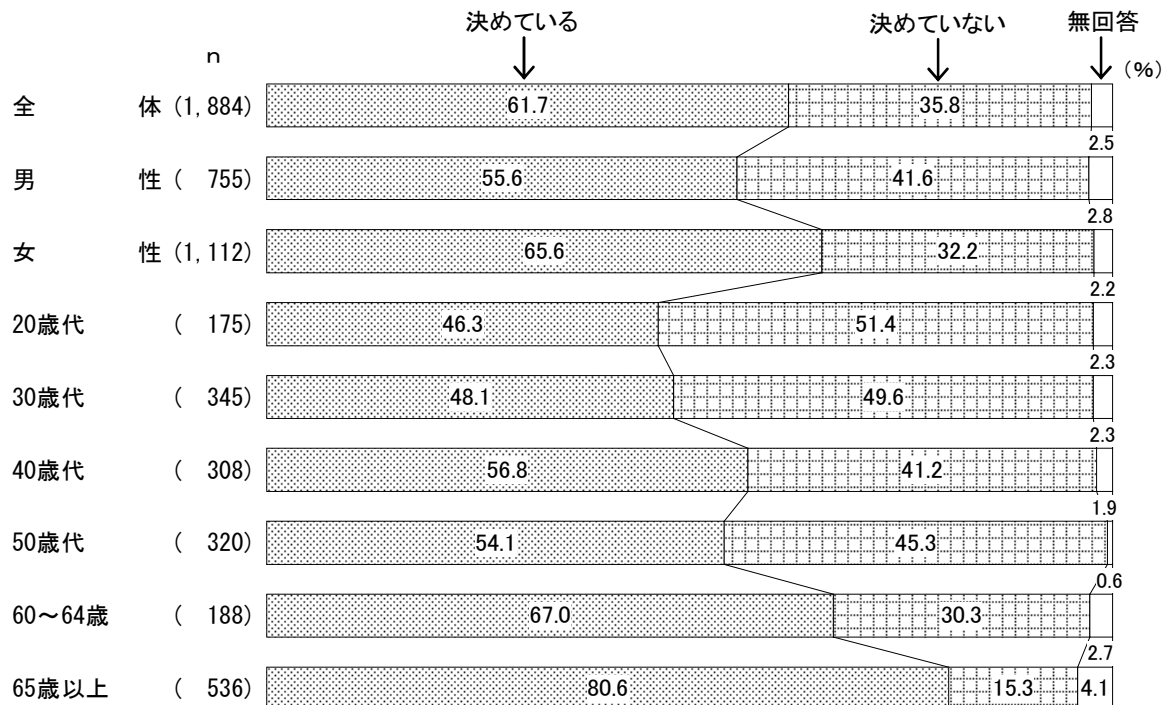
問31 あなたは、かかりつけの医療機関を決めていますか。(○は1つだけ)

図6-13-1



かかりつけの医療機関を決めているか聞いたところ、「決めている」が6割強（61.7%）、一方、「決めていない」が3割台半ば（35.8%）となっている。（図6-13-1）

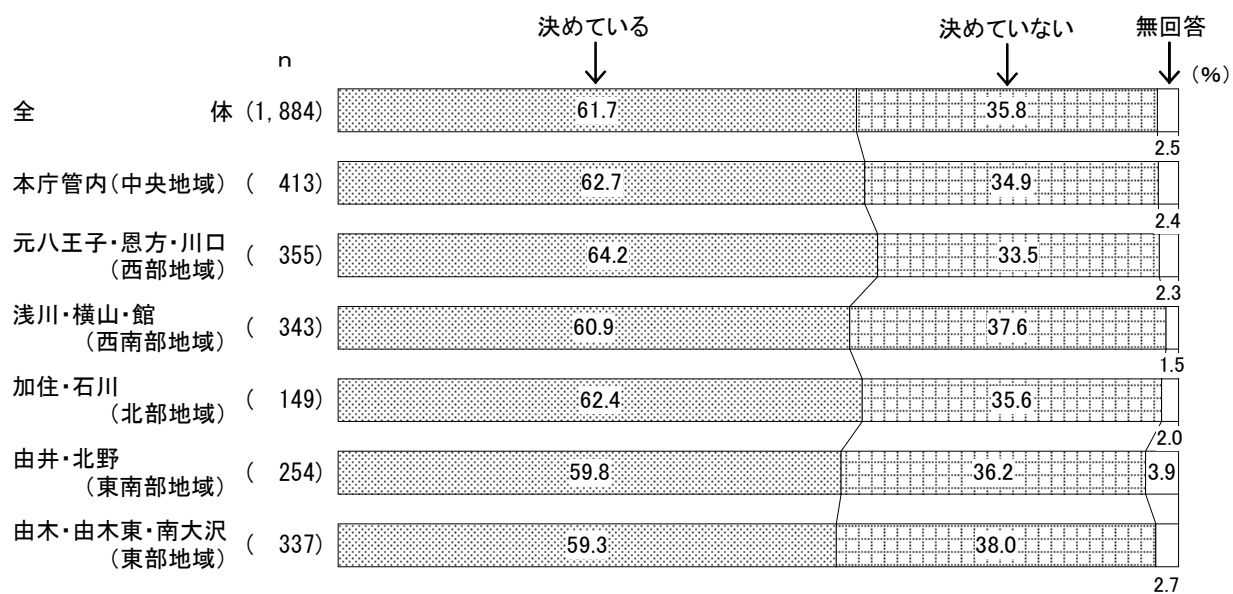
図6-13-2 かかりつけの医療機関の有無－性別・年齢別



性別にみると、女性のほうが「決めている」が10.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、50歳代を除き、年齢が高くなるほど「決めている」の割合が増加する傾向がみられ、65歳以上では約8割（80.6%）を占めている。（図6-13-2）

図 6-13-3 かかりつけの医療機関の有無－居住地域別



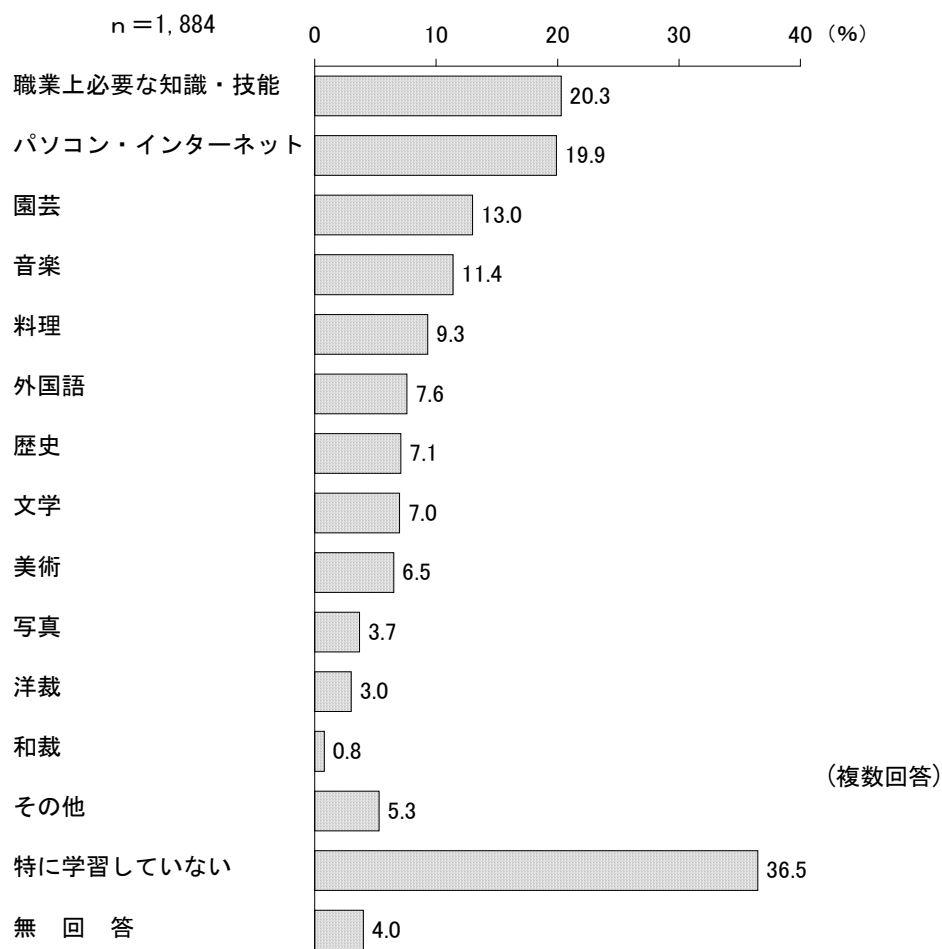
居住地域別にみると、「決めている」はすべての地域で6割前後となっている。(図 6-13-3)

6-14 この1年間に取り組んだ学習活動

◇「職業上必要な知識・技能」と「パソコン・インターネット」の2項目が約2割

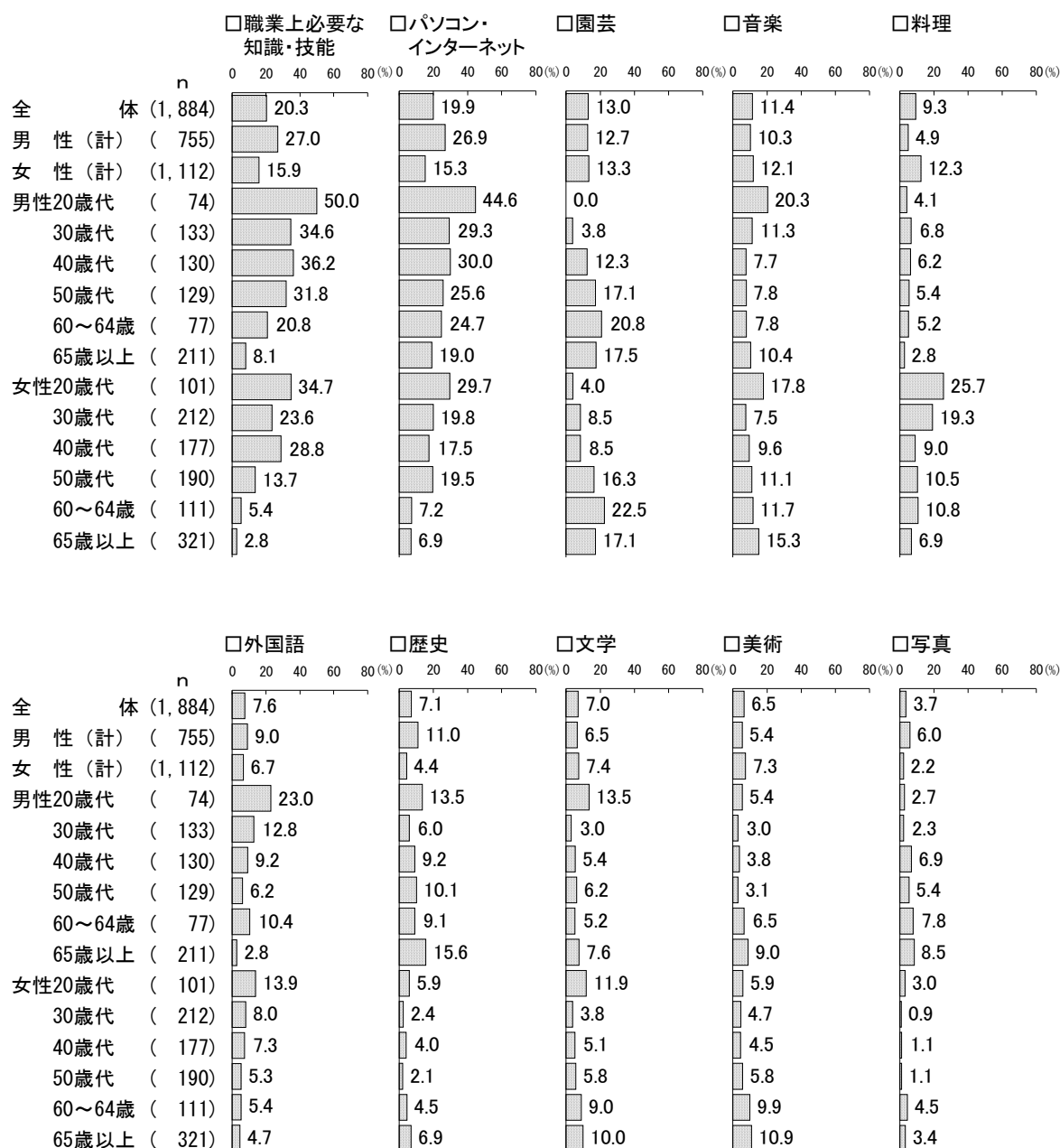
問32 あなたがこの1年間に取り組んだ学習活動はどれですか。(○はいくつでも)

図6-14-1



この1年間に取り組んだ学習活動について聞いたところ、「職業上必要な知識・技能」が約2割(20.3%)と最も高く、ついで「パソコン・インターネット」(19.9%)、「園芸」(13.0%)、「音楽」(11.4%)、「料理」(9.3%)と続いている。(図6-14-1)

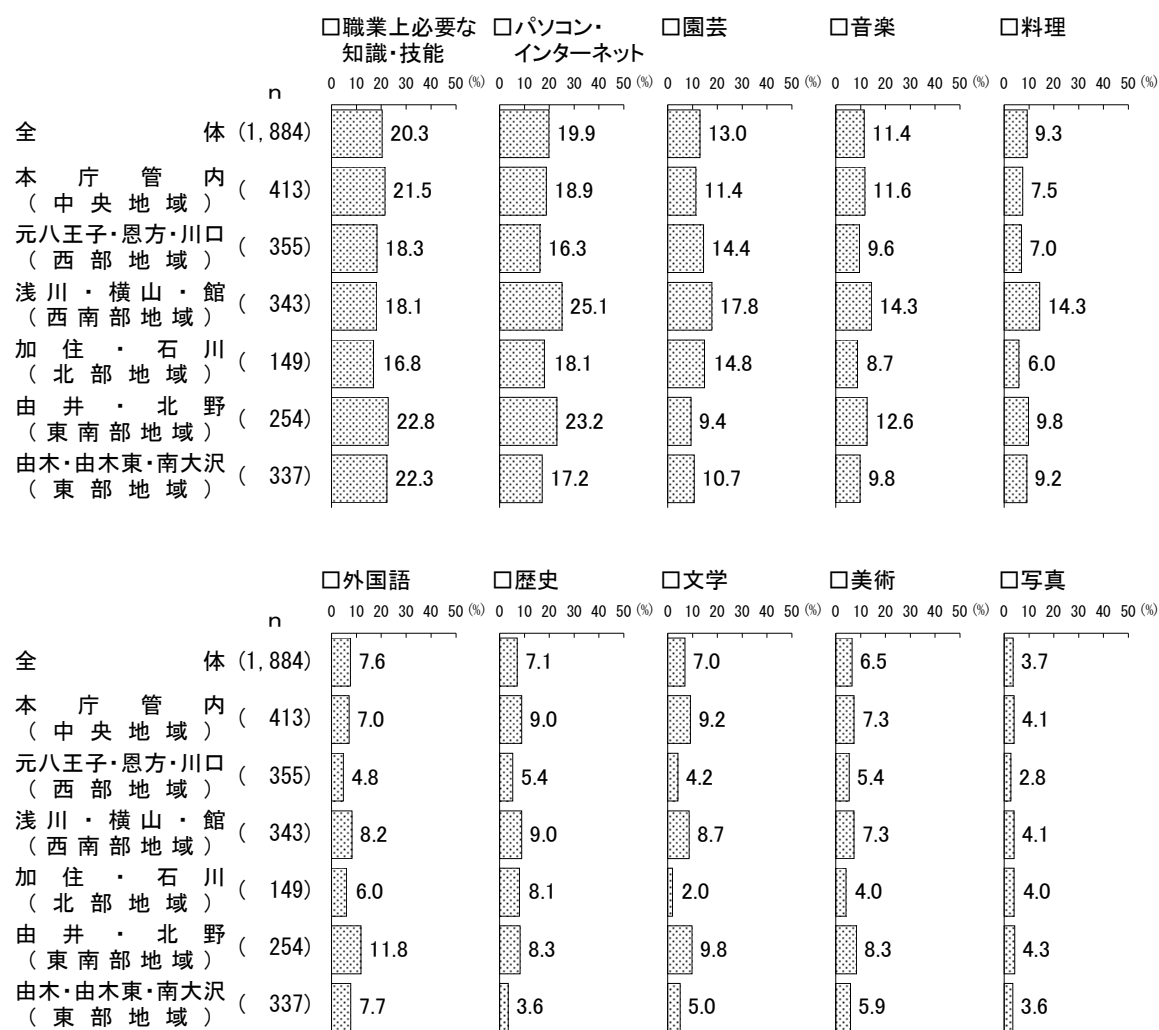
図6-14-2 この1年間に取り組んだ学習活動－性別・年齢別（上位10項目）



性別にみると、男性のほうが「パソコン・インターネット」で11.6ポイント、「職業上必要な知識・技能」で11.1ポイント高く、女性のほうが「料理」で7.4ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、男性の20歳代で「職業上必要な知識・技能」は5割（50.0%）、「パソコン・インターネット」は4割台半ば（44.6%）を占めて高くなっている。「園芸」は65歳以上を除き年齢が高くなるほど割合が増加する傾向がみられる。（図6-14-2）

図6-14-3 この1年間に取り組んだ学習活動－居住地地域別（上位10項目）



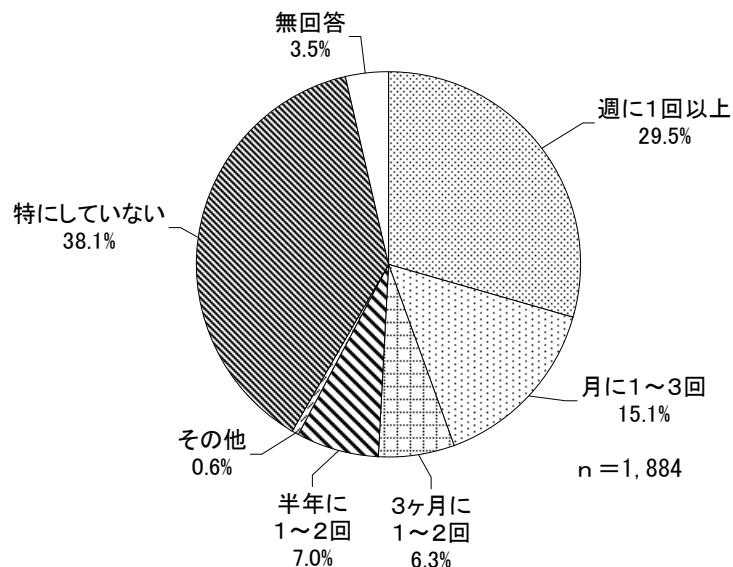
居住地地域別にみると、由井・北野（東南部地域）では「パソコン・インターネット」（23.2%）、「職業上必要な知識・技能」（22.8%）が2割強と高くなっている。浅川・横山・館（西南部地域）では「パソコン・インターネット」が2割台半ば（25.1%）と高くなっている。（図6-14-3）

6-15 この1年間に行ったスポーツの頻度

◇「週に1回以上」が約3割、「特にしていない」が4割弱

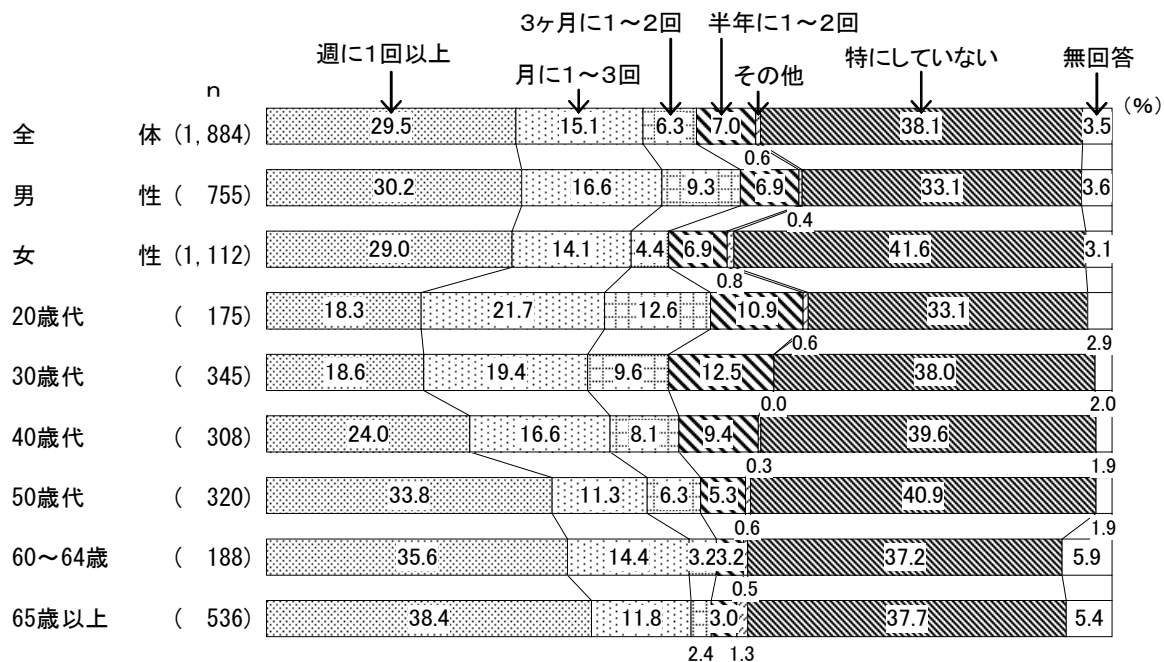
問33 あなたがこの1年間にスポーツを行った回数はどのくらいですか。(○は1つだけ)

図6-15-1



この1年間にスポーツを行った回数について聞いたところ、「週に1回以上」が約3割（29.5%）、「月に1～3回」が1割台半ば（15.1%）となり、「3か月に1～2回」（6.3%）及び「半年に1～2回」（7.0%）がともに1割未満となっている。一方、「特にしていない」は4割弱（38.1%）となっている。（図6-15-1）

図6-15-2 この1年間に行ったスポーツの頻度－性別・年齢別



性別にみると、女性のほうが「特にしていない」が8.5ポイント高くなっている。

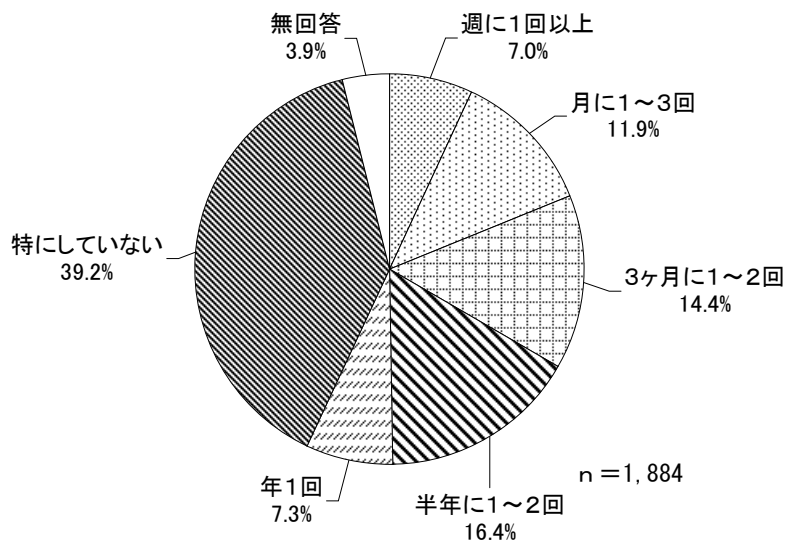
年齢別にみると、「週に1回以上」は年齢が高くなるほど割合が増加する傾向にあり、65歳以上では4割弱（38.4%）と最も高くなっている。（図6-15-2）

6-16 この1年間の芸術・文化活動の頻度

◇「特にしていない」が4割弱

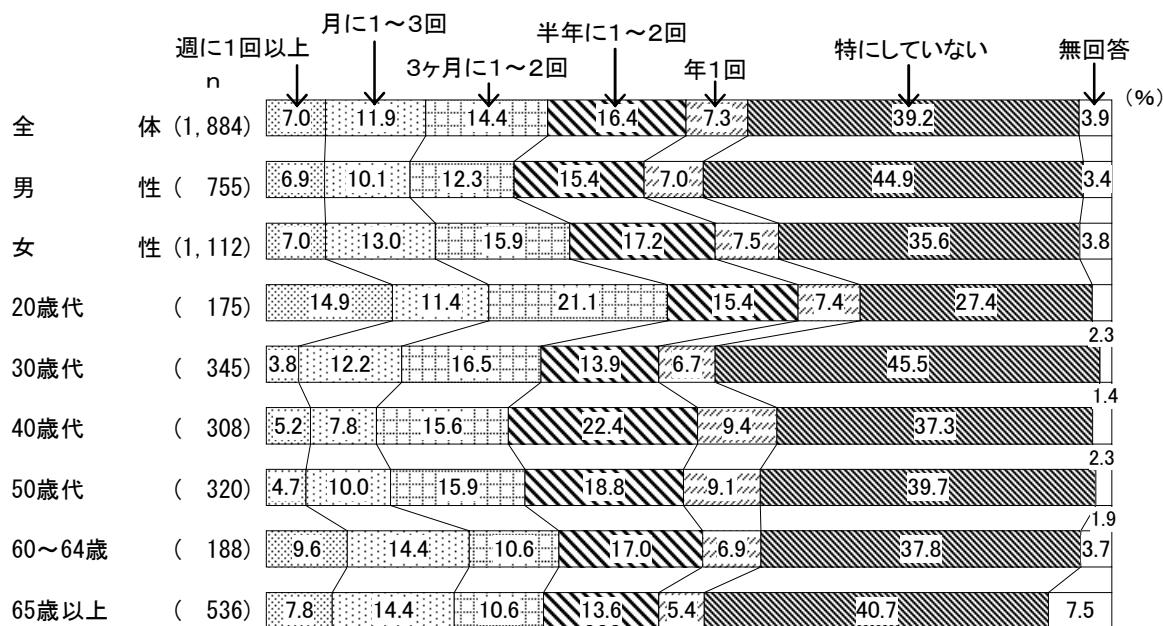
問34 あなたは、この1年間にどのくらいの頻度で芸術・文化活動に参加しましたか。(鑑(観)賞も含みます)(○は1つだけ)

図6-16-1



この1年間の芸術・文化活動の参加頻度について聞いたところ、「週に1回以上」が1割未満(7.0%)、「月に1~3回」が1割強(11.9%)、「半年に1~2回」(16.4%)と「3か月に1~2回」(14.4%)が1割台半ばとなっている。一方で「特にしていない」は4割弱(39.2%)となっている。(図6-16-1)

図6-16-2 この1年間の芸術・文化活動の頻度—性別・年齢別



性別にみると、男性のほうが「特にしていない」が9.3ポイント高くなっている。

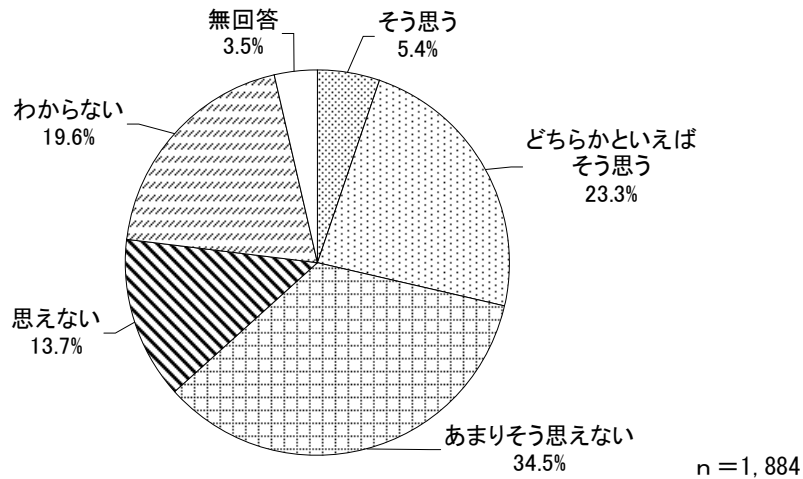
年齢別にみると、「週に1回以上」と「月に1~3回」の合計は20歳代(26.3%)の割合が最も高く、40歳代(13.0%)の割合が最も低くなっている。(図6-16-2)

6-17 市は景観に配慮されたまちであるか

◇『思えない』が5割弱

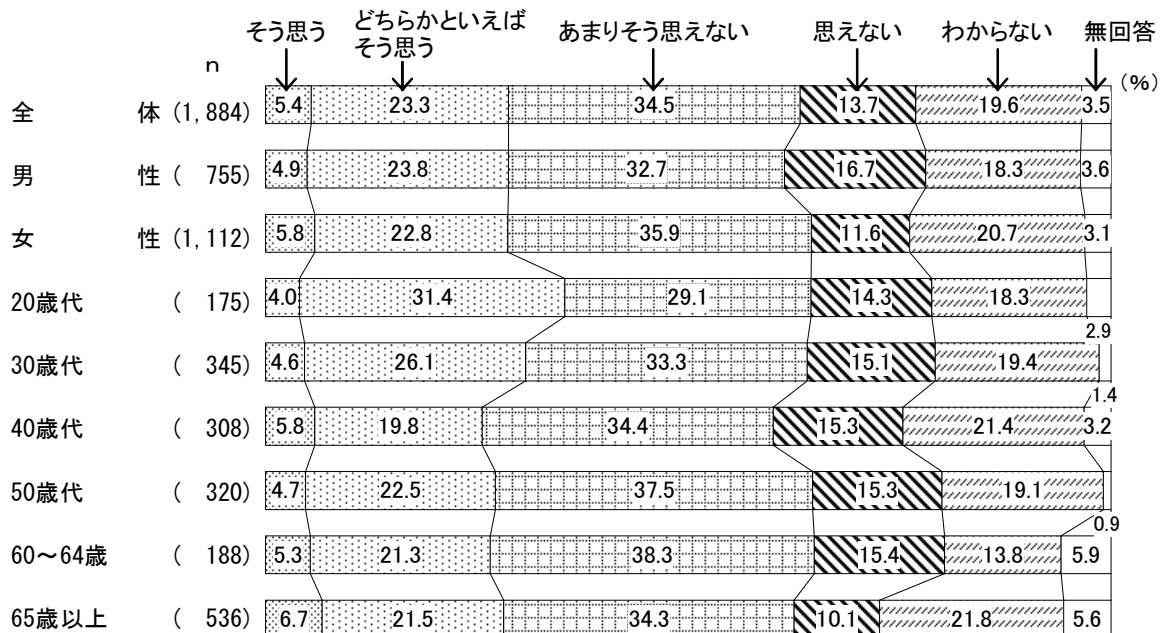
問35 あなたは、本市が景観に配慮されたまちであると思いますか。(○は1つだけ)

図6-17-1



市が景観に配慮されたまちであるかについて聞いたところ、「あまりそう思えない」が3割台半ば(34.5%)と最も高く、「思えない」(13.7%)と合わせた『思えない』は5割弱(48.2%)となっている。一方、「そう思う」(5.4%)と「どちらかといえばそう思う」(23.3%)を合わせた『そう思う』は3割弱(28.7%)となっている。(図6-17-1)

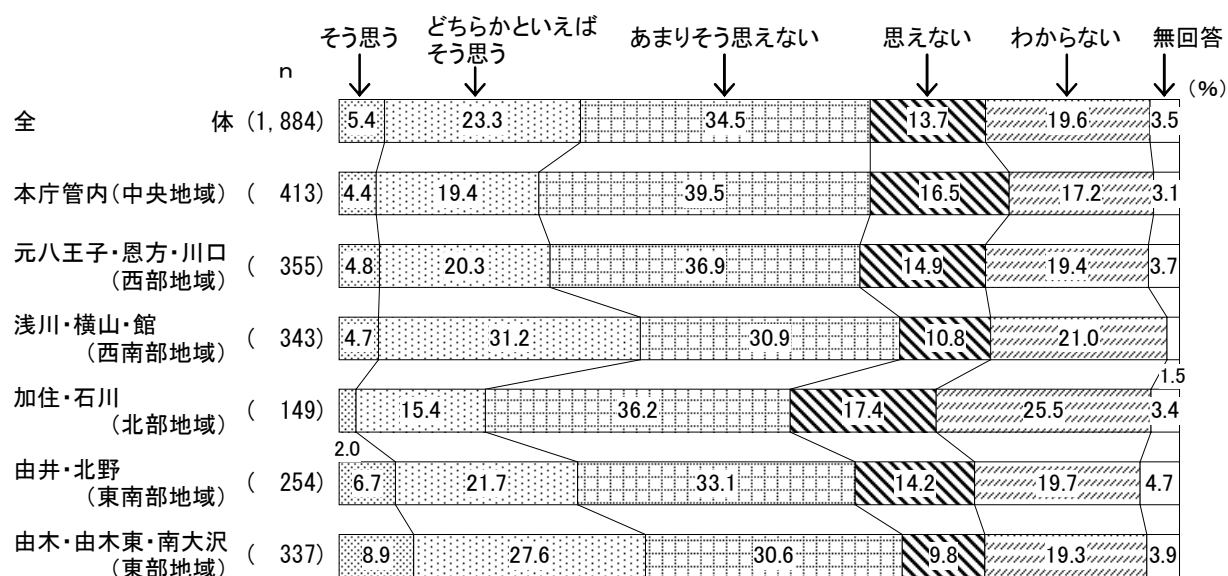
図6-17-2 市は景観に配慮されたまちであるかー性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、50歳代・60～64歳で『思えない』が5割強と高く、20歳代で『そう思う』が3割台半ば(35.4%)と、比較的高くなっている。(図6-17-2)

図 6-17-3 市は景観に配慮されたまちであるかー居住地域別



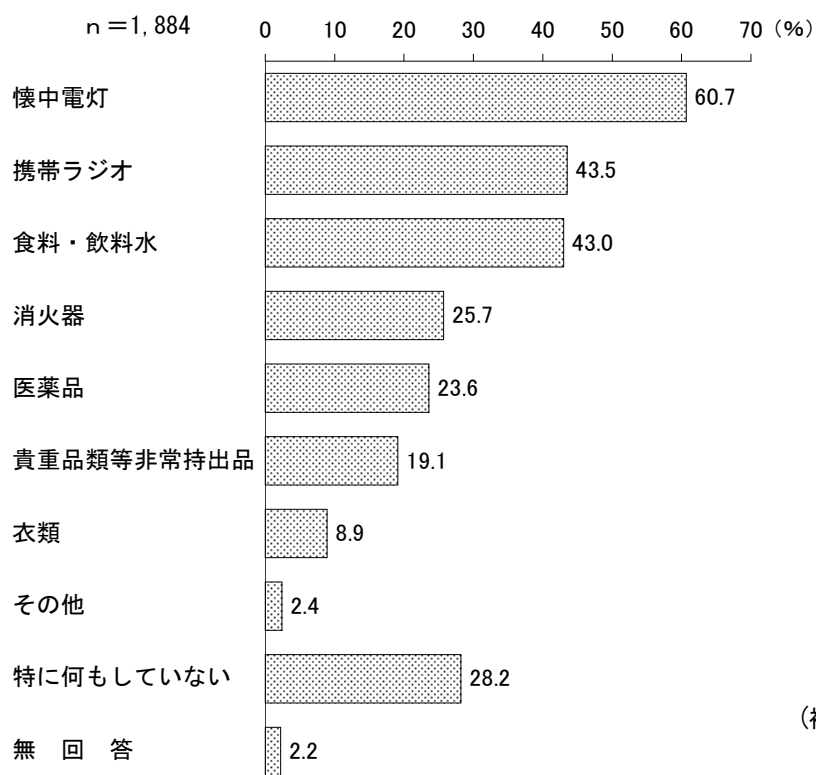
居住地域別にみると、『思えない』は本庁管内（中央地域）で5割台半ばを占め、『そう思う』は由木・由木東・南大沢（東部地域）と浅川・横山・館（西南部地域）で3割台半ばと比較的高くなっている。（図 6-17-3）

6-18 災害に対する準備

◇「懐中電灯」が約6割と突出

問36 あなたの家庭では、大地震等の災害に備えどのようなものを準備していますか。
(○はいくつでも)

図6-18-1

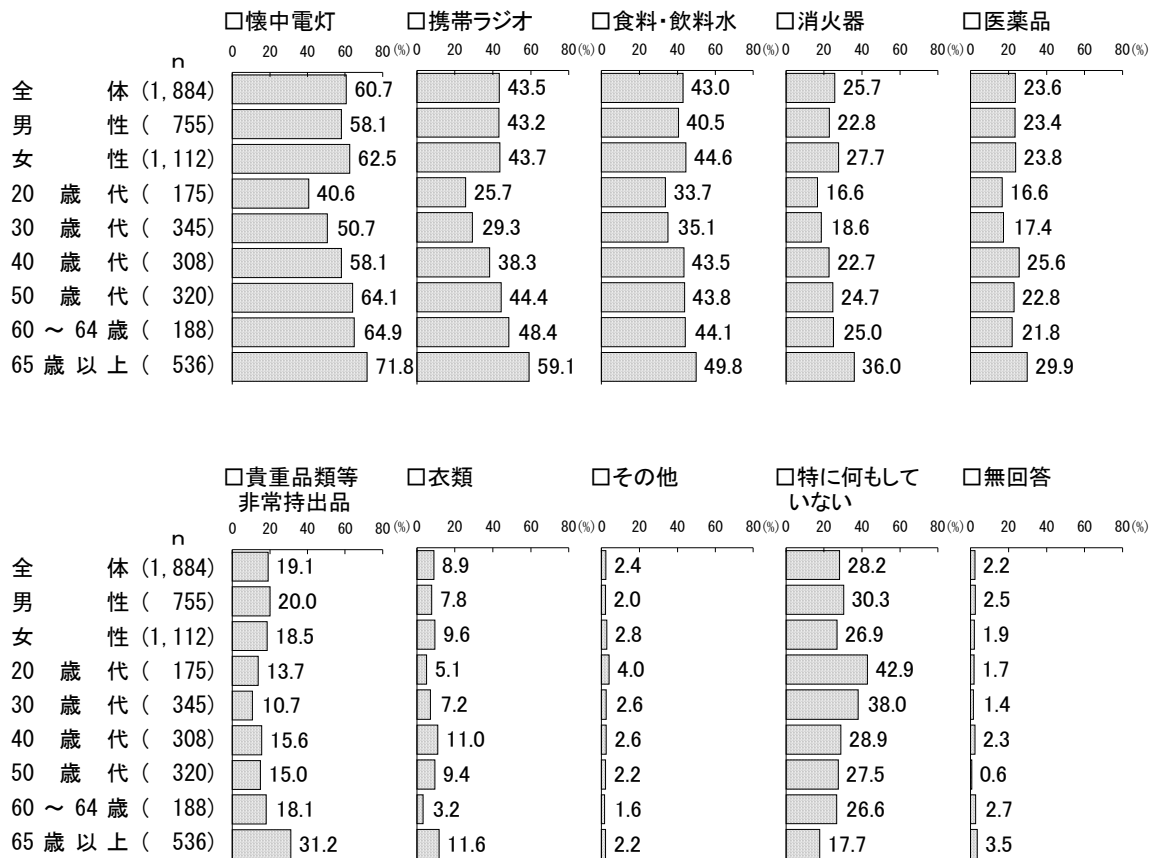


(複数回答)

大地震等の災害に備えた準備についてきいたところ、「懐中電灯」が約6割(60.7%)と最も高く、
ついで「携帯ラジオ」(43.5%)、「食料・飲料水」(43.0%)、「消火器」(25.7%)の順が続いている。

(図6-18-1)

図 6-18-2 災害に対する準備—性別・年齢別



性別にみると、「消火器」は女性のほうが4.9ポイント高くなっている。

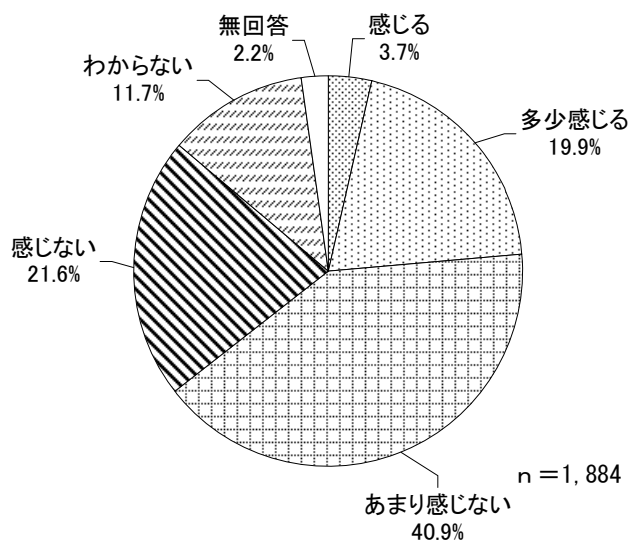
年齢別にみると、「懐中電灯」、「携帯ラジオ」、「食料・飲料水」、「消火器」は、年齢が高くなるほど割合が増加する傾向にある。これに対して、「何もしていない」は年齢が低くなるほど割合が増加する傾向にあり、20歳代は4割強（42.9%）と高くなっている。（図 6-18-2）

6-19 市のにぎわいと活力の有無

◇『感じない』が6割強

問37 あなたは、本市がにぎわいと活力があるまちであると感じますか。(○は1つだけ)

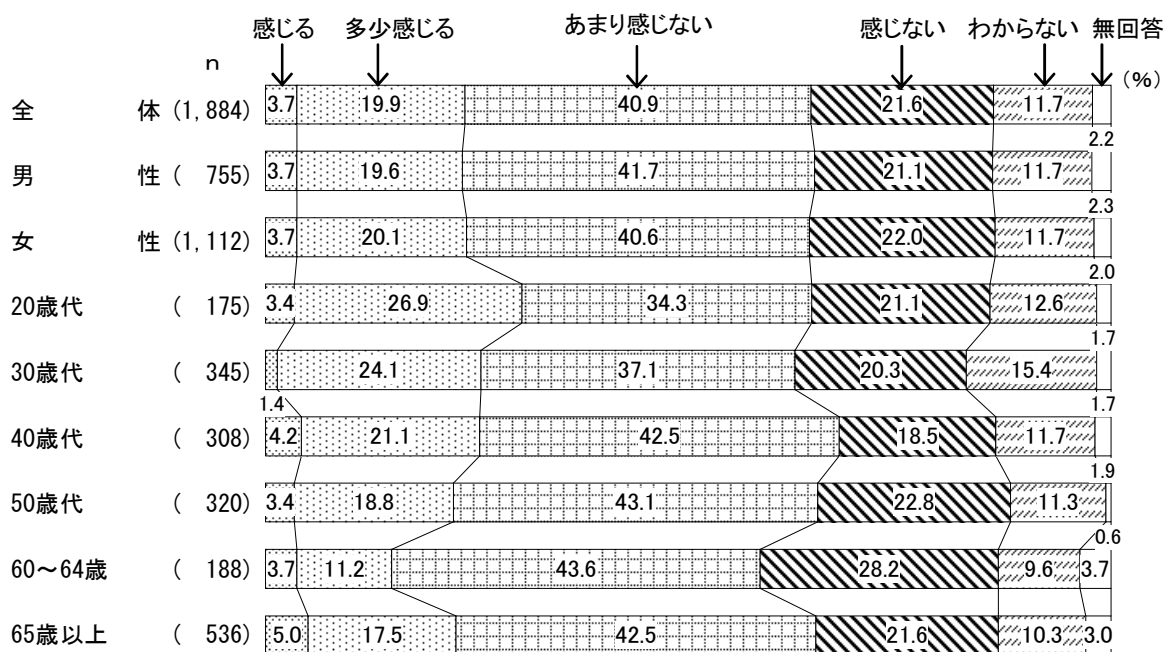
図6-19-1



八王子市がにぎわいと活力があるまちであると感じるか聞いたところ、「あまり感じない」が約4割(40.9%)と最も高く、「感じない」(21.6%)を合わせた『感じない』は6割強(62.5%)である。「感じる」(3.7%)と「多少感じる」(19.9%)を合わせた『感じる』は2割強(23.6%)となっている。

(図6-19-1)

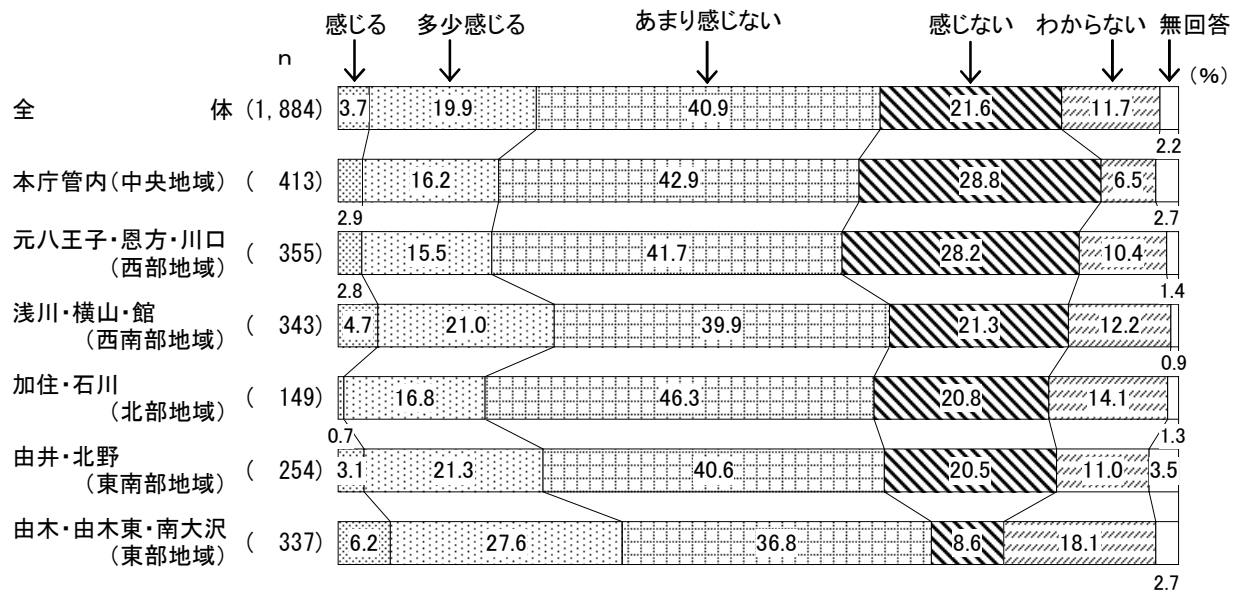
図6-19-2 市のにぎわいと活力の有無－性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、『感じる』は20歳代で約3割と高くなっている。(図6-19-2)

図 6-19-3 市のにぎわいと活力の有無－居住地域別



居住地域別にみると、『感じる』は由木・由木東・南大沢（東部地域）で3割強（33.8%）と最も高く、一方で『感じない』は本庁管内（中央地域）で7割強（71.7%）と最も高くなっている。

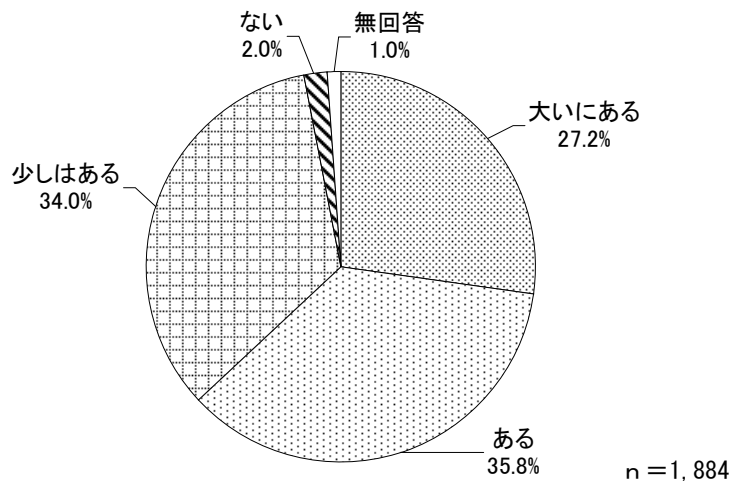
（図 6-19-3）

6-20 環境問題への関心度

◇環境問題に関心が『ある』人は9割台半ば

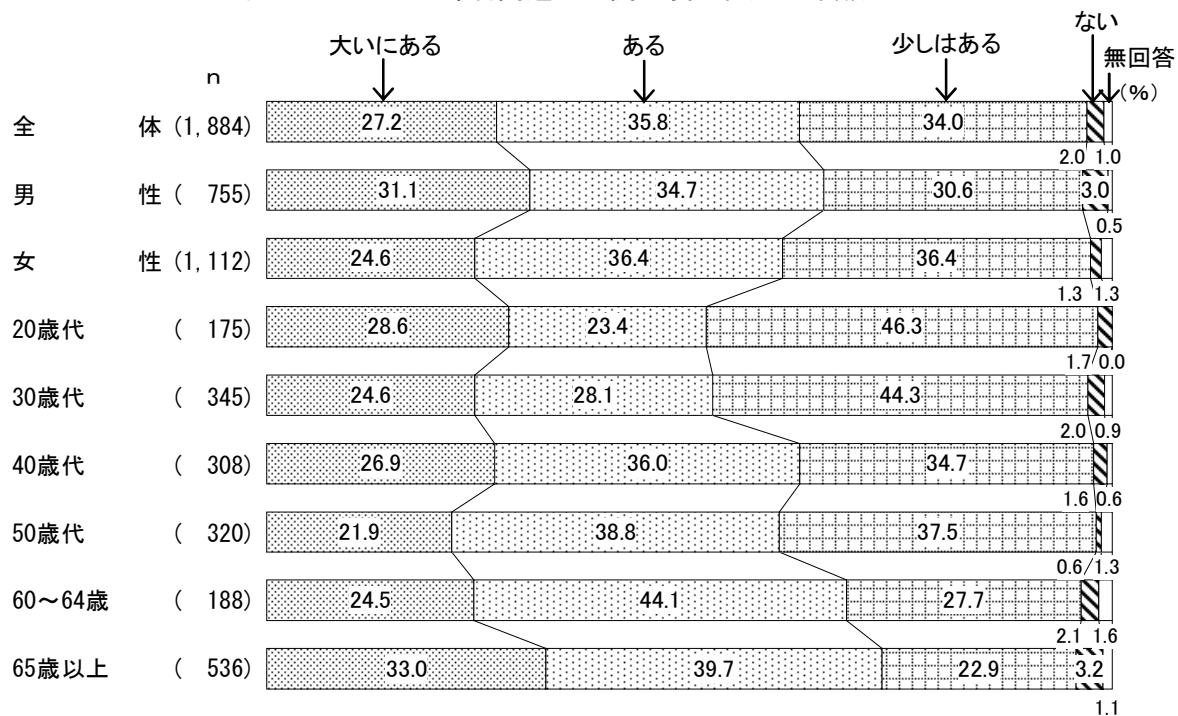
問38 あなたは、環境問題に関心はありますか。(○は1つだけ)

図6-20-1



環境問題に関心があるかどうかについて聞いたところ、「大いにある」が2割台半ば（27.2%）、「ある」（35.8%）と「少しはある」（34.0%）が3割台半ばとなっていて、3項目を合わせた『ある』は9割台半ば（97.0%）と高くなっている。一方で「ない」はわずか2.0%となっている。（図6-20-1）

図6-20-2 環境問題への関心度－性別・年齢別

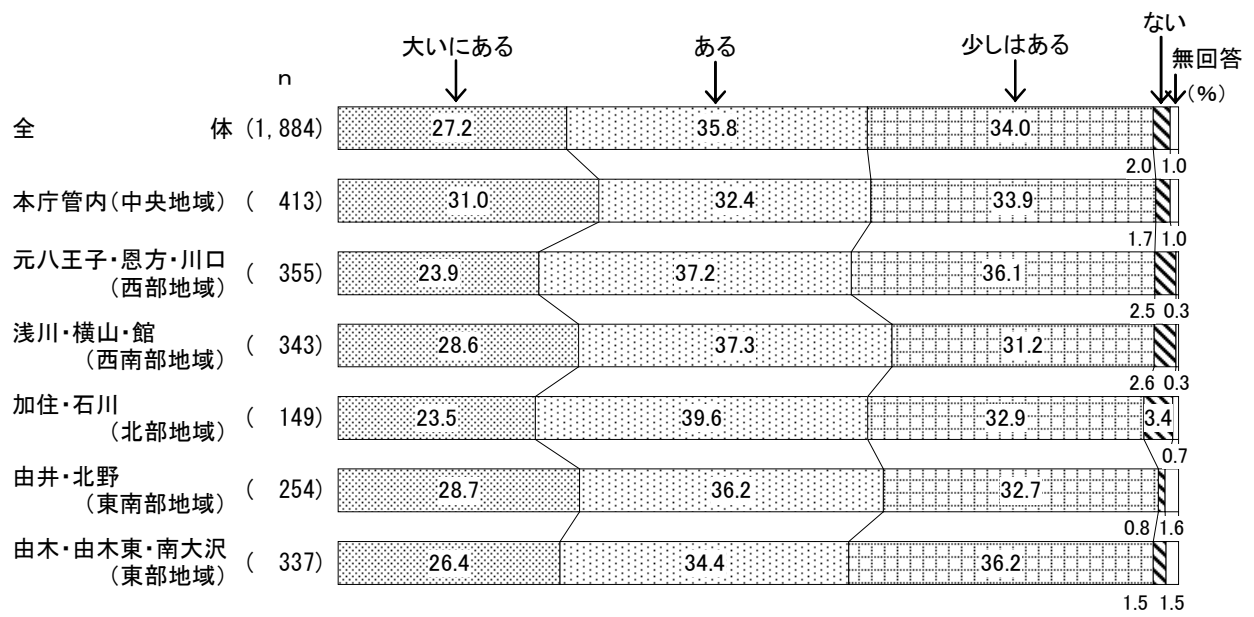


性別にみると、男性のほうが「大いにある」と「ある」の計が4.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「大いにある」と「ある」の計は65歳代以上で7割強と最も高くなっている。

(図6-20-2)

図 6-20-3 環境問題への関心度－居住地域別



居住地域別にみると、「大いにある」は本庁管内（中央地域）で3割強と高くなっている。

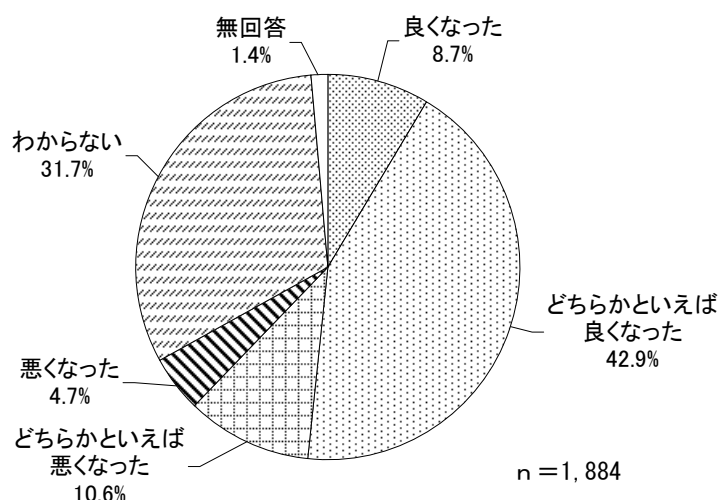
(図 6-20-3)

6-21 市の現在の環境

◇『良くなった』が5割強

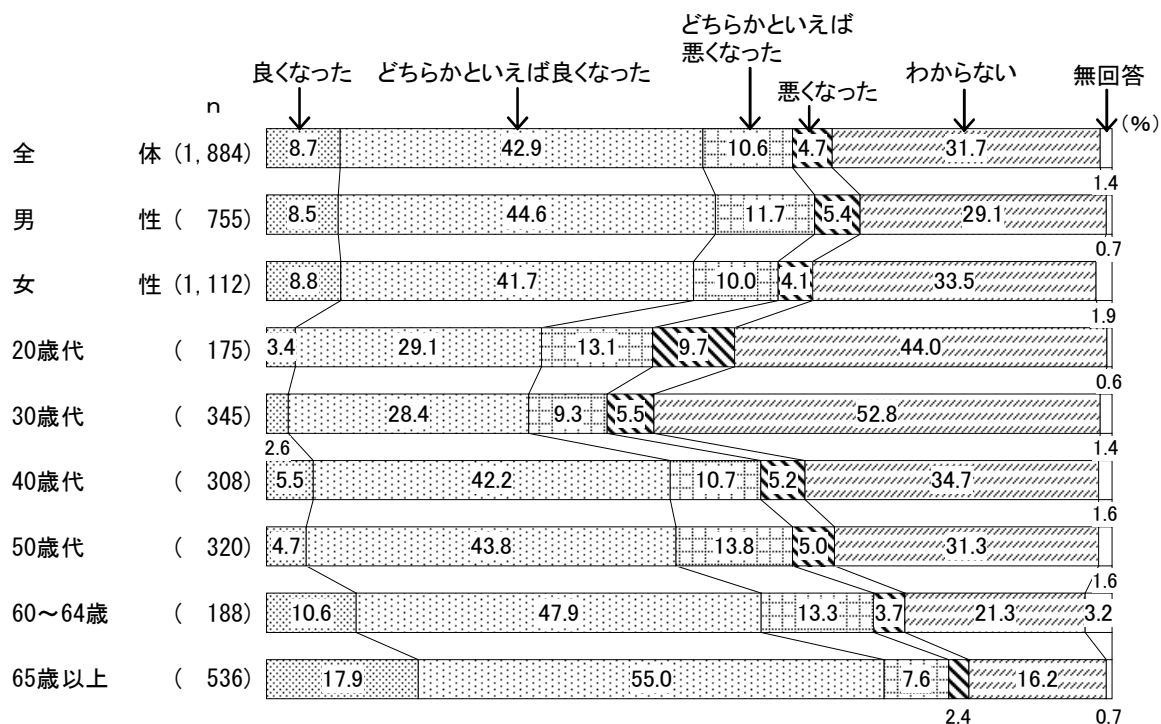
問39 あなたは、本市の環境（水、緑、ごみ、大気など）が以前と比べてどうなったと感じていますか。（○は1つだけ）

図6-21-1



市の環境が以前と比べてどうなったと感じるか聞いたところ、「良くなった」（8.7%）と「どちらかといえば良くなった」（42.9%）を合わせた『良くなった』は5割強（51.6%）となっている。一方、「どちらかといえば悪くなった」（10.6%）と「悪くなった」（4.7%）を合わせた『悪くなった』は1割台半ば（15.3%）となっている。（図6-21-1）

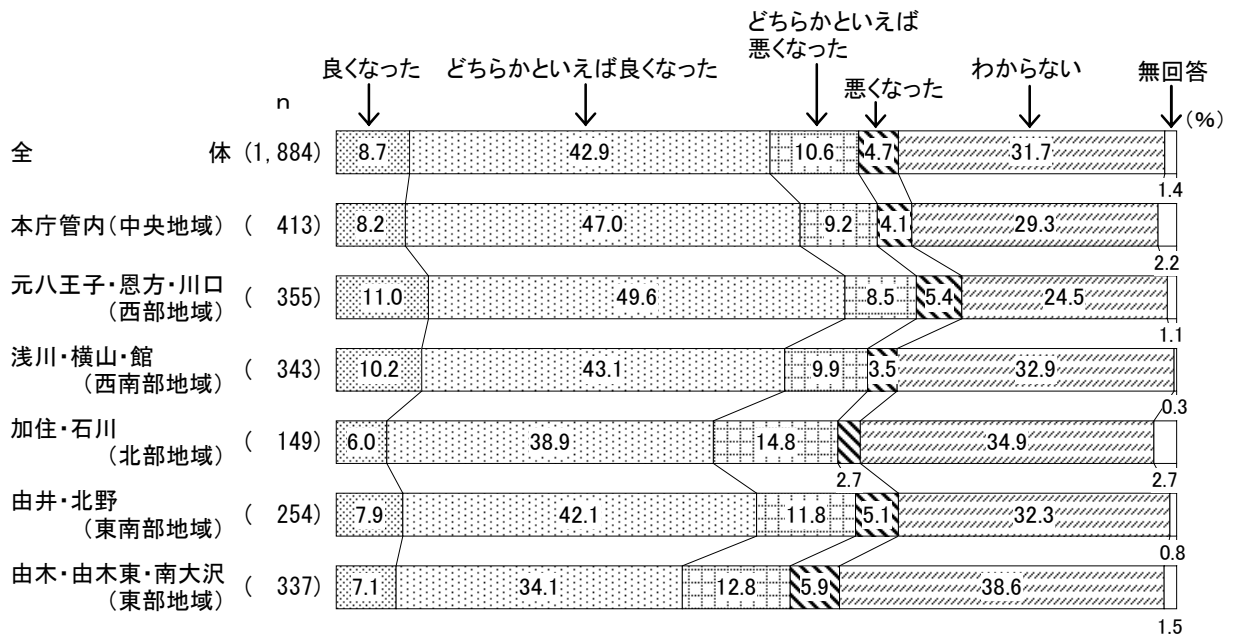
図6-21-2 市の現在の環境—性別・年齢別



性別にみると、男性のほうが『良くなった』で2.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、65歳以上で7割強（72.9%）と最も高くなっている。（図6-21-2）

図 6-21-3 市の現在の環境－居住地域別



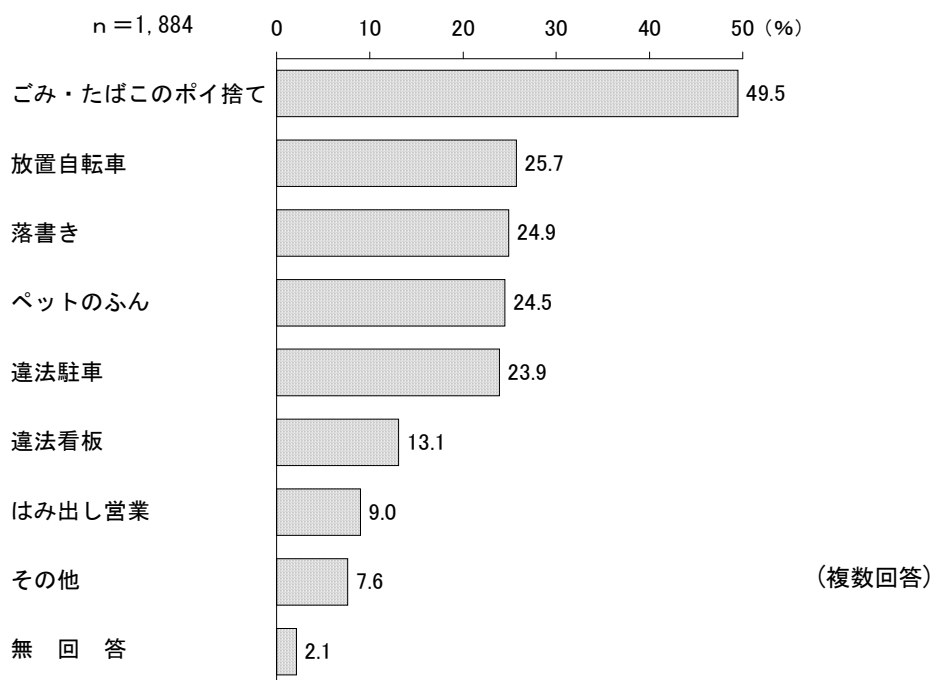
居住地域別にみると、『良くなった』は元八王子・恩方・川口（西部地域）で約 6 割（60.6%）と最も高く、由木・由木東・南大沢（東部地域）で 4 割強（41.2%）と低くなっている。（図 6-21-3）

6-22 都市の美観が損なわれる原因

◇「ごみ・たばこのポイ捨て」が5割弱で突出

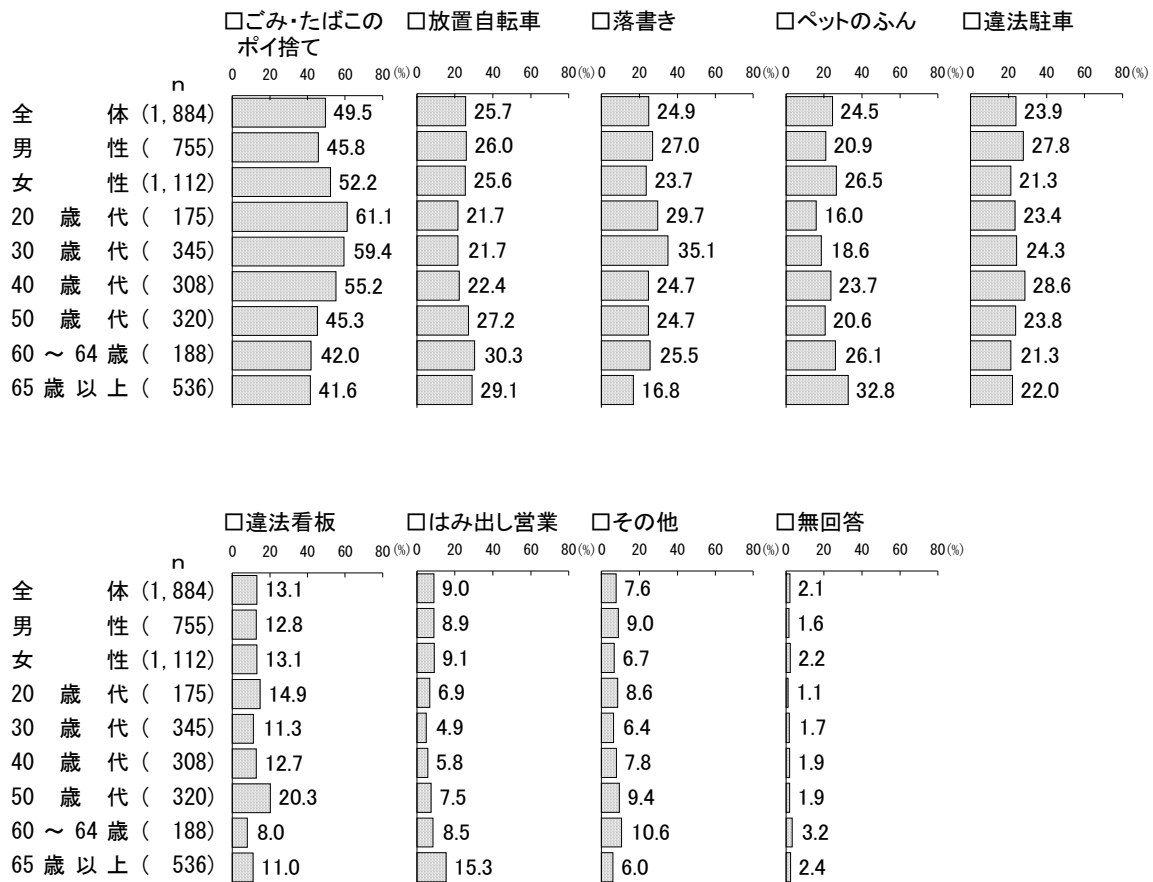
問40 都市の美観が損なわれる主な原因は、次のどれだと思いますか。（○は2つまで）

図6-22-1



都市の美観が損なわれる主な原因について聞いたところ、「ごみ・たばこのポイ捨て」が5割弱（49.5%）と最も高く、ついで「放置自転車」（25.7%）、「落書き」（24.9%）、「ペットのふん」（24.5%）の順で続いている。（図6-22-1）

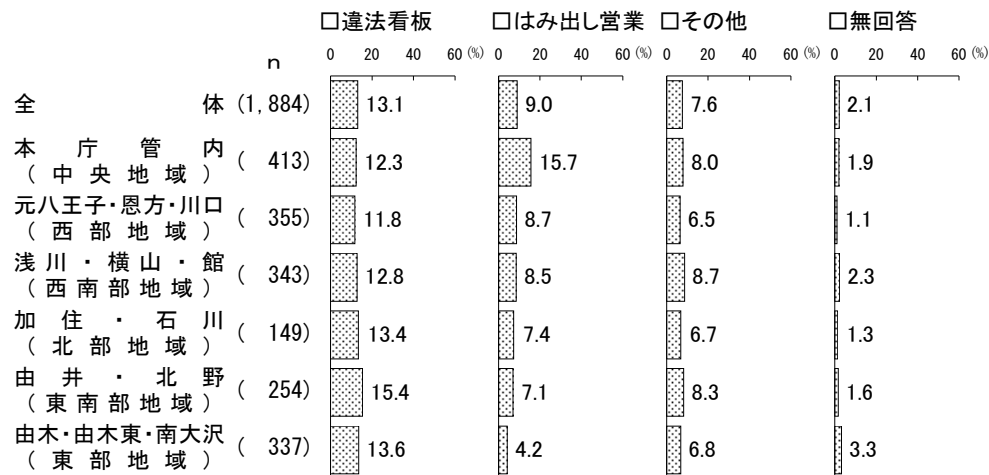
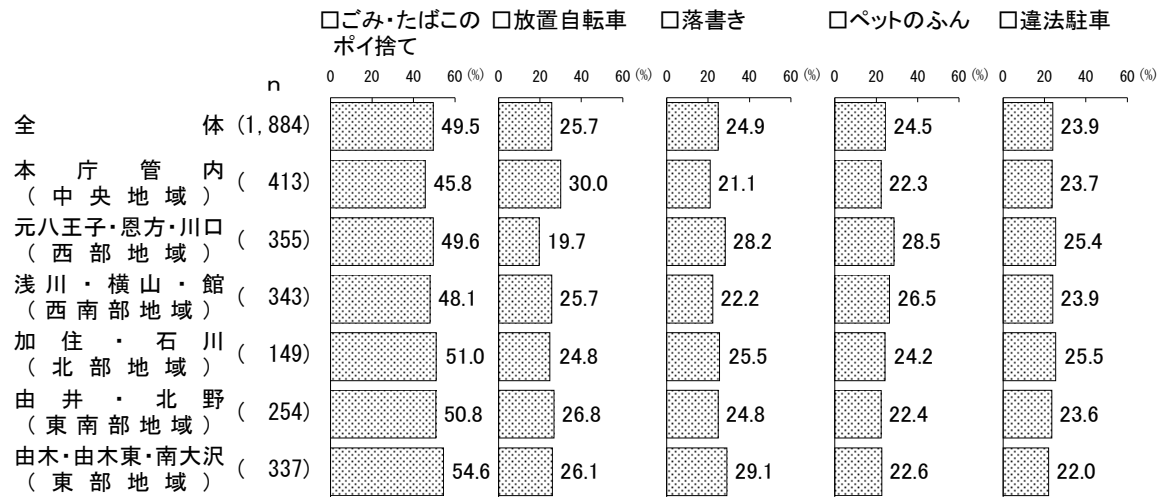
図6-22-2 都市の美観が損なわれる原因－性別・年齢別



性別にみると、「違法駐車」は男性のほうが6.5ポイント高く、「ごみ・たばこのポイ捨て」は女性のほうが6.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「ごみ・たばこのポイ捨て」は年齢が低くなるほど割合が増加する傾向にあり、30歳代以下では6割前後と特に高くなっている。「ペットのふん」は50歳代を除き、年齢が高くなるほど割合が増加する傾向にあり、65歳以上では3割強（32.8%）を占めている。（図6-22-2）

図 6-22-3 都市の美観が損なわれる原因－居住地域別



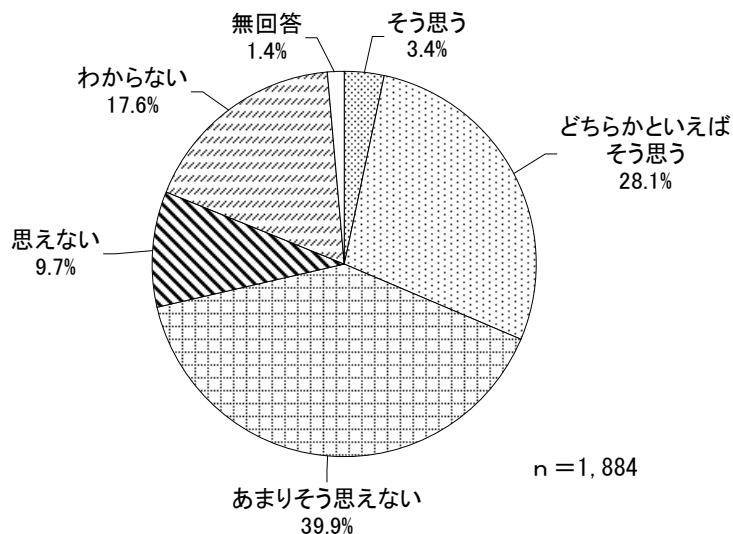
居住地域別にみると、「ごみ・たばこのポイ捨て」は由木・由木東・南大沢（東部地域）、加住・石川（北部地域）、由井・北野（東南部地域）で5割以上と高くなっている。（図 6-22-3）

6-23 市は美観が保持されたまちだと思うか

◇『思えない』が約5割

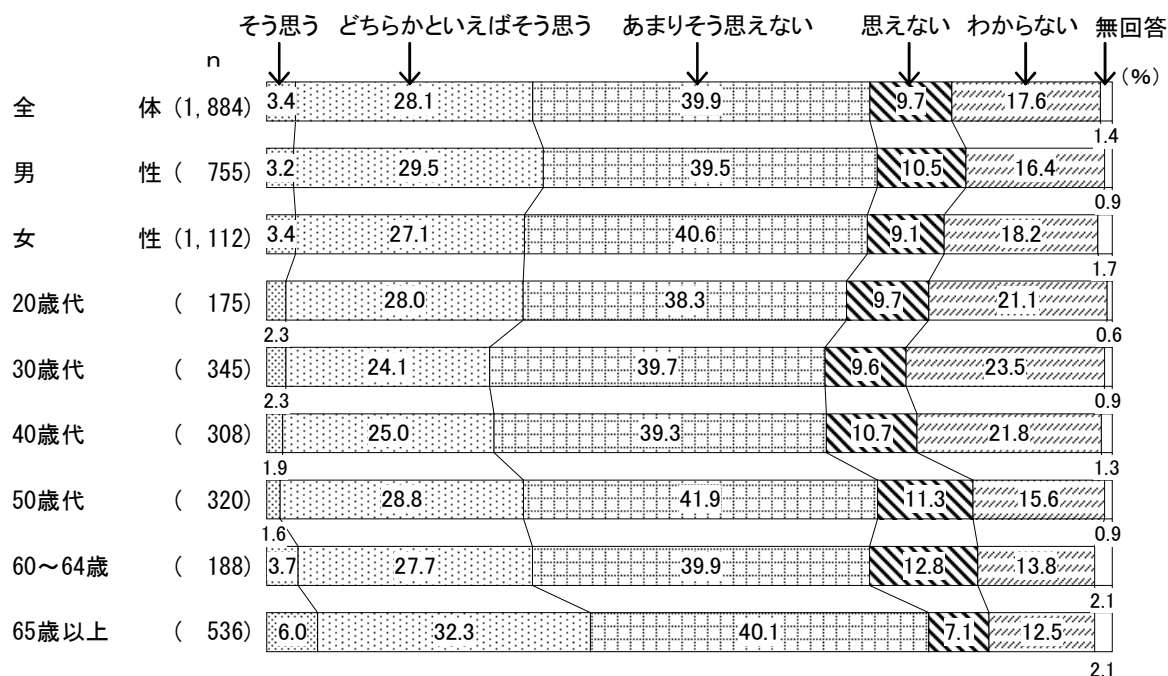
問41 本市は、都市の美観が保持されているまちであると思いますか。(○は1つだけ)

図6-23-1



八王子市は美観が保持されたまちだと思うかどうか聞いたところ、「あまりそう思えない」が約4割(39.9%)と最も高く、「思えない」(9.7%)と合わせた『思えない』が約5割(49.6%)となっている。(図6-23-1)

図6-23-2 市は美観が保持されたまちだと思うかー性別・年齢別

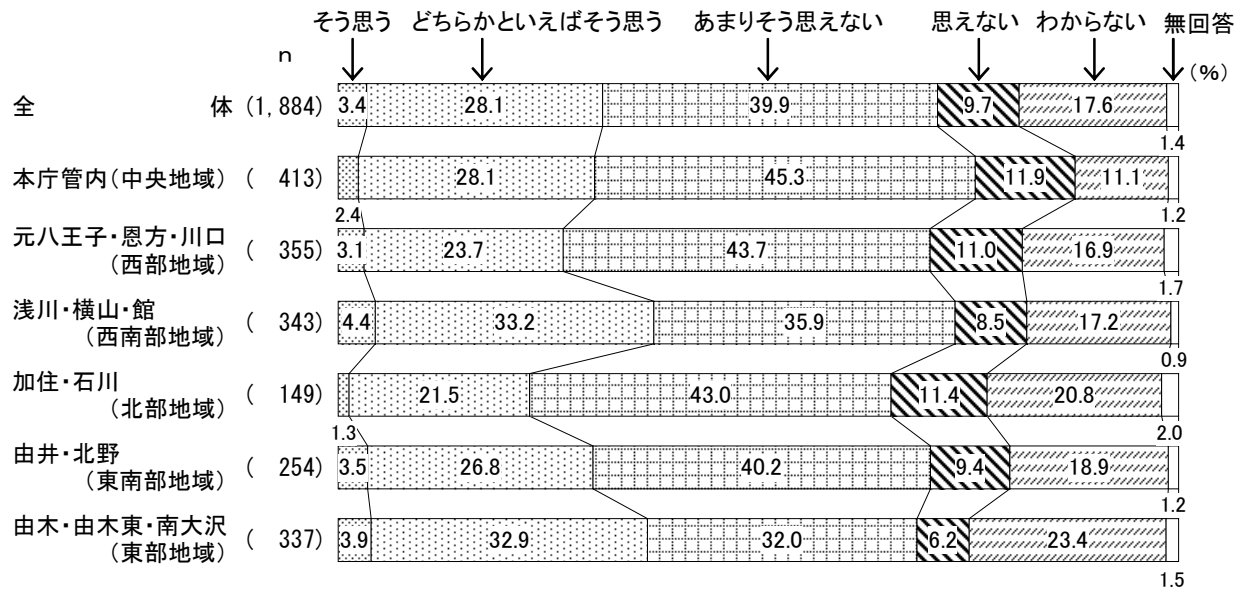


性別にみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』は、男性のほうが2.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、20歳代を除き、年齢が高くなるほど『そう思う』の割合が増加している。

(図6-23-2)

図 6-23-3 市は美観が保持されたまちだと思うかー居住地域別



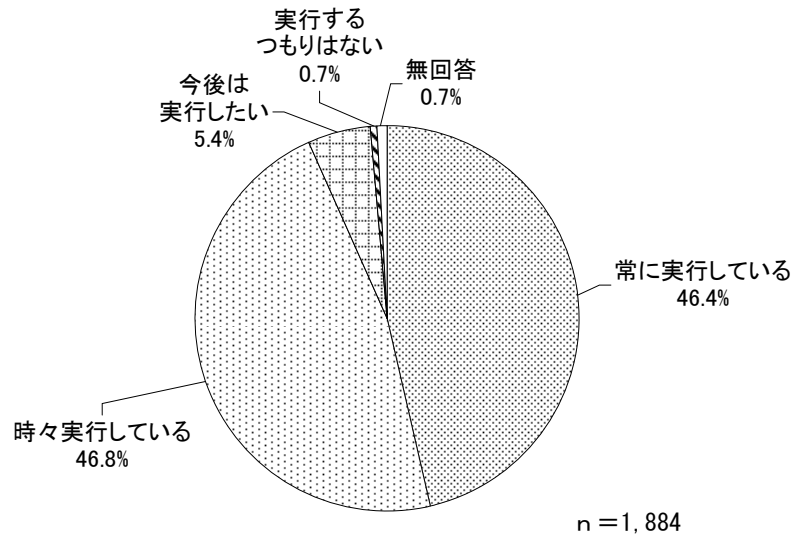
居住地域別にみると、『そう思う』は浅川・横山・館（西南部地域）が4割弱（37.6%）で最も高く、加住・石川（北部地域）が2割強（22.8%）で最も低くなっている。（図 6-23-3）

6-24 省エネ・省資源を実行しているか

◇『実行している』が9割強の大多数

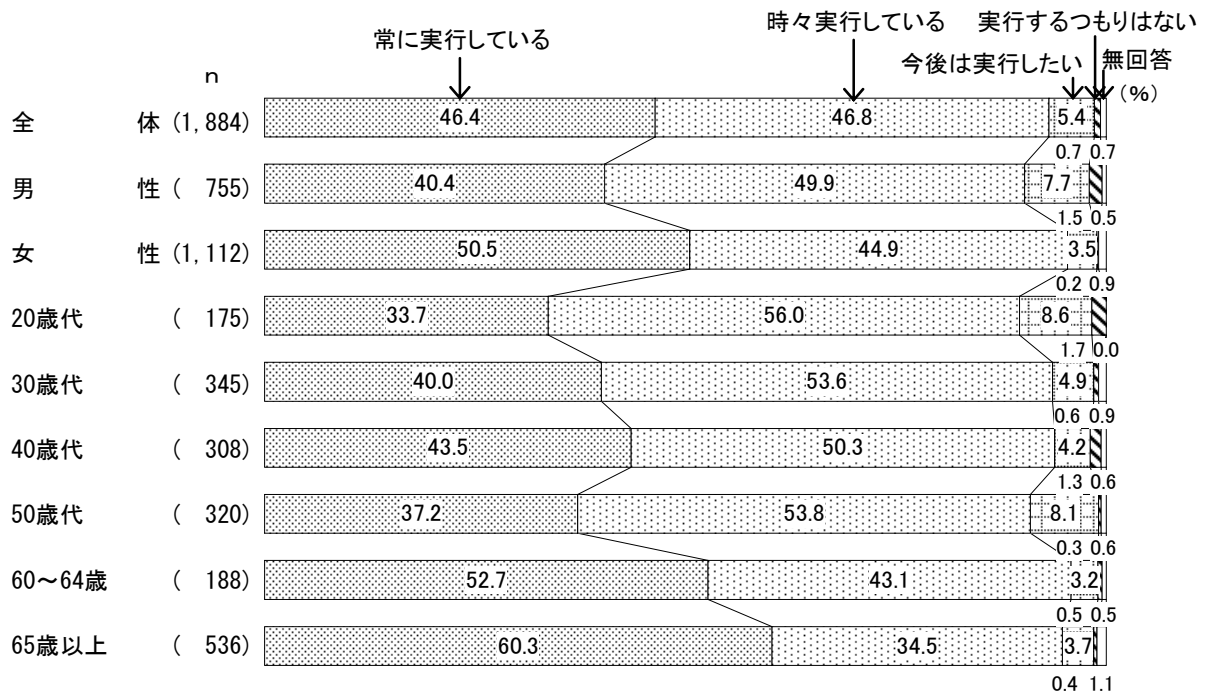
問42 省エネ・省資源のためには、冷暖房を控える、電気をこまめに消す、冷蔵庫の開閉に気を遣う、ごみ減量のためのリサイクルを心がける、マイカーの使用を控える、省エネ製品を利用する、買物用のバッグを持参して買い物に行くなどがありますが、あなたは、省エネ・省資源を意識して実行していますか。（○は1つだけ）

図6-24-1



省エネ・省資源の実行について聞いたところ、「時々実行している」（46.8%）と「常に行っている」（46.4%）が4割台半ばで、両者合わせた『実行している』は9割強（93.2%）と高くなっている。（図6-24-1）

図6-24-2 省エネ・省資源を実行しているかー性別・年齢別



性別にみると、女性のほうが「常に行っている」が10.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、50歳代以降年齢が高くなるほど「常に行っている」割合が増加する傾向がみられる。（図6-24-2）

Ⅲ 調査票

平成 21 年（第 41 回）八王子市市政世論調査

市政世論調査へのご協力のお願い

市では、市民の皆さんの生活環境への意識、市の施策等に対する評価及び市政への意見・要望を把握し、まちづくりに有効に活用していくために、毎年市政世論調査を実施しています。また、この調査を通じて市民の皆さんの市政への参加を図り、市民の皆さんと市との協働によるまちづくりを推進していきます。

この調査の対象者は、市内にお住まいの 20 歳以上の方々から無作為に 3,000 名を選ばせていただきました。また、調査は無記名で、調査結果につきましては統計的な処理をいたしますので、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願いします。

平成 21 年 5 月

八王子市長 黒須 隆一

【ご記入にあたってのお願い】

1. ご回答は、必ずあて名のご本人がご記入ください。
(無記名ですので、氏名・住所の記入の必要はありません。)
2. ご回答は、次の要領で行ってください。
 - あらかじめ設けてある選択肢の中から選んで番号に○印をつけてください。
 - 回答の○の数は、(○は1つだけ) (○は3つまで) (○はいくつでも) などのように指定していますので、それに合わせてください。
 - ご自分の答えが選択肢の中にある場合などは、「その他」を選び、「(具体的に)」内にその内容を具体的に記入してください。
 - 質問は、2 ページから順に最後までお答えください。なお、問○-1 のように、一部の方だけにお答えいただく質問もありますが、その場合は矢印や説明文に従ってお答えください。

- ◎ ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、
平成 21 年 5 月 29 日(金)までにご投函ください。切手を貼る必要はありません。
※ ご協力いただいた方には、後日、調査結果報告書（概要版）をお送りします。

《お問い合わせ先》 八王子市総合政策部広聴広報室 広聴担当まで
電 話：042-620-7411（直通）
(月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時00分)

＜あなたご自身について＞ ～基本項目（フェイス・シート）～

最初にあなたご自身のことについておたずねします。

F 1 あなたの性別は、次のどちらにあたりますか。（○は1つだけ）

n=1,884

1	男性	40.1	2	女性	59.0	(無回答)	0.9
---	----	------	---	----	------	-------	-----

F 2 あなたの年齢は、次のどれにあたりますか。（○は1つだけ）

n=1,884

1	20 歳代	9.3	3	40 歳代	16.3	5	60～64 歳	10.0
2	30 歳代	18.3	4	50 歳代	17.0	6	65 歳以上	28.5
							(無回答)	0.6

F 3 あなたご自身は、次のどれにあたりますか。（○は1つだけ）

n=1,884

1	20～39 歳で単身者	13.9
2	20～39 歳で配偶者がいて子どもがいない	3.5
3	20～64 歳で一番下の子どもが小学校入学前	9.7
4	20～64 歳で一番下の子どもが小学生	6.6
5	20～64 歳で一番下の子どもが中学・高校生	6.7
6	20～64 歳で一番下の子どもが高校を卒業している	18.6
7	40～64 歳で単身者	6.1
8	40～64 歳で配偶者がいて子どもがいない	4.6
9	65 歳以上	28.5
	(無回答)	1.9

F 4 あなたの世帯は、次のように分類した場合、どれにあたりますか。ご自分の立場（自分が親、自分が子ども）にかかわらず、世帯構成をお答えください。（○は1つだけ）

n=1,884

1	ひとり暮らし（単身世帯）	8.9	4	親と子ども夫婦（二世帯世帯）	6.7
2	夫婦のみ（一世帯世帯）	25.5	5	親と子どもと孫（三世帯世帯）	9.3
3	親と未婚の子ども（二世帯世帯）	46.5	6	その他（具体的に）	1.7
				(無回答)	1.3

F 5 現在、一緒に暮らしているご家族は、あなたを含めて何人ですか。（○は1つだけ）

n=1,884

1	1 人	10.7	3	3 人	24.3	5	5 人	9.8	7	7 人以上	2.1
2	2 人	26.6	4	4 人	20.5	6	6 人	4.2		(無回答)	1.9

F 6 あなたは、八王子市に住んで何年になりますか。（○は1つだけ）

n=1,884

1	1 年未満	1.4	3	3～10 年未満	14.8	5	20 年以上	41.6
2	1～3 年未満	4.0	4	10～20 年未満	16.0	6	生まれてからずっと	21.4
							(無回答)	0.7

F 7 あなたのご職業は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

n=1,884

1 農・林・漁業	0.4	7 アルバイト・パート	14.0
2 自営業	5.9	8 (専業) 主婦・主夫	21.7
3 自由業(開業医、弁護士、司法書士など)	1.0	9 学生	2.5
4 会社や団体の役員	2.7	10 その他(具体的に)	0.7
5 会社・商店・サービス業などの勤め人	28.0	11 無職	18.2
6 教員・公務員	3.9	(無回答)	1.1

(F 7で、「1」から「7」のいずれかにお答えの方に)

→ F 7-1 あなたの職場は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

n=1,051

1 八王子市内	47.9	2 八王子市外	47.0	(無回答)	5.1
---------	------	---------	------	-------	-----

F 8 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

n=1,884

1 一戸建て(持ち家)	63.8	5 都市再生機構(旧公団)・公社の賃貸住宅	2.9
2 分譲マンション	14.5	6 都営・市営住宅	4.5
3 一戸建て(借家)	2.8	7 社宅・官舎・寮	0.9
4 民間の賃貸アパート・マンション	9.4	8 その他(具体的に)	0.2
		(無回答)	1.1

F 9 あなたのお住まいは、次のように各事務所の区域に分類した場合、どの地区にあたりますか。

(○は1つだけ)

n=1,884

※該当する地区が不明な場合は、() 内にお住まいの町名をご記入ください。

1 本庁管内(中央地域)	21.9	9 石川地区	6.2
2 元八王子地区	10.6	10 由井地区	6.1
3 恩方地区	3.2	11 北野地区	7.4
4 川口地区	5.0	12 由木地区	5.1
5 浅川地区	4.3	13 由木東地区	4.1
6 横山地区	9.2	14 南大沢地区	8.7
7 館地区	4.7	15 不明(お住まいの町名)	0.5
8 加住地区	1.7	(無回答)	1.2

F 10 あなたのご家庭は、町会や自治会に入っていますか。(○は1つだけ)

n=1,884

1 入っている	78.4	2 入っていない	20.6	(無回答)	1.0
---------	------	----------	------	-------	-----

＜定住意向＞

問１ あなたは、これからも八王子市に住み続けたいと思いますか。（○は１つだけ）

n=1,884

1 ずっと住み続けたい	47.6	3 市外へ移りたい	10.4
2 当分は住み続けたい	40.8	(無回答)	1.2

（問１で「１ ずっと住み続けたい」または「２ 当分は住み続けたい」とお答えの方に）

▶ 問１－１ 住み続けたい主な理由は何ですか。（○は３つまで）

n=1,665

1 緑が多く自然に恵まれている	57.8	6 古き良きものが多い	4.0
2 交通の便が良い	35.6	7 街並み・景観が美しい	10.0
3 買い物に便利	26.8	8 公園などがよく整備されている	10.0
4 地域住民の連帯感が強い	9.7	9 その他（具体的に）	14.7
5 教育環境が良い	4.4	10 特に理由はない	14.7
		(無回答)	2.0

▶（問１で「３ 市外へ移りたい」とお答えの方に）

問１－２ 市外へ移りたい主な理由は何ですか。（○は３つまで）

n=196

1 自然環境が悪い	5.6	6 住宅事情が悪い	11.7
2 交通の便が悪い	41.3	7 公害が多い	6.1
3 買い物に不便	26.5	8 街の雰囲気が嫌い	17.9
4 隣近所となじめない	7.1	9 その他（具体的に）	38.8
5 この街に愛着がない	26.0	10 特に理由はない	6.6

問２ あなたは、周囲の生活環境について日頃どのように感じていますか。

（１）～（１６）の各項目それぞれについてお答えください。（○はそれぞれ１つ）

n=1,884

項 目	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	(無回答)
(１) 日当たりや風通し	52.1	16.9	19.2	7.5	3.0	1.3
(２) 大気汚染	22.0	16.2	43.7	10.7	4.5	2.9
(３) 騒音・振動	23.5	15.4	30.6	18.7	9.3	2.4
(４) 災害時の安全性	15.5	15.7	52.1	10.4	2.8	3.6
(５) 下水・排水	32.5	14.6	43.1	5.5	2.4	1.9
(６) し尿処理	38.6	11.9	44.1	1.8	0.7	2.9
(７) ごみ処理	32.5	15.6	42.7	5.9	1.3	2.0
(８) 防犯や風紀	13.2	18.9	48.3	14.4	3.2	2.0
(９) 病院などの医療施設	11.6	18.5	44.3	17.3	6.4	2.0
(10) 集会施設	13.5	12.2	59.4	9.7	2.4	2.8
(11) 公園・遊び場	16.2	18.2	43.0	14.4	5.5	2.7
(12) 道路の整備状況	17.3	17.5	41.3	15.1	6.0	2.8
(13) 緑の豊かさ	39.4	28.7	24.6	4.2	1.3	1.9
(14) 交通の便	20.8	23.0	30.1	15.6	8.8	1.8
(15) 交通の安全性	13.2	16.4	48.2	13.6	5.6	2.9
(16) 全体としての「住みやすさ」	16.7	32.5	39.7	7.9	1.5	1.8

＜市政への要望＞

問3 市政全般において、あなたが特に力を入れてほしいと思う施策は何ですか。次の1～35の中から3つ選び、下の回答欄内に番号をご記入ください。

1	2	3

n=1,884

1 財政の健全化	24.1	19 交通安全対策	5.3
2 行財政改革	10.4	20 防犯対策	18.8
3 学校教育	12.3	21 防災対策	6.1
4 青少年の健全育成	8.0	22 高度情報化社会への対応	1.5
5 生涯学習	3.7	23 商・工業などの地域経済対策	8.3
6 文化施設・文化事業	4.7	24 道路整備	7.4
7 国際化の推進	1.1	25 交通機関・駐車場の整備	8.6
8 コミュニティづくり	2.1	26 緑の保全や公園の整備	9.9
9 学園都市づくり	0.6	27 下水道処理	0.9
10 男女共同参画社会づくり	0.6	28 都市整備事業（再開発、区画整理等）	3.5
11 保健医療	29.9	29 清掃事業（ごみ、し尿処理、リサイクル）	5.2
12 介護保険	18.3	30 公害防止対策	2.2
13 社会福祉（ひとり親、低所得者）	12.5	31 都市景観	2.9
14 高齢者福祉	32.6	32 観光・レクリエーション	3.0
15 障害者福祉	5.2	33 不法投棄・放置対策	
16 少子化対策・子育て支援	16.9	（自動車、自転車、バイク、ごみ等）	9.2
17 消費者保護	4.9	34 その他（具体的に）	3.3
18 住宅対策	3.6	35 特にない	0.7
		（無回答）	2.1

＜生涯学習について＞

市は新しい「生涯学習推進計画」の策定を予定しています。そこで、生涯学習の推進について市民の皆さんにご意見を伺い、参考資料として活用させていただきます。

問4 あなたは「生涯学習」という言葉から、どのようなことを思い浮かべますか。(○は1つだけ)

n=1,884

1	生活を楽しみ、心を豊かにする	31.5
2	趣味や教養を高める	25.1
3	高齢期の生きがいづくり	20.9
4	健康の増進や、体力づくり	4.2
5	仕事に必要な知識や資格を得る	3.5
6	家族や社会などの問題を理解して、解決の方法を学ぶ	3.4
7	ボランティア活動等を行い地域や社会に貢献する	2.9
8	その他(具体的に)	1.1
9	特に思い浮かぶことはない	5.3
	(無回答)	2.1

問5 あなたは、過去1年の間に、次のうちどのような生涯学習活動に取り組んで(学んだり、活動したりして) いますか。(○はいくつでも)

n=1,884

1	趣味的なもの(音楽、美術、写真、華道、舞踊、書道など)	27.4
2	教養的なもの(文学、歴史、科学、語学、時事問題など)	13.2
3	健康・スポーツ(健康法、医学、ジョギング、水泳など)	28.5
4	家庭生活に役立つ技術(料理、洋裁、編物、日曜大工など)	10.3
5	育児・教育(育児、家庭教育、教育問題など)	5.7
6	仕事に必要な知識や技能、資格の取得	11.1
7	パソコンやインターネットに関すること	11.4
8	社会問題・市民生活に関するもの(少子高齢化、情報化、環境、介護、国際交流など)	3.9
9	社会貢献活動(町内会などの地域活動、ボランティア、NPO、市民活動など)	12.5
10	学校の正規過程での学習	1.5
11	その他(具体的に)	1.6
12	していない	35.5
	(無回答)	1.5

▶(問5で「12 していない」とお答えの方に)

問5-1 あなたが学んだり、活動したりしていない(できない)主な理由は何ですか。

(○は1つだけ)

n=668

1	仕事や家事などが忙しくて時間がないから	43.4	5	自分の学びたいものがないから	6.0
2	学ぶ方法や手段、きっかけがつかめないから	10.3	6	身近に学習や活動できる場がないから	4.3
3	健康や体力に自信がないから	9.1	7	面倒だから	6.4
4	経済的にゆとりがないから	14.4	8	その他(具体的に)	5.7
				(無回答)	0.3

(問5で「1」～「11」のいずれかにお答えの方に)

―――→ 問5-2 あなたが行っている学習や活動に関する情報を何でお知りになりましたか。

(○は3つまで)

n=1,188

1	新聞・雑誌・タウン誌	33.6	6	インターネット	27.6
2	近所の人や知人から（口コミ）	31.1	7	テレビ・ラジオ	11.3
3	広報はちおうじ	21.5	8	町会・自治会の回覧物	9.9
4	市で作成している		9	施設の職員による案内や紹介	3.8
	「サークル・団体のご案内」	3.2	10	その他（具体的に	8.1
5	パンフレット・ちらし・ポスター	13.6		（無回答）	4.2

(問5で「1」～「11」のいずれかにお答えの方に)

―――→ 問5-3 あなたは、どのような方法で、学んだり、活動したりしていますか。（○はいくつでも）

n=1,188

1	新聞、雑誌、専門書など	37.8	7	放送大学や通信教育	2.9
2	地域や職場のサークル・クラブ活動	25.8	8	大学等の公開講座	2.5
3	テレビ、ラジオなど	17.2	9	学校の正規過程での学習	3.2
4	カルチャーセンターや		10	大学への社会人入学、卒業後の再入学	0.4
	スポーツクラブ等の民間機関	22.4	11	インターネット（eラーニングなど）	14.3
5	市など行政機関が行なっている講座	10.4	12	その他（具体的に	7.8
6	勤務先の社員教育・職業訓練	7.6		（無回答）	8.2

(問5で「1」～「11」のいずれかにお答えの方に)

―――→ 問5-4 あなたは、どのような目的で、学んだり、活動したりしていますか。（○は3つまで）

n=1,188

1	趣味や楽しみ	58.0	9	展示会、発表会、コンクール、	
2	生きがいや自己実現	25.5		試合に参加する	3.4
3	仕事や就職	16.2	10	ボランティア活動や地域活動、	
4	知識や教養を高める	24.3		NP0 活動に生かす	6.6
5	日常生活に必要	10.2	11	指導者になって人に教える	2.0
6	友人や仲間をつくる	20.8	12	上級学校の進学に生かす	0.4
7	資格や大学などでの単位を得る	2.6	13	その他（具体的に	1.2
8	健康・体力づくり	37.0	14	特に目的はない	1.0
				（無回答）	3.4

問6 あなたが学習活動に支出している経費、または、これから学習したいと考えたときに支出してもよいと考える金額は、1ヶ月いくらくらいですか。（○は1つだけ）

n=1,884

1	3千円未満	18.5	5	3万円以上5万円未満	1.2
2	3千円以上5万円未満	24.4	6	5万円以上	1.0
3	5万円以上10万円未満	27.7	7	経費はかけない	7.0
4	10万円以上30万円未満	11.6	8	学習したいと思わない	3.6
				（無回答）	5.1

問7 あなたが学習を続けていくために、または、これから学習したいと考えたときに、学習活動の場がどの場所にあればよいと思いますか。(○は1つだけ) n=1,884

1	自宅の近く	59.3	3	勤務地近く	3.6	5	特にな	10.1
2	市内のJR、京王線、 多摩モノレールの各駅周辺	21.8	4	その他 (具体的に)	2.0		(無回答)	3.2

問8 今後、市が市民の生涯学習活動を支援していくにあたり、どのような施策を推進すべきだと思いますか。(○は2つまで) n=1,884

1	学習活動を行う場(施設など)の整備	32.2
2	趣味・教養から資格取得まで、幅広い分野の学習機会の提供	36.5
3	大学などとの連携による専門的な学習機会の充実	11.5
4	生涯学習についての情報提供(情報の一元化や窓口での相談体制)の充実	17.6
5	生涯学習を支援する地域の人材を養成する	6.6
6	ボランティア活動や市民活動を支援する仕組みづくり	10.8
7	学校図書館やグラウンド、教室など学校施設の開放をすすめる	15.6
8	生涯学習を通じて身につけた成果を生かした活動に対する社会的評価を促進する	9.5
9	その他(具体的に)	1.5
10	何も行う必要はない	3.0
11	わからない (無回答)	9.3 4.1

問9 市は市民の生涯学習活動の拠点として、生涯学習センター(クリエイトホール)、同センター川口分館、南大沢分館を開設しています。あなたは過去1年の間に生涯学習センターをどのように利用しましたか。(○はいくつでも) n=1,884

1	学習機会の情報を得る	6.8	6	成果発表のためのホール、展示室の利用	3.4
2	学習施設の情報を得る	2.7	7	自らの学習情報や人材情報の提供	0.7
3	人材情報(講師や指導者)を得る	0.6	8	その他(具体的に)	2.3
4	学習活動のための学習室の利用	6.1	9	利用したことがない (無回答)	77.2 5.7
5	窓口での学習活動の相談	0.2			

(問9で「1」～「8」のいずれかにお答えの方に)

問9-1 過去1年間で何回位利用しましたか。(○は1つだけ) n=322

1	1～2回	41.9	2	3～4回	23.3	3	5回以上 (無回答)	29.5 5.3
---	------	------	---	------	------	---	---------------	-------------

問10 あなたは、生涯学習に関する講座や教室に関心がありますか。(○は1つだけ) n=1,884

1	ある	20.9	2	多少はある	46.9	3	ない	14.1	4	わからない (無回答)	10.9 7.3
---	----	------	---	-------	------	---	----	------	---	----------------	-------------

問 11 あなたは、図書館をどの程度利用していますか。(○は1つだけ)

n=1,884

1 週2回以上	1.0	4 月に1回	5.7
2 週に1回	2.6	5 時々(年に数回程度)	25.9
3 月に2~3回	6.7	6 利用していない	56.1
		(無回答)	2.1

(問11で「6 利用していない」とお答えの方に)

→ 問 11-1 図書館を利用しない理由は何ですか。(○は3つまで)

n=1,056

1 図書館を知らなかったから	6.6	6 他の市の図書館を利用するから	3.6
2 図書館まで遠いから	31.3	7 職員の対応が良くないから	1.1
3 開館時間・開館日に利用できないから	16.1	8 施設・設備が良くないから	2.5
4 利用したい資料がないから	5.2	9 必要がないから	34.1
5 利用手続きや規則が面倒だから	8.0	10 その他(具体的に)	15.2
		(無回答)	0.9

問 12 図書館に関する項目の中で、ご存知のものはありますか。(○はいくつでも)

n=1,884

1 読書のまち八王子の推進	4.6
2 はちおうじ読書の日(10月27日)	2.0
3 通年夜間開館	3.8
4 図書館連携(京王線沿線7市、あきる野市、相模原市)	15.0
5 ブックスタート	2.6
6 おはなし会	15.4
7 手づくりの本展	4.9
8 製本講習会	3.1
9 読書感想画コンクール(小中学生を対象に、毎年9月に作品を募集)	4.8
10 千人塾(シニア世代を対象とした図書館を使った調べ学習グループ)	1.8
11 図書館のホームページ(図書の予約等)	15.6
12 宅配サービス	2.6
13 地区図書室での図書館所蔵資料予約受取り	7.7
14 知っているものはない	51.4
(無回答)	8.8

＜地上デジタル等について＞

問 13 あなたは、市のホームページなどで防災マップ等の防災に関する情報を提供していることを知っていますか。(○は1つだけ) n=1,884

1 知っており、利用したことがある	3.7	3 知らない	55.5
2 知っているが、利用したことはない	39.1	(無回答)	1.7

問 14 あなたは、市の携帯電話版ホームページを利用したことはありますか。(○は1つだけ) n=1,884

1 利用したことがある	3.4	2 利用したことはない	95.1
		(無回答)	1.5

(問14で「1 利用したことがある」とお答えの方に)

→ 問 14-1 あなたは、市の携帯電話版ホームページに満足していますか。(○は1つだけ) n=64

1 満足している	4.7	4 あまり満足していない	17.2
2 ほぼ満足している	20.3	5 満足していない	9.4
3 どちらでもない	35.9	(無回答)	12.5

(問14で「1 利用したことがある」とお答えの方に)

→ 問 14-2 あなたは、市の携帯電話版ホームページにどのような情報を充実させてほしいですか。(○はいくつでも) n=64

1 防犯	39.1	6 市の天気	23.4
2 観光	15.6	7 問い合わせ先	29.7
3 教育・生涯学習	21.9	8 その他(具体的に)	7.8
4 ごみ・リサイクル	20.3	9 特にない	7.8
5 子育て	21.9	(無回答)	6.3

問 15 あなたは、イベント情報や市民が書いた記事などを掲載しているホームページ「ハチポ」を知っていますか。(○は1つだけ) n=1,884

1 知っており、閲覧したことがある	1.8	2 知っているが、閲覧したことはない	8.0	3 知らない	87.7
				(無回答)	2.5

問 16 あなたは、行政の情報以外で知りたい八王子市の情報はありますか。(○はいくつでも) n=1,884

1 観光情報	29.1	4 子育て情報	13.4	7 その他(具体的に)	2.6
2 店舗情報	26.7	5 講座情報	26.1	8 特にない	29.4
3 イベント情報	39.2	6 市民団体情報	10.2	(無回答)	3.3

問 17 あなたは、地上アナログ放送が終了する時期を知っていますか。(○は1つだけ) n=1,884

1 知っている	92.8	2 知らない	5.6	(無回答)	1.6
---------	------	--------	-----	-------	-----

問 18 あなたは、現在、地上デジタル放送を視聴していますか。(○は1つだけ) n=1,884

1 視聴している	46.4	2 視聴していない	49.3	3 わからない	2.5
				(無回答)	1.8

(問18で「1 視聴している」とお答えの方に)

→ 問 18-1 あなたは、どのような機器で地上デジタル放送を視聴していますか。(○はいくつでも) n=874

1 地上デジタル対応型テレビ	76.3
2 デジタルチューナーまたはデジタルチューナー内蔵録画機	10.5
3 ケーブルテレビ	32.8
4 カーナビゲーション	4.6
5 その他(具体的に)	0.8
6 わからない	0.3
(無回答)	0.1

(問18で「2 視聴していない」とお答えの方に)

→ 問 18-2 あなたは、いつ頃地上デジタル視聴機器に切替える予定ですか。(○は1つだけ) n=929

1 すぐにでも切替えたい	7.6	3 ぎりぎりまで切替えない	38.0
2 1年から2年後	18.9	4 未定	34.0
		(無回答)	1.1

問 19 あなたは現在、どのような方法でテレビ放送を受信されていますか。(○はいくつでも) n=1,884

1 個別アンテナ※1(VHF)	24.7	4 共同アンテナ(UHF)	10.9	7 その他(具体的に)	1.2
2 個別アンテナ(UHF)	12.5	5 ケーブルテレビ	28.3	8 わからない	11.0
3 共同アンテナ※2(VHF)	18.2	6 光回線	4.6	(無回答)	2.3

※1：個別アンテナとは、戸建て住宅に設置されているアンテナのことです。

※2：共同アンテナとは、マンションや集合住宅あるいは地形や建物の影響による受信障害を解消するために複数の世帯が共同で使用しているアンテナのことです。

問 20 八王子市では 65 歳以上の方で構成する市・都民税非課税世帯に対し、地上デジタル視聴機器の設置費の補助を行っていますが、このことを知っていますか。(○は1つだけ) n=1,884

1 知っている	23.6	2 知らない	74.9	(無回答)	1.5
---------	------	--------	------	-------	-----

＜「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の目標値に対する達成度＞

この章は、八王子市の基本構想・基本計画（「八王子ゆめおりプラン」）に掲げる施策が目的どおり成果を挙げているか、その達成度を計るため、調査させていただくものです。

問 21 あなたは、市が市民協働のまちを進めていると感じますか。（○は1つだけ） n=1,884

「協働」とは、市民の皆さんと行政が、それぞれの立場や能力を理解、尊重しつつ、対等なパートナーとして連携し、課題に取り組むことをいいます。

1	そう思う	4.7	3	あまりそう思えない	18.0	5	わからない	51.9
2	どちらかといえばそう思う	9.6	4	思えない	12.1		（無回答）	3.8

問 22 市は、市政の情報を、積極的に配信・提供していますが、あなたは、現在の市政情報の入手方法に満足していますか。（○は1つだけ） n=1,884

市の情報は、広報はちおうじ、ホームページ、メール（市長メールマガジン、犯罪・不審者情報、防災情報）、議会だより、町会・自治会の回覧物や掲示物、市で作成したパンフレット・ポスター、新聞・テレビなどのマスメディア、八王子テレメディア、JR八王子駅前河川情報板などで配信・提供しています。

1	満足している	6.6	3	あまり満足していない	17.4	5	わからない	33.5
2	ほぼ満足している	32.7	4	満足していない	7.0		（無回答）	2.8

問 23 あなたは、この1年間に市役所、事務所、図書館、体育館、保健センターなど、市の窓口を利用したことはありますか。（○は1つだけ） n=1,884

1	ある	79.1	2	ない	19.3		（無回答）	1.6
---	----	------	---	----	------	--	-------	-----

（問23で「1 ある」とお答えの方に）

→ 問 23-1 あなたは、市の窓口サービスに満足していますか。（○は1つだけ） n=1,491

1	満足している	17.8	3	あまり満足していない	17.1	5	わからない	5.7
2	ほぼ満足している	53.3	4	満足していない	5.6		（無回答）	0.5

問 24 あなたは、この1年間に公園清掃などのボランティア活動や盆踊りなど地域行事に参加したことがありますか。（○は1つだけ） n=1,884

1	ボランティアにも地域行事にも参加したことがある	11.6
2	ボランティアには参加したことがある	4.0
3	地域行事には参加したことがある	26.6
4	どちらにも参加したことがない	56.3
	（無回答）	1.5

問 25 あなたは、あなたのお住まいの地域が安全であると感じますか。(○は1つだけ) n=1,884

1	安全である	6.6	3	普通である	45.0	5	危険である	2.9
2	おおむね安全である	28.6	4	やや危険である	15.1		(無回答)	1.7

問 26 市では、様々な相談を行っています。あなたは、市の相談窓口が充実していると思いますか。
(○は1つだけ) n=1,884

市で行っている相談は、健康・栄養・歯、母子・福祉、女性のための相談、法律、不動産、登記、税金、相続・遺言等暮らしの手続、年金・雇用保険・労働条件相談、行政、外国人生活相談、人権、交通事故、消費者、子育て、心の相談、総合教育相談、こども電話相談などです。

1	充実している	4.2	3	あまり充実していない	7.7	5	わからない	55.3
2	おおむね充実している	26.9	4	充実していない	3.3		(無回答)	2.7

問 27 あなたは、市の相談窓口を利用したことがありますか。(○は1つだけ) n=1,884

1	ある	20.8	2	ない	76.9		(無回答)	2.3
---	----	------	---	----	------	--	-------	-----

(問27で「1 ある」とお答えの方に)

問 27-1 市の相談窓口を利用してどう感じましたか。(○は1つだけ) n=391

1	満足した	13.3	3	あまり満足できなかった	24.3	5	その他(具体的に)	5.1
2	ほぼ満足した	45.0	4	満足できなかった	12.3			

問 28 あなたの現在の生きがいとはどのようなことですか。(○はいくつでも) n=1,884

1	仕事	26.3	7	旅行	36.6
2	スポーツやレクリエーション	18.7	8	家族とのふれあい	54.7
3	学習や習い事	14.1	9	近所付き合い	11.9
4	ボランティア活動	6.5	10	友人との交際	43.0
5	趣味	46.4	11	その他(具体的に)	2.7
6	映画や演劇などの鑑賞	18.6	12	特にな	6.7
				(無回答)	1.8

問 29 あなたは、市が行っている様々な子育て支援策について、日頃どのように感じていますか。

(○は1つだけ)

n=1,884

市が行っている主な子育て支援策としては、待機児童解消に向けた保育園の定員増、認定こども園開設の呼びかけ、市立学童保育所の整備、親子つどい広場の開設や、義務教育就学児医療費助成による医療費負担の軽減等の経済的支援を行っています。

また、児童館では中高生の居場所づくりに取り組んだり、子ども家庭支援センターでは地域の子育て支援の拠点として様々な取組を行っています。

1 満足している	1.5	3 あまり満足していない	6.5	5 その他(具体的に)	0.3
2 ほぼ満足している	14.0	4 満足していない	4.5	6 わからない	67.4
				(無回答)	5.8

(問29で「3 あまり満足していない」または「4 満足していない」とお答えの方に)

問 29-1 なぜ、そのように感じるのか理由があれば自由にご記入ください。

問 30 あなたが健康の維持・増進のために、自ら心がけて行動していることはどれですか。

(○はいくつでも)

n=1,884

1 適度な運動	57.6	5 趣味などの生きがいづくり	31.1
2 適度な休養	36.8	6 その他(具体的に)	1.8
3 食事などの栄養バランス	55.1	7 特に何もしていない	10.4
4 各種定期健診の受診	37.8	(無回答)	2.6

問 31 あなたは、かかりつけの医療機関を決めていますか。(○は1つだけ)

n=1,884

かかりつけ医とは、自分の体の状態を把握している身近な医者のこと、普段の健康管理、病気の初期治療のほか、大病院での検査・治療を必要とするかどうかの判断、紹介などが期待されます。

1 決めている	61.7	2 決めていない	35.8	(無回答)	2.5
---------	------	----------	------	-------	-----

問 32 あなたがこの1年間に取り組んだ学習活動はどれですか。(○はいくつでも)

n=1,884

1 パソコン・インターネット	19.9	6 文学	7.0	11 園芸	13.0
2 音楽	11.4	7 歴史	7.1	12 職業上必要な	
3 美術	6.5	8 料理	9.3	知識・技能	20.3
4 写真	3.7	9 洋裁	3.0	13 その他(具体的に)	5.3
5 外国語	7.6	10 和裁	0.8	14 特に学習していない	36.5
				(無回答)	4.0

問 33 あなたがこの 1 年間にスポーツを行った回数はどのくらいですか。(○は 1 つだけ) n=1,884

スポーツの種類は、エアロビクス、健康体操、ジョギング、ウォーキング、武道、バスケットボール、バレーボール、サッカー、テニス、バドミントン、野球、卓球、登山、スキー、スケート、水泳、ダイビング、レクリエーション、ゲートボールなどです。

1	週に 1 回以上	29.5	4	半年に 1 ～ 2 回	7.0
2	月に 1 ～ 3 回	15.1	5	その他 (具体的に)	0.6
3	3 ヶ月に 1 ～ 2 回	6.3	6	特にしていない (無回答)	38.1 3.5

問 34 あなたは、この 1 年間にどのくらいの頻度で芸術・文化活動に参加しましたか。

(鑑(観)賞も含みます)(○は 1 つだけ)

n=1,884

芸術・文化活動の分野は、文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊、映画、アニメーション・メディア芸術、伝統芸能(歌舞伎、落語など)、茶道、華道、書道、囲碁、将棋、歴史・文化財などです。

1	週に 1 回以上	7.0	4	半年に 1 ～ 2 回	16.4
2	月に 1 ～ 3 回	11.9	5	年 1 回	7.3
3	3 ヶ月に 1 ～ 2 回	14.4	6	特にしていない (無回答)	39.2 3.9

問 35 あなたは、本市が景観に配慮されたまちであると思いますか。(○は 1 つだけ)

n=1,884

1	そう思う	5.4	3	あまりそう思えない	34.5	5	わからない	19.6
2	どちらかといえば そう思う	23.3	4	思えない	13.7		(無回答)	3.5

問 36 あなたの家庭では、大地震等の災害に備えどのようなものを準備していますか。

(○はいくつでも)

n=1,884

1	食料・飲料水	43.0	6	貴重品類等非常持出品	19.1
2	医薬品	23.6	7	衣類	8.9
3	携帯ラジオ	43.5	8	その他 (具体的に)	2.4
4	懐中電灯	60.7	9	特に何もしていない	28.2
5	消火器	25.7		(無回答)	2.2

問 37 あなたは、市がにぎわいと活力があるまちであると感じますか。(○は 1 つだけ)

n=1,884

1	感じる	3.7	3	あまり感じない	40.9	5	わからない	11.7
2	多少感じる	19.9	4	感じない	21.6		(無回答)	2.2

問 38 あなたは、環境問題に関心はありますか。(○は1つだけ)

n=1,884

1	大いにある	27.2	3	少しはある	34.0
2	ある	35.8	4	ない	2.0
				(無回答)	1.0

問 39 あなたは、本市の環境(水、緑、ごみ、大気など)が以前と比べどうなったと感じていますか。

(○は1つだけ)

n=1,884

1	良くなった	8.7	4	悪くなった	4.7
2	どちらかといえば良くなった	42.9	5	わからない	31.7
3	どちらかといえば悪くなった	10.6		(無回答)	1.4

問 40 都市の美観が損なわれる主な原因は、次のどれだと思いますか。(○は2つまで)

n=1,884

1	違法駐車	23.9	5	落書き	24.9
2	放置自転車	25.7	6	違法看板	13.1
3	ペットのふん	24.5	7	はみ出し営業	9.0
4	ごみ・たばこのポイ捨て	49.5	8	その他(具体的に)	2.1

問 41 本市は、都市の美観が保持されているまちであると思いますか。(○は1つだけ)

n=1,884

1	そう思う	3.4	3	あまりそう思えない	39.9	5	わからない	17.6
2	どちらかといえば そう思う	28.1	4	思えない	9.7		(無回答)	1.4

問 42 省エネ・省資源のためには、冷暖房を控える、電気をこまめに消す、冷蔵庫の開閉に気を遣う、ごみ減量のためのリサイクルを心がける、マイカーの使用を控える、省エネ製品を利用する、買物用のバッグを持参して買い物に行くなどがありますが、あなたは、省エネ・省資源を意識して実行していますか。(○は1つだけ)

n=1,884

1	常に実行している	46.4	3	今後は実行したい	5.4
2	時々実行している	46.8	4	実行するつもりはない	0.7
				(無回答)	0.7

ご回答、大変ありがとうございました。

ご多忙の中、誠に恐縮ですが、調査票を同封の返信用封筒に入れ、5月29日(金)までにお近くの郵便ポストにご投函ください。(切手を貼る必要はありません。)